別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画									
事　項	記　入　欄								備　考
計　画　の　区　分	大学の収容定員に係る学則変更								
フ　リ　ガ　ナ 設　置　者	ガッコウホウジン　ジョウショウガクエン 学校法人常翔学園								
フ　リ　ガ　ナ 大　学　の　名　称	ヒロシマコクサイダイガク 広島国際大学								
大　学　本　部　の　位　置	広島県東広島市黒瀬学園台555-36								
大　学　の　目　的	広島国際大学は、建学の精神および教育の理念に基づいて教育・研究を推進することにより、ひとと共に歩み、あらゆる人々や地域のウェルビーイングに寄与することを目的とする。								
新設学部等の目的	18歳人口の動向、県内進学動向、各学部・学科の定員確保状況を総合的に勘案し、入学定員および収容定員を見直すことで、規模の適正化を図る。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次 人	人			年　月 第　年次		
	保健医療学部									
	診療放射線学科	4	50 (70)	－	200 (280)	学士（診療放射線学） (Bachelor of Clinical Radiology)	保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	令和9年4月 第1年次	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	医療技術学科									
	臨床工学専攻	4	40 (50)	－	160 (200)	学士（臨床工学） (Bachelor of Clinical Engineering)	保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	令和9年4月 第1年次	同上	
	臨床検査学専攻	4	40 (50)	－	160 (200)	学士（臨床検査学） (Bachelor of Medical Laboratory Science)	保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	令和9年4月 第1年次	同上	
	救急救命学科	4	50	－	200	学士（救急救命学） (Bachelor of Prehospital Emergency Medical Sciences)	保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	令和2年4月 第1年次	同上	
	総合リハビリテーション学部									
	リハビリテーション学科									
	理学療法学専攻	4	80	－	320	学士（理学療法学） (Bachelor of Physical Therapy)	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係）	平成25年4月	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	作業療法学専攻	4	40	－	160	学士（作業療法学） (Bachelor of Occupational Therapy)	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係）	平成25年4月	同上	
	言語聴覚療法学専攻	4	30	－	120	学士（言語聴覚療法学） (Bachelor of Speech-Language-Hearing Therapy)	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係）	平成25年4月 第1年次	同上	
	義肢装具学専攻	4	30	－	120	学士（義肢装具学） (Bachelor of Prosthetics and Orthotics)	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係）	令和2年4月 第1年次	同上	
	健康スポーツ学部									
	健康スポーツ学科	4	80 (70)	－	320 (280)	学士（健康スポーツ学） (bachelor of Health and Sports Sciences)	体育関係	令和9年4月 第1年次	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	健康科学部									

新設学部等の概要	心理学科	4	70 (100)	―	280 (400)	学士（心理学） (Bachelor of Psychology)	文学関係	令和9年4月 第1年次	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	医療栄養学科	4	60		240	学士（医療栄養学） (Bachelor of Clinical Nutrition)	家政関係	令和2年4月 第1年次	広島県呉市広古新開5丁目1番1号	
	医療経営学科	4	80 (90)	―	320 (360)	学士（医療経営学） (Bachelor of Health Services Management)	保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。） 経済学関係	令和9年4月 第1年次	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	社会学科									
	地域創生学専攻	4	60	―	240	学士（地域創生学） (Bachelor of Regional Development)	社会学・社会福祉学関係	令和6年4月 第1年次	広島県呉市広古新開5丁目1番1号	
	社会福祉学専攻	4	40	―	160	学士（社会福祉学） (Bachelor of Social Work)	社会学・社会福祉学関係	令和6年4月 第1年次	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	看護学部									
	看護学科	4	100 (120)	3年次 0 (10)	400 (500)	学士（看護学） (Bachelor of Nursing)	保健衛生学関係 （看護学関係）	令和9年4月 第1年次	広島県呉市広古新開5丁目1番1号	
	薬学部									
	薬学科	6	70 (120)	―	420 (720)	学士（薬学） (Bachelor of Pharmaceutical Sciences)	薬学関係	令和9年4月 第1年次	広島県呉市広古新開5丁目1番1号	収容定員関係学則変更認可申請予定
	計		920 (1,060)	3年次 0 (10)	3,820 (4,500)					令23条の2第4項

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	別紙「同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）」のとおり	

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
		科目	科目	科目	科目	単位	

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
		人	人	人	人	人	人	人	
新設分	保健医療学部 診療放射線学科	6 (7)	4 (6)	3 (3)	1 (1)	14 (17)	0 (0)	1 (1)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (7)	3 (5)	3 (3)	1 (1)	13 (16)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	小計（ａ～ｂ）	6 (7)	4 (6)	3 (3)	1 (1)	14 (17)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	6 (7)	4 (6)	3 (3)	1 (1)	14 (17)			

新設分

保健医療学部　医療技術学科	6 7	6 (6)	5 (5)	2 (2)	19 (20)	0 (0)	0 (0)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (7)	6 (6)	5 (5)	2 (2)	19 (20)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	6 (7)	6 (6)	5 (5)	2 (2)	19 (20)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	6 (7)	6 (6)	5 (5)	2 (2)	19 (20)			
保健医療学部　救急救命学科	4 (4)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	8 (8)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	8 (8)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	8 (8)			
総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	11 (11)	8 (9)	11 (11)	3 (3)	33 (34)	0 (0)	0 (0)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	11 (11)	8 (9)	11 (11)	3 (3)	33 (34)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　13人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	11 (11)	8 (9)	11 (11)	3 (3)	33 (34)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	11 (11)	8 (9)	11 (11)	3 (3)	33 (34)			
健康スポーツ学部　健康スポーツ学科	7 (6)	3 (4)	3 (3)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (6)	3 (4)	2 (2)	1 (1)	13 (13)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　9人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)			
小計（a～b）	7 (6)	3 (4)	3 (3)	1 (1)	14 (14)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	7 (6)	3 (4)	3 (3)	1 (1)	14 (14)			

新設分

健康科学部　心理学科	10 (9)	4 (7)	1 (1)	0 (0)	15 (17)	0 (0)	0 (0)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	10 (9)	4 (6)	1 (1)	0 (0)	15 (16)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)			
小計（a～b）	10 (9)	4 (7)	1 (1)	0 (0)	15 (17)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	10 (9)	4 (7)	1 (1)	0 (0)	15 (17)			
健康科学部 医療栄養学科	7 (5)	1 (3)	3 (3)	2 (2)	13 (13)	4 (4)	0 (0)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (5)	1 (2)	3 (3)	2 (2)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
小計（a～b）	7 (5)	1 (3)	3 (3)	2 (2)	13 (13)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	7 (5)	1 (3)	3 (3)	2 (2)	13 (13)			
健康科学部　医療経営学科	8 (8)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	14 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　11人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	8 (8)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	14 (14)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	8 (8)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	14 (14)			
健康科学部 社会学科	9 (9)	2 (7)	3 (3)	0 (0)	14 (19)	0 (0)	0 (0)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	2 (7)	3 (3)	0 (0)	13 (18)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　11人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
小計（a～b）	9 (9)	2 (7)	3 (3)	0 (0)	14 (19)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	9 (9)	2 (7)	3 (3)	0 (0)	14 (19)			

新設分	看護学部　看護学科	10 (8)	6 (8)	8 (8)	8 (8)	32 (32)	7 (7)	0 (0)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	10 (8)	6 (8)	8 (8)	8 (8)	32 (32)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　9人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	10 (8)	6 (8)	8 (8)	8 (8)	32 (32)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	10 (8)	6 (8)	8 (8)	8 (8)	32 (32)			
	薬学部　薬学科	14 (15)	7 (9)	12 (12)	5 (5)	38 (41)	0 (0)	1 (1)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	14 (15)	7 (9)	12 (12)	5 (5)	38 (41)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　21人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	14 (15)	7 (9)	12 (12)	5 (5)	38 (41)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	14 (15)	7 (9)	12 (12)	5 (5)	38 (41)			
	計	92 (89)	44 (62)	54 (54)	24 (24)	214 (229)	11 (11)	— (—)	
既設分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	小計（ａ～ｂ）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	計（ａ～ｄ）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
合　　計		92 (89)	44 (62)	54 (54)	24 (24)	214 (229)	11 (11)	— (—)	

職種	専属	その他	計	
事務職員	人 99 (99)	人 26 (26)	人 125 (125)	
技術職員	2 (2)	0 (0)	2 (2)	
図書館職員	2 (2)	14 (14)	16 (16)	
その他の職員	7 (7)	0 (0)	7 (7)	
指導補助者	0 (0)	4 (4)	4 (4)	
計	110 (110)	44 (44)	154 (154)	

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積
	校舎敷地	399,022.09㎡	0㎡	0㎡	399,022.09㎡	広島国際会館1号館 1,999.50㎡
	その他	6,515.89㎡	0㎡	0㎡	6,515.89㎡	広島国際会館2号館 1,460.88㎡
	合計	405,537.98㎡	0㎡	0㎡	405,537.98㎡	春日野ハイツ 2,384.69㎡

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	116,024.62㎡ (116,024.62㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	116,024.62㎡ (116,024.62㎡)	

教室・教員研究室	教室	室	教員研究室	室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
		〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	( )	( )	
	計	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	( )	( )	

スポーツ施設等	スポーツ施設 ㎡	講堂 ㎡	厚生補導施設 ㎡	

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
	経費の見積り 教員１人当り研究費等								
	経費の見積り 共同研究費等								図書費には電子ジャーナル・データベース・電子図書の整備費（運用コスト含む）を含む。
	経費の見積り 図書購入費	20,446千円	20,446千円	20,446千円	20,446千円	20,446千円	20,446千円	20,446千円	
	経費の見積り 設備購入費								

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
保健医療学部	1,760千円	1,670千円	1,670千円	1,670千円	— 千円	— 千円
総合リハビリテーション学部	1,760千円	1,670千円	1,670千円	1,670千円	— 千円	— 千円
健康スポーツ学部	1,360千円	1,270千円	1,270千円	1,270千円	— 千円	— 千円
健康科学部　心理学科	1,310千円	1,210千円	1,210千円	1,210千円	— 千円	— 千円
健康科学部　医療経営学科	1,310千円	1,210千円	1,210千円	1,210千円	— 千円	— 千円
健康科学部　社会学科	1,310千円	1,210千円	1,210千円	1,210千円	— 千円	— 千円
健康科学部　医療栄養学科	1,360千円	1,270千円	1,270千円	1,270千円	— 千円	— 千円
看護学部	1,760千円	1,670千円	1,670千円	1,670千円	— 千円	— 千円
薬学部	2,060千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円
学生納付金以外の維持方法の概要						

既設大学等の状況	大学等の名称	広島国際大学大学院								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	看護学研究科 博士前期課程 看護学専攻	2	10	－	20	修士 （看護学）	0.00	平成15年度	広島県呉市広古新開5丁目1番1号	
	看護学研究科 博士後期課程 看護学専攻	3	3	－	9	博士 （看護学）	0.00	平成24年度	同上	
	医療・福祉科学研究科 博士前期課程 医療工学専攻	2	－	－	－	修士 （医療工学）	－	平成21年度	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和6年度より学生募集停止
	医療・福祉科学研究科 博士後期課程 医療工学専攻	3	－	－	－	博士 （医療工学）	－	平成21年度	同上	令和6年度より学生募集停止
	医療・福祉科学研究科 修士課程 医療福祉学専攻	2	－	－	－	修士 （医療福祉学）	－	平成21年度	同上	令和6年度より学生募集停止
	薬学研究科 博士課程 医療薬学専攻	4	2	－	8	博士 （薬学）	0.12	平成24年度	広島県呉市広古新開5丁目1番1号	
	医療科学研究科 博士前期課程 保健医療学専攻	2	5	－	10	修士 （医療技術学）	0.00	令和6年度	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	リハビリテーション学専攻	2	5	－	10	修士 （リハビリテーション学）	1.30	令和6年度	同上	
	医療科学研究科 博士後期課程 保健医療学専攻	3	2	－	6	博士 （医療技術学）	0.00	令和6年度	同上	
	リハビリテーション学専攻	3	2	－	6	博士 （リハビリテーション学）	0.66	令和6年度	同上	
	健康科学研究科 修士課程 医療福祉学専攻	2	5	－	10	修士 （医療福祉学）	0.10	令和6年度	同上	
	医療経営学専攻	2	5	－	10	修士 （医療経営学）	0.00	令和6年度	同上	
	健康科学研究科 博士前期課程 心理学専攻	2	20	－	40	修士 （心理学）	0.35	令和6年度	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	健康科学研究科 博士後期課程 心理学専攻	3	2	－	6	博士 （心理学）	0.50	令和6年度	広島県呉市広古新開5丁目1番1号 広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	

既設大学等の状況	大学等の名称	広島国際大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	保健医療学部									
	学部合計						0.87			
	診療放射線学科	4	70	－	280	学士（診療放射線学）	1.03	平成10年度	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
	医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻	4	100	－	400	学士（臨床工学）（臨床検査学）	0.70	平成25年度	同上	
	救急救命学科	4	50	－	200	学士（救急救命学）	1.14	令和2年度	同上	
	総合リハビリテーション学部									
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚療法学専攻	4	180	－	720	学士（理学療法学）（作業療法学）（言語聴覚療法学）	0.96	平成25年度	同上	
	義肢装具学専攻					（義肢装具学）		令和2年度	同上	
	心理学部									
	心理学科	4	－	－	－	学士（心理学）	－	平成27年度	同上	令和2年度より学生募集停止 令和4年度より3年次編入学募集停止
	看護学部									
	看護学科	4	120	3年次10	500	学士（看護学）	0.94	平成15年度	広島県呉市広古新開5丁目1番1号	
	薬学部									
	薬学科（6年制）	6	120	－	720	学士（薬学）	0.67	平成18年度	同上	
	医療栄養学部									
	医療栄養学科	4	－	－	－	学士（医療栄養学）	－	平成26年度	同上	令和2年度より学生募集停止
	健康科学部									
	学部合計						0.75			
	医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育福祉学専攻	4	－	－	－	学士（医療福祉学）	－	令和2年度	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和6年度より学生募集停止
	医療経営学科	4	90	－	360	学士（医療経営学）	0.82	令和2年度	同上	
	心理学科	4	100	－	400	学士（心理学）	0.72	令和2年度	同上	
	医療栄養学科	4	60	－	240	学士（医療栄養学）	0.87	令和2年度	広島県呉市広古新開5丁目1番1号	
	社会学科 地域創生学専攻 社会福祉学専攻	4	100	－	300	学士（地域創生学）（社会福祉学）	0.61	令和6年度	同上 広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和6年度学科設置
	健康スポーツ学部								広島県東広島市	
	健康スポーツ学科	4	70	－	280	学士（健康スポーツ学）	1.14	令和2年度	黒瀬学園台555番地36	

既設大学等の状況	大学等の名称	大阪工業大学大学院							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	工学研究科								
	博士前期課程								
	建築・都市デザイン工学専攻	2	30	－	60	修士（工学）	1.25	平成29年度	大阪府大阪市旭区大宮5丁目16番1号
	電気電子・機械工学専攻	2	50	－	100	修士（工学）	1.72	平成29年度	同上
	化学・環境・生命工学専攻	2	30	－	60	修士（工学）	2.05	平成29年度	同上
	工学研究科								
	博士後期課程								
	建築・都市デザイン工学専攻	3	2	－	6	博士（工学）	0.83	平成29年度	同上
	電気電子・機械工学専攻	3	2	－	6	博士（工学）	0.16	平成29年度	同上
	化学・環境・生命工学専攻	3	2	－	6	博士（工学）	1.33	平成29年度	同上
	ロボティクス＆デザイン工学研究科								
	博士前期課程								
	ロボティクス＆デザイン工学専攻	2	30	－	60	修士（工学）	1.63	平成29年度	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号
	ロボティクス＆デザイン工学研究科								
	博士後期課程								
	ロボティクス＆デザイン工学専攻	3	2	－	6	博士（工学）	0.33	平成29年度	同上
	情報科学研究科								
	博士前期課程								
	情報科学専攻	2	40	－	80	修士（情報学）	1.56	平成12年度	大阪府枚方市北山1丁目79番1号
	情報科学研究科								
	博士後期課程								
	情報科学専攻	3	5	－	15	博士（情報学）	0.13	平成14年度	同上
	知的財産研究科								
	専門職学位課程								
	知的財産専攻	2	30	－	60	知的財産修士（専門職）	1.21	平成17年度	大阪府大阪市旭区大宮5丁目16番1号

既設大学等の状況	大学等の名称	大阪工業大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	工学部									
	学部合計						1.05			
	都市デザイン工学科	4	100	3年次5	410	学士（工学）	0.98	昭和24年度	大阪府大阪市旭区大宮5丁目16番1号	
	建築学科	4	150	3年次5	610	学士（工学）	1.08	昭和24年度	同上	
	機械工学科	4	140	3年次5	570	学士（工学）	1.11	昭和25年度	同上	
	電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士（工学）	1.06	昭和24年度	同上	
	電子情報システム工学科	4	110	3年次5	450	学士（工学）	1.04	昭和34年度	同上	
	応用化学科	4	130	3年次5	530	学士（工学）	1.07	昭和33年度	同上	
	環境工学科	4	75	3年次5	310	学士（工学）	0.97	平成18年度	同上	
	生命工学科	4	70	3年次5	290	学士（工学）	1.10	平成22年度	同上	
	ロボティクス&デザイン工学部									
	学部合計						1.06			
	ロボット工学科	4	90	3年次5	370	学士（工学）	1.05	平成29年度	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
	システムデザイン工学科	4	90	3年次5	370	学士（工学）	1.07	平成29年度	同上	
	空間デザイン学科	4	100	3年次5	410	学士（工学）	1.07	平成29年度	同上	
	情報科学部									
	学部合計						1.02			
	データサイエンス学科	4	80	－	300	学士（情報学）	1.02	令和3年度	大阪府枚方市北山1丁目79番1号	令和7年度入学定員増（10人）
	実世界情報学科	4	80	－	160	学士（情報学）	0.99	令和7年度	同上	令和7年度学科設置
	情報知能学科	4	100	3年次5	390	学士（情報学）	1.04	平成8年度	同上	令和7年度入学定員増（10人）
	情報システム学科	4	100	3年次5	420	学士（情報学）	0.98	平成8年度	同上	令和7年度入学定員減（△5人）
	情報メディア学科	4	100	3年次5	420	学士（情報学）	1.04	平成14年度	同上	令和7年度入学定員減（△5人）
	ネットワークデザイン学科	4	－	－	－	学士（情報学）	－	平成19年度	同上	令和7年度より学生募集停止 令和9年度より3年次編入学募集停止
	知的財産学部									
	知的財産学科	4	140	3年次10	580	学士（知的財産学）	1.06	平成15年度	大阪府大阪市旭区大宮5丁目16番1号	

既設大学等の状況	大学の名称	摂南大学大学院								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍	年度		
	薬学研究科									
	博士課程									
	医療薬学専攻	4	4	－	16	博士（薬学）	0.50	平成24年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
	理工学研究科									
	博士前期課程									
	社会開発専攻	2	12	－	24	修士（工学）	1.70	平成元年度	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
	生産開発工学専攻	2	12	－	24	修士（工学）	2.00	平成26年度		
	生命科学専攻	2	10	－	20	修士（理学）	1.00	平成26年度		
	理工学研究科									
	博士後期課程									
	創生工学専攻	3	2	－	6	博士（工学）	0.50	平成20年度		
	生命科学専攻	3	2	－	6	博士（理学）	0.16	平成28年度		
	経済経営学研究科									
	修士課程									
	経済学専攻	2	5	－	10	修士（経済学）	0.10	平成26年度		
	経営学専攻	2	5	－	10	修士（経営学）	0.10	平成26年度		
	法学研究科									
	修士課程									
	法律学専攻	2	5	－	10	修士（法学）	0.10	平成9年度		
	国際言語文化研究科									
	修士課程									
	国際言語文化専攻	2	5	－	10	修士（文学）	0.20	平成11年度		
	看護学研究科									
	博士前期課程									
	看護学専攻	2	4	－	10	修士（看護学）	1.00	令和8年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	令和8年度課程変更 令和8年度入学定員減（△2人）
	看護学研究科									
	博士後期課程									
	看護学専攻	3	2	－	2	博士（看護学）	1.00	令和8年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	令和8年度課程変更
	農学研究科									
	博士前期課程									
	農学専攻	2	20	－	40	修士（農学）	0.70	令和6年度		
	農学研究科									
	博士後期課程									
	農学専攻	3	6	－	9	博士（農学）	0.66	令和6年度		

既設大学等の状況	大学の名称	摂南大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍	年度		
	理工学部									
	学部合計						0.96			
	生命科学科	4	105	3年次5	430	学士（理学）	0.95	平成22年度	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
	住環境デザイン学科	4	85	3年次5	350	学士（工学）	1.04	平成22年度		
	建築学科	4	80	3年次5	330	学士（工学）	1.09	昭和50年度		
	機械工学科	4	130	3年次5	530	学士（工学）	0.87	昭和50年度		
	電気電子情報工学科	4	105	3年次5	430	学士（工学）	1.01	昭和50年度		
	都市環境工学科	4	80	3年次5	330	学士（工学）	0.81	平成22年度		
	外国語学部									
	外国語学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	昭和57年度		令和4年度より学生募集停止 令和6年度より3年次編入学募集停止
	国際学部									
	国際学科	4	250	3年次5	1,010	学士（文学）	1.03	令和4年度		
	経営学部									
	学部合計						1.06			
	経営学科	4	280	3年次6	1,132	学士（経営学）	1.06	平成18年度		
	経営情報学科	4	－	－	－	学士（経営学）	－	昭和57年度		令和4年度より学生募集停止 令和6年度より3年次編入学募集停止
	薬学部									
	薬学科（6年制）	6	220	－	1,320	学士（薬学）	0.99	平成18年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
	法学部									
	法律学科	4	280	3年次5	1,130	学士（法学）	1.07	昭和63年度	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
	経済学部									
	経済学科	4	280	3年次4	1,128	学士（経済学）	1.07	平成22年度		
	看護学部									
	看護学科	4	100	－	400	学士（看護学）	1.04	平成24年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
	農学部									
	学部合計						1.01			
	農業生産学科	4	80	－	320	学士（農学）	0.98	令和2年度		
	応用生物科学科	4	80	－	320	学士（農学）	1.10	令和2年度		
	食品栄養学科	4	80	－	320	学士（農学）	1.00	令和2年度		
	食農ビジネス学科	4	100	－	400	学士（農学）	0.97	令和2年度		
	現代社会学部									
	現代社会学科	4	250	－	1,000	学士（社会学）	1.03	令和5年度	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	

附属施設の概要	名　　称：薬草園（広島国際大学薬学部専用） 目　　的：学位分野の研究 所 在 地：広島県呉市広古新開5丁目1番1号 設置年月：平成16年4月 規 模 等：面積774.00㎡ 名　　称：体育館（東広島キャンパス） 目　　的：学位分野の教育・研究 所 在 地：広島県東広島市黒瀬学園台555番地36 設置年月：平成10年3月 規 模 等：面積1,667.07㎡ 名　　称：体育館（呉キャンパス） 目　　的：学位分野の教育・研究 所 在 地：広島県呉市広古新開5丁目1番1号 設置年月：昭和49年12月 規 模 等：面積3,883.45㎡

（注）

1　共同学科の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に
せず，斜線を引くこと。

2　「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期
にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成する

3「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。

4　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図
設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「ス
ポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

6　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

7　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

別　紙

同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）

広島国際大学

保健医療学部　診療放射線学科［定員減］	（△20）（令和9年4月）
保健医療学部　医療技術学科　臨床工学専攻［定員減］	（△10）（令和9年4月）
保健医療学部　医療技術学科　臨床検査学専攻［定員減］	（△10）（令和9年4月）
健康科学部　心理学科［定員減］	（△30）（令和9年4月）
健康科学部　医療経営学科［定員減］	（△10）（令和9年4月）
看護学部　看護学科［定員減］	（△20）（令和9年4月）
薬学部　薬学科［収容定員関係学則変更認可申請予定］	（△50）（令和9年4月）
健康スポーツ学部　健康スポーツ学科［定員増］	（　10）（令和9年4月）

摂南大学大学院

現代社会学研究科　現代社会学専攻［設置認可申請］	（　10）（令和9年4月）

学校法人常翔学園　設置認可等に関わる組織の移行表

令和８年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和９年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
広島国際大学大学院					**広島国際大学大学院**					
看護学研究科	**13**	**－**	**－**	**29**	**看護学研究科**	**13**	**－**	**－**	**29**	
看護学専攻（M）	10	－	－	20	看護学専攻（M）	10	－	－	20	
看護学専攻（D）	3	－	－	9	看護学専攻（D）	3	－	－	9	
薬学研究科	**2**	**－**	**－**	**8**	**薬学研究科**	**2**	**－**	**－**	**8**	
医療薬学専攻（4年制D）	2	－	－	8	医療薬学専攻（4年制D）	2	－	－	8	
医療科学研究科	**14**	**－**	**－**	**32**	**医療科学研究科**	**14**	**－**	**－**	**32**	
保健医療学専攻（M）	5	－	－	10	保健医療学専攻（M）	5	－	－	10	
保健医療学専攻（D）	2	－	－	6	保健医療学専攻（D）	2	－	－	6	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（M）	5	－	－	10	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（M）	5	－	－	10	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（D）	2	－	－	6	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（D）	2	－	－	6	
健康科学研究科	**32**	**－**	**－**	**66**	**健康科学研究科**	**32**	**－**	**－**	**66**	
医療福祉学専攻（M）	5	－	－	10	医療福祉学専攻（M）	5	－	－	10	
医療経営学専攻（M）	5	－	－	10	医療経営学専攻（M）	5	－	－	10	
心理学専攻（M）	20	－	－	40	心理学専攻（M）	20	－	－	40	
心理学専攻（D）	2	－	－	6	心理学専攻（D）	2	－	－	6	
計	**61**	**－**	**－**	**135**	**計**	**61**	**－**	**－**	**135**	

広島国際大学					**広島国際大学**					
保健医療学部	**220**	**－**	**－**	**880**	**保健医療学部**	**180**	**－**	**－**	**720**	
診療放射線学科	70	－	－	280	診療放射線学科	50	－	－	200	定員変更(△20)
医療技術学科	100	－	－	400	医療技術学科	80	－	－	320	定員変更(△20)
救急救命学科	50	－	－	200	救急救命学科	50	－	－	200	
総合リハビリテーション学部	**180**	**－**	**－**	**720**	**総合リハビリテーション学部**	**180**	**－**	**－**	**720**	
リハビリテーション学科	180	－	－	720	リハビリテーション学科	180	－	－	720	
看護学部	**120**	**－**	**10**	**500**	**看護学部**	**100**	**－**	**－**	**400**	
看護学科	120	－	10	500	看護学科	100	－	－	400	定員変更 (△20、3年次編入△10)
薬学部	**120**	**－**	**－**	**720**	**薬学部**	**70**	**－**	**－**	**420**	
薬学科（6年制）	120	－	－	720	薬学科（6年制）	70	－	－	420	収容定員関係学則変更認可申請予定 定員変更(△50)
健康科学部	**350**	**－**	**－**	**1,400**	**健康科学部**	**310**	**－**	**－**	**1,240**	
心理学科	100	－	－	400	心理学科	70	－	－	280	定員変更(△30)
医療栄養学科	60	－	－	240	医療栄養学科	60	－	－	240	
医療経営学科	90	－	－	360	医療経営学科	80	－	－	320	定員変更(△10)
社会学科	100	－	－	400	社会学科	100	－	－	400	
健康スポーツ学部	**70**	**－**	**－**	**280**	**健康スポーツ学部**	**80**	**－**	**－**	**320**	
健康スポーツ学科	70	－	－	280	健康スポーツ学科	80	－	－	320	定員変更(＋10)
計	**1,060**	**－**	**10**	**4,500**	**計**	**920**	**－**	**－**	**3,820**	定員変更（令第23条の2第4項）

令和８年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)
大阪工業大学大学院				
工学研究科	**116**	**－**	**－**	**238**
建築・都市デザイン工学専攻（M）	30	－	－	60
建築・都市デザイン工学専攻（D）	2	－	－	6
電気電子・機械工学専攻（M）	50	－	－	100
電気電子・機械工学専攻（D）	2	－	－	6
化学・環境・生命工学専攻（M）	30	－	－	60
化学・環境・生命工学専攻（D）	2	－	－	6
ロボティクス&デザイン工学研究科	**32**	**－**	**－**	**66**
ロボティクス＆デザイン工学専攻（M）	30	－	－	60
ロボティクス&デザイン工学専攻（D）	2	－	－	6
情報科学研究科	**45**	**－**	**－**	**95**
情報科学専攻（M）	40	－	－	80
情報科学専攻（D）	5	－	－	15
知的財産研究科	**30**	**－**	**－**	**60**
知的財産専攻（P）	30	－	－	60
計	**223**	**－**	**－**	**459**

令和９年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
大阪工業大学大学院					
工学研究科	**116**	**－**	**－**	**238**	
建築・都市デザイン工学専攻（M）	30	－	－	60	
建築・都市デザイン工学専攻（D）	2	－	－	6	
電気電子・機械工学専攻（M）	50	－	－	100	
電気電子・機械工学専攻（D）	2	－	－	6	
化学・環境・生命工学専攻（M）	30	－	－	60	
化学・環境・生命工学専攻（D）	2	－	－	6	
ロボティクス&デザイン工学研究科	**32**	**－**	**－**	**66**	
ロボティクス＆デザイン工学専攻（M）	30	－	－	60	
ロボティクス&デザイン工学専攻（D）	2	－	－	6	
情報科学研究科	**45**	**－**	**－**	**95**	
情報科学専攻（M）	40	－	－	80	
情報科学専攻（D）	5	－	－	15	
知的財産研究科	**30**	**－**	**－**	**60**	
知的財産専攻（P）	30	－	－	60	
計	**223**	**－**	**－**	**459**	

大阪工業大学				
工学部	**900**	**－**	**40**	**3,680**
都市デザイン工学科	100	－	5	410
建築学科	150	－	5	610
機械工学科	140	－	5	570
電気電子システム工学科	125	－	5	510
電子情報システム工学科	110	－	5	450
応用化学科	130	－	5	530
環境工学科	75	－	5	310
生命工学科	70	－	5	290
ロボティクス＆デザイン工学部	**280**	**－**	**15**	**1,150**
ロボット工学科	90	－	5	370
システムデザイン工学科	90	－	5	370
空間デザイン学科	100	－	5	410
情報科学部	**460**	**－**	**15**	**1,870**
データサイエンス学科	80	－	－	320
実世界情報学科	80	－	－	320
情報知能学科	100	－	5	410
情報システム学科	100	－	5	410
情報メディア学科	100	－	5	410
知的財産学部	**140**	**－**	**10**	**580**
知的財産学科	140	－	10	580
計	**1,780**	**－**	**80**	**7,280**

大阪工業大学					
工学部	**900**	**－**	**40**	**3,680**	
都市デザイン工学科	100	－	5	410	
建築学科	150	－	5	610	
機械工学科	140	－	5	570	
電気電子システム工学科	125	－	5	510	
電子情報システム工学科	110	－	5	450	
応用化学科	130	－	5	530	
環境工学科	75	－	5	310	
生命工学科	70	－	5	290	
ロボティクス＆デザイン工学部	**280**	**－**	**15**	**1,150**	
ロボット工学科	90	－	5	370	
システムデザイン工学科	90	－	5	370	
空間デザイン学科	100	－	5	410	
情報科学部	**460**	**－**	**15**	**1,870**	
データサイエンス学科	80	－	－	320	
実世界情報学科	80	－	－	320	
情報知能学科	100	－	5	410	
情報システム学科	100	－	5	410	
情報メディア学科	100	－	5	410	
知的財産学部	**140**	**－**	**10**	**580**	
知的財産学科	140	－	10	580	
計	**1,780**	**－**	**80**	**7,280**	

令和８年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)
摂南大学大学院				
薬学研究科	**4**	**－**	**－**	**16**
医療薬学専攻（4年制D）	4	－	－	16
理工学研究科	**38**	**－**	**－**	**80**
社会開発工学専攻（M）	12	－	－	24
生産開発工学専攻（M）	12	－	－	24
生命科学専攻（M）	10	－	－	20
創生工学専攻（D）	2	－	－	6
生命科学専攻（D）	2	－	－	6
経済経営学研究科	**10**	**－**	**－**	**20**
経済学専攻（M）	5	－	－	10
経営学専攻（M）	5	－	－	10
法学研究科	**5**	**－**	**－**	**10**
法律学専攻（M）	5	－	－	10
国際言語文化研究科	**5**	**－**	**－**	**10**
国際言語文化専攻（M）	5	－	－	10
看護学研究科	**6**	**－**	**－**	**14**
看護学専攻（M）	4	－	－	8
看護学専攻（D）	2	－	－	6
農学研究科	**23**	**－**	**－**	**49**
農学専攻（M）	20	－	－	40
農学専攻（D）	3	－	－	9
計	**91**	**－**	**－**	**199**

令和９年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
摂南大学大学院					
薬学研究科	**4**	**－**	**－**	**16**	
医療薬学専攻（4年制D）	4	－	－	16	
理工学研究科	**38**	**－**	**－**	**80**	
社会開発工学専攻（M）	12	－	－	24	
生産開発工学専攻（M）	12	－	－	24	
生命科学専攻（M）	10	－	－	20	
創生工学専攻（D）	2	－	－	6	
生命科学専攻（D）	2	－	－	6	
経済経営学研究科	**10**	**－**	**－**	**20**	
経済学専攻（M）	5	－	－	10	
経営学専攻（M）	5	－	－	10	
法学研究科	**5**	**－**	**－**	**10**	
法律学専攻（M）	5	－	－	10	
国際言語文化研究科	**5**	**－**	**－**	**10**	
国際言語文化専攻（M）	5	－	－	10	
看護学研究科	**6**	**－**	**－**	**14**	
看護学専攻（M）	4	－	－	8	
看護学専攻（D）	2	－	－	6	
農学研究科	**23**	**－**	**－**	**49**	
農学専攻（M）	20	－	－	40	
農学専攻（D）	3	－	－	9	
現代社会学研究科	**5**	**－**	**－**	**10**	
現代社会学専攻（M）	5	－	－	10	設置認可申請
計	**96**	**－**	**－**	**209**	

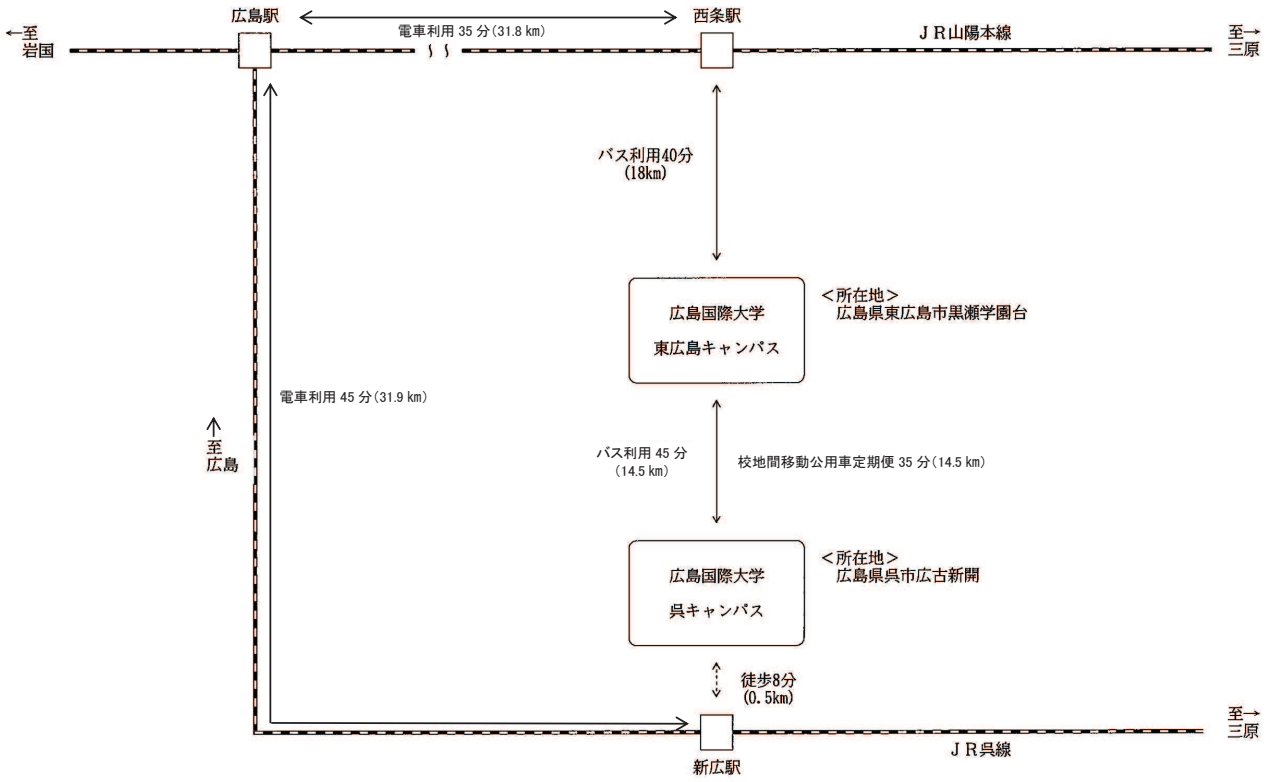
令和８年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)
摂南大学				
理工学部	**585**	**－**	**30**	**2,400**
生命科学科	105	－	5	430
住環境デザイン学科	85	－	5	350
建築学科	80	－	5	330
機械工学科	130	－	5	530
電気電子情報工学科	105	－	5	430
都市環境工学科	80	－	5	330
経営学部	**280**	**－**	**6**	**1,132**
経営学科	280	－	6	1,132
薬学部	**220**	**－**	**－**	**1,320**
薬学科（6年制）	220	－	－	1,320
法学部	**280**	**－**	**5**	**1,130**
法律学科	280	－	5	1,130
経済学部	**280**	**－**	**4**	**1,128**
経済学科	280	－	4	1,128
看護学部	**100**	**－**	**－**	**400**
看護学科	100	－	－	400
農学部	**340**	**－**	**－**	**1,360**
農業生産学科	80	－	－	320
応用生物科学科	80	－	－	320
食品栄養学科	80	－	－	320
食農ビジネス学科	100	－	－	400
国際学部	**250**	**－**	**5**	**1,010**
国際学科	250	－	5	1,010
現代社会学部	**250**	**－**	**－**	**1,000**
現代社会学科	250	－	－	1,000
計	**2,585**	**－**	**50**	**10,880**

令和９年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
摂南大学					
理工学部	**585**	**－**	**30**	**2,400**	
生命科学科	105	－	5	430	
住環境デザイン学科	85	－	5	350	
建築学科	80	－	5	330	
機械工学科	130	－	5	530	
電気電子情報工学科	105	－	5	430	
都市環境工学科	80	－	5	330	
経営学部	**280**	**－**	**6**	**1,132**	
経営学科	280	－	6	1,132	
薬学部	**220**	**－**	**－**	**1,320**	
薬学科（6年制）	220	－	－	1,320	
法学部	**280**	**－**	**5**	**1,130**	
法律学科	280	－	5	1,130	
経済学部	**280**	**－**	**4**	**1,128**	
経済学科	280	－	4	1,128	
看護学部	**100**	**－**	**－**	**400**	
看護学科	100	－	－	400	
農学部	**340**	**－**	**－**	**1,360**	
農業生産学科	80	－	－	320	
応用生物科学科	80	－	－	320	
食品栄養学科	80	－	－	320	
食農ビジネス学科	100	－	－	400	
国際学部	**250**	**－**	**5**	**1,010**	
国際学科	250	－	5	1,010	
現代社会学部	**250**	**－**	**－**	**1,000**	
現代社会学科	250	－	－	1,000	
計	**2,585**	**－**	**50**	**10,880**	

■ 広島県内における位置関係の図面

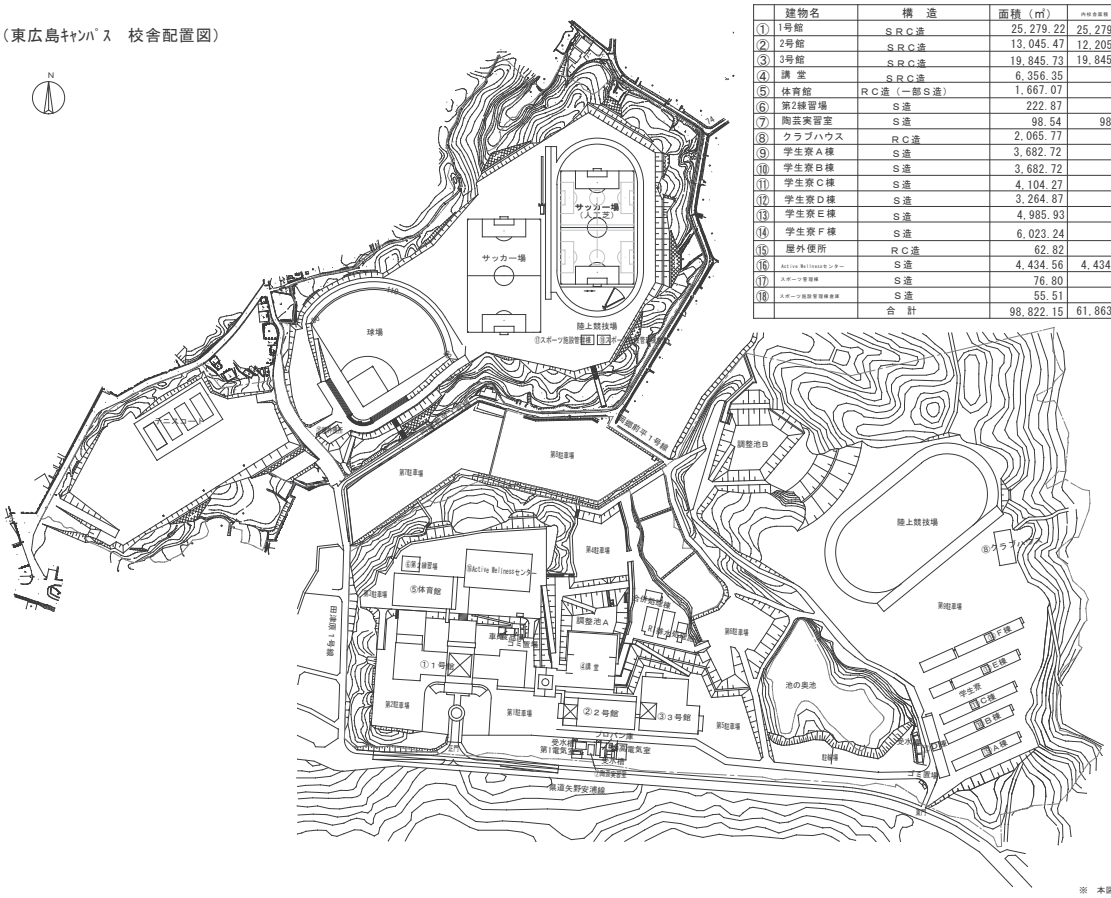


■ 広島県内における最寄り駅からの距離や交通機関等

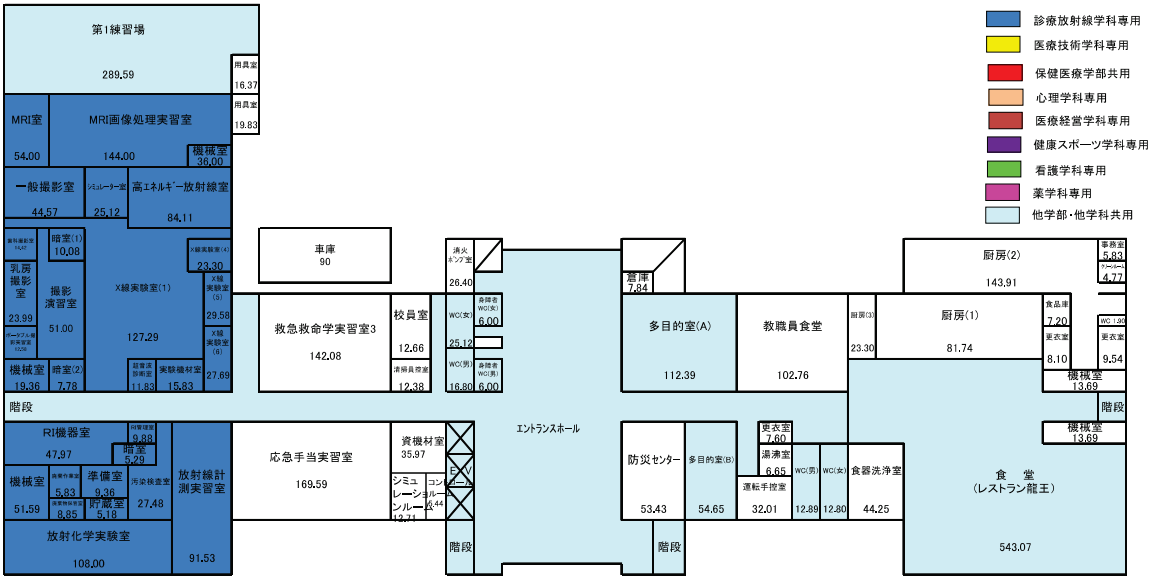


図面　—1

（東広島ｷｬﾝﾊﾟｽ　校舎配置図）

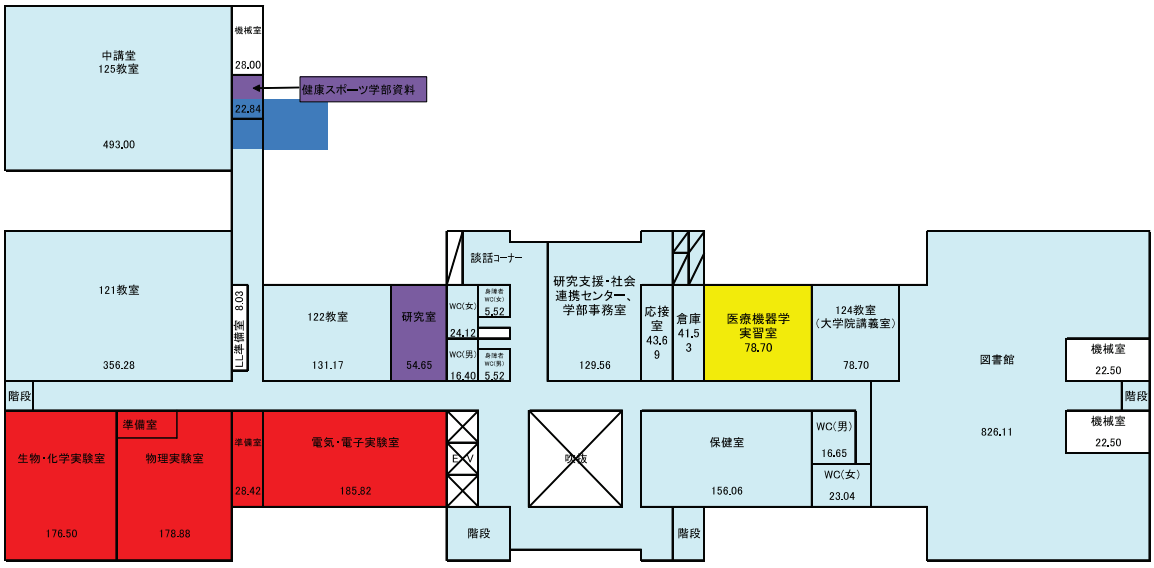


■校舎の平面図
（東広島校地）



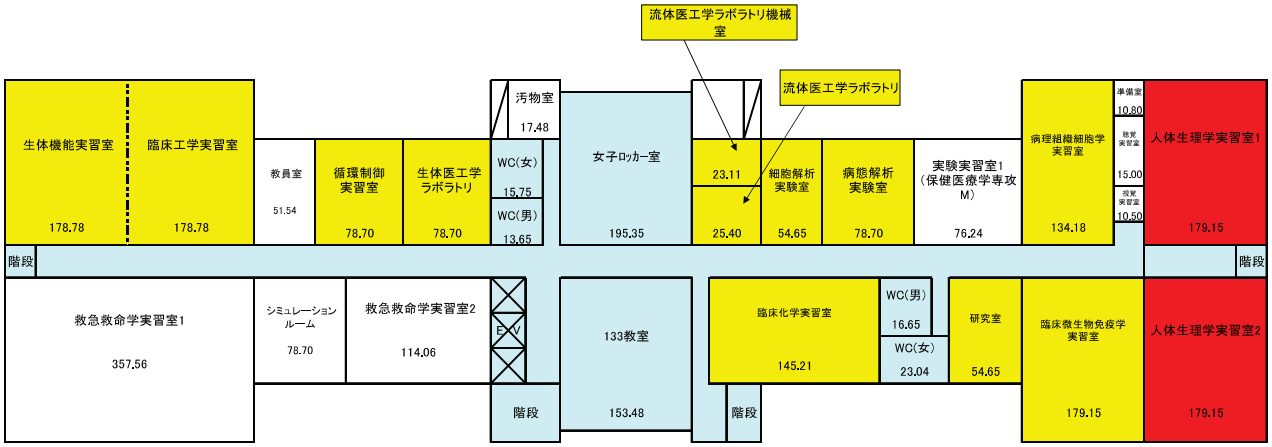
1号館1階 4213.30㎡

（東広島校地）



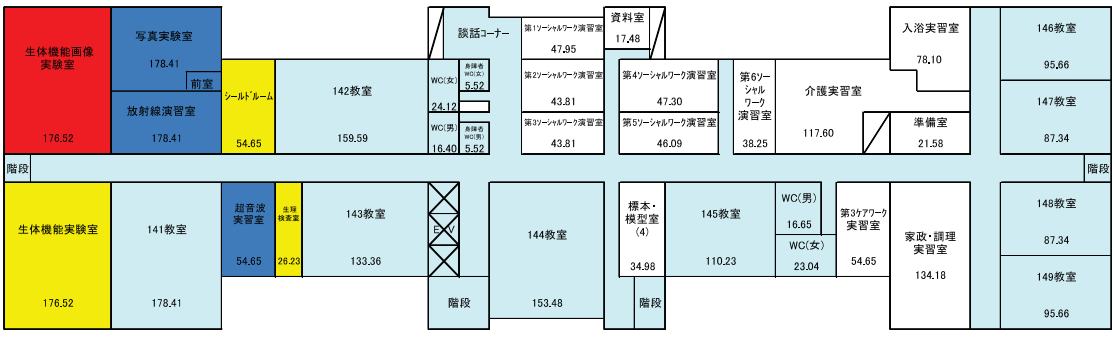
1号館2階 3959.92㎡

（東広島校地）



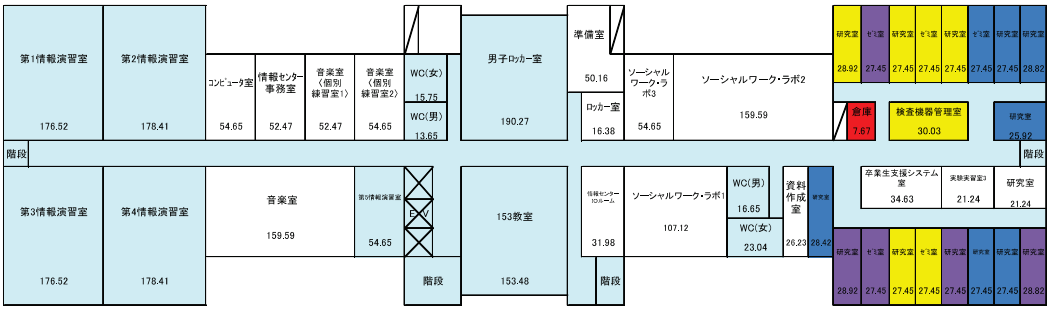
1号館3階 3421.20㎡

（東広島校地）



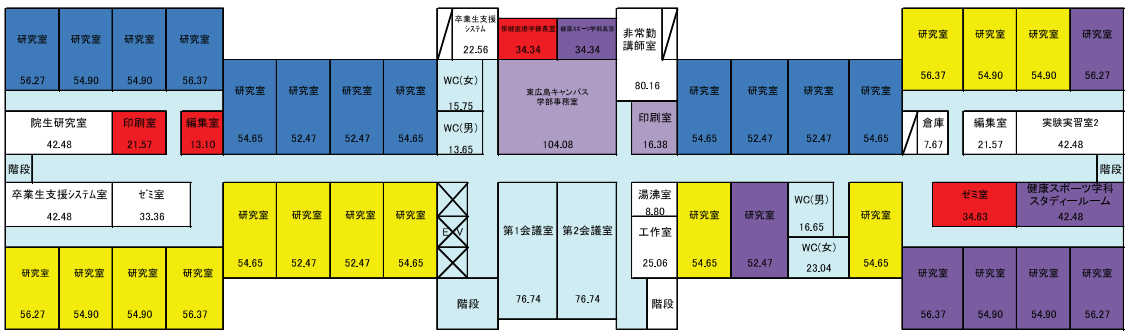
1号館4階 3421.20㎡

（東広島校地）



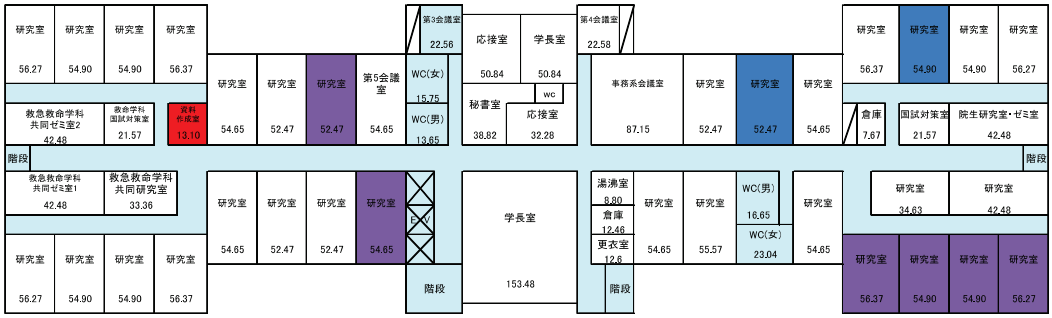
1号館5階 3421.20㎡

（東広島校地）



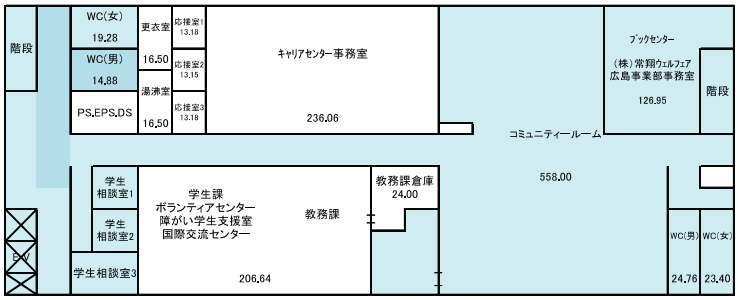
1号館6階 3421.20㎡

（東広島校地）

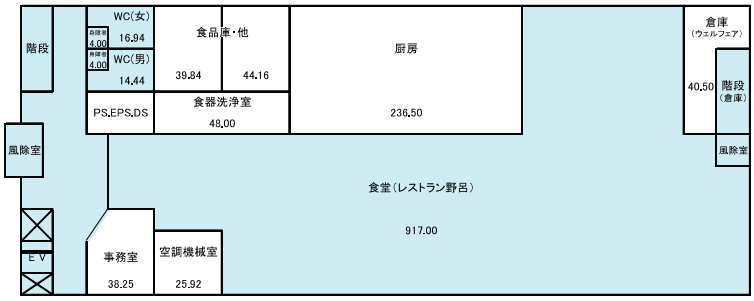


1号館7階 3421.20㎡

（東広島校地）

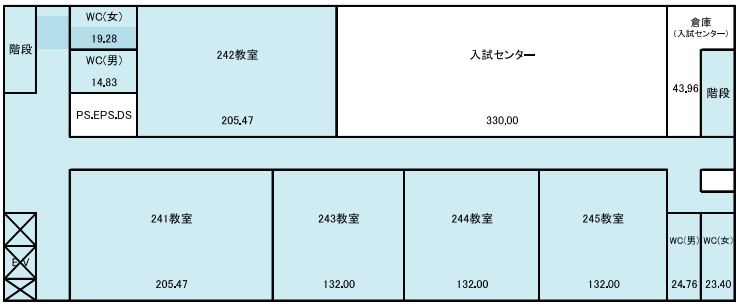


2号館2階 1676.38㎡

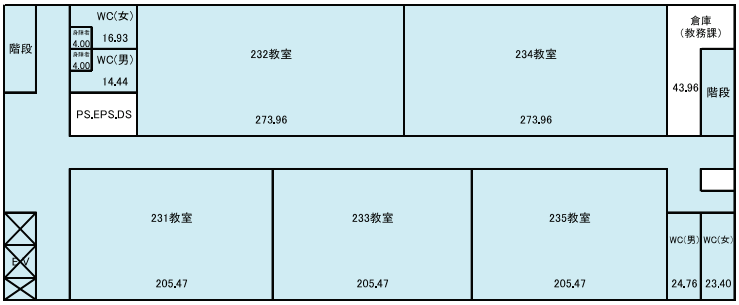


2号館1階 1691.81㎡

（東広島校地）

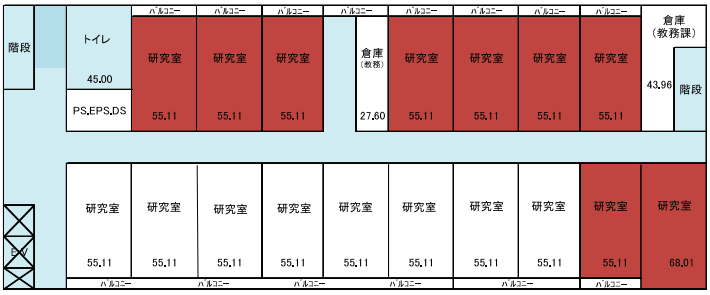


2号館4階 1681.88㎡

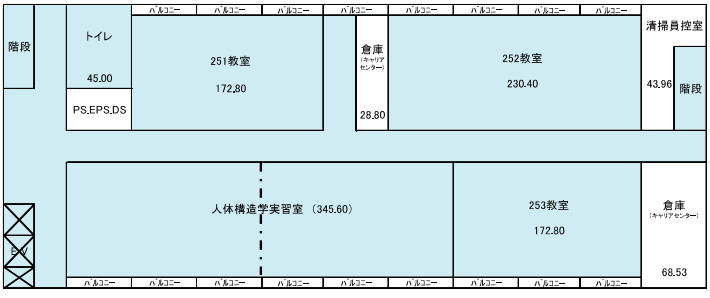


2号館3階 1681.88㎡

（東広島校地）

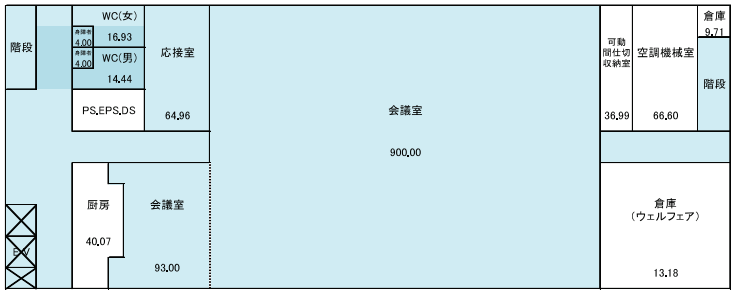


2号館6階 1528.88㎡

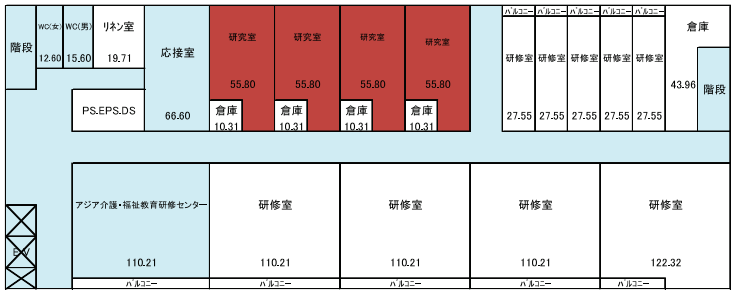


2号館5階 1528.88㎡

（東広島校地）

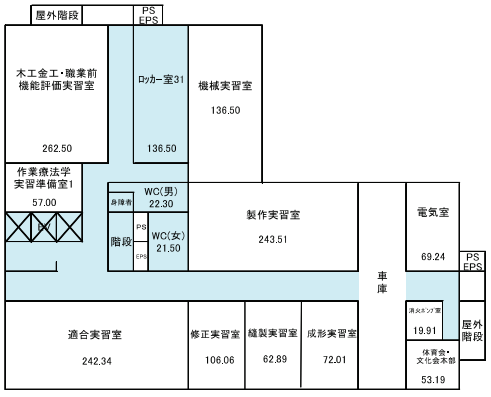


2号館8階 1681.88㎡

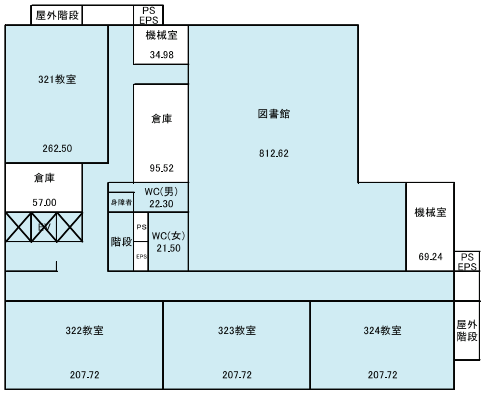


2号館7階 1573.88㎡

（東広島校地）

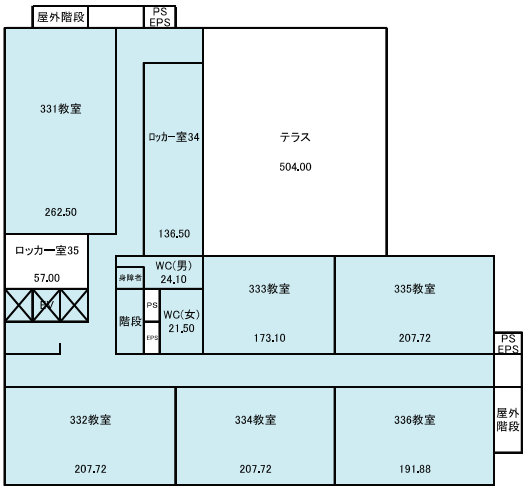


3号館1階 1814.80㎡

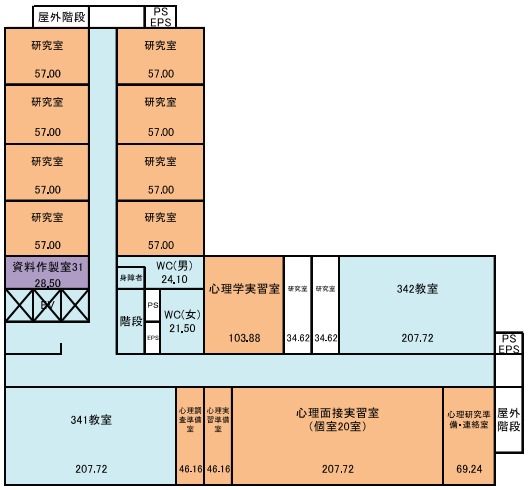


3号館2階 2451.65㎡

（東広島校地）

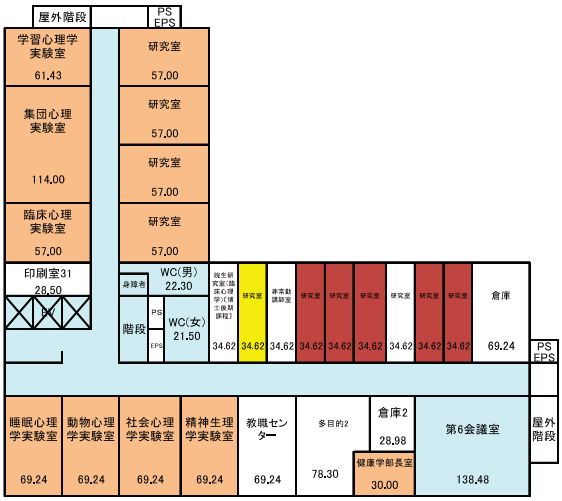


3号館3階 1947.41㎡

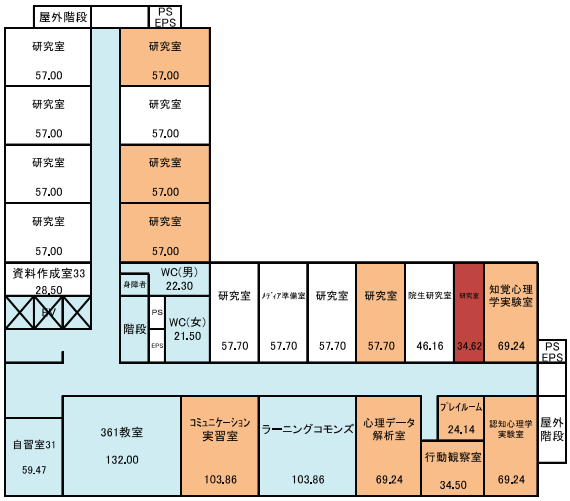


3号館4階 1947.41㎡

（東広島校地）



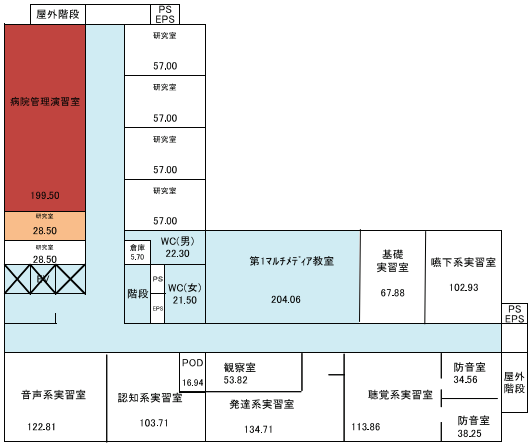
3号館5階 1947.41㎡



3号館6階 1947.41㎡

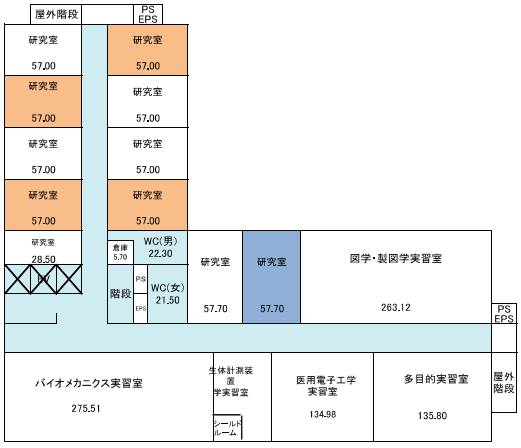
3号館 平面図

（東広島校地）



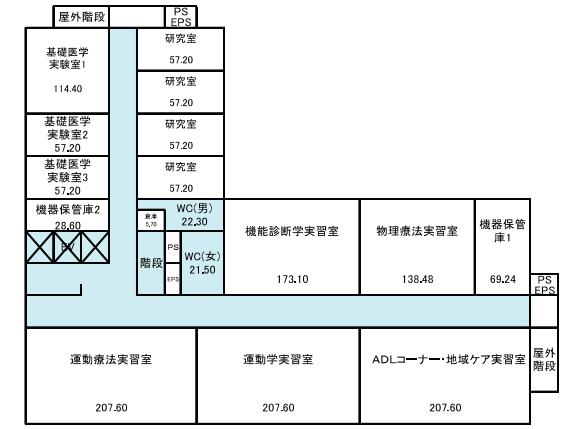
3号館7階 1947.41㎡

（東広島校地）

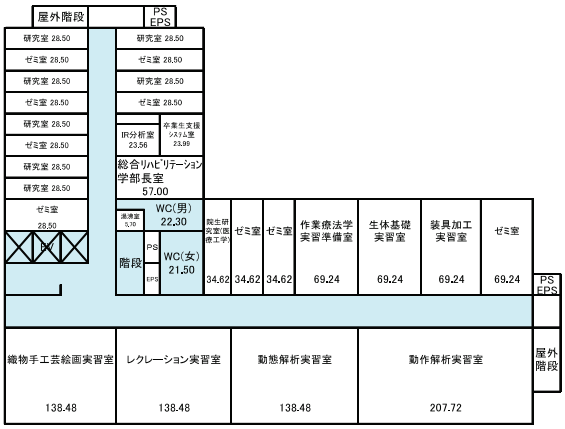


3号館8階 1947.41㎡

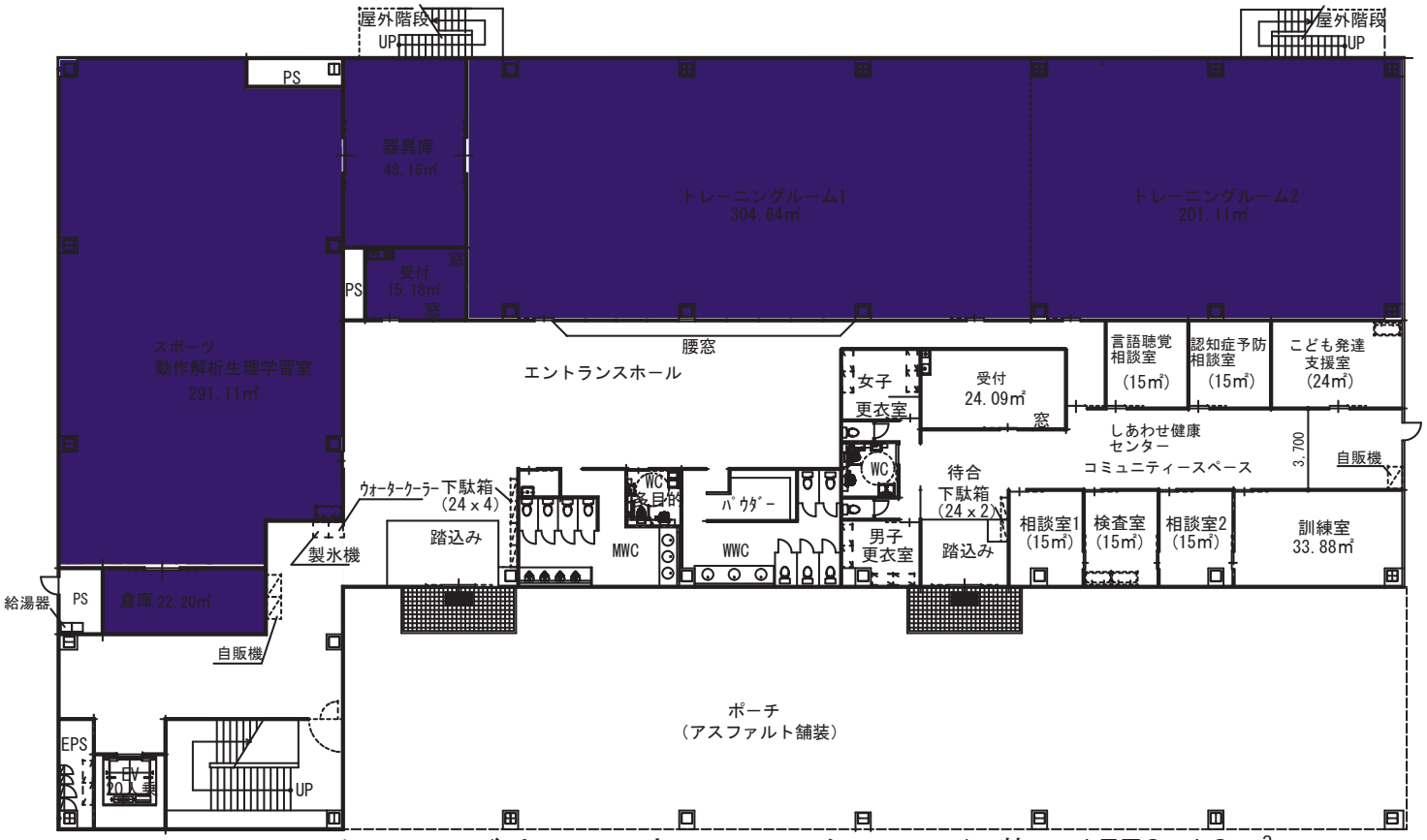
（東広島校地）



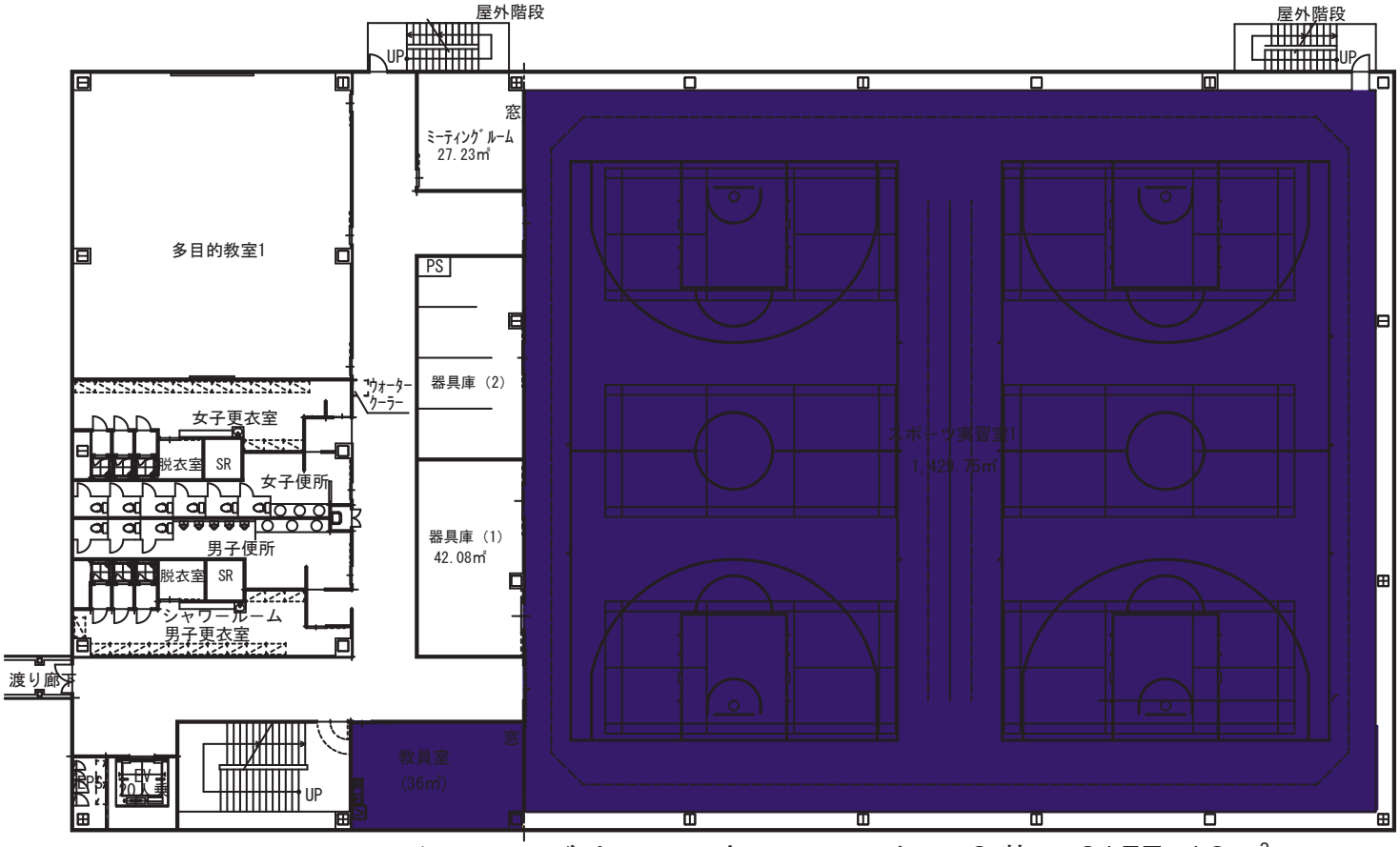
3号館9階 1947.41㎡



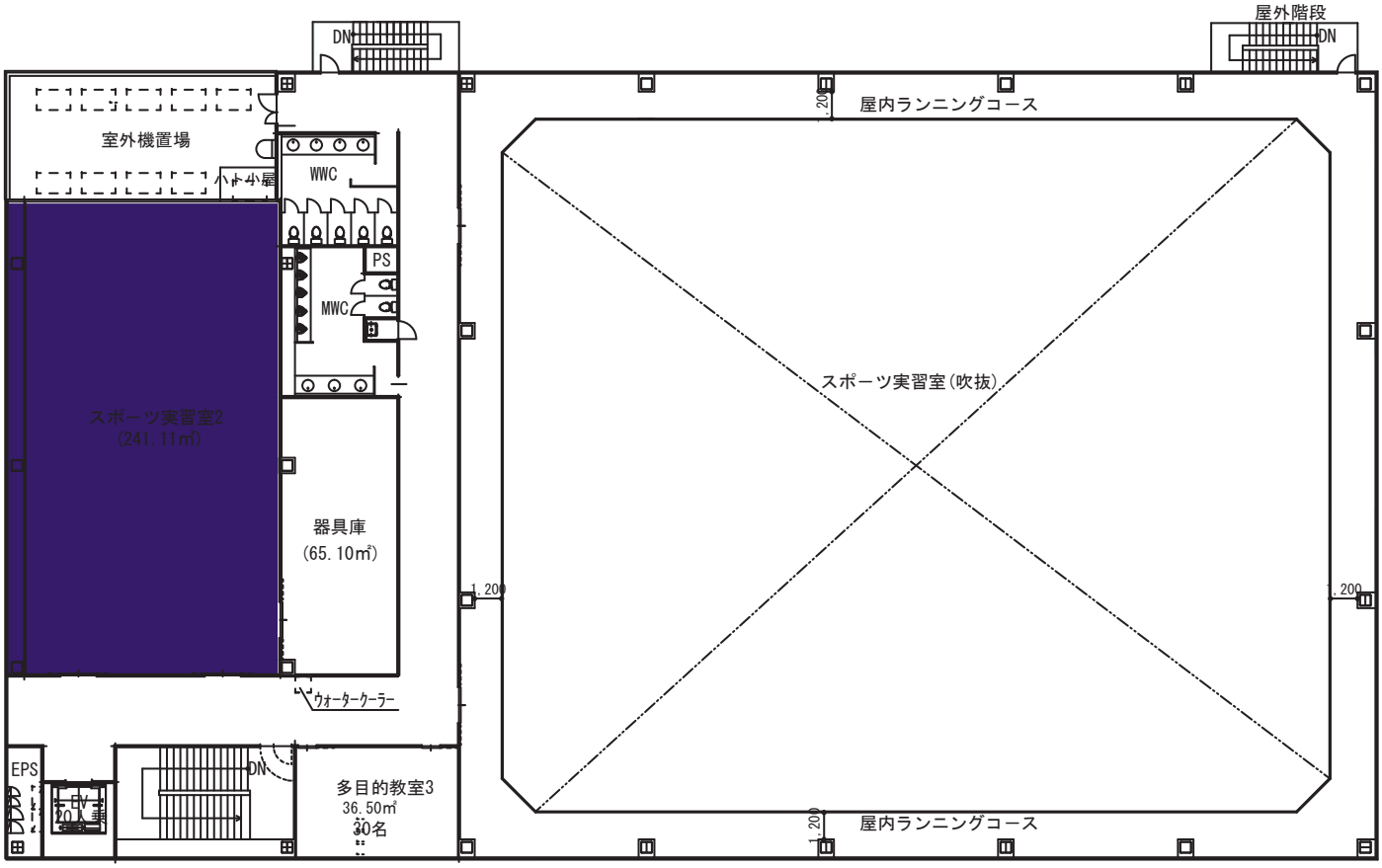
3号館10階 1947.41㎡



アクティブウェルネスセンター　1階　1578.16㎡

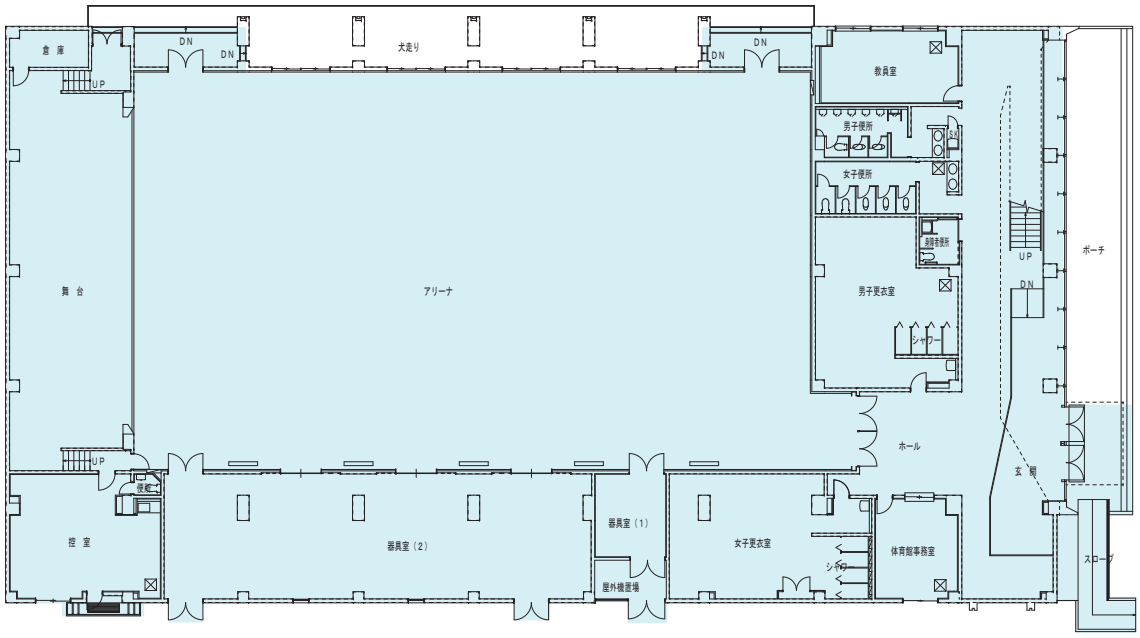


アクティブウェルネスセンター2階　2157.19㎡



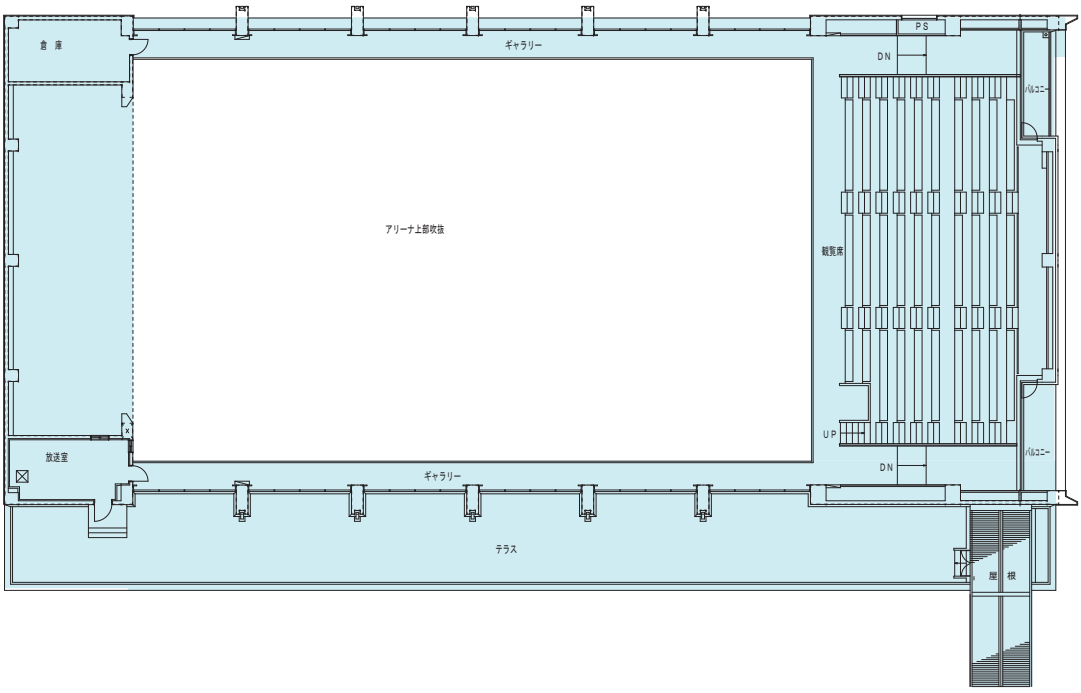
アクティブウェルネスセンター3階　948.68㎡

（東広島校地）



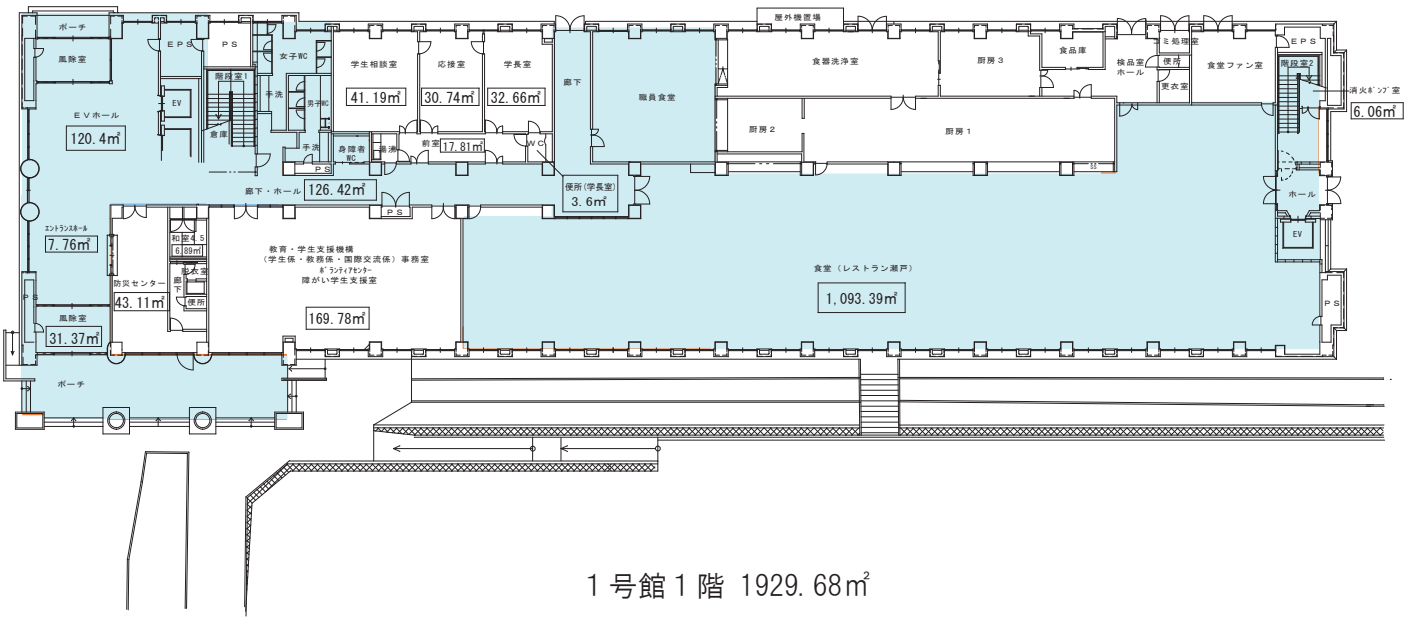
体育館１階　1344.71㎡

（東広島校地）



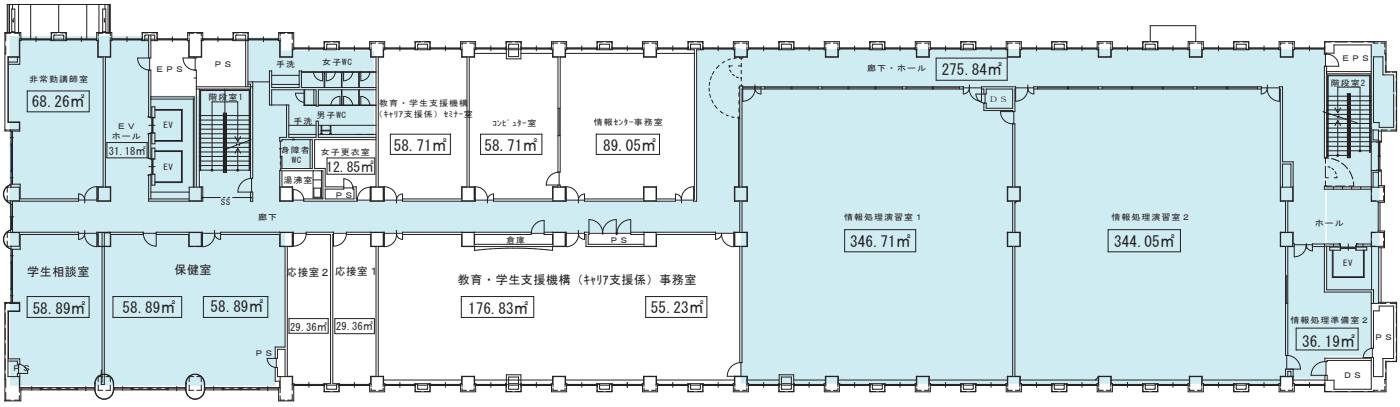
体育館２階　322.36㎡

（呉校地）



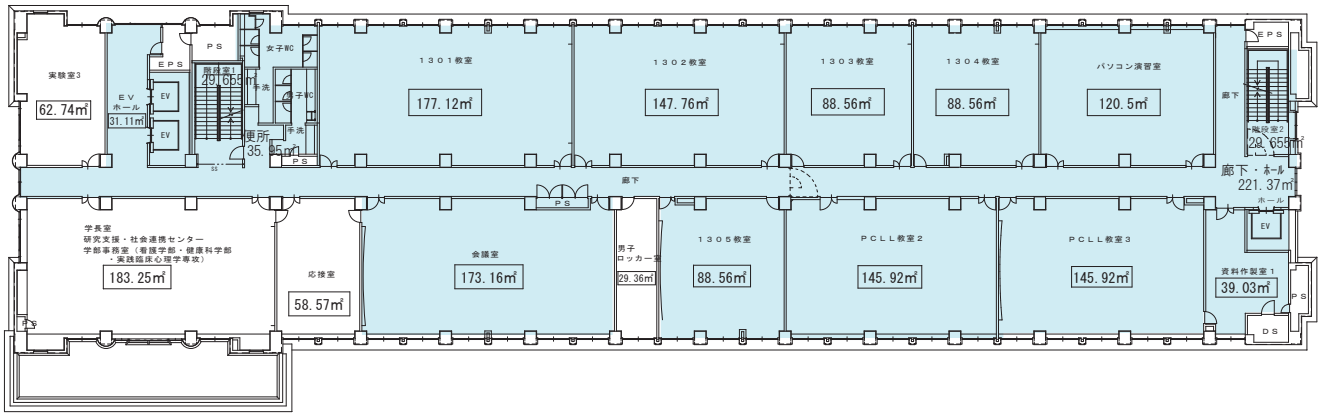
１号館１階 1929.68㎡

（呉校地）



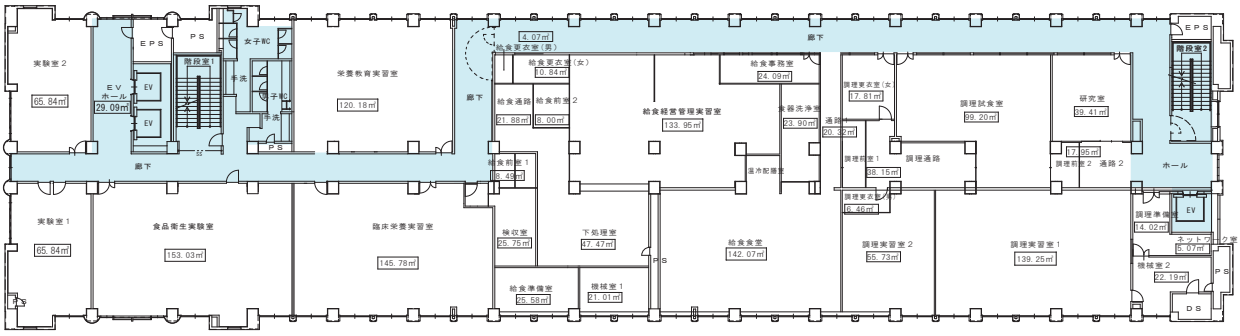
１号館２階 1981.35㎡

（呉校地）



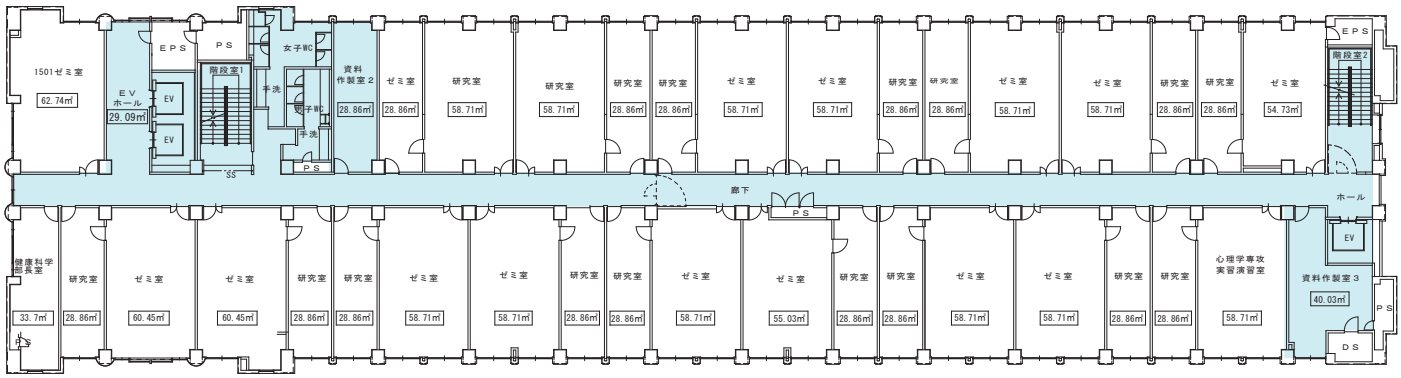
１号館３階 1972.22㎡

（呉校地）



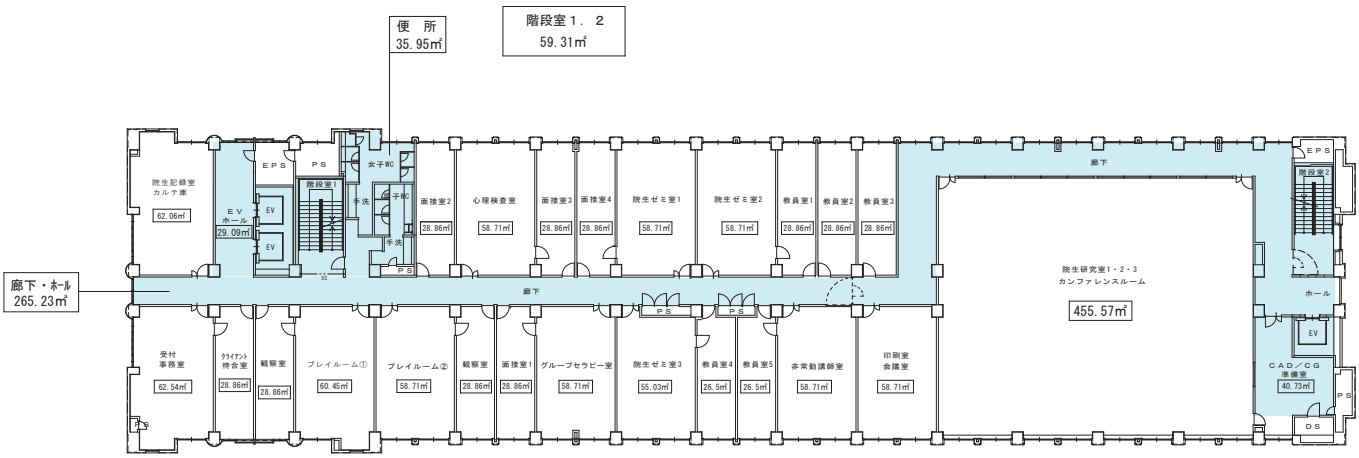
１号館４階 1969.90㎡

（呉校地）



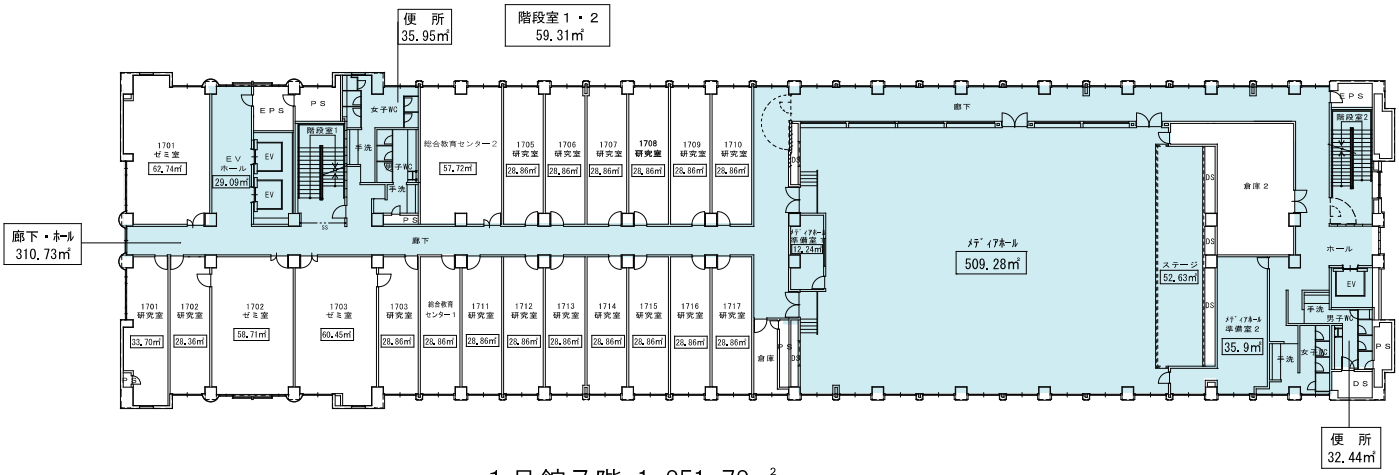
１号館５階 1973.72㎡

（呉校地）



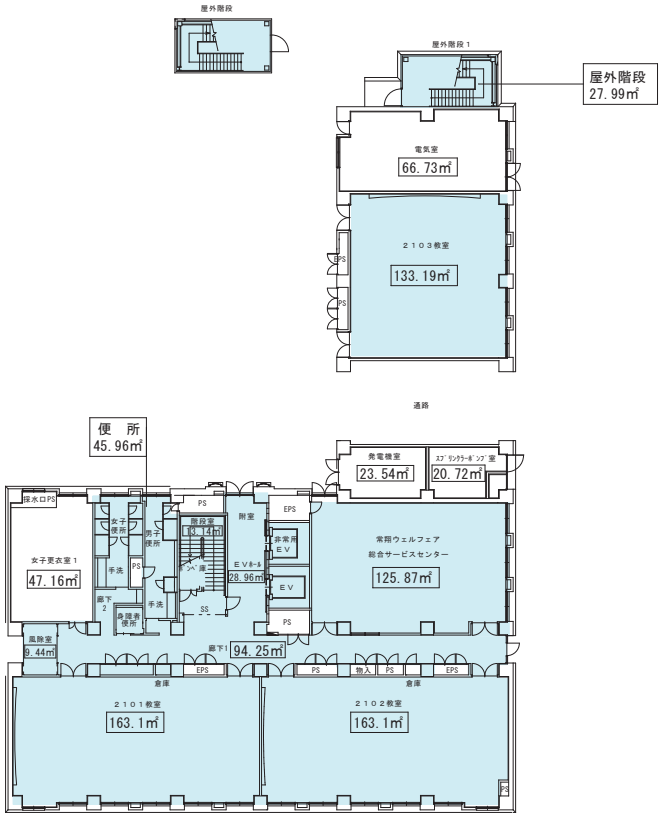
１号館６階 1,971.23㎡

（呉校地）



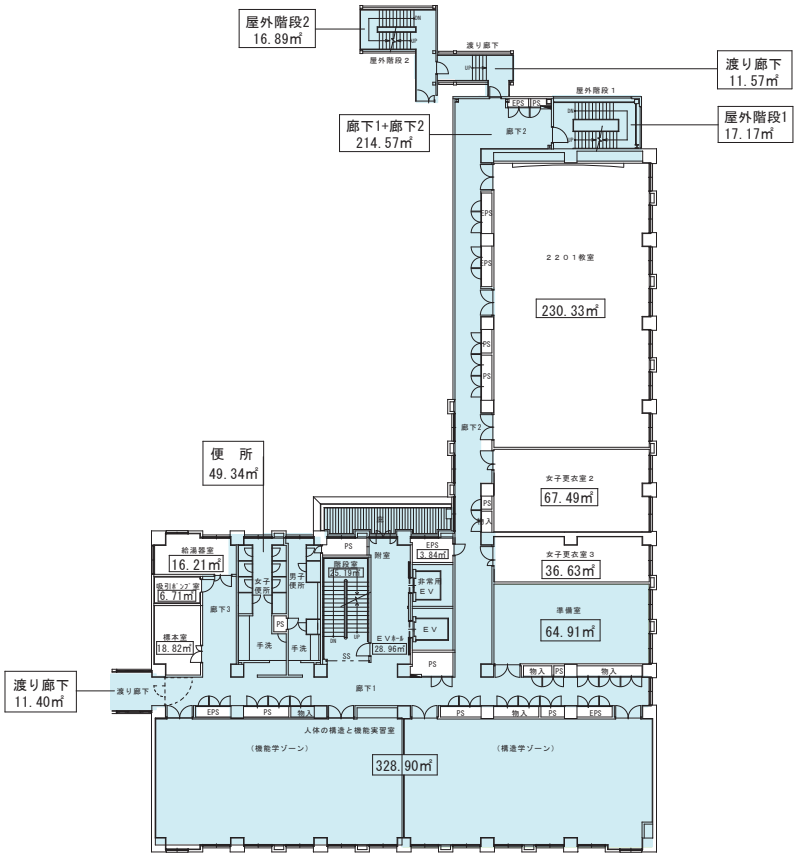
１号館７階 1,951.79㎡

（呉校地）



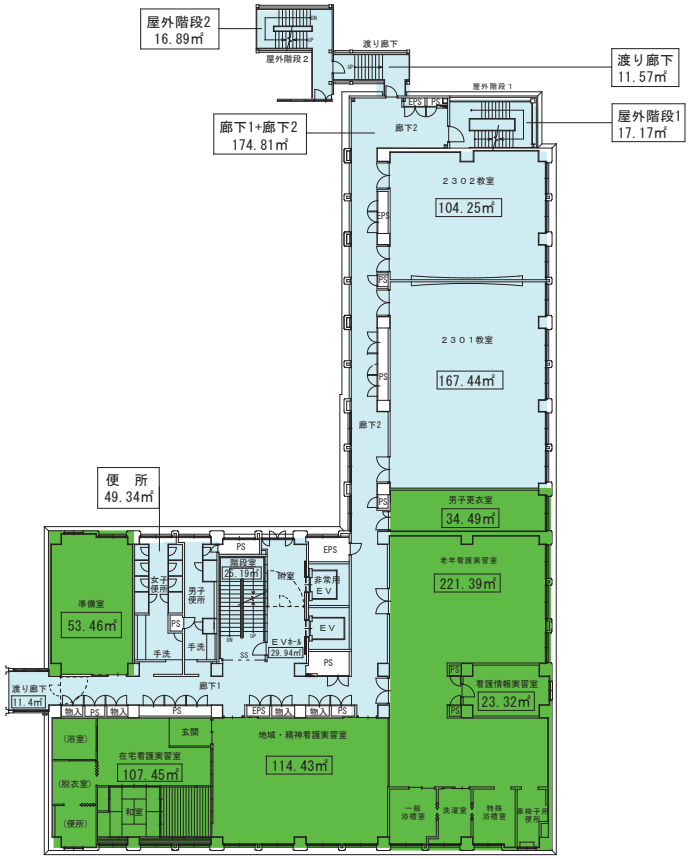
２号館１階 1058.86㎡

（呉校地）



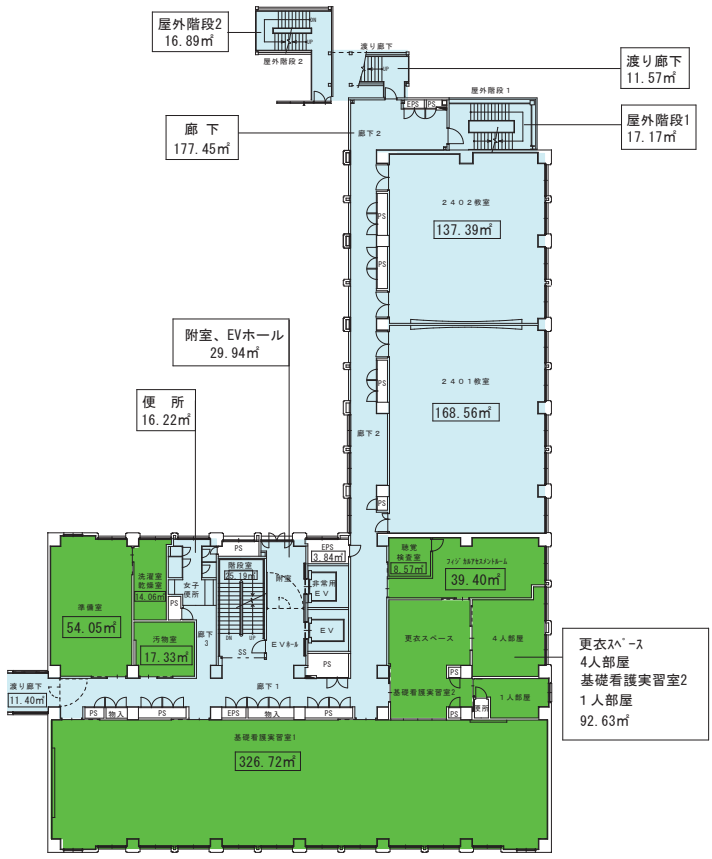
２号館２階 1,232.21㎡

（呉校地）



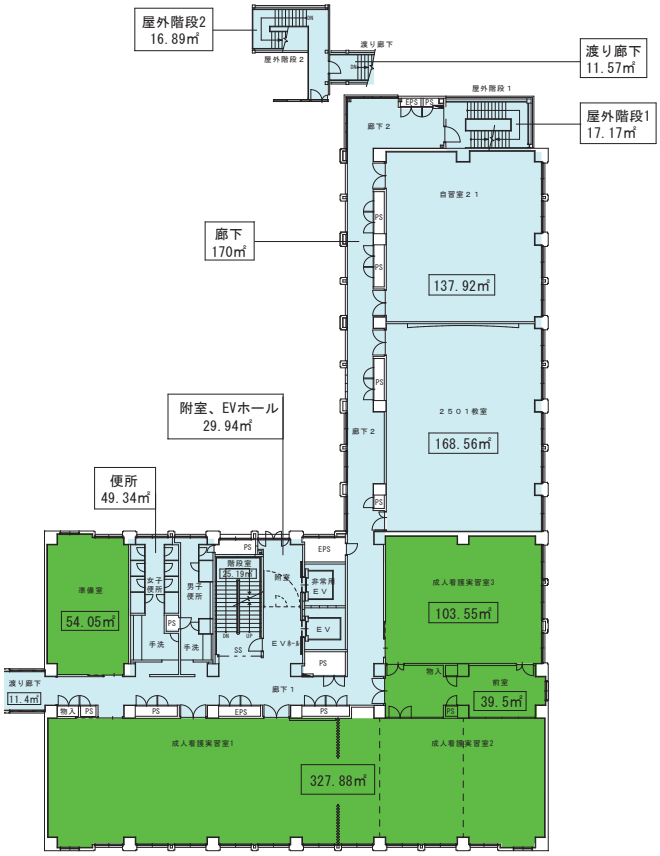
２号館３階　1231.11㎡

（呉校地）



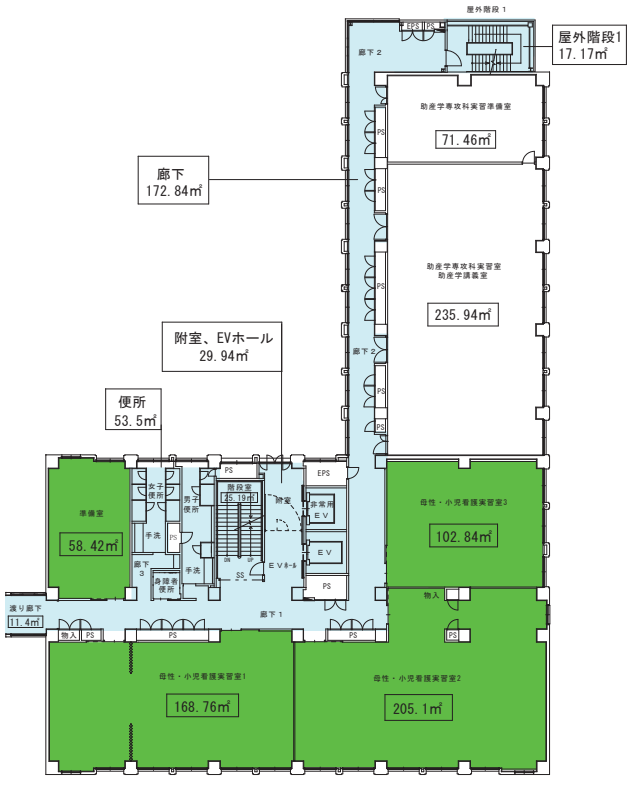
２号館４階　1231.11㎡

（呉校地）



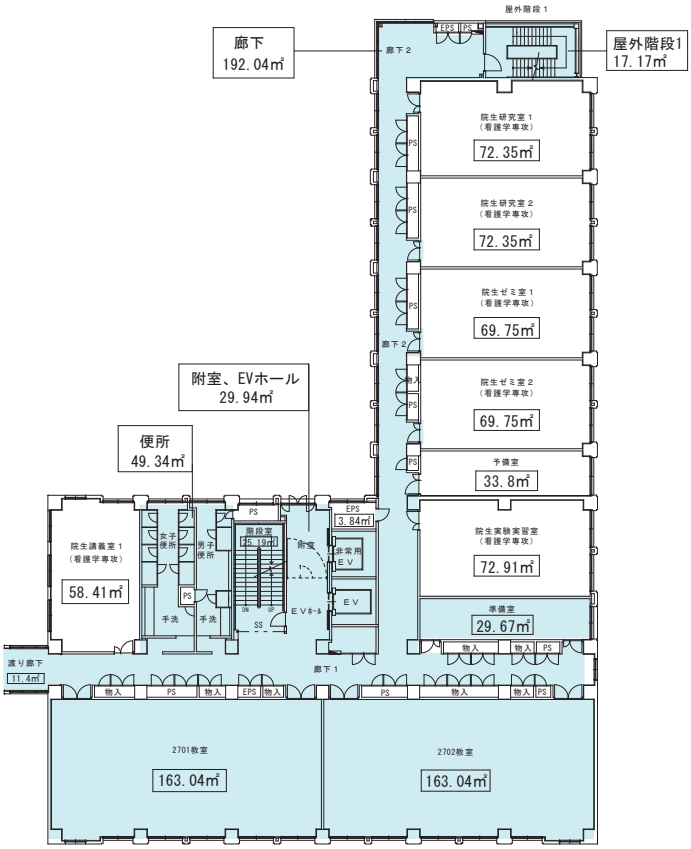
２号館５階 1231.11㎡

（呉校地）



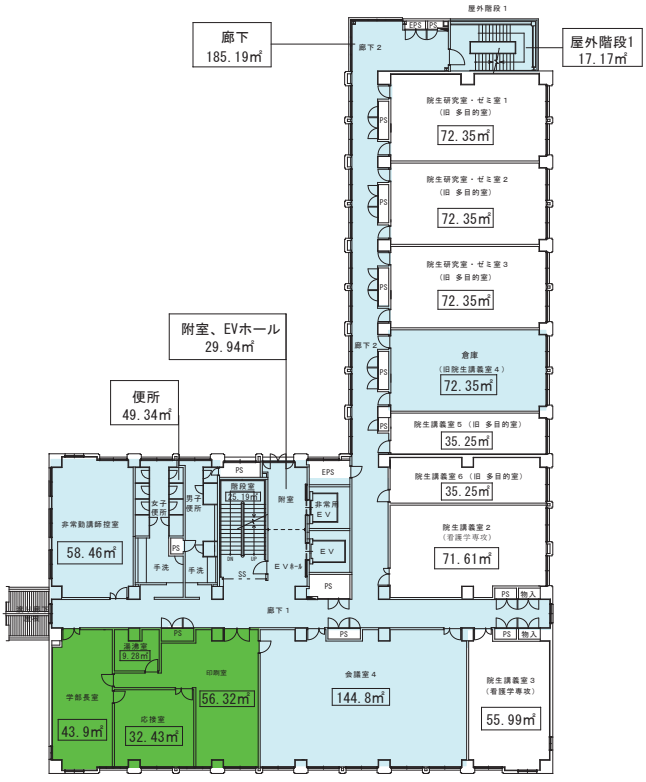
２号館６階 1231.11㎡

（呉校地）



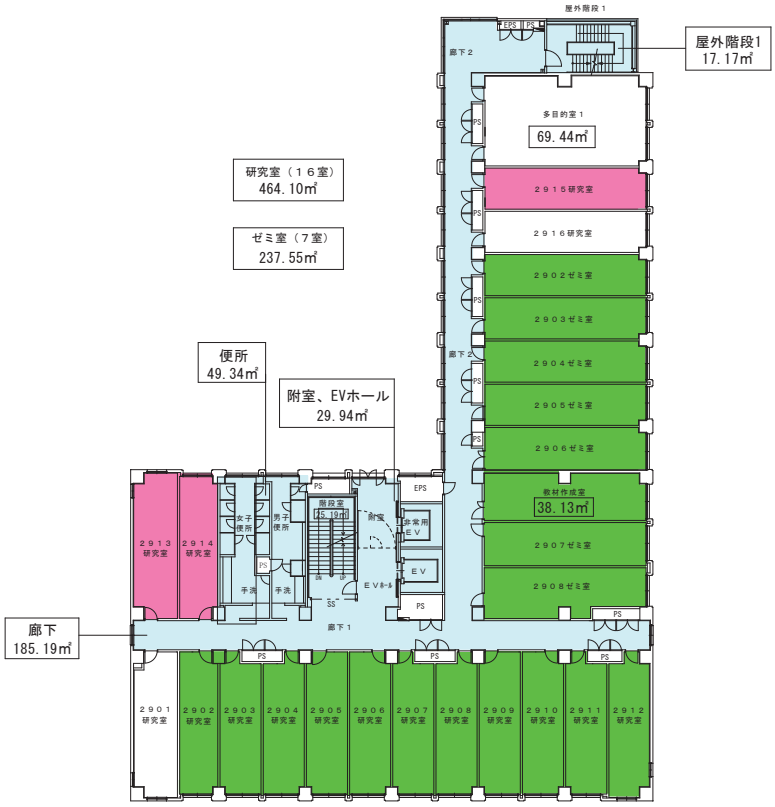
2号館7階 1231.11㎡

（呉校地）



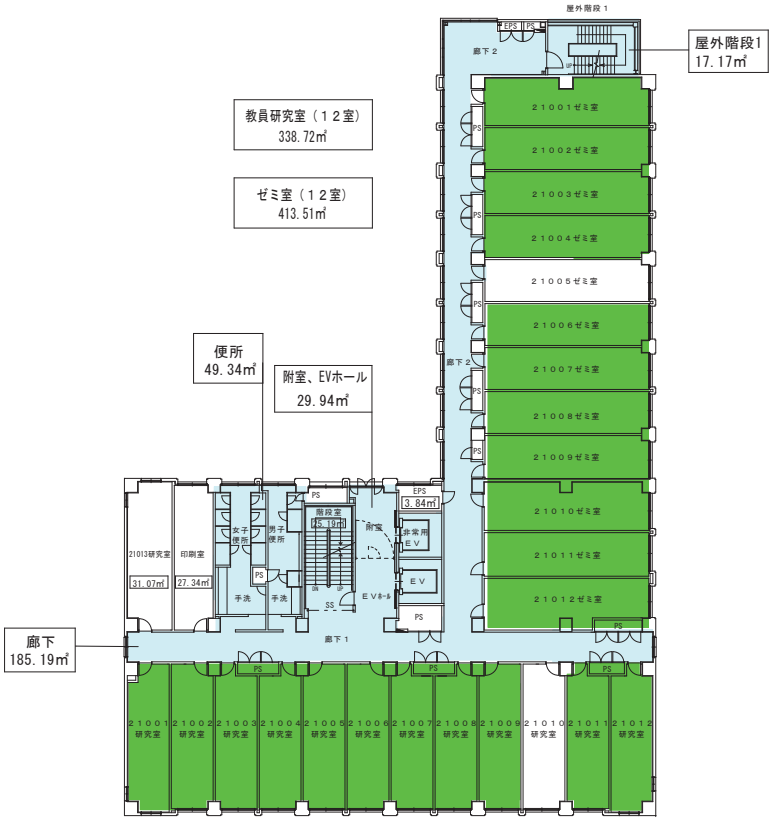
2号館8階 1220.62㎡

（呉校地）



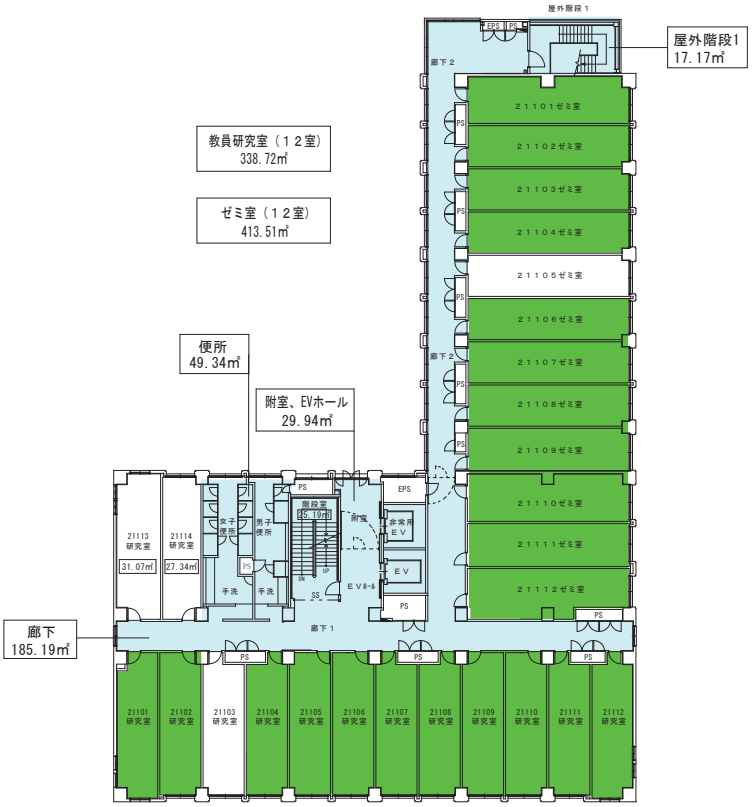
２号館９階 1220.62㎡

（呉校地）



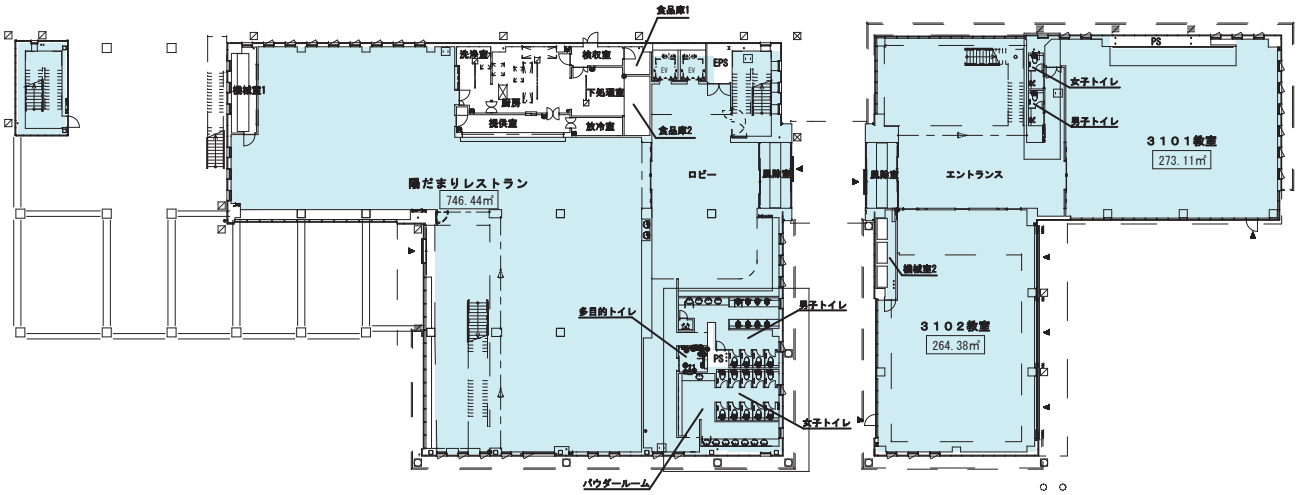
２号館１０階 1220.62㎡

（呉校地）



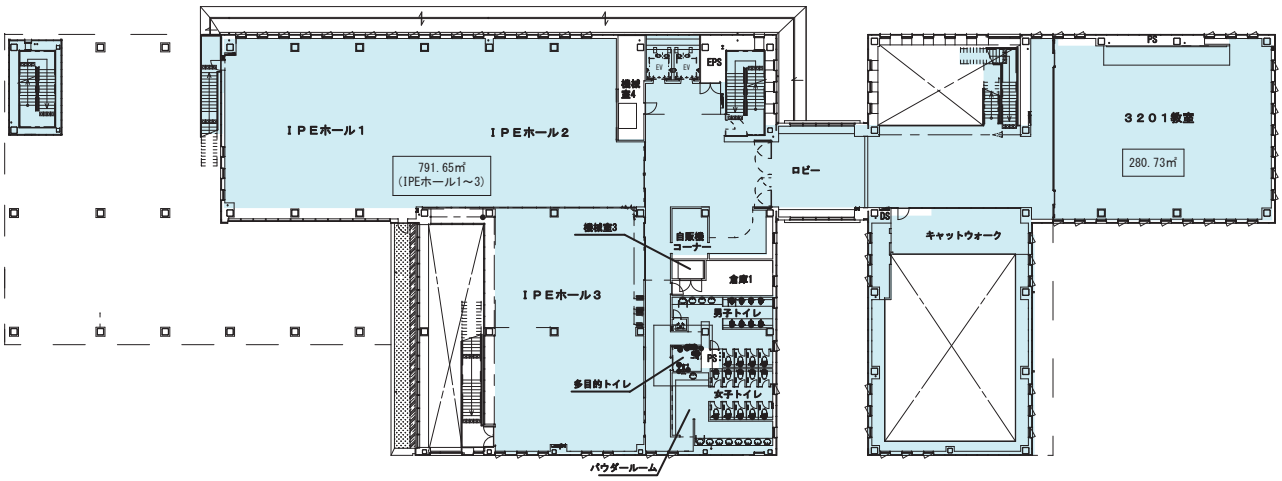
２号館１１階　1220.62㎡

（呉校地）



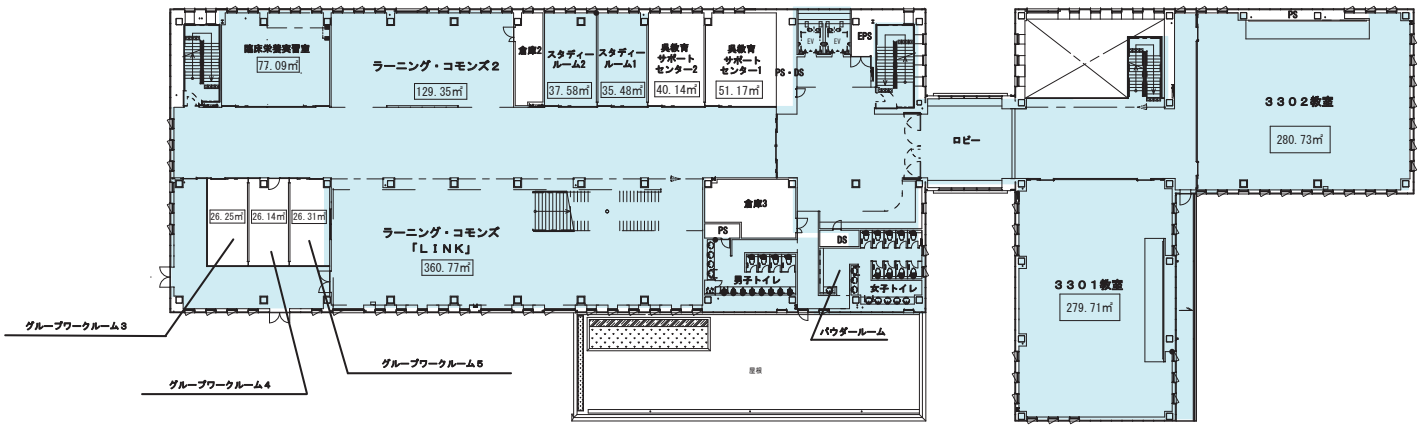
３号館１階 2,908.14㎡

（呉校地）



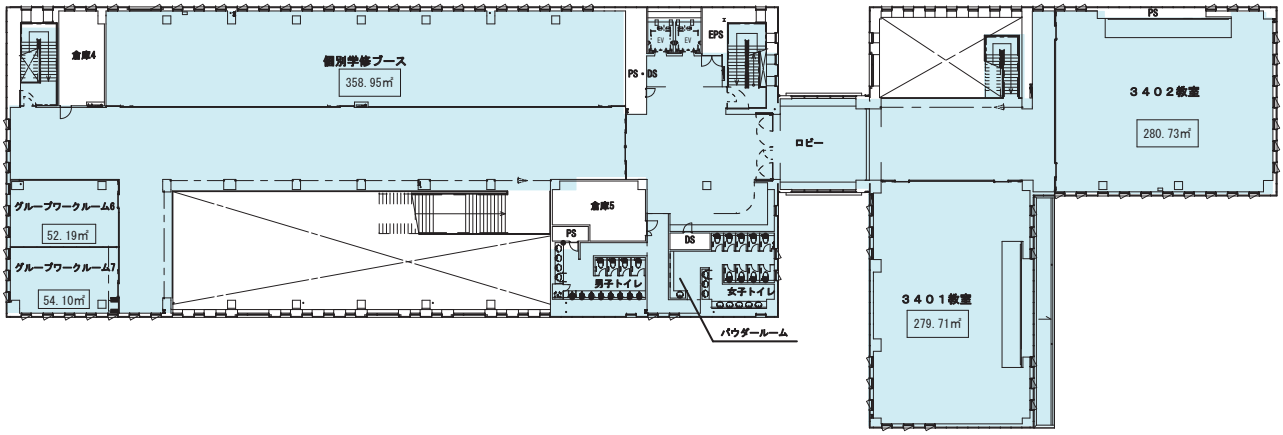
３号館２階 1,800.35㎡

（呉校地）



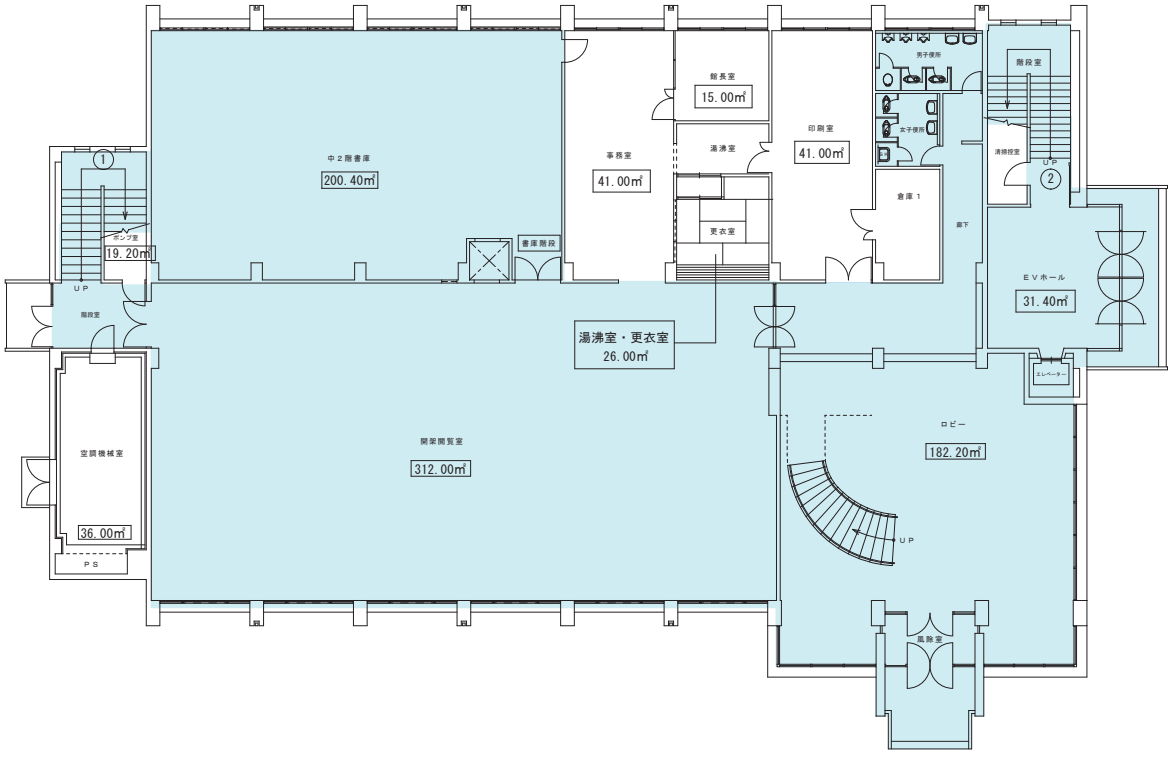
３号館３階 2,429.48㎡

（呉校地）



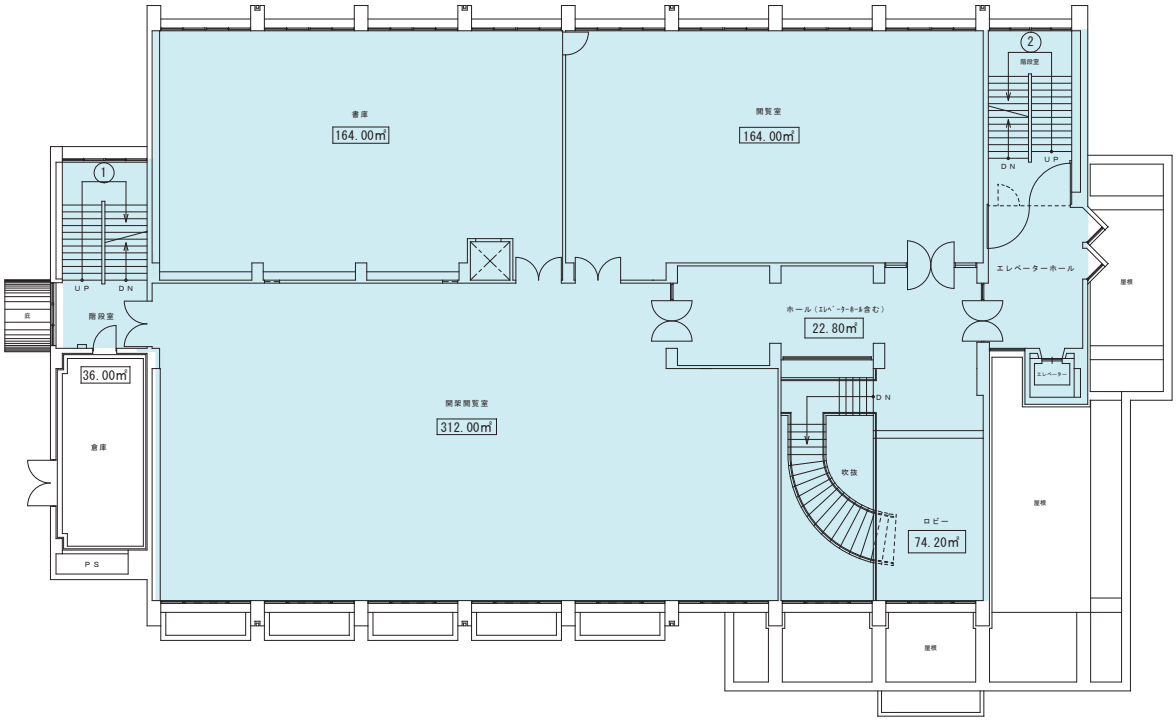
３号館４階 2,151.27㎡

（呉校地）



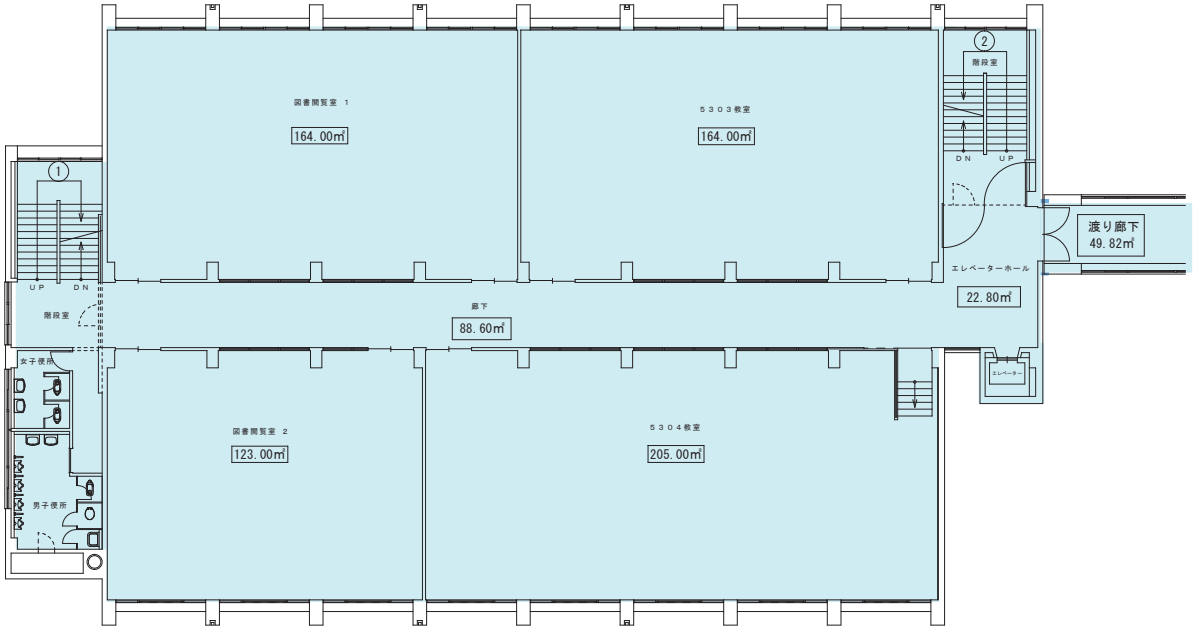
５号館１階 940.57㎡

（呉校地）



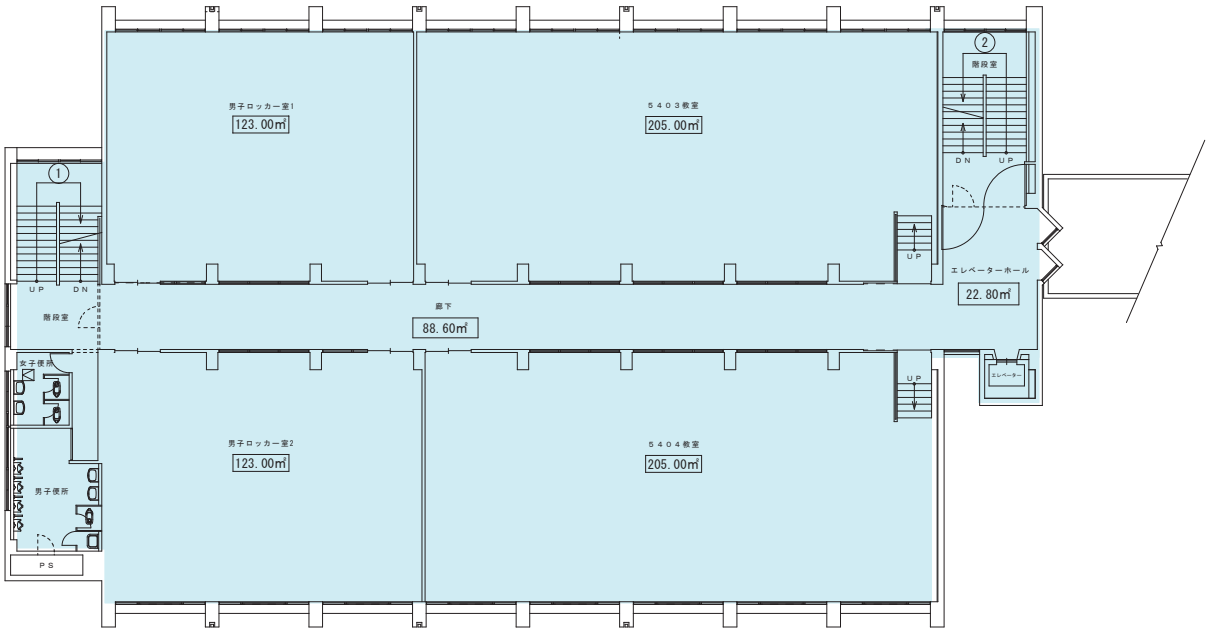
5号館2階　671.86㎡

（呉校地）



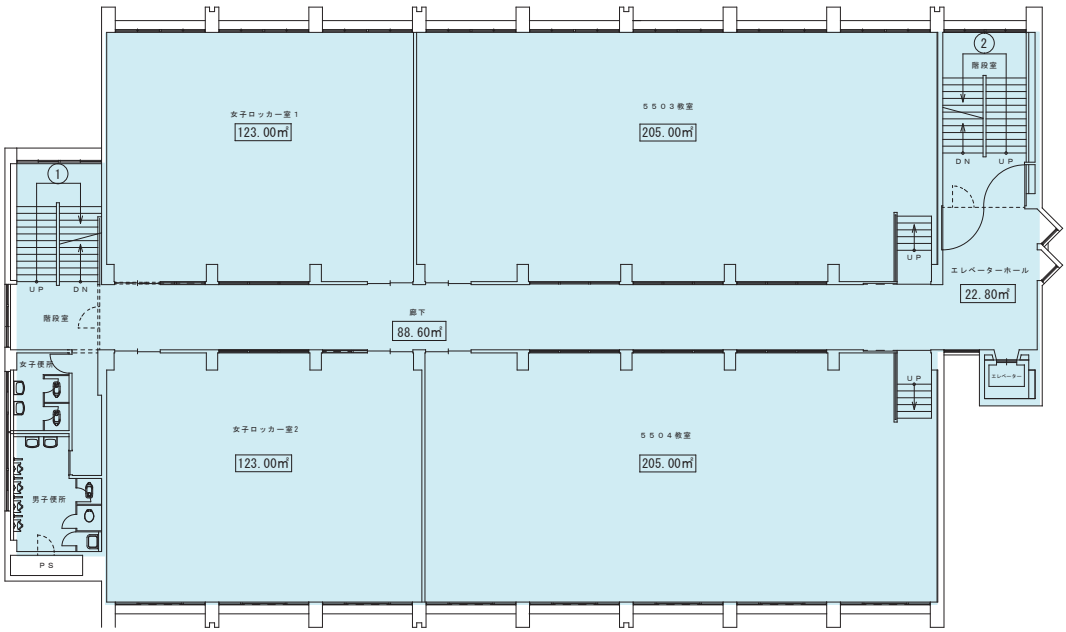
5号館3階　873.73㎡

（呉校地）



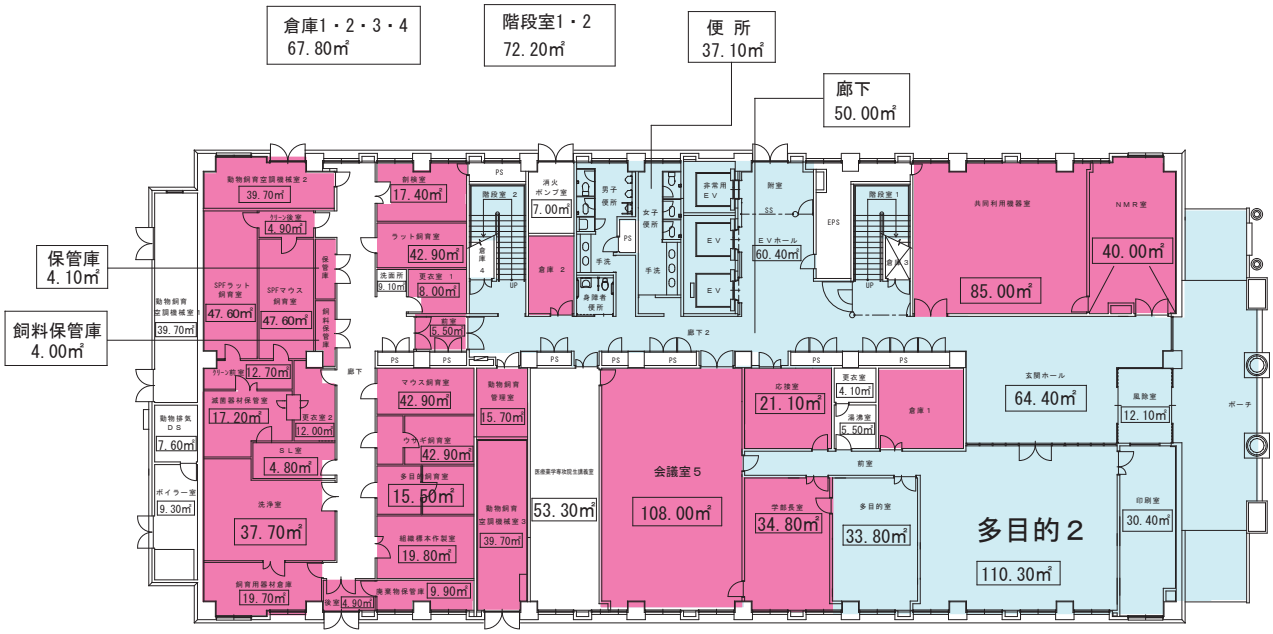
５号館４階　873.73㎡

（呉校地）



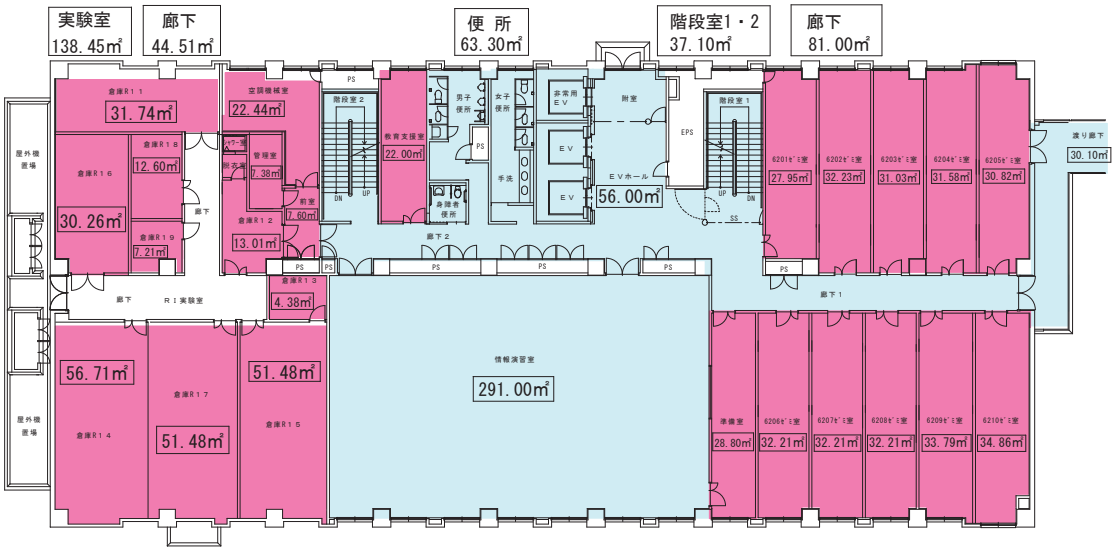
５号館５階　873.73㎡

（呉校地）



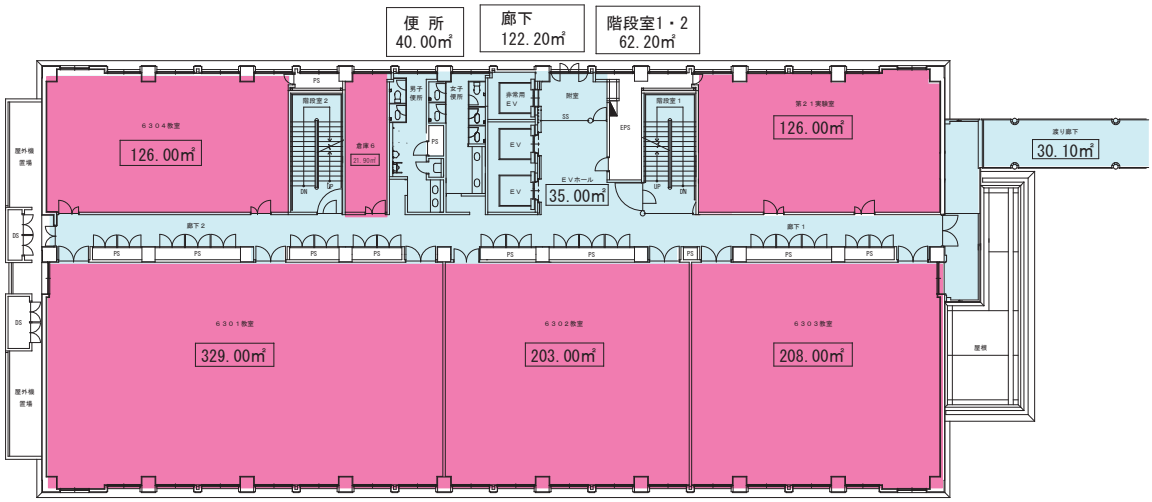
6号館1階 1432.00㎡

（呉校地）



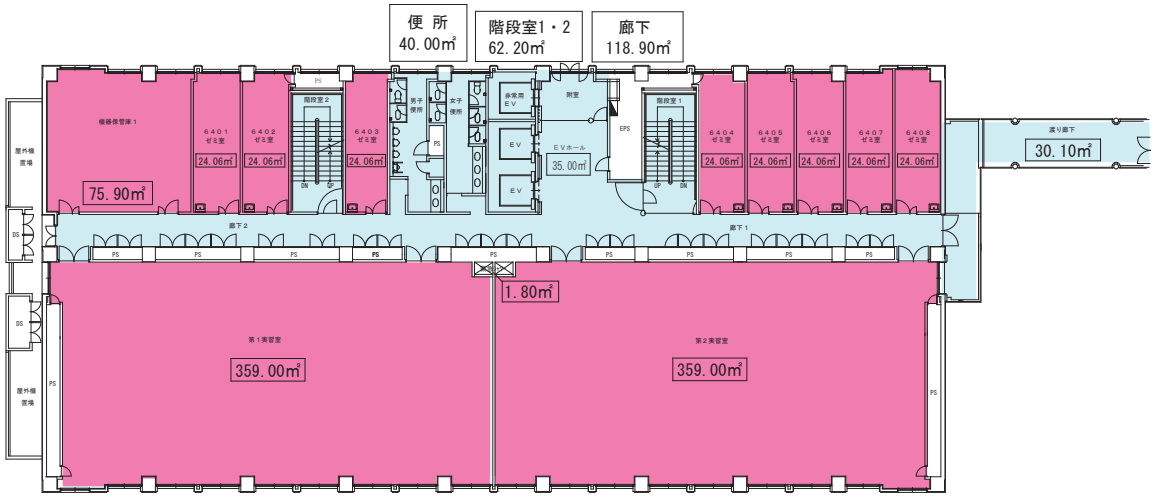
6号館2階 1353.17㎡

（呉校地）



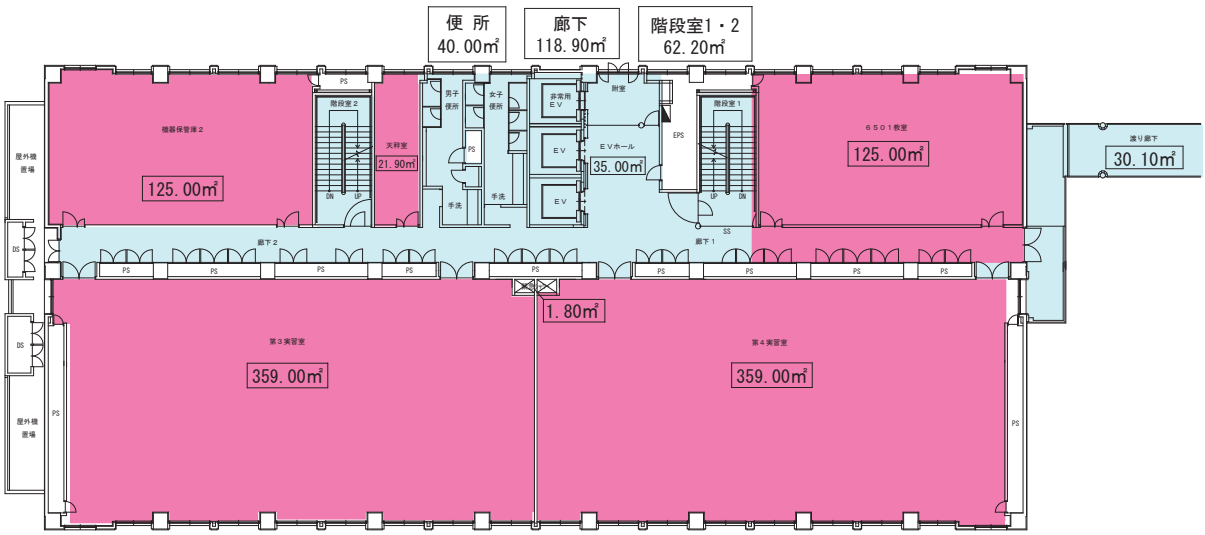
６号館３階 1351.77㎡

（呉校地）



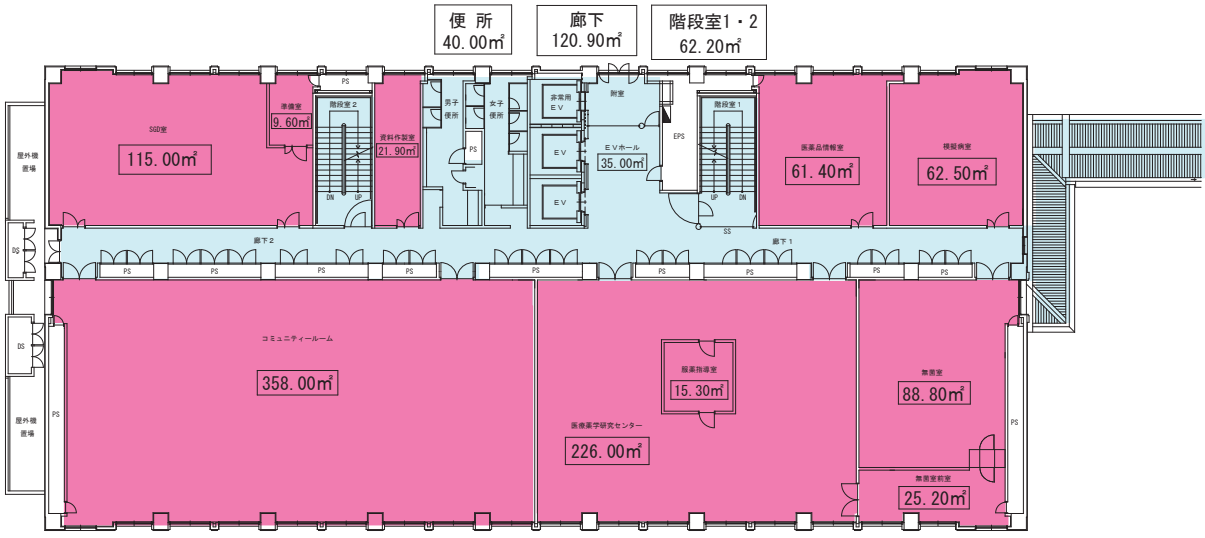
６号館４階 1351.77㎡

（呉校地）



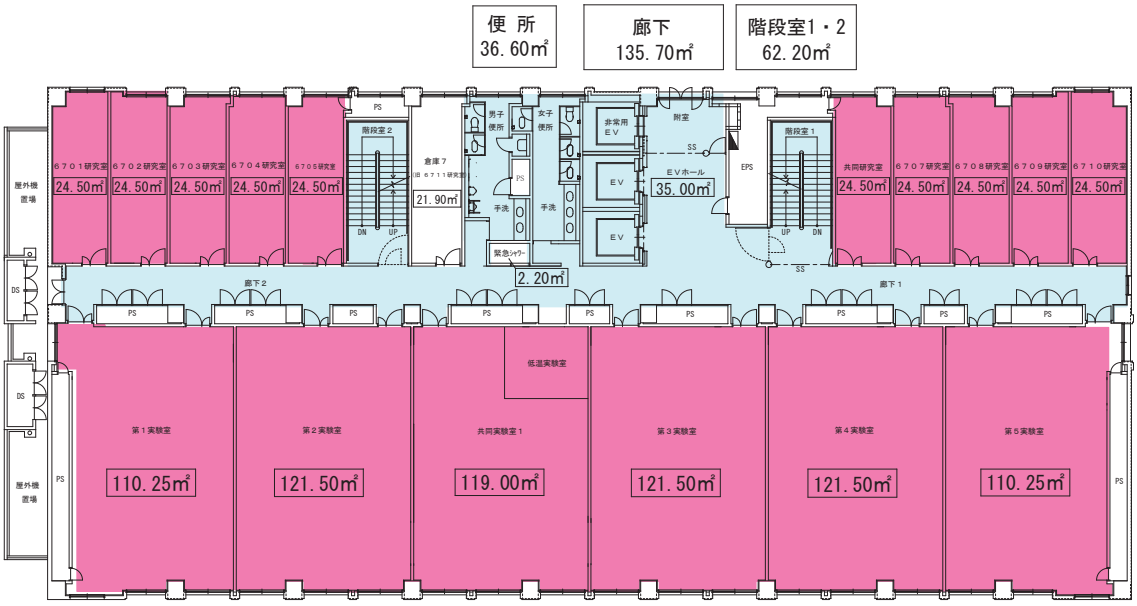
６号館５階 1351.77㎡

（呉校地）



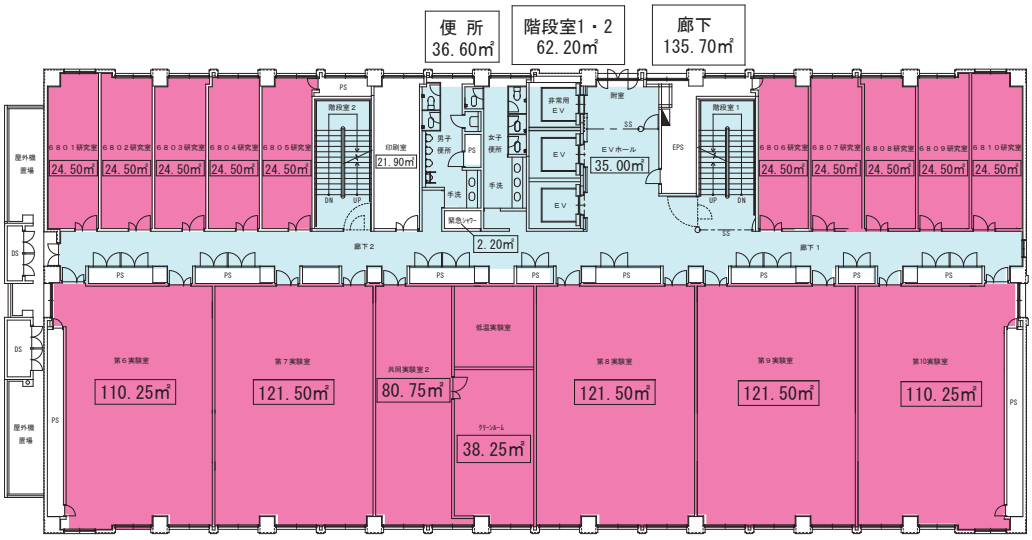
６号館６階 1353.61㎡

（呉校地）



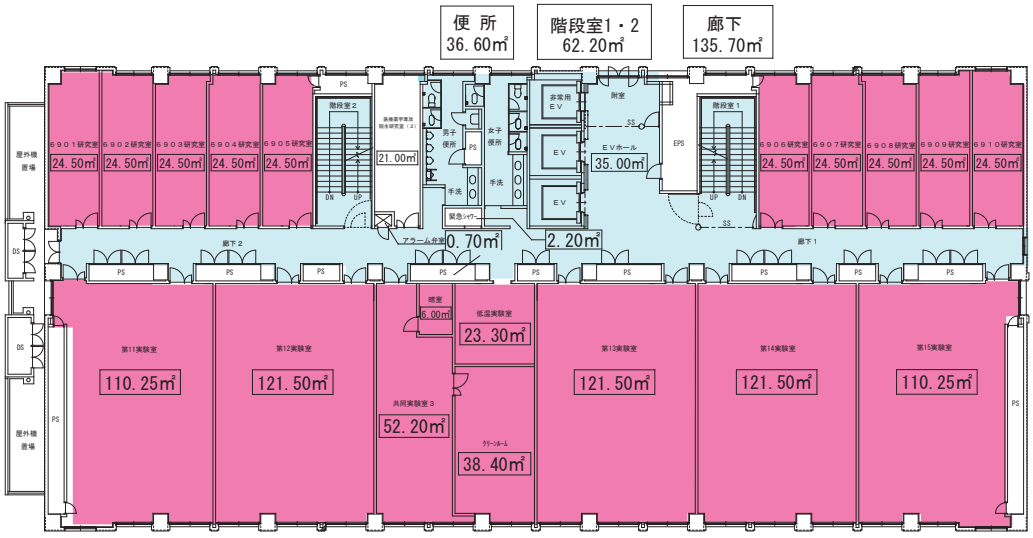
6号館7階 1353.61㎡

（呉校地）



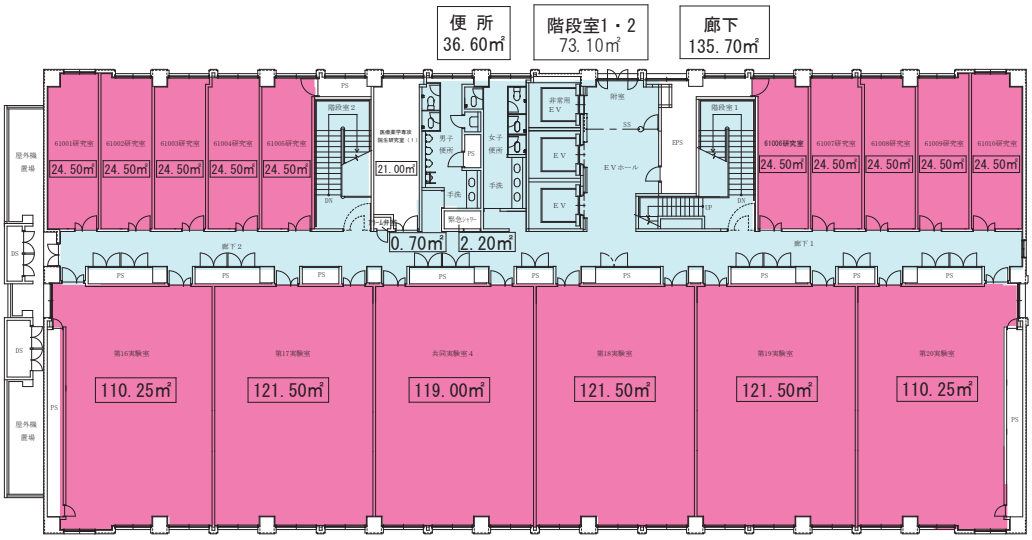
6号館8階 1353.61㎡

（呉校地）



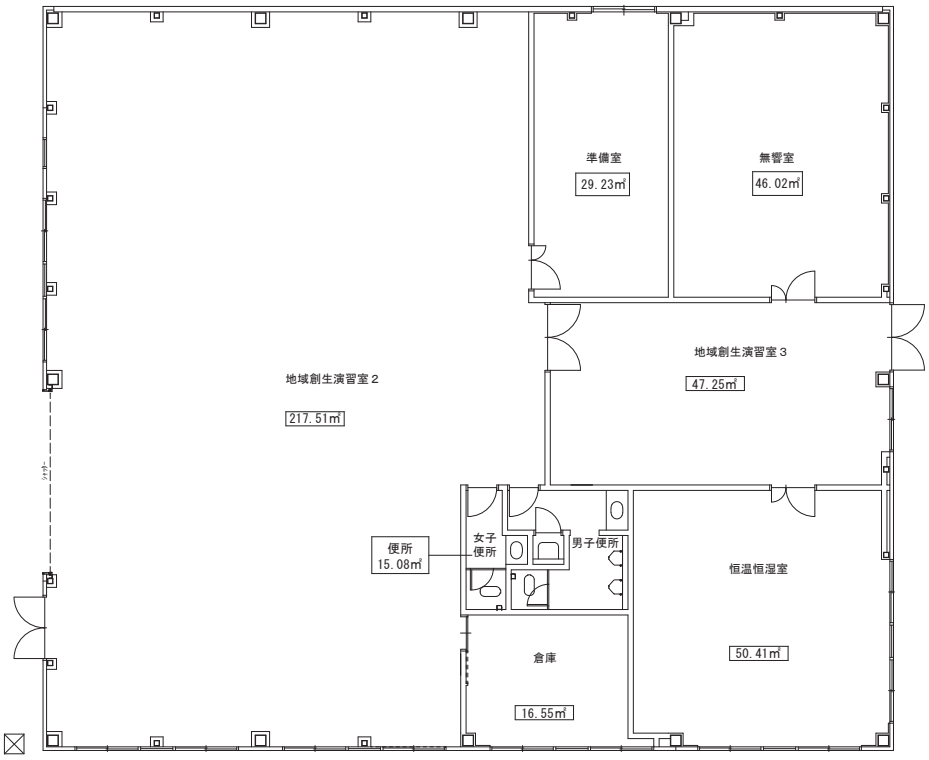
6号館9階 1353.61㎡

（呉校地）



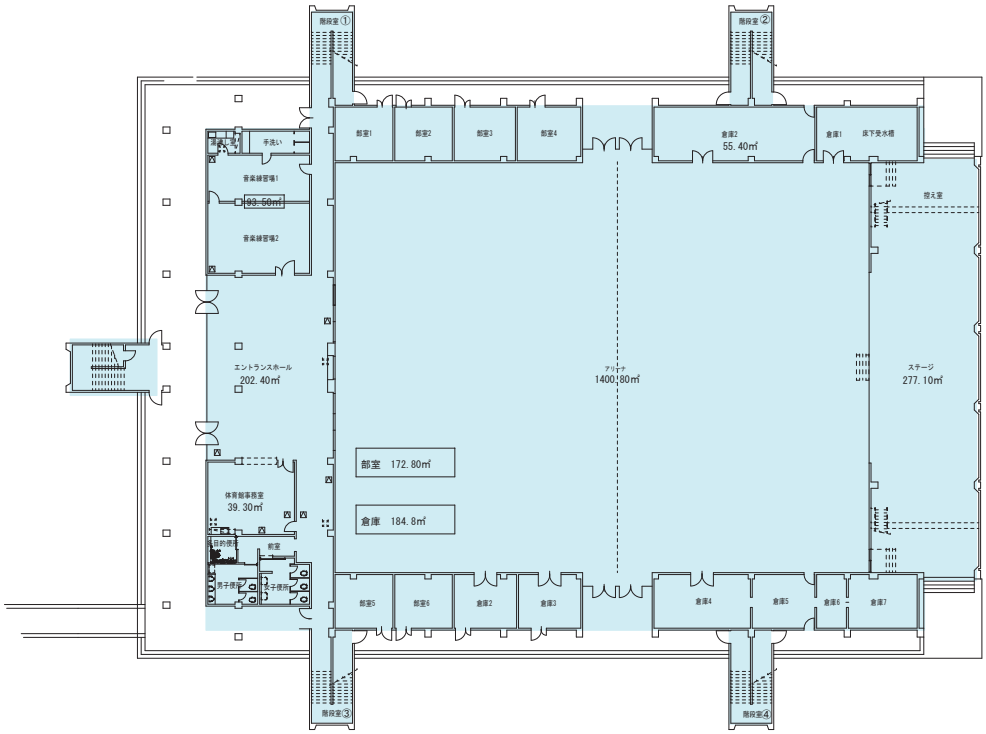
6号館10階 1353.61㎡

（呉校地）



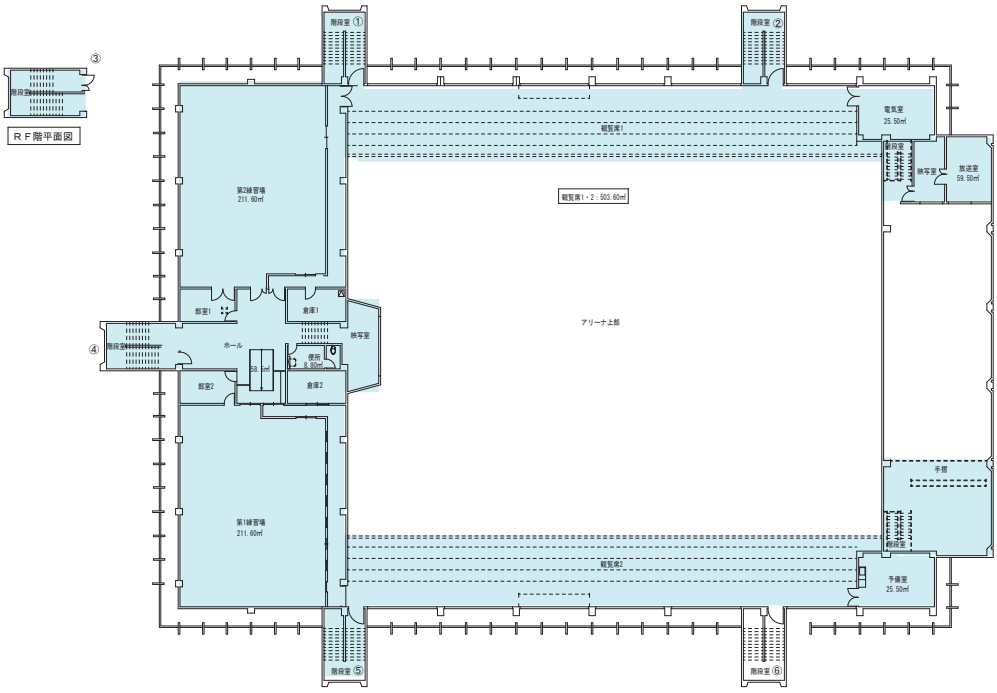
７号館１階 479.01㎡

（呉校地）



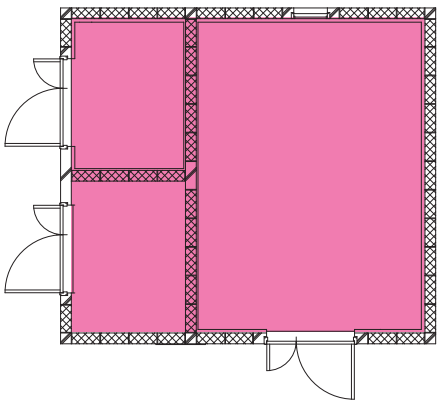
体育館１階 2545.20㎡

（呉校地）



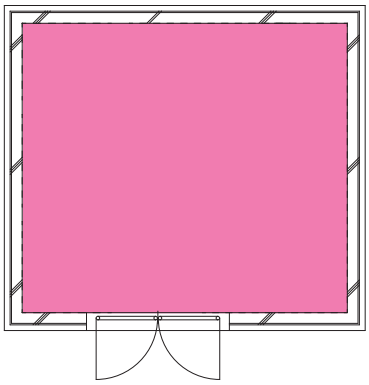
体育館２階 1277.00㎡

（呉校地）



危険物倉庫 23.20㎡

（呉校地）



実験排水処理施設 13.65㎡

○広島国際大学学則

1998年1月27日

学園1102

改正　2026年3月10日

第1章　総則

(目的)

第1条　広島国際大学(以下「本大学」という)は、建学の精神および教育の理念に基づいて教育・研究を推進することにより、ひとと共に歩み、あらゆる人々や地域のウェルビーイングに寄与することを目的とする。

(自己評価等)

第2条　本大学は、前条に規定する目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行う。

2　前項の点検および評価に関することは、広島国際大学内部質保証委員会規定等に定める。

第2章　組織

(学部、学科および教育研究上の目的)

第3条　本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
保健医療学部	診療放射線学科 医療技術学科 救急救命学科
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科
看護学部	看護学科
薬学部	薬学科
健康科学部	心理学科 医療栄養学科 医療経営学科 社会学科
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科

2　保健医療学部各学科の教育研究上の目的は、つぎの各号のとおりとする。

イ　診療放射線学科は、急速に高度化、専門化する放射線診療に対応でき、さらに新しい医用技術の開発にも参画できる信頼される医療人としての診療放射線技師を育成す

る。

ロ　医療技術学科は、日々進歩し続ける臨床工学・臨床検査学の各領域における医療機器や医療技術の変化に対応できる能力と医療チームに貢献する幅広い知識・豊かな人間性を持つ人材を育成する。

ハ　救急救命学科は、日々進歩し続ける病院前救護の変化に対応できる救急救命の専門知識および実践力を身につけ、病院前救護および救急医療に貢献できる質の高い救急救命士を育成する。

3　総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科は、すべての人々の健康と生活向上のために、多様なリハビリテーションの専門知識および技術を備え、問題解決能力と豊かな人間性を持って他職種と協働しながら社会に貢献できる専門職業人(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士および義肢装具士)を育成する。

4　看護学部看護学科は、生命の尊厳と個人の尊重を基盤とし、豊かな人間性を形成するとともに、看護の知識・技術を習得し、質の高い看護が展開できるよう、実践力・応用力・判断力を養い、広く社会に貢献できる人材を育成する。

5　薬学部薬学科は、「寄りそえる薬剤師の養成」を柱に、専門的知識・技能に加え、科学的思考力・判断力や高い倫理観と豊かな人間性を兼備し、もって広く社会に貢献する薬の専門家を育成する。

6　健康科学部各学科の教育研究上の目的は、つぎの各号のとおりとする。

イ　心理学科は、ストレスの多い社会に対し、さまざまな心理学とコミュニケーション技術をもとに、自己や他者のこころに関心を持つ人材、さらに肯定的自己理解と他者への共感的理解を持ちながら、温かい人間関係を構築し、社会の中で生じる課題を創造的に解決できる人材を育成する。

ロ　医療栄養学科は、人々の健康の維持、病気の予防・改善のため、栄養と食の力を活用し、地域社会の健康・医療・福祉に貢献できる管理栄養士を育成する。

ハ　医療経営学科は、健康・医療分野に深く関わる経営学、経済学、医学、情報学等の実践的な学びを通して、高い倫理観を持ちながら、効率的で質の高い健康・医療サービスの提供をもって、人々のしあわせをマネジメントできる人材を育成する。

ニ　社会学科は、地域共生社会の実現を目指して、地域の持続的な発展を推進する施策を展開する自治体・企業等との連携により、社会課題の解決を図り、地域やそこで暮らす人々のしあわせな未来像を描き提案できる人材を育成する。

7　健康スポーツ学部健康スポーツ学科は、あらゆる人々が、各ライフステージ(各年齢期)

において健康で豊かな生活を送ることができるよう、健康・運動・体育・スポーツに関する知識や技術をもとに、幅広い分野で貢献できる人材を育成する。

(助産学専攻科)

第3条の2　本大学に、助産学専攻科を置く。

2　助産学専攻科については、別に定める。

(収容定員)

第4条　本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員	第3年次編入学定員	収容定員
保健医療学部	診療放射線学科	50名	—	200名
	医療技術学科	80名	—	320名
	救急救命学科	50名	—	200名
	計	180名	—	720名
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	180名	—	720名
	計	180名	—	720名
看護学部	看護学科	100名	—	400名
	計	100名	—	400名
薬学部	薬学科	120名	—	720名
	計	120名	—	720名
健康科学部	心理学科	70名	—	280名
	医療栄養学科	60名	—	240名
	医療経営学科	80名	—	320名
	社会学科	100名	—	400名
	計	310名	—	1,240名
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	80名	—	320名
	計	80名	—	320名

(職員)

第5条　本大学に、学長、学部長、事務局長、教授、准教授、講師、助教、助手および事務職員を置く。

2　本大学に、必要に応じて副学長を置くことができる。

3　本大学には、前2項のほか、教育・学生支援機構長、入試センター長、図書館長、情報

センター長、教育・学生支援部長、学科長その他必要な職員を置く。

(各職員の職務)

第6条　学長は、本大学の学務を統括し、所属職員を統督する。

2　副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての企画および各学部間の連絡調整を行うほか、学長に事故あるときまたは欠けたときは、その職務を行う。

3　学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部に所属する職員を指揮監督する。

4　事務局長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の管理運営業務の遂行にあたる。

5　教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

6　准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

7　講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。

8　助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

9　助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

10　事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。

11　その他職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(大学・大学院運営会議)

第7条　本大学に、大学・大学院運営会議を置く。

2　大学・大学院運営会議は、学長、副学長、学部長、研究科長、教育・学生支援機構長、事務局長、入試センター長、図書館長、情報センター長、教育・学生支援部長、情報メディアラーニングセンター長、基盤教育センター長、専門職連携教育センター長、国際交流センター長、研究支援・社会連携センター長および専攻科長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。

3　その他大学・大学院運営会議について必要な事項は、大学・大学院運営会議規定に定める。

(教授会)

第8条　本大学の各学部に教授会を置く。

2　教授会は、学部長および当該学部の教授をもって組織し、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

イ　学生の入学および卒業に関すること

ロ　学位の授与に関すること

ハ　前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3　教授会は、前項に規定するもののほか、学長が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4　その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第9条　本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

イ　内部質保証委員会

ロ　教員選考・活動評価委員会

ハ　入試委員会

ニ　図書館運営委員会

ホ　情報センター運営委員会

ヘ　人権侵害防止委員会

ト　個人情報保護委員会

チ　教務委員会

リ　学生委員会

ヌ　キャリア支援委員会

ル　国際交流委員会

2　内部質保証委員会は、内部質保証の基本方針および組織運営体制の策定、教育、研究、社会貢献、大学運営等にかかる方針・計画内容の推進その他重要な事項を審議する。

3　教員選考・活動評価委員会は、教員の採用および昇任の資格審査、研修ならびに教員活動評価に関する事項を審議する。

4　入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整その他重要な事項を審議する。

5　図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。

6　情報センター運営委員会は、学長の諮問に応じて情報センターの運営に関し必要な事項を審議する。

7　人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
8　個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
9　教務委員会は、学長の諮問に応じて教学に関する重要な事項の審議および教学に関する各学部間の連絡調整を行う。
10　学生委員会は、学長の諮問に応じて学生に関する重要な事項の審議および学生に関する各学部間の連絡調整を行う。
11　キャリア支援委員会は、学長の諮問に応じてキャリア支援に関する重要な事項の審議およびキャリア支援に関する各学部間の連絡調整を行う。
12　国際交流委員会は、学長の諮問に応じ国際交流に関する重要な事項の審議および国際交流に関する各学部間の連絡調整を行う。
13　その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第9条の2　本大学は、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修および研究を行う。

第3章　学年、学期および休業日

(学年)

第10条　学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第11条　学年は、つぎの2学期に区分し、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。

2　必要がある場合、学長は、前項に定める前期の終期および後期の始期を変更することができる。

(休業日)

第12条　授業を行わない日(以下「休業日」という)は、つぎのとおりとする。

イ　日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日
ロ　本学園創立記念日(10月30日)
ハ　春期休業日　3月21日から3月31日まで
ニ　夏期休業日　8月1日から9月14日まで
ホ　冬期休業日　12月25日から翌年1月7日まで

2　必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
3　第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うこ

とができる。

第4章　修業年限および在学年限

(修業年限)

第13条　本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。

保健医療学部　4年

総合リハビリテーション学部　4年

看護学部　4年

薬学部　6年

健康科学部　4年

健康スポーツ学部　4年

(長期履修学生)

第13条の2　前条の規定にかかわらず、職業を有している等の事情またはその他やむを得ない事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する学生(以下「長期履修学生」という)がその旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

2　その他長期履修学生について必要な事項は、長期履修学生規定に定める。

(在学年限)

第14条　学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。ただし、長期履修学生については、教授会の意見を聴いて、相当な年限を学長が定める。

保健医療学部　8年

総合リハビリテーション学部　8年

看護学部　8年

薬学部　12年

健康科学部　8年

健康スポーツ学部　8年

2　前項にかかわらず、第20条の規定により入学を許可された者の在学年限については、編入学規定に定める。また、第21条から第22条の規定により入学、転学部または転学科を許可された者の在学年限については、教授会の議を経て、相当な年限を学部長が定める。

第5章　入学

(入学の時期)

第15条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、第20条および第21条第1項に定める者については、後期の始めとすることができる。

(入学資格)

第16条　本大学に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当するものとする。

イ　高等学校または中等教育学校を卒業した者

ロ　通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)

ハ　外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準じる者で文部科学大臣の指定したもの

ニ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ホ　専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ヘ　文部科学大臣の指定した者

ト　高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

チ　その他本大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学の出願)

第17条　本大学への入学を志願する者は、所定の入学願書および入学検定料に別に定める書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第18条　入学志願者の選考は、教授会の意見を聴いて、学長が行う。

(入学手続および入学許可)

第19条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、所定の書類を提出し、所定の学費を納入しなければならない。

2　学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3　前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ入学の宣誓をするものとする。

(編入学)

第20条　つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学健康科学部心理学科、医療経営学科、社会学科の第3年次に編入学を志願するものがある場合は、志望する学部学科に欠員があるときに限り、選考のうえ編入学を許可することがある。

イ　大学を卒業した者

ロ　大学における2年以上の課程を履修し、62単位以上を取得して退学した者

ハ　外国において、修業年限4年以上の大学を卒業した者、または修業年限4年以上の大学に2年以上在学し62単位以上修得した者

ニ　短期大学、高等専門学校を卒業した者

ホ　外国において、短期大学を卒業した者

ヘ　専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

ト　高等学校等の専攻科(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

2　つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学健康科学部心理学科、医療経営学科、社会学科の第2年次に編入学を志願するものがある場合は、志望する学部学科に欠員があるときに限り、選考のうえ編入学を許可することがある。

イ　大学を卒業した者

ロ　大学における2年以上の課程を履修して退学した者

ハ　外国において、修業年限4年以上の大学を卒業した者、または修業年限4年以上の大学に2年以上在学した者

ニ　短期大学、高等専門学校を卒業した者

ホ　外国において、短期大学を卒業した者

ヘ　専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

ト　高等学校等の専攻科(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

3　その他編入学について必要な事項は、編入学規定に定める。

(転入学および再入学)

第21条　つぎの各号のいずれかに該当する者で、当該大学を退学後引き続き本大学へ入学することを志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に転入学を許可することがある。

イ　本大学以外の大学に入学し、履修歴のある者

ロ　前号と同等以上の学力があると本大学が認める者

2　つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学へ入学することを志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に再入学を許可することがある。

イ　本大学を卒業した者

ロ　本大学を退学した者

ハ　第37条イ号、ロ号またはホ号により除籍になった者

3　その他転入学および再入学について必要な事項は、転入学規定または再入学規定にそれぞれ定める。

(転学部および転学科)

第22条　本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部もしくは転学科を希望する者がある場合は、志望先に欠員のあるときに限り、志願先の教授会の議を経て学部長が選考し、学長が相当年次に転学部または転学科を許可することができる。

2　その他転学部および転学科について必要な事項は、転学部・転学科規定に定める。

(入学者の既修得単位等の取扱い)

第23条　第19条の規定により、入学を許可された者が入学以前に大学または短期大学等において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)のうち30単位を限度として、学部長は教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

2　第20条から前条の規定により、入学、転学部または転学科を許可された者の、本大学もしくは他の大学においてすでに履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が定める。

第6章　教育課程、教職課程および履修方法等

(授業科目)

第24条　授業科目は、基盤教育科目、スタンダード科目、オプション科目および専門教育科目とし、これを必修科目、選択必修科目、選択科目および自由科目に分け、各年次に配当する。

2　前項の区分により、開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。

3　前項の授業科目は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがある。なお、該当科目については、別に定める。

(単位の計算方法)

第25条　授業科目の単位の計算基準は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内

容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位として計算するものとする。

2　前項にかかわらず、「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合、これに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

(成績の評価)

第26条　成績の評価は、試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

2　成績は、S・A・B・C・D・E・F・G・＊の評語をもって表し、S・A・B・C・Gを合格とする。

(単位の授与)

第27条　授業科目を履修し、前条により合格した者には、所定の単位を与える。

(他大学等における授業科目の履修等)

第28条　教育上有益と認めるときは、本大学の同一学部の他の学科、他の学部または他の大学との協議に基づき、学長(他の学科については学部長)は、当該他学科、他学部または他大学の授業科目を履修させることができる。

2　短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3　前2項の規定により修得した単位については、教授会の議に基づき、学部長は30単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(授業および履修の方法)

第29条　授業の方法および内容ならびに年間の授業の計画、成績評価の基準は、あらかじめ学生に明示するものとする。

2　履修の方法、要件等について必要な事項は、各学部の履修規定に定める。

(教職課程)

第29条の2　教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

2　前項により開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。

3　本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第8のとおりとする。

4　前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および修得すべき単位等必要な事項は、履修規定に定める。

第7章　卒業および学位

(卒業)

第30条　本大学に第13条に定める修業年限以上在学して、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

保健医療学部

診療放射線学科　124単位以上

医療技術学科臨床工学専攻　124単位以上

医療技術学科臨床検査学専攻　124単位以上

救急救命学科　124単位以上

総合リハビリテーション学部

リハビリテーション学科　124単位以上

看護学部

看護学科　124単位以上

薬学部

薬学科　186単位以上

健康科学部

心理学科　124単位以上

医療栄養学科　124単位以上

医療経営学科　124単位以上

社会学科　124単位以上

健康スポーツ学部

健康スポーツ学科　124単位以上

2　前項の規定にかかわらず、本学の学生として3年以上在学し、本大学院への進学を希望している者で、学部の定める卒業要件を満たし、かつ、優秀な成績を修めたと認めた場合、学部長が推薦し教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定することができる。

3　第1項の規定により卒業の要件として修得すべき単位のうち、第24条第3項の授業方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

4　学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

(学位の授与)

第31条　本大学を卒業した者には、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。

保健医療学部

診療放射線学科　学士(診療放射線学)

医療技術学科　学士(臨床工学)、学士(臨床検査学)

救急救命学科　学士(救急救命学)

総合リハビリテーション学部

リハビリテーション学科　学士(理学療法学)、学士(作業療法学)、学士(言語聴覚療法学)、学士(義肢装具学)

看護学部

看護学科　学士(看護学)

薬学部

薬学科　学士(薬学)

健康科学部

心理学科　学士(心理学)

医療栄養学科　学士(医療栄養学)

医療経営学科　学士(医療経営学)

社会学科　学士(地域創生学)、学士(社会福祉学)

健康スポーツ学部

健康スポーツ学科　学士(健康スポーツ学)

2　前項のほか、学位について必要な事項は、学位規定に定める。

第8章　休学、留学、退学および除籍

(休学)

第32条　病気その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができない者は、所定の休学願を提出し、所属学部長の許可を得て休学することができる。

2　病気その他修学することが適当でないと認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第33条　休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

2　休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3　前項にかかわらず、第20条の規定により入学を許可された者の休学期間については、

編入学規定に定める。

4　休学期間は、第14条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

第34条　休学期間が満了したとき、または休学期間中にその理由が消滅したときは、所属学部長の許可を得て復学することができる。

2　その他復学について必要な事項は、復学規定に定める。

(留学)

第35条　外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2　学長は、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の意見を聴いて留学を許可する。

3　前項の許可を得て留学した期間は、第14条に定める在学期間に含めることができる。

4　第28条第2項の規定は、外国の大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第36条　退学しようとする者は、所属学部長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第37条　つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

イ　学費を所定の期日までに納入しない者

ロ　休学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者

ハ　第14条に定める在学年限を超えた者

ニ　成業の見込みがないと認められる者

ホ　休学者で休学期間満了前までに、所属学部長に復学を願い出ない者

ヘ　他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者

ト　死亡が確認された者

第9章　賞罰

(表彰)

第38条　成績の特に優秀な学生または表彰に価する行為があった学生は、学生委員会の議を経て、学長が表彰する。

2　その他表彰について必要な事項は、賞罰規定に定める。

(懲戒)

第39条　本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為を

した者は、学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。

2　前項の懲戒の種類は、放学、停学、けん責および訓告とする。

3　前項の放学は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行い、再入学は許可しない。

イ　性行不良で改善の見込みがない者

ロ　正当な理由がなくて出席常でない者

ハ　本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4　停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。

5　その他懲戒について必要な事項は、賞罰規定に定める。

第10章　入学検定料および学費等

(入学検定料)

第40条　入学検定料の額は、手数料収納に関する内規に定める。

(学費等)

第41条　学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第3のとおり定める。ただし、長期履修学生の学費については、広島国際大学長期履修生規定に定める。

2　学費は、所定の期日までに納入しなければならない。

3　休学中の学費は、休学を許可された期の翌期から免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を納入しなければならない。

4　広島国際大学学生海外留学規定に定める留学を許可された場合の学費は、学費納入規定の定めるところにより免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。

5　その他休学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

(既納の入学検定料、学費等)

第42条　既に納入された入学検定料、学費および在籍料は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

第43条　学費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、学費納入規定に定める。

第11章　研究生、研修生、科目等履修生、特別履修生、外国人留学生および帰国学生

(研究生)

第44条　本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるとき

は、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。

2　研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3　研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。

4　研究料の額は、別表第4のとおり定める。

5　その他研究生について必要な事項は、研究生規定に定める。

(研修生)

第44条の2　本大学において、特定の専門事項について研修することを志願する者があるときは、選考のうえ研修生として入学を許可することがある。

2　研修生を志願することのできる者は、高等学校を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3　研修生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。

4　研修料の額は、別表第7のとおり定める。

5　その他研修生について必要な事項は、研修生規定に定める。

(科目等履修生)

第45条　本大学において、特定の授業科目を履修することを志願する者がある場合は、本大学の教育に支障のないときに限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

2　授業科目を履修し合格の評価を受けた者には、所定の単位を与える。

3　履修料の額は、別表第5のとおり定める。

4　その他科目等履修生について必要な事項は、科目等履修生規定に定める。

(特別履修生)

第46条　他の大学(外国の大学を含む)の学生で、本大学において授業科目を履修することを志願する者がある場合は、本大学の教育に支障のないときに限り、当該大学との協議に基づき、特別履修生として入学を許可することがある。

2　その他特別履修生について必要な事項は、特別履修生規定に定める。

(外国人留学生)

第47条　外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。

2　外国人留学生の出願資格は、外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3　本条の規定は、外国人が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(帰国学生)

第48条　帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ帰国学生として入学を許可することがある。

2　帰国生徒の出願資格は、日本国籍を有し、外国における高等学校に原則として2年以上継続して在学し、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3　本条の規定は、帰国生徒が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

第12章　公開講座

(公開講座)

第49条　社会人の教養・知識を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

2　公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

第13章　付属施設

(図書館)

第50条　本大学に、図書館を設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資する。

(情報センター)

第51条　本大学に、情報センターを設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資する。

(保健室)

第52条　本大学に、保健室を設け、本大学の職員および学生の保健衛生に資する。

(心理臨床センター)

第52条の2　本大学に、心理臨床センターを設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資するとともに、地域住民を対象とした心理臨床相談等を行う。

(福利厚生施設)

第53条　本大学に、福利厚生施設を設け、本大学の職員および学生の福利厚生に資する。

第14章　雑則

(細則)

第54条　この学則の施行に必要な細則は、別に定める。

(学則の改廃)

第55条　この学則の改廃は、大学・大学院運営会議および教授会の意見を聴き、学長の承

認を得て、理事会の議を経て理事長が行う。

付　則

1　この学則は、1998年4月1日から施行する。ただし、第40条の別表第2は1998年度入学志願者の出願時から、第41条第1項の別表第3は1998年度入学者の入学手続時から、それぞれ適用する。

2

イ　この改正学則は、2027年4月1日から施行する。なお、学校教育法施行令第23条第2項第4号の規定による届出にかかる収容定員の総数および増加変更に関する計画の期間は以下のとおりとする。

【収容定員数】

収容定員	減少変更前の収容定員
3,820名	4,200名

【計画期間】

増加変更に関する計画期間
2027年4月～2034年3月

ロ　第3条にかかわらず、保健医療学部医療技術学科救急救命学専攻、総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科、医療福祉学部医療福祉学科、医療経営学部医療経営学科、心理学部心理学科および医療栄養学部医療栄養学科は、2020年3月31日に当該学部学科等に在学する者が当該学部学科等に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

ハ　第3条にかかわらず、健康科学部医療福祉学科は、2024年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

ニ　2026年度以前の入学者の学則については、なお従前の例による。

別表第1　教育課程表

Ⅰ　基盤教育科目

保健医療学部

イ　診療放射線学科

授業科目			単位数
基盤教育科目	多職種連携科目群	アカデミックリテラシー	①
		多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①

		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習 II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	②
		物理学	②
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1

		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー		1単位
	多職種連携科目群	2	ー		2単位以上
	人文社会探究科目群	ー	2		2単位以上
	数理探究科目群	4	ー	3※	4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	ー		2単位以上
	ICT活用科目群	2	ー		2単位以上
	スポーツ科目群	1			1単位以上
計		12	5		17単位以上

※各科目群の卒業要件のほか、選択科目から3単位以上を修得すること。

ロ　医療技術学科

①臨床工学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1

		多職種連携総合演習 II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	②
		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①

		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	1*	1単位
	多職種連携科目群	2	ー		2単位以上
	人文社会探究科目群	ー	2		2単位以上
	数理探究科目群	2	ー		2単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	6	ー		6単位以上
	ICT活用科目群	4	ー		4単位以上
	スポーツ科目群	2	ー		2単位
計		17	3		20単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から1単位以上を修得すること。

②臨床検査学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1

		多職種連携総合演習 II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	②
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	②
		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①

		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	2*	1単位
	多職種連携科目群	2	－		2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2		2単位以上
	数理探究科目群	4	－		4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	6	－		6単位以上
	ICT活用科目群	2	－		2単位以上
	スポーツ科目群	－	1		1単位以上
計		15	5		20単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を修得すること。

ハ　救急救命学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	①

		多職種連携総合演習 II	①
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	②
		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①

		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	1単位
	多職種連携科目群	4	ー	4単位以上
	人文社会探究科目群	ー	2	2単位以上
	数理探究科目群	2	ー	2単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	6	ー	6単位以上
	ICT活用科目群	4	ー	4単位以上
	スポーツ科目群	ー	1	1単位以上
計		17	3	20単位以上

総合リハビリテーション学部

リハビリテーション学科

①理学療法学専攻

授業科目	単位数

基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習Ⅱ	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	②
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2

		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	1 単位以上
	多職種連携科目群	2	ー	2 単位以上
	人文社会探究科目群	ー	2	2 単位以上
	数理探究科目群	2	ー	2 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	ー	2 単位以上
	ICT 活用科目群	2	ー	2 単位以上
	スポーツ科目群	ー	1	1 単位以上
計		9	3	12 単位以上

②作業療法学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	②
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2

	ICT 活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	1 単位
	多職種連携科目群	2	ー	2 単位以上
	人文社会探究科目群	ー	2	2 単位以上
	数理探究科目群	2	ー	2 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	ー	2 単位以上
	ICT 活用科目群	2	ー	2 単位以上
	スポーツ科目群	2	ー	2 単位
計		11	2	13 単位以上

③言語聴覚療法学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習Ⅱ	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	②
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2

	ICT 活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	4*	1 単位以上
	多職種連携科目群	2	－		2 単位以上
	人文社会探究科目群	－	2		2 単位以上
	数理探究科目群	2	－		2 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	－		2 単位以上
	ICT 活用科目群	2	－		2 単位以上
	スポーツ科目群	－	1		1 単位以上
計		9	7		16 単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から4単位以上を修得すること。

④義肢装具学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2

	ICT 活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	5*	1 単位以上
	多職種連携科目群	2	ー		2 単位以上
	人文社会探究科目群	ー	2		2 単位以上
	数理探究科目群	ー	1		1 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	ー		2 単位以上
	ICT 活用科目群	2	ー		2 単位以上
	スポーツ科目群	ー	1		1 単位以上
計		7	9		16 単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から5単位以上を修得すること。

看護学部

看護学科

授業科目			単位数
基盤教育科目	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	②
		化学	2
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1

		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計	
基盤教育科目	多職種連携科目群	2	―	2*	2 単位以上
	人文社会探究科目群	―	2		2 単位以上
	数理探究科目群	4	―		4 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	4	―		4 単位以上
	ICT 活用科目群	4	―		4 単位以上
	スポーツ科目群	2			2 単位
計		16	4	20 単位以上	

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を修得すること。

薬学部

薬学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	①
		多職種連携総合演習Ⅱ	①
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	①
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		物理学基礎	①
		化学基礎	①
		生物学基礎	①
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①

		検定英語	①
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	その他	計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	5*	1単位
	多職種連携科目群	4	－		4単位以上
	人文社会探究科目群	－	4		4単位以上
	数理探究科目群	4	－		4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	5	－		5単位以上
	ICT活用科目群	2	1		3単位以上
	スポーツ科目群	－	1		1単位以上
計		16	11		27単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から5単位以上を修得すること。

健康科学部

イ　心理学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習Ⅱ	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1

		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	3*	1 単位
	多職種連携科目群	2	ー		2 単位以上
	人文社会探究科目群	ー	6		6 単位以上
	数理探究科目群	ー	2		2 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	4	2		6 単位以上
	ICT 活用科目群	2	ー		2 単位以上
	スポーツ科目群	2	ー		2 単位

計	11	13	24 単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から3単位以上を修得すること。

ロ　医療栄養学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習 I	①
		多職種連携基礎演習 II	①
		多職種連携総合演習 I	1
		多職種連携総合演習 II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	②
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーション I	①
		英語コミュニケーション II	①
		英語リーディング I	①
		英語リーディング II	①
		検定英語	1
		中国語 I	1

		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	1 単位
	多職種連携科目群	2	ー	2 単位以上
	人文社会探究科目群	ー	2	2 単位以上
	数理探究科目群	4	ー	4 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	4	ー	4 単位以上
	ICT 活用科目群	4	ー	4 単位以上
	スポーツ科目群	1	ー	1 単位以上
計		16	2	18 単位以上

ハ　医療経営学科

授業科目			単位数
基盤教育科目	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	②
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		経営基礎数学Ⅰ	②
		経営基礎数学Ⅱ	②
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1

		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	多職種連携科目群	2	―	2 単位以上
	人文社会探究科目群	2	―	2 単位以上
	数理探究科目群	4	―	4 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	―	2 単位以上
	ICT 活用科目群	4	―	4 単位以上
	スポーツ科目群	―	1	1 単位以上
計		14	1	15 単位以上

健康スポーツ学部

健康スポーツ学科

授業科目	単位数

基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習Ⅱ	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		日本国憲法	②
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2

		コミュニケーション論	2
	ICT 活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕 単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	4＊	1 単位
	多職種連携科目群	2	ー		2 単位以上
	人文社会探究科目群	2	ー		2 単位以上
	数理探究科目群	ー	1		1 単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	4	ー		4 単位以上
	ICT 活用科目群	4	ー		4 単位以上
	スポーツ科目群	2	ー		2 単位
計		15	5		20 単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から4単位以上を修得すること。

Ⅱ　スタンダード科目

健康科学部

社会学科

授業科目		単位数
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	①
	チュートリアル	①
	専門職連携基礎演習Ⅰ	①
	専門職連携基礎演習Ⅱ	①
	専門職連携総合演習Ⅰ	①
	専門職連携総合演習Ⅱ	①
	地域創生と危機管理	①
	情報リテラシー	①
	データサイエンスⅠ	①
	英語コミュニケーションⅠ	①
	英語コミュニケーションⅡ	①
	英語リーディングⅠ	①
	英語リーディングⅡ	①
	スポーツ学	①
	スポーツ実習Ⅰ	①

〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

学科・専攻	必修	選択	計
社会学科	15	―	15単位

Ⅲ　オプション科目

健康科学部

社会学科

授業科目			単位数
オプション科目(ベーシック)	グローバル	中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
	情報学	プログラミングⅠ	1
	人間と文化	哲学	2
		文学	2
		心理学	2

		芸術学	2
		文化人類学	2
	人間と社会	法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	人間と自然	統計学	2
		数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		科学実験a	1
		科学実験b	1
	総合	日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
オプション科目(アドバンスド)	グローバル	Reading&Writing	1
		英語プレゼンテーション	1
		検定英語	1
		グローバル化と人間a	1
		グローバル化と人間b	1
	情報学	データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅡ	1
	保健体育	スポーツ実習Ⅱ	1
	人間と文化	人間と文化a	1
		人間と文化b	1
	人間と社会	人間と社会a	1
		人間と社会b	1
	人間と自然	人間と自然a	1
		人間と自然b	1
	総合	教養ゼミ	1

【留学生特例科目】

授業科目	単位数

オプション科目	人間と社会	日本事情a	2
		日本事情b	2
	グローバル	日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

1　オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数

2　オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱの単位数

【卒業に必要な単位数】

学科・専攻	必修	選択	計
社会学科	―	8	8単位以上

Ⅳ　専門教育科目

保健医療学部

イ　診療放射線学科

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体構造学	②
		人体生理機能学	②
		生化学	①
		病理学	②
		保健医療学概論(生命倫理を含む)	②
		臨床医学概論	②
		保健医療学演習	1
		公衆衛生学	②
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論・演習	①
		放射線学のための数学入門	1
		基礎数学・演習	1
		基礎物理学・演習	1
		基礎科学実験	②

		放射線物理学Ⅰ	②
		放射線物理学Ⅱ	②
		電気電子工学Ⅰ	②
		電気電子工学Ⅱ	②
		放射化学	②
		放射線計測学	②
		放射線生物学	②
専門分野	診療画像技術学・臨床画像学	診療画像機器学Ⅰ	②
		診療画像機器学Ⅱ	①
		X線撮影技術学Ⅰ	②
		X線撮影技術学Ⅱ	②
		CT検査技術学	②
		MRI検査技術学	②
		超音波検査技術学	①
		造影医薬品学	1
		画像解剖学	②
		画像読影学	②
		臨床医学Ⅰ（画像診断学を含む）	②
		臨床医学Ⅱ（画像診断学を含む）	1
	核医学検査技術学	放射性医薬品学	1
		核医学機器学	②
		核医学検査技術学	②
		核医学検査学	②
	放射線治療技術学	放射線腫瘍学	①
		放射線治療機器学	②
		放射線治療技術学Ⅰ	②
		放射線治療技術学Ⅱ	②
	医療画像情報学	医用画像工学Ⅰ	②
		医用画像工学Ⅱ	②
		医用データサイエンス(AIを含む)	①
		医用画像工学実験・演習	①
		医用画像情報システム学	①

	放射線安全管理学	放射線関係法規	②
		放射線安全管理学	②
	医療安全管理学	救急医療	1
		医療安全管理学	②
	実践臨床画像学	実践臨床技術学	②
専門分野	臨床実習	臨床実習Ⅰ	②
		臨床実習Ⅱ	⑩
	技術学総合・関連分野	基礎放射線工学実験	②
		総合放射線工学実験	②
		医療英語	②
		国際診療放射線学実習	1
		放射線科学応用演習	1
		放射線科学基礎演習Ⅰ	2
		放射線科学基礎演習Ⅱ	2
		放射線科学総合演習Ⅰ	2
		放射線科学総合演習Ⅱ	2
		卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	8*
専門基礎分野	30	
専門分野	68	
計	99	8
	107 単位以上	

＊「基礎数学・演習（1単位）」または「基礎物理学・演習（1単位）」を修得すること。

ロ　医療技術学科

①臨床工学専攻

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造及び機能	人体構造機能学Ⅰ	②
		人体構造機能学Ⅱ	②
		人体構造機能学実習	①
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	①
		公衆衛生学	②
		病理学	②
		生化学	②
		薬理学	②
		チーム医療概論	①
専門分野	臨床工学に必要な理工学的基礎	電気・電子工学Ⅰ	②
		電気・電子工学Ⅱ	②
		電気・電子工学演習	①
		電気工学実習	①
		電子工学実習	①
		計測工学	②
		基礎数学・物理学	②
		応用数学	②
		機械工学	②
	臨床工学に必要な情報技術とシステム工学の基礎医療	情報科学概論	②
		システム工学	②
		医療情報技術学演習	①
		医工学概論	②
	医用生体工学	生体物性工学	②
		医用生体工学	②
		医用材料工学	②
	医用機器及び臨床支援技術	手術治療機器学	②
		臨床支援技術学演習・実習	①
		医用治療機器学	②

		医用機器学実習	①
		生体計測技術学	②
		生体計測技術学実習	①
		臨床支援技術学Ⅰ	②
		臨床支援技術学Ⅱ	②
	生体機能代行技術学	体外循環技術学	②
		体外循環技術学演習	①
		呼吸療法技術学	②
		呼吸療法技術学演習	①
		血液浄化技術学	②
		血液浄化技術学演習	①
		生体機能代行技術学実習	③
	医療安全管理学	機器安全管理学	②
		機器安全管理学実習	①
		医療安全管理学演習	①
		臨床工学関係法規	②
	関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ	②
		臨床医学総論Ⅱ	②
		臨床医学総論Ⅲ	②
		臨床医学総論演習	①
	臨床実習	臨床工学実習Ⅰ	1
		臨床工学実習Ⅱ	5
		臨床工学総合演習	1
専門分野	キャリア涵養教育	キャリア支援Ⅰ	①
		キャリア支援Ⅱ	①
		キャリア支援Ⅲ	①
		早期体験演習Ⅰ	①
		早期体験演習Ⅱ	①
		生命倫理	①
	卒業研究	卒業研究方法論	①
		卒業研究	②
	技術総合	臨床工学演習Ⅰ	①

		臨床工学演習Ⅱ	①
		臨床工学演習Ⅲ	①
		臨床工学演習Ⅳ	①
	キャリア構築のための研鑽	基礎医療情報学演習Ⅰ	1
		基礎医療情報学演習Ⅱ	1
		臨床コミュニケーション演習	1
		医療英語	2
		国際臨床工学	1
		医用画像工学	2
		心電図判読演習Ⅰ	1
		心電図判読演習Ⅱ	1
		集中治療技術学演習	1
		基礎血液学	1
		災害臨床工学演習	1
		キャリア探求演習	1

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	9
専門基礎分野	15	
専門分野	79	
計	95	9
	104 単位以上	

②臨床検査学専攻

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門教育	病態学	臨床病態学Ⅰ	②
		臨床病態学Ⅱ	②
		臨床病態学Ⅲ	②

		人体構造学	②
		人体構造学実習	①
		人体生理機能学	②
		人体生理機能学実習	①
		生化学	②
		栄養学	①
		薬理学	②
		病理学	②
		感染制御学	①
	公衆衛生学	公衆衛生学	②
		臨床検査関係法規	①
		医学概論	①
	医用工学概論、尿・糞便等一般検査学、臨床検査総合管理学	医用工学概論	①
		医用工学概論実習	①
		検査機器総論	①
		情報科学概論	②
		一般検査学Ⅰ	②
		一般検査学実習Ⅰ	①
		一般検査学Ⅱ	②
		一般検査学実習Ⅱ	①
		検査総合管理学	①
		早期体験演習	①
	血液検査学	臨床血液学	②
		臨床血液学実習	①
		臨床血液学演習	①
	病理検査学	病理組織細胞学Ⅰ	②
		病理組織細胞学Ⅱ	②
		病理組織細胞学演習	①
		病理組織細胞学実習	①
	生化学検査学	臨床化学	②
		臨床化学実習	①
		臨床化学演習	①

	免疫検査学	臨床免疫学	②
		臨床免疫学実習	①
		臨床免疫学演習	①
	遺伝子関連・染色体検査学	先進医療技術学実習	①
		先進医療技術学演習	①
	輸血・移植検査学	輸血・移植検査学	②
		輸血・移植検査学実習	①
		輸血・移植検査学演習	①
	微生物検査学	臨床微生物学総論	②
		臨床微生物学各論	②
		臨床微生物学実習	①
		臨床微生物学演習	①
	生理検査学、医療安全管理学	臨床生理学Ⅰ	②
		臨床生理学Ⅱ	②
		臨床生理学実習	③
		臨床生理学演習	①
		心電図検査学	①
		医療安全管理学	②
		医療安全管理学実習	①
専門教育	臨地実習	臨地実習総合演習	①
		臨床検査学実習	⑪
	総合演習科目群	臨床検査学演習Ⅰ	②
		臨床検査学演習Ⅱ	②
		臨床検査学演習Ⅲ	②
	先端研究科目群	生命倫理	①
		卒業研究方法論	①
		卒業研究	②
	発展的学修科目群	医療英語	2
		健康食品学	2
		食品衛生学	2
		医用画像工学	2
		国際臨床検査学	1

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	2
専門教育	101	
計	102	2
	104 単位以上	

③救急救命学科

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
基礎分野	科学的思考の基盤	自然災害防災論	①
		救急実務英語	①
		ライフサイエンス論Ⅰ	①
		ライフサイエンス論Ⅱ	①
		救急統計学	②
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造生理学Ⅰ	②
		人体構造生理学Ⅱ	②
		人体構造生理学実習	①
	疾患の成り立ちと回復の過程	病理学	①
		生化学	①
		薬理学	①
		救急検査概論	①
	健康と社会保障	公衆衛生学	①
専門分野	救急医学概論	生命倫理	①
		病院前救急医療概論	①
		救急災害システム論	②
		救急関係法規	①
		救急救命処置概論	②

		災害・救護ボランティア演習	①
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学Ⅰ	②
		救急症候・病態生理学Ⅱ	②
		臨床病態学Ⅰ	②
		臨床病態学Ⅱ	②
	疾病救急医学	救急現場活動学	②
		特定行為処置論	②
		小児科学	②
		産婦人科学	①
		精神医学	①
	外傷救急医学	外傷救急医学Ⅰ	②
		外傷救急医学Ⅱ	②
	環境障害・急性中毒医学	環境障害・急性中毒学	①
	臨地実習	救急救命処置実習Ⅰ	②
		救急救命処置実習Ⅱ	②
		救急救命処置実習Ⅲ	④
		救急救命処置実習Ⅳ	④
		救急救命高度実習Ⅰ	②
		救急救命高度実習Ⅱ	②
		救急救命総合実習	②
		応急手当実習Ⅰ	①
		応急手当実習Ⅱ	①
		救急システム実習Ⅰ	①
		救急システム実習Ⅱ	①
		救急システム実習Ⅲ	①
		救急システム実習Ⅳ	④
		臨床救急実践演習・実習	②
		国内救急救命事情	❒
		国際救急救命学	❒
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②

専門総合分野	総合技術	救急救命学Ⅰ	②
		救急救命学Ⅱ	②
		救急救命学Ⅲ	2
		救急救命学Ⅳ	4
		救急救命総合学	2
		教養総合学Ⅰ	②
		教養総合学Ⅱ	②
		教養総合学Ⅲ	②
		教養総合学Ⅳ	②
		教養総合学Ⅴ	②

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門基盤	1	－	10*2
基礎分野	6	－	
専門基礎分野	10	－	
専門分野	62	1*1	
専門総合分野	14	－	
計	93	1	
	94 単位以上		

＊1：「国内救急救命事情（1単位）」または「国際救急救命学（1単位）」を修得すること。

＊2：基盤教育科目（留学生特例科目を除く）、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

総合リハビリテーション学部

イ　理学療法学専攻

授業科目	単位数

専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	②
		解剖学II	②
		解剖学実習	②
		生理学Ⅰ	②
		生理学II	②
		生理学実習	②
		身体運動学	②
		身体運動学実習	②
		人間発達学	②
		基礎解剖学	1
		基礎生理学	1
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	生命倫理	②
		医学概論	②
		リハビリテーション心理学	②
		内科学Ⅰ	②
		内科学II	②
		整形外科学Ⅰ	②
		整形外科学II	②
		精神医学	②
		脳神経学	②
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	②
		公衆衛生学	②
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	②
		理学療法研究法Ⅰ	①
		理学療法研究法II	①
		臨床運動学	②
		臨床運動学実習	②
	理学療法管理学	理学療法演習	②
		理学療法管理運営学	①

	理学療法評価学	理学療法評価学概論	②
		理学療法評価学実習 I	②
		理学療法評価学実習 II	②
		日常生活活動評価学	①
	理学療法治療学	運動器理学療法治療学概論	②
		運動器理学療法治療学実習	②
		スポーツ理学療法学	1
		運動器疼痛理学療法学演習	1
		スポーツ理学療法演習	1
		中枢神経系理学療法治療学概論 I	①
		中枢神経系理学療法治療学概論 II	①
		中枢神経系理学療法治療学実習 I	①
		中枢神経系理学療法治療学実習 II	①
		脳血管障害理学療法学演習	1
		神経理学療法学演習	1
		内部障害理学療法治療学概論 I	①
		内部障害理学療法治療学概論 II	①
		内部障害理学療法治療学実習 I	①
		内部障害理学療法治療学実習 II	①
		循環器理学療法学演習	1
専門分野	理学療法治療学	呼吸理学療法学演習	1
		運動療法学	①
		運動療法実習	②
		物理療法学	①
		物理療法学実習	②
		発達障害理学療法学	①
		Women's/Men's health 理学療法演習	1
		義肢装具学	②
	地域理学療法学	地域理学療法学	①
		生活支援系理学療法学概論	②
		生活支援系理学療法学実習	②
		地域在宅理学療法学演習	1

	臨床実習	臨床見学実習	①
		臨床評価実習 I	②
		臨床評価実習 II	⑥
		総合臨床実習	⑩
		地域理学療法実習	①
専門相貌分野	総合技術	卒業研究	④

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	3
専門基礎分野	40	
専門分野	64	
専門相貌分野	4	
計	109	3
	112 単位以上	

ロ　作業療法学専攻

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	②
		解剖学Ⅱ	②
		解剖学実習	②
		生理学 I	②
		生理学Ⅱ	②
		生理学実習	②
		運動学	②
		運動学実習	②
		人間発達学	②

	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	医学概論	②
		内科学Ⅰ	②
		内科学Ⅱ	②
		整形外科学	②
		精神医学	②
		脳神経学	②
		リハビリテーション医学	②
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	生命倫理	②
		発達障害学	②
		リハビリテーション心理学	②
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	①
		作業療法研究法	①
		作業学	①
		作業学実習	②
		作業療法理論	①
	作業療法管理学	作業療法管理学	②
	作業療法評価学	作業療法評価学総論	①
		神経系機能能力評価学	①
		神経系機能能力評価学実習	②
		運動系機能能力評価学	①
		運動系機能能力評価学実習	②
		精神・認知機能能力評価学	①
	作業療法治療学	作業療法治療学総論	②
		内部障害作業療法学	①
		内部障害作業療法学演習	①
		脳血管障害作業療法学	①
		脳血管障害作業療法学演習	①
		運動器障害作業療法学	①

		運動器障害作業療法学演習	①
		老年期作業療法学	①
		老年期作業療法学演習	①
		発達障害作業療法学	①
		発達障害作業療法学演習	①
		精神障害作業療法学	①
		精神障害作業療法学演習	①
		義肢装具学総論	②
		日常生活活動学	①
		日常生活活動学実習	②
専門分野	地域作業療法学	地域作業療法学	①
		公衆衛生学	2
		ヘルスプロモーション論	2
		介護予防方法論	①
		福祉住環境コーディネート論	①
		就労支援技術学	①
専門分野	臨床実習	地域リハビリテーション実習	①
		見学実習	②
		評価実習	⑤
		総合臨床実習	⑭
		卒業研究	④
専門総合分野	総合技術	作業療法学演習Ⅰ	①
		作業療法学演習Ⅱ	①
		作業療法学演習Ⅲ	①
専門選択分野		アートと作業療法	1
		スポーツと作業療法	1
		食（薬膳）と作業療法	1
		ゲームと作業療法	1
		観光グルメと作業療法	1
		学校・保育園と作業療法	1
		カワイイと作業療法	1
		画像表現と作業療法	1

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	―
専門基礎分野	38	―
専門分野	65	2
専門総合分野	3	―
専門選択分野	―	2
計	107	4
	111 単位以上	

ハ　言語聴覚療法学専攻

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
基礎分野	言語聴覚療法の基盤	コミュニケーション論演習	②
		リハビリテーション栄養学	①
専門基礎分野	人体のしくみ・疫病と治療	医学概論	②
		解剖学Ⅰ	②
		解剖学Ⅱ	②
		生理学Ⅰ	②
		生理学Ⅱ	②
		人間発達学	2
		公衆衛生学	2
		内科学	①
		小児科学	①
		精神医学	②

		リハビリテーション医学	②
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	②
		脳神経学	②
		歯科口腔・形成外科学	①
		音声聴覚医学	①
	心の働き	臨床心理学	②
		生涯発達心理学	②
		学習心理学	②
		認知心理学	②
		カウンセリング	2
	言語とコミュニケーション	言語学	②
		音声学	②
		言語発達学	②
		音響学	②
		拡大・代替コミュニケーション論	①
	社会保障・教育とリハビリテーション	社会保障制度論	①
		生活環境科学	1
専門分野	地域言語聴覚療法学	地域言語聴覚療法学	②
	言語聴覚障害総論	言語聴覚障害学概論Ⅰ	①
		言語聴覚障害学概論Ⅱ	①
	失語・高次脳機能障害学	認知系障害学概論Ⅰ	②
		認知系障害学概論Ⅱ	②
		認知系障害学演習Ⅰ	①
		認知系障害学演習Ⅱ	①
	言語発達障害学	発達系障害学概論Ⅰ	②
		発達系障害学概論Ⅱ	②

		発達系障害学演習Ⅰ	①
		発達系障害学演習Ⅱ	①
	発声発語・摂食嚥下障害学	発声発語系障害学概論Ⅰ	②
		発声発語系障害学概論Ⅱ	②
		発声発語系障害学演習	①
		嚥下系障害学概論Ⅰ	②
		嚥下系障害学概論Ⅱ	②
		嚥下系障害学演習	①
専門分野	聴覚障害学	聴覚系障害学概論Ⅰ	②
		聴覚系障害学概論Ⅱ	②
		聴覚系障害学演習Ⅰ	①
		聴覚系障害学演習Ⅱ	②
	言語聴覚療法管理学	言語聴覚療法管理学	②
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	②
		臨床実習Ⅱ	④
		臨床実習Ⅲ	⑧
		臨床実習Ⅳ	①
	総合技術	言語聴覚障害学特別講義Ⅰ	①
		言語聴覚障害学特別講義Ⅱ	①
		言語聴覚学演習	②
		卒業研究	④

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	6
基礎分野	3	
専門基礎分野	40	

専門分野	58	
計	102	6
	108 単位以上	

ニ　義肢装具学専攻

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	②
		解剖学Ⅱ	②
		運動学	②
		内科学	①
		臨床心理学	①
		医学概論	②
		関係法規	①
		人間発達学	②
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	②
		整形外科学Ⅰ	②
		整形外科学Ⅱ	②
		脳神経学	②
		生命倫理	②
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	②
		作業療法概論	①
		理学療法概論	①
	義肢装具領域における工学	図学・製図学	①
		機構学	①
		制御工学	①
		統計学演習	①
		リハビリテーション工学	②
		義肢装具生体力学	②
		義肢装具生体力学実習	②

専門分野	基礎義肢装具学	義肢装具学概論	②
		義肢装具基礎工作実習	①
		義肢装具材料学	②
		義肢装具材料力学	②
		装具基礎工作論	①
		装具基礎工作実習	④
		基礎工作実習Ⅰ	4
		義肢基礎工作論	①
		義肢基礎工作実習	④
		基礎工作実習Ⅱ	4
	義肢学	義肢Ⅰ(下腿義足)	①
		義肢Ⅰ実習(下腿義足)	③
		義肢Ⅱ(義手)	①
		義肢Ⅱ実習(義手)	②
		義肢Ⅲ(大腿義足)	①
		義肢Ⅲ実習(大腿義足)	③
		義肢Ⅳ(特殊義肢)	①
	装具学	装具Ⅰ(体幹装具)	①
		装具Ⅰ実習(体幹装具)	③
		装具Ⅱ(靴型装具)	①
		装具Ⅱ実習(靴型装具)	②
		装具Ⅲ(下肢装具)	①
		装具Ⅲ実習(下肢装具)	③
		装具Ⅳ(上肢装具)	①
		装具Ⅳ実習(上肢装具)	④
	福祉用具学	車いす論	①
		福祉用具支援論	①
		座位保持装置論	①
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	1
		臨床実習Ⅱ	④
		臨床実習Ⅲ	⑥
応用分野		義肢装具学演習	①

	Digltal Brace Manufacturing(DBM)	1
	Digital Feature Fitting(DFF)	1
	特殊補装具学(エピテーゼ)	1
	キャリアセミナー	1
	研究リテラシー	①
	卒業研究	④

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	6
専門基礎分野	37	
専門分野	58	
応用分野	6	
計	102	6
	108 単位以上	

看護学部

看護学科

授業科目			単位数
専門基礎分野		チュートリアル	①
	疾病の成り立ちと回復の促進 人体の構造と機能	医療・生命倫理	①
		医学・医療概論	①
		人体の構造と生理機能Ⅰ	②
		人体の構造と生理機能Ⅱ	②
		栄養・代謝学と臨床生化学	②
		臨床薬理学	②
		微生物学	②
		臨床病態学Ⅰ	②
		臨床病態学Ⅱ	②

		臨床病態学Ⅲ	②
		臨床心理学	②
専門分野	健康支援と社会保障制度	社会保障論	①
		看護関係法規	①
		保健医療福祉行政論Ⅰ	②
		疫学Ⅰ	①
		保健統計Ⅰ	①
	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	②
		看護学概論Ⅱ	①
		基礎看護技術演習Ⅰ	①
		基礎看護技術演習Ⅱ	②
		基礎看護技術演習Ⅲ	②
		看護診断学演習	①
		看護実践論	①
		看護管理学	①
		基礎看護学実習Ⅰ	①
		基礎看護学実習Ⅱ	②
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護学概論	②
		地域・在宅看護学各論	②
		地域・在宅看護学演習	②
		地域・在宅看護学実習Ⅰ	①
		地域・在宅看護学実習Ⅱ	②
	成人看護学	成人看護学概論Ⅰ	①
		成人看護学概論Ⅱ	①
		成人看護学各論Ⅰ	①
		成人看護学各論Ⅱ	①
		成人看護学演習Ⅰ	①
		成人看護学演習Ⅱ	①
		成人看護学実習Ⅰ	③
		成人看護学実習Ⅱ	③
	老年看護学	老年看護学概論	②
		老年看護学各論	①

		老年看護学演習	①
		老年看護学実習	③
	小児看護学	小児看護学概論	②
		小児看護学各論	①
		小児看護学演習	①
		小児看護学実習	②
	母性看護学	母性看護学概論	②
		母性看護学各論	①
		母性看護学演習	①
		母性看護学実習	②
専門分野	精神看護学	精神看護学概論	②
		精神看護学各論	①
		精神看護学演習	①
		精神看護学実習	②
	看護の統合と実践	公衆衛生看護学概論	②
		看護学総合演習	③
		研究方法論	②
		卒業研究	②
		統合看護学実習	②
	看護の応用・発展	カウンセリング理論と技法	1
		人間の発達と人間関係	1
		緩和ケア論	1
		災害看護学	1
		感染制御学	1
		メンタルヘルス支援論	1
		子育て支援論	1
		国際看護論	1
		救急看護論	1
	公衆衛生看護学系	公衆衛生看護活動論	2
		公衆衛生看護方法論Ⅰ	2
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	2
		公衆衛生看護管理論	2

		公衆衛生看護方法論Ⅲ	2
		公衆衛生看護方法論Ⅳ	2
		公衆衛生看護学実習	5
		疫学Ⅱ	1
		保健医療福祉行政論Ⅱ	1
		保健統計Ⅱ	1
		学校保健	1
		産業保健	1

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基礎分野	21	6
専門分野	77	
計	98	6
	104 単位以上	

薬学部

薬学科

授業科目		単位数
専門科目	チュートリアル	①
	薬学数学	①
	物理化学Ⅰ	①
	分析化学Ⅰ	①
	有機化学Ⅰ	①
	生化学Ⅰ	①
	解剖生理学Ⅰ	①
	薬学へのいざない	①
	医療コミュニケーション	①
	医療統計学	①
	基礎調剤学	①

	早期臨床体験	①
	MAPLE Ⅰ	①
	物理化学Ⅱ	①
	物理化学Ⅲ	①
	分析化学Ⅱ	①
	分析化学Ⅲ	①
	有機化学Ⅱ	①
	有機化学Ⅲ	①
	生薬学	①
	生化学Ⅱ	①
	遺伝子	①
	微生物学	①
	細胞生物学・免疫学概論	①
	生活環境と健康	①
	栄養と食品	①
	解剖生理学Ⅱ	①
	病態と薬理総論	①
	病態と薬理Ⅰ	①
	薬の生体内運命	①
	医薬品情報	①
	MAPLEⅡ	①
	物理化学・分析化学実習	②
	有機化学・生薬学実習	②
	生物学実習	②
	衛生薬学実習	②
	調剤実習Ⅰ	①
	調剤実習Ⅱ	①
	有機化学Ⅳ	①
	免疫学	①
	食品衛生学	①
	社会集団と健康	①
	化学物質の生体影響	①

	病態と薬理Ⅱ	①
	病態と薬理Ⅲ	①
	病態と薬理Ⅳ	①
	感染症学	①
	漢方医薬学	①
	薬物動態解析学	①
	製剤設計Ⅰ	①
専門科目	製剤設計Ⅱ	①
	臨床薬剤学	①
	薬事関係法規・制度Ⅰ	①
	臨床実務学	①
	臨床推論	①
	複合演習（薬剤）	①
	MAPLEⅢ	①
	薬理学実習	②
	薬剤学実習	②
	調剤実習Ⅲ	①
	薬学英語Ⅰ	①
	環境因子の生体影響	①
	感染症治療学	①
	病態と薬理Ⅴ	①
	薬事関係法規・制度Ⅱ	①
	患者情報	①
	治療解析基礎	①
	複合演習（衛生）	①
	複合演習（薬物治療Ⅰ）	①
	複合演習（薬物治療Ⅱ）	①
	MAPLEⅣ	①
	基礎薬学演習Ⅰ	①
	基礎薬学演習Ⅱ	③
	実務事前実習	③
	卒業研究Ⅰ	⑤

	治療解析応用	①
	学外実務実習	⑳
	卒業研究Ⅱ	⑤
	総合薬学演習 I	⑨
	総合薬学演習 II	⑨
	卒業研究Ⅲ	②
	生物系薬学演習 B	❶
	物理系薬学演習 B	❶
	化学系薬学演習 B	❶
	数学基礎演習	①
	化学基礎演習	①
	生物学基礎演習	①
	物理学基礎演習	①
	生物系薬学演習 A	❶
	物理系薬学演習 A	❶
	化学系薬学演習 A	❶
	薬学英語Ⅱ	1
	研究実践入門	2
	薬学研究リテラシー	2
	香粧品と医用材料学	2
	健康増進疾病予防演習	2
	アドバンスド実務実習	2
	総合医薬科学	2
	医薬品の開発と評価	2
	専門薬剤師の任務	2
	地域医療における薬剤師の任務	2
	リプロダクティブ・ヘルスと薬学	2
	漢方臨床推論	2
	がん治療の基礎と臨床	2
	未来の薬学/イノベーションと社会貢献	2

〔注〕 単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門科目	139	20*
計	139	20
	159 単位以上	

＊選択必修科目である「物理系薬学演習A」「物理系薬学演習B」のいずれか1単位、「化学系薬学演習A」「化学系薬学演習B」のいずれか1単位、「生物系薬学演習A」「生物系薬学演習B」のいずれか1単位の計3単位を含め、20単位以上を修得すること。

健康科学部

イ　心理学科

授業科目		単位数
専門基盤（学科必修科目）	チュートリアル	①
学部共通横断科目	健康科学概論	②
	スポーツ・エンターテインメント演習	1
学科必修科目	心理学の学びとキャリアプランニングⅠ	①
	心理学の学びとキャリアプランニングⅡ	①
	専門基礎演習	①
	専門演習Ⅰ	②
	専門演習Ⅱ	②
	卒業研究Ⅰ	②
	卒業研究Ⅱ	②
	心理学概論	②
	心理学統計法	②
	心理学研究法A	②
	心理学実験	②
	健康コミュニケーション論	①

	睡眠改善学	②
心理学総合科目	感情・人格心理学	2
	学習・言語心理学	2
	知覚・認知心理学	2
	神経・生理心理学	2
	心理学研究法Ｂ	2
	心理学研究法Ｃ	2
	スポーツ心理学	2
	心理学応用実験	1
	動物心理学	2
	色彩心理学	2
	多変量解析演習	2
	外国書購読	2
臨床心理プログラム科目	臨床心理学概論	2
	心理学的支援法	2
	公認心理師の職責	2
	心理的アセスメント	2
	精神疾患とその治療	2
	福祉心理学	2
	人体の構造と機能及び疾病	2
	関係行政論	2
	精神保健	2
	認知行動療法	2
	心理演習Ⅰ	2
	心理演習Ⅱ	2
	実践臨床心理学	1
子ども・健康心理プログラム科目	公衆衛生学	2
	発達心理学	2
	健康・医療心理学	2
	障害者・障害児心理学	2

	教育・学校心理学	2
	健康相談活動の理論と方法	2
	学校カウンセリング	2
	高齢者支援演習	2
	子育て支援論	2
	保育心理学	2
	学校保健	2
	小児保健学	2
	小児救急処置演習	2
	看護学概論	2
	衛生学	2
	養護概説	2
	食と栄養の基礎	2
ビジネス・社会心理プログラム科目	社会・集団・家族心理学 A	2
	社会・集団・家族心理学 B	2
	司法・犯罪心理学	2
	産業・組織心理学	2
	社会調査法概論	2
	社会心理調査法実習	2
	ビジネス・社会活動マナー演習	2
	コミュニティ心理学	2
	消費者心理学	2
	環境心理学	2
	心理学と人間工学	2
学外実習科目	地域支援実習	1
	心理実習	2
	心理学実践実習	1
	コミュニケーション実習	2
	メディアコミュニケーション実習	1
目 科 連 関	教育原論	2

	教職概論	2
	ウェルネス・ビジネス演習Ⅰ	2
	ウェルネス・ビジネス演習Ⅱ	2
	キャリア体験A	1
	キャリア体験B	1
	微生物学	2
	看護学実習	2
	看護技術論	2
	特別支援教育論	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門教育科目	25	61*1	14*2
計	25	61	
	86単位以上		

＊1：専門教育科目（選択）の「学外実習科目」から2単位を含む61単位以上を修得すること。ただし、「関連科目」で修得した単位は、その他区分の14単位に含める。

＊2：基盤教育科目から24単位を超えて修得した単位、所属学科の専門教育科目（選択）のうち61単位を超えて修得した単位および「関連科目」で修得した単位、他学科の専門教育科目で修得した単位を合計して14単位以上を修得すること

ロ　医療栄養学科

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	社会・環境と健康	公衆衛生学Ⅰ	②
		公衆衛生学Ⅱ	②
		公衆衛生学Ⅲ	②

		公衆衛生学実習	①
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生理学	②
		解剖学	②
		解剖生理学実習	①
		生化学Ⅰ	②
		生化学Ⅱ	②
		生化学実験	①
		病態学Ⅰ	②
		病態学Ⅱ	②
		病態学Ⅲ	②
		病態生理学実習	①
	食べ物と健康	調理学	②
		調理学実習	①
		調理科学実験	①
		食品化学Ⅰ	②
		食品化学Ⅱ	②
		食品化学実験	①
		食品加工学	②
		食品加工学実習	①
		食品衛生学	②
		食品衛生学実験	①
		献立作成実習	①
専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学	②
		基礎栄養学実験	①
		食事摂取基準演習	①
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	②
		応用栄養学Ⅱ	②
		応用栄養学Ⅲ	②
		応用栄養学実習	①
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	②
		栄養教育論Ⅱ	②
		栄養教育論Ⅲ	②

		栄養教育論実習	①
	臨床栄養学	臨床栄養学総論	②
		臨床栄養学各論Ⅰ	②
		臨床栄養学各論Ⅱ	②
		臨床栄養学各論Ⅲ	②
		臨床栄養学実習Ⅰ	①
		臨床栄養学実習Ⅱ	①
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	②
		公衆栄養学Ⅱ	②
		公衆栄養学実習	①
	給食経営管理論	給食経営管理総論	②
		給食経営管理各論	②
		給食経営管理実習Ⅰ	①
		給食経営管理実習Ⅱ	①
専門分野	総合演習	総合演習Ⅰ	①
		総合演習Ⅱ	〔1〕
		総合演習Ⅲ	①
		総合演習Ⅳ	1
		総合演習Ⅴ	〔1〕
		総合専門演習Ⅰ	①
		総合専門演習Ⅱ	〔2〕
	臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	①
		臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	〔1〕
		臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	②
		臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	1
		臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	〔1〕
	医療人養成に向けた基礎教育	管理栄養士概論	①
		早期体験学習	①
		医療・生命倫理	①
		医学・医療概論	①
		健康科学概論	①
	他科目との関連	スポーツ・エンターテインメント演習	1

		スポーツ栄養サポート論Ⅰ	1
		スポーツ栄養サポート論Ⅱ	1
		スポーツ栄養サポート論Ⅲ	1
		スポーツ栄養マネジメント演習Ⅰ	1
		スポーツ栄養マネジメント演習Ⅱ	1
		メニュー開発演習Ⅰ	1
		メニュー開発演習Ⅱ	1
		地域コミュニケーション演習	1
		栄養薬学	2
		医療・福祉・介護と栄養ケア	2
		卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②
		卒業研究Ⅲ	②

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

〔注〕 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	11*
専門基礎分野	40	
専門分野	54	
計	95	11
	106 単位以上	

＊専門分野の「総合演習（総合専門演習Ⅱを除く）」および「臨地実習」から、選択科目である「総合演習Ⅱ」と「臨地実習Ⅱ」の計2単位、または「総合演習Ⅴ」と「臨地実習Ⅴ」の計2単位のいずれかを修得すること。あわせて、専門分野の「総合専門演習Ⅱ」または「卒業研究Ⅲ」のいずれか2単位を修得すること。なお、管理栄養士国家試験の受験資格を得るためには、専門分野の「総合専門演習Ⅱ（2単位）」を修得すること。

ハ　医療経営学科

授業科目		単位数
学部共通 横断科目	健康科学概論	②
	スポーツ・エンターテインメント演習	1
学科必修科目	チュートリアル	①
	文章技術	①
	社会のしくみ	②
	人体のしくみ	②
	病院のしくみ	②
	経営学入門Ⅰ	②
	経営学入門Ⅱ	②
	社会保障論	②
	ひろしま学	②
	情報システム学入門	②
	医学・医療概論	②
	医療制度概論	②
	思いやり演習Ⅰ	①
	思いやり演習Ⅱ	①
	思いやり演習Ⅲ	①
	まちづくり PBL 基礎演習	②
	ホスピタリティ・ボランティア活動	①
	救急処置演習	①
	専門基礎演習	②
	専門演習Ⅰ	②
	専門演習Ⅱ	②
	卒業研究Ⅰ	②
	卒業研究Ⅱ	②
経営科目	地域支援実習	1
	簿記論	2
	簿記演習	1
	経営組織論	2
	人的資源管理論	2
	経営戦略論	2

	会計学	2
	ミクロ経済学	2
	マーケティング論	2
	情報システム学	2
	データサイエンス経営	2
	組織行動論	2
	ウェルビーイング論	2
	ダイバーシティ&インクルージョン	2
	行動経済学	2
	管理会計	2
	マクロ経済学	2
	非営利組織経営論	2
	非営利組織会計論	2
	生産管理論	2
	品質マネジメント論	2
	DX 論	2
	アドバンスト経営論Ⅰ	2
	アドバンスト経営論Ⅱ	2
	戦略会計ゲーム論	2
医療と○○科目	医療と経営Ⅰ	2
	医療と経営Ⅱ	2
	医療と経営Ⅲ	2
	医療と情報システム	2
	医療と地域システム	2
ビジネス関連科目	ウェルネス・ビジネス演習Ⅰ	2
	ウェルネス・ビジネス演習Ⅱ	2
	美容ビジネス論	1
	ツーリズム論	1
	スポーツ・ビジネス論	1
	フード・ビジネス論	1
PBL科目	ボランティア演習	2
	地域ウェルビーイング演習	2

	まちづくり演習	2
	環境ウェルネス演習	2
	地域医療デザイン演習	2
	医療マネジメント演習	2
インターンシップ科目	企業研究インターンシップ	2
	ウェルビーイング経営インターンシップ	20
診療情報管理士科目	人体構造機能学	2
	医療用語概論	2
	診療情報管理論	2
	病院管理学	2
	医療統計学	2
	医療情報学	2
	臨床医学Ⅰ	2
	臨床医学Ⅱ	2
	臨床医学Ⅲ	2
	臨床医学Ⅳ	2
	疾病分類学	2
	疾病分類学演習	1
	医療制度論	2
	医療施設管理実習事前講義	2
	医療施設管理実習	2
	診療情報管理演習Ⅰ	1
	診療情報管理演習Ⅱ	1
	診療情報管理演習Ⅲ	1
医療事務科目	診療報酬制度論	2
	診療報酬請求演習Ⅰ	1
	診療報酬請求演習Ⅱ	1

〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他

専門教育科目	41	58	10*
計	41	58	
	99 単位以上		

＊基盤教育科目の選択科目のうち1単位を超えて修得した単位数、所属学科の専門教育科目の99単位を超えて修得した単位数、または、他学科の専門教育科目の修得した単位数を合計して10単位以上を修得すること。

ニ　社会学科

①地域創生学専攻

授業科目			単位数
専門基礎科目		社会学と社会システム	②
		社会福祉の原理と政策Ⅰ	②
		地域発見の社会学	2
		健康社会学	2
		地元学Ⅰ	2
		ユニバーサルデザイン論	2
		健康科学概論	2
専門科目	地域学系科目	まちづくり基礎論	2
		地域の歴史と現在	2
		地域の現在と未来	2
		地域防災Ⅰ	2
		地域防災Ⅱ	2
		都市計画概論	2
		地域と平和	2
		地元学Ⅱ	2
		地域創生をめぐる法と行政	2
		地域文化論(地域文化の継承と興隆)	2
	起業人育成系科目	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2
		ウェルネスビジネス論Ⅱ	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		医療経済学	2

		公共経済学	2
		簿記論	2
		非営利組織経営論	2
		会計学	2
	データサイエンス系科目	社会調査法概論	2
		情報科学入門Ⅰ	2
		情報科学入門Ⅱ	2
		社会調査法	2
		社会データ分析	2
		情報社会概論	2
		情報数学	2
		システムの安全・安心	2
		データ可視化実践	2
		統計学演習	1
		スマートシステム演習Ⅰ	1
		スマートシステム演習Ⅱ	1
		スマートシステム実践演習	2
		ソフトウェア実践	2
		多変量解析演習	2
		社会調査実習	1
	コミュニケーション・表現系科目	色彩基礎論	2
		デザイン表現	1
		ディベート演習	1
		日本語基礎演習Ⅰ（話す・聞く）	1
		日本語基礎演習Ⅱ（読む・書く）	1
		造形表現基礎演習	1
		造形表現応用演習	1
		音楽表現	1
		色彩基礎演習	1
		身体表現演習	1
		メディアアート	2
	フィールドワーク系科目	地域発見演習	①
		地域創生演習Ⅰ	②
		地域創生演習Ⅱ	②
		地域創生実習Ⅰ	②

		地域創生実習Ⅱ	②
		地域支援実習	1
		地域探求実践Ⅰ	1
		地域探求実践Ⅱ	1
		インターンシップ	1
	関連科目	地域創生学概論	①
		生涯学習概論Ⅰ	2
		生涯学習概論Ⅱ	2
		生涯学習支援論Ⅰ	2
		生涯学習支援論Ⅱ	2
		社会教育経営論Ⅰ	2
		社会教育経営論Ⅱ	2
		気象学入門	2
		気象予報解析論	2
		気象観測技術論	2
		博物館概論	2
		博物館経営論	2
		博物館資料論	2
		博物館資料保存論	2
		博物館展示論	2
		博物館教育論	2
		博物館情報・メディア論	2
		博物館実習	3
		社会教育実習	1
		社会教育演習	3
		卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②

〔注〕1　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

2　単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

②社会福祉学専攻

科目区分	授業科目	単位数
専門基礎科	社会学と社会システム	②

目		社会福祉の原理と政策Ⅰ	②
		地域発見の社会学	2
		健康社会学	2
		地元学Ⅰ	2
		ユニバーサルデザイン論	2
専門科目	社会福祉系科目	社会福祉の原理と政策Ⅱ	②
		医学概論	2
		ソーシャルワークの基盤と専門職	②
		ソーシャルワークの基盤と専門職(社会専門)	②
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	②
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	②
		ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)Ⅰ	②
		ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)Ⅱ	②
		社会福祉調査の基礎	2
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	②
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	②
		福祉サービスの組織と経営	2
		社会保障Ⅰ	②
		社会保障Ⅱ	②
		高齢者福祉	②
		障害者福祉	②
		児童・家庭福祉	②
		貧困に対する支援	②
		保健医療と福祉	②
		権利擁護を支える法制度	②
		刑事司法と福祉	2
		ソーシャルワーク演習	1
		ソーシャルワーク演習(社会専門)Ⅰ	2
		ソーシャルワーク演習(社会専門)Ⅱ	2
		ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅰ	1
		ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅱ	1
		ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅲ	1
		ソーシャルワーク実習(社会専門)Ⅰ	2
		ソーシャルワーク実習(社会専門)Ⅱ	4
	精神保	精神医学と精神医療Ⅰ	2

	健福祉系科目	精神医学と精神医療Ⅱ	2
		現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2
		精神保健福祉の原理Ⅰ	2
		精神保健福祉の原理Ⅱ	2
		ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)Ⅰ	2
		ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)Ⅱ	2
		精神障害リハビリテーション論	2
		精神保健福祉制度論	2
		ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅰ	1
		ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅱ	1
		ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅲ	1
		ソーシャルワーク実習指導(精神専門)Ⅰ	1
		ソーシャルワーク実習指導(精神専門)Ⅱ	1
		ソーシャルワーク実習指導(精神専門)Ⅲ	1
		ソーシャルワーク実習(精神専門)	5
	フィールドワーク系科目	地域がキャンパス入門	②
		地域がキャンパスⅠ	②
		地域がキャンパスⅡ	②
		ウェルネスビジネス論Ⅰ	2
		ウェルネスビジネス論Ⅱ	2
		キャンプ指導者入門	1
		キャンプ研修	1
	関連科目	母子保健と小児医療の基礎	2
		児童発達心理	2
		児童虐待ソーシャルワークと子どもの権利	2
		社会的養護	2
		学校とソーシャルワーク	2
		ケアワーク概論	2
		ケアの基本Ⅰ	1
		ケアの基本Ⅱ	2
		エイジングとヘルスの理解	1
		総合福祉論Ⅰ	2
		総合福祉論Ⅱ	2
	専門演	社会福祉研究1	②

	習	社会福祉研究Ⅱ	②
		卒業研究Ⅰ	①
		卒業研究Ⅱ	①

〔注〕1　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

2　単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	地域創生学専攻			
	必修	選択必修	選択	その他
専門基礎科目	4	4	57	10*
専門科目	14	12		
計	18	16	57	
	91単位以上			
科目区分	社会福祉学専攻			
	必修		選択	その他
専門基礎科目	4		41	10*
専門科目	46			
計	50		41	
	91単位以上			

＊：オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

健康スポーツ学部

健康スポーツ学科

授業科目		単位数
専門基礎分野	チュートリアル	②
	健康スポーツ概論	②
	スポーツ原理	②
	スポーツ経営管理学	2
	スポーツ社会学	②
	スポーツ史	②
	スポーツビジネス特論	2
	スポーツ心理学	2
	スポーツ運動学	②
	バイオメカニクス	②

	体力測定評価	2
	コーチング論	2
	スポーツ生理学	②
	運動処方論	2
	スポーツ栄養学	2
	スポーツ医学	2
	人体機能解剖学	②
	生涯学習概論Ⅰ	2
	生涯学習支援論Ⅰ	2
	社会教育経営論Ⅰ	2
	学校保健	2
	トレーニング論	2
	レクリエーション概論	2
	衛生学・公衆衛生学	2
	健康教育学	2
	教育原論	②
	教職概論	②
	スポーツ実技演習 A（陸上競技）	2
	スポーツ実技演習 A（器械運動）	2
	スポーツ実技演習 A（水泳）	2
	スポーツ実技演習 A（健康体力つくり）	2
	スポーツ実技演習 B（ダンス）	2
	スポーツ実技演習 B（武道 1）	2
	スポーツ実技演習 B（武道 2）	2
	スポーツ実技演習 C（ゴール型 1）	2
	スポーツ実技演習 C（ゴール型 2）	2
	スポーツ実技演習 C（ベースボール型）	2
	スポーツ実技演習 C（ネット型 1）	2
	スポーツ実技演習 C（ネット型 2）	2
	スポーツ実技演習 D（スノースポーツ）	2
	スポーツ実技演習 D（キャンプ）	2
	スポーツ実技演習 D（アクアスポーツ）	2

専門分野	身体スポーツ文化論	2
	スポーツ解析演習	2
	スポーツ映像処理演習	2
	運動処方演習	2
	トレーニングプログラム演習	2
	レクリエーション演習	2
	保健体育科教育法Ⅰ	2
	保健体育科教育法Ⅱ	2
	保健体育科教育法Ⅲ	2
	保健体育科教育法Ⅳ	2
専門分野	教育制度論	2
	学校教育心理学	2
	発達心理学	2
	特別支援教育論	2
	教育課程論	2
	道徳教育理論・指導法	2
	総合的な学習・探究の時間の指導法	1
	特別活動の指導法	2
	教育方法論	1
	情報通信技術の活用	1
	生徒指導論	1
	教育相談	1
	進路指導・キャリア教育論	1
	生涯学習概論Ⅱ	2
	生涯学習支援論Ⅱ	2
	社会教育経営論Ⅱ	2
	労働法規Ⅰ	2
	労働法規Ⅱ（労働と環境）	2
専門演習・実習分野	スポーツ科学演習A	2
	スポーツ科学演習B	2
	スポーツ科学演習C	2
	スポーツ科学演習D	2

	スポーツ実技指導演習 A（陸上競技）	1
	スポーツ実技指導演習 A（器械運動）	1
	スポーツ実技指導演習 A（水泳）	1
	スポーツ実技指導演習 A（健康体力つくり）	1
	スポーツ実技指導演習 B（ダンス）	1
	スポーツ実技指導演習 B（武道 1）	1
	スポーツ実技指導演習 B（武道 2）	1
	スポーツ実技指導演習 C（ゴール型 1）	1
	スポーツ実技指導演習 C（ゴール型 2）	1
	スポーツ実技指導演習 C（ベースボール型）	1
	スポーツ実技指導演習 C（ネット型 1）	1
	スポーツ実技指導演習 C（ネット型 2）	1
	スポーツ実技指導演習 D（スノースポーツ）	1
	スポーツ実技指導演習 D（キャンプ）	1
	スポーツ実技指導演習 D（アクアスポーツ）	1
	パラスポーツ演習	2
	介護予防運動演習	2
	発達支援スポーツ演習	1
	健康運動指導実習	1
	レクリエーション実習	1
	エクササイズ指導実技	2
	エクササイズ指導実習	1
	教育実習事前事後指導（中・高）	1
	教育実習Ⅰ（高のみ）	2
	教育実習Ⅱ（中・高）	4
	教職実践演習	2
	社会教育実習 A	1
	社会教育実習 B	3
専門総合分野	健康スポーツ学総合演習Ⅰ	②
	健康スポーツ学総合演習Ⅱ	②
	健康スポーツ学総合演習Ⅲ	1
	卒業研究Ⅰ	②

	卒業研究Ⅱ	②

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門基礎分野	22	68*1	6*2
専門分野	―		
専門演習・実習分野	―		
専門総合分野	8		
計	30	68	
	98 単位以上		

＊1：68単位のうち「スポーツ実技演習Ａ」の種目から１科目２単位、「スポーツ実技演習Ｂ」の種目から１科目２単位、「スポーツ実技演習Ｃ」の種目から１科目２単位、「身体スポーツ文化論」、「スポーツ解析演習」、「運動処方演習」、「トレーニングプログラム演習」、「レクリエーション演習」、「生涯学習概論Ⅱ」の科目から３科目６単位、「スポーツ科学演習Ａ」、「スポーツ科学演習Ｂ」、「スポーツ科学演習Ｃ」、「スポーツ科学演習Ｄ」の科目から１科目２単位、「スポーツ実技指導演習Ａ」の種目から１科目１単位、「スポーツ実技指導演習Ｂ」の種目から１科目１単位、「スポーツ実技指導演習Ｃ」の種目から１科目１単位を修得すること。

＊2：基盤教育科目の選択科目のうち５単位を超えて修得した単位、所属学科の専門教育科目の選択科目のうち68単位を超えて修得した単位、他学科の専門教育科目で修得した単位を合計して６単位以上を修得すること。

Ⅳ　教職課程

1　栄養に係る教育に関する科目

授業科目	単位数
学校栄養教育論Ⅰ	2
学校栄養教育論Ⅱ	2

2　教職に関する科目

イ　健康科学部

心理学科

授業科目	単位数
教育制度論	2
教育課程論	2
道徳教育理論・指導法	2
総合的な学習・探究の時間の指導法	1
特別活動の指導法	2
教育方法論	1
情報通信技術の活用	1
生徒指導論	1
養護実習	4
養護実習指導	1
教職実践演習	2

〔注〕　上記科目は自由科目とし卒業要件の単位数には含まない。

医療栄養学科

授業科目	単位数
教育原論	2
教職概論	2
教育制度論	1
学校教育心理学	1
特別支援教育論	1
教育課程論	2
道徳・特別活動論	2
総合的な学習・探究の時間の指導法	1
教育方法論	1
情報通信技術の活用	1
生徒指導論	1
教育相談	1

栄養教育実習Ⅰ	1
栄養教育実習Ⅱ	1
教職実践演習(栄養教諭)	2

〔注〕　上記科目は自由科目とし卒業要件の単位数には含まない。

ロ　健康スポーツ学部

健康スポーツ学科

授業科目	単位数
初等国語科教育法	2
初等社会科教育法	2
初等算数科教育法	2
初等理科教育法	2
初等生活科教育法	2
初等音楽科教育法	2
初等図画工作科教育法	2
初等家庭科教育法	2
初等体育科教育法	2
初等外国語科教育法	2
教育実習事前事後指導（小・中）	1
教育実習Ⅲ（小・中）	4

〔注〕上記科目は自由科目とし卒業要件の単位数には含まない。

別表第2　削除

別表第3　学費

各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

(1)　保健医療学部・総合リハビリテーション学部・看護学部

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	200,000

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	725,000	725,000	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	55,000	55,000	
	計	780,000	780,000	
2年次以降	授業料	725,000	725,000	
	教育充実費	110,000	110,000	
	計	835,000	835,000	

(2)　薬学部

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	200,000

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	870,000	870,000	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	60,000	60,000	
	計	930,000	930,000	
2年次以降	授業料	870,000	870,000	
	教育充実費	130,000	130,000	
	計	1,000,000	1,000,000	

(3)　健康科学部(心理学科、医療経営学科、社会学科)

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	200,000

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	525,000	525,000	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	30,000	30,000	
	計	555,000	555,000	
2年次以降	授業料	525,000	525,000	

	教育充実費	80,000	80,000	
	計	605,000	605,000	

(4)　健康科学部(医療栄養学科)

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	200,000

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	525,000	525,000	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	55,000	55,000	
	計	580,000	580,000	
2年次以降	授業料	525,000	525,000	
	教育充実費	110,000	110,000	
	計	635,000	635,000	

(5)　健康スポーツ学部

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	200,000

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	525,000	525,000	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	55,000	55,000	
	計	580,000	580,000	
2年次以降	授業料	525,000	525,000	
	教育充実費	110,000	110,000	
	計	635,000	635,000	

〔注〕

1　学費の金額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

2　第20条もしくは第21条により編入学または転入学を許可された者は、新所属の年次の学生に適用される学費を適用する。

3　この規定において1年次とは在籍1年目をいう。ただし、編入学または転入学を許可された者は除く。

別表第4　研究料

(単位：円)

期間 学部	6カ月	1年
保健医療学部	205,000	410,000
総合リハビリテーション学部	205,000	410,000
看護学部	205,000	410,000
薬学部	285,000	570,000
健康科学部	155,000	310,000
健康スポーツ学部	155,000	310,000

別表第5　履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
保健医療学部	20,000	1単位当たり
総合リハビリテーション学部	20,000	
看護学部	20,000	
薬学部	25,000	
健康科学部	15,000	
健康スポーツ学部	15,000	

別表第6　在籍料

(単位：円)

区分	金額
前期	60,000
後期	60,000

別表第7　研修料

(単位：円)

学部	金額	備考
保健医療学部	20,000	月額

総合リハビリテーション学部	20,000	
看護学部	20,000	
薬学部	25,000	
健康科学部	15,000	
健康スポーツ学部	15,000	

別表第8　教育職員免許状の種類および免許教科

教職課程を置く学部・学科・専攻		免許状の種類	免許教科
健康科学部	心理学科	養護教諭一種免許状	
	医療栄養学科	栄養教諭一種免許状	
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 小学校教諭二種免許状	保健体育

学則の変更事項を記載した書類

1 変更の事由

18 歳人口の動向、広島県内進学状況、各学部・学科の定員確保状況等を踏まえ、入学定員数及び収容定員数を変更し規模を適正化する。また、学修の成果を多様な学生が実感できる柔軟な教育を行うとともに、学修者本位の教育を推進するため教育課程の見直しを行う。さらに、教育の質の維持と財政の安定化に努めるため学費を改定する。

2 変更点について

1. 第 4 条(収容定員)に定める入学定員および収容定員を改める。
2. 第 20 条(編入学)に定める看護学部看護学科に関する条文を削除する。
3. 第 24 条(授業科目)に定める共通教育科目の名称を改める。
4. 第 25 条(単位の計算方法)に定める授業科目の単位の計算基準を改める。
5. 第 30 条(卒業)に定める卒業必要単位数を改める。
6. 付則 収容定員の総数および増加変更に関する計画の期間を付則に明示する。
7. 別表第 1 教育課程表に定める科目名および単位数ならびに卒業に必要な単位数を改める。
8. 別表第 3 学費に定める各学部の入学金、学納金（授業料、教育充実費）の金額を改める。
9. 別表第 8 教育職員免許状の種類および免許教科に定める広島国際大学で取得可能な免許状の種類を改める。

3 変更の時期について

令和 9 年 4 月 1 日施行とする。

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>第1条～第3条　現行どおり
(収容定員)
第4条　本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。
<table>
<tr><th>学部</th><th>学科</th><th>入学定員</th><th>第3年次編入学定員</th><th>収容定員</th></tr>
<tr><td rowspan="4">保健医療学部</td><td>診療放射線学科</td><td><u>50</u>名</td><td>―</td><td><u>200</u>名</td></tr>
<tr><td>医療技術学科</td><td><u>80</u>名</td><td>―</td><td><u>320</u>名</td></tr>
<tr><td>救急救命学科</td><td>50名</td><td>―</td><td>200名</td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>180</u>名</td><td>―</td><td><u>720</u>名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">総合リハビリテーション学部</td><td>リハビリテーション学科</td><td>180名</td><td>―</td><td>720名</td></tr>
<tr><td>計</td><td>180名</td><td>―</td><td>720名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看護学部</td><td>看護学科</td><td><u>100</u>名</td><td><u>―</u></td><td><u>400</u>名</td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>100</u>名</td><td><u>―</u></td><td><u>400</u>名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">薬学部</td><td>薬学科</td><td>120名</td><td>―</td><td>720名</td></tr>
<tr><td>計</td><td>120名</td><td>―</td><td>720名</td></tr>
<tr><td rowspan="5">健康科学部</td><td>心理学科</td><td><u>70</u>名</td><td>―</td><td><u>280</u>名</td></tr>
<tr><td>医療栄養学科</td><td>60名</td><td>―</td><td>240名</td></tr>
<tr><td>医療経営学科</td><td><u>80</u>名</td><td>―</td><td><u>320</u>名</td></tr>
<tr><td>社会学科</td><td>100名</td><td>―</td><td>400名</td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>310</u>名</td><td>―</td><td><u>1,240</u>名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">健康スポーツ学部</td><td>健康スポーツ学科</td><td><u>80</u>名</td><td>―</td><td><u>320</u>名</td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>80</u>名</td><td>―</td><td><u>320</u>名</td></tr>
</table>
第5条～第19条　現行どおり
(編入学)
第20条　**（削除）**</td><td>第1条～第3条　省略
(収容定員)
第4条　本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。
<table>
<tr><th>学部</th><th>学科</th><th>入学定員</th><th>第3年次編入学定員</th><th>収容定員</th></tr>
<tr><td rowspan="4">保健医療学部</td><td>診療放射線学科</td><td><u>70</u>名</td><td>―</td><td><u>280</u>名</td></tr>
<tr><td>医療技術学科</td><td><u>100</u>名</td><td>―</td><td><u>400</u>名</td></tr>
<tr><td>救急救命学科</td><td>50名</td><td>―</td><td>200名</td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>220</u>名</td><td>―</td><td><u>880</u>名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">総合リハビリテーション学部</td><td>リハビリテーション学科</td><td>180名</td><td>―</td><td>720名</td></tr>
<tr><td>計</td><td>180名</td><td>―</td><td>720名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看護学部</td><td>看護学科</td><td><u>120</u>名</td><td><u>10</u>名</td><td><u>500</u>名</td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>120</u>名</td><td><u>10</u>名</td><td><u>500</u>名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">薬学部</td><td>薬学科</td><td>120名</td><td>―</td><td>720名</td></tr>
<tr><td>計</td><td>120名</td><td>―</td><td>720名</td></tr>
<tr><td rowspan="5">健康科学部</td><td>心理学科</td><td><u>100</u>名</td><td>―</td><td><u>400</u>名</td></tr>
<tr><td>医療栄養学科</td><td>60名</td><td>―</td><td>240名</td></tr>
<tr><td>医療経営学科</td><td><u>90</u>名</td><td>―</td><td><u>360</u>名</td></tr>
<tr><td>社会学科</td><td>100名</td><td>―</td><td>400名</td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>350</u>名</td><td>―</td><td><u>1,400</u>名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">健康スポーツ学部</td><td>健康スポーツ学科</td><td><u>70</u>名</td><td>―</td><td><u>280</u>名</td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>70</u>名</td><td>―</td><td><u>280</u>名</td></tr>
</table>
第5条～第19条　省略
(編入学)
第20条　<u>つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学看護学部看護学科への編入学を志願するものがあるときは、選考のうえ第3年次に編入学を許可する。</u></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行
	イ　大学または短期大学の看護系学科を卒業した者 **ロ　専修学校の専門課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)のうち看護系課程を修了した者** **ハ　高等学校等の専攻科(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者**
つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学健康科学部心理学科、医療経営学科、社会学科の第3年次に編入学を志願するものがある場合は、志望する学部学科に欠員があるときに限り、選考のうえ編入学を許可することがある。 イ～ト　現行どおり	**2**　つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学健康科学部心理学科、医療経営学科、社会学科の第3年次に編入学を志願するものがある場合は、志望する学部学科に欠員があるときに限り、選考のうえ編入学を許可することがある。 イ～ト　省略
2～**3**　現行どおり	**3**～**4**　省略
第21条～第23条　現行どおり	第21条～第23条　省略
(授業科目)	(授業科目)
第24条　授業科目は、**基盤教育科目**、スタンダード科目、オプション科目および専門教育科目とし、これを必修科目、選択必修科目、選択科目および自由科目に分け、各年次に配当する。	第24条　授業科目は、**共通教育科目**、スタンダード科目、オプション科目および専門教育科目とし、これを必修科目、選択必修科目、選択科目および自由科目に分け、各年次に配当する。
2～3　現行どおり	2～3　省略
(単位の計算方法)	(単位の計算方法)
第25条　授業科目の単位の計算基準は、**1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位として計算するものとする。**	第25条　授業科目の単位の計算基準は、**つぎのとおりとする。**

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行
（削除）	イ　講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
（削除）	ロ　実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
（削除）	ハ　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち、二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
2　現行どおり	2　省略
第26条～第29条　現行どおり	第26条～第29条　省略
(卒業)	(卒業)
第30条　本大学に第13条に定める修業年限以上在学して、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。	第30条　本大学に第13条に定める修業年限以上在学して、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。
保健医療学部	保健医療学部
診療放射線学科　124単位以上	診療放射線学科　124単位以上
医療技術学科臨床工学専攻　124単位以上	医療技術学科臨床工学専攻　132単位以上
医療技術学科臨床検査学専攻　124単位以上	医療技術学科臨床検査学専攻　136単位以上
救急救命学科　124単位以上	救急救命学科　124単位以上
総合リハビリテーション学部	総合リハビリテーション学部
リハビリテーション学科　124単位以上	リハビリテーション学科　124単位以上
看護学部	看護学部
看護学科　124単位以上	看護学科　125単位以上
薬学部	薬学部
薬学科　186単位以上	薬学科　186単位以上
健康科学部	健康科学部

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>心理学科　124単位以上
医療栄養学科　<u>124</u>単位以上
医療経営学科　124単位以上
社会学科　124単位以上
健康スポーツ学部
健康スポーツ学科　124単位以上
2～4　現行どおり
第31条～第55条　現行どおり
付　則
1　現行どおり
2
イ　この改正学則は、<u>2027年4月1日</u>から施行する。<u>なお、学校教育法施行令第23条第2項第4号の規定による届出にかかる収容定員の総数および増加変更に関する計画の期間は以下のとおりとする。</u>
<u>【収容定員数】</u>
<table><tr><th><u>収容定員</u></th><th><u>減少変更前の収容定員</u></th></tr><tr><td><u>3,820名</u></td><td><u>4,200名</u></td></tr></table><u>【計画期間】</u>
<table><tr><th><u>増加変更に関する計画期間</u></th></tr><tr><td><u>2027年4月～2034年3月</u></td></tr></table>ロ～ハ　現行どおり
ニ　<u>2026年度</u>以前の入学者の学則については、なお従前の例による。
別表第1　教育課程表
<u>Ⅰ　基盤教育科目</u>
<u>1.保健医療学部</u>
（別紙1のとおり）
<u>2.総合リハビリテーション学部</u>
（別紙2のとおり）
<u>3.看護学部</u>
（別紙3のとおり）</td><td>心理学科　124単位以上
医療栄養学科　<u>127</u>単位以上
医療経営学科　124単位以上
社会学科　124単位以上
健康スポーツ学部
健康スポーツ学科　124単位以上
2～4　省略
第31条～第55条　省略
付　則
1　省略
2
イ　この改正学則は、<u>2026年4月1日</u>から施行する。
ロ～ハ　省略
ニ　<u>2024年度</u>以前の入学者の学則については、なお従前の例による。
別表第1　教育課程表</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr>
<th>改正案</th>
<th>現行</th>
</tr>
<tr>
<td>

4.薬学部

（別紙4のとおり）

5.健康科学部

（別紙5のとおり）

6.健康スポーツ学部

（別紙6のとおり）

Ⅱ スタンダード科目

健康科学部**社会学科**

<table>
<tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td colspan="2">現行どおり</td></tr>
</table>

〔注〕 現行どおり

【卒業に必要な単位数】

<table>
<tr><th>学科</th><th>必修</th><th>選択</th><th>計</th></tr>
<tr><td>社会学科</td><td>15</td><td>―</td><td>15単位</td></tr>
</table>

Ⅲ オプション科目

（削除）

</td>
<td>

Ⅰ スタンダード科目

保健医療学部、総合リハビリテーション学部、看護学部、薬学部、健康科学部**、健康スポーツ学部**

<table>
<tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td colspan="2">省略</td></tr>
</table>

〔注〕 省略

【卒業に必要な単位数】

<table>
<tr><th>学科**・専攻**</th><th>必修</th><th>選択</th><th>計</th></tr>
<tr><td>全学科・全専攻</td><td>15</td><td>―</td><td>15単位</td></tr>
</table>

Ⅱ オプション科目

1 保健医療学部

<table>
<tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td colspan="2">省略</td></tr>
</table>

〔注〕医療技術学科臨床工学専攻は「生物学」および「統計学」を必修科目とする。

医療技術学科臨床検査学専攻は「生物学」および「化学」を必修科目とする。

救急救命学科は「生物学」、「日本語表現法」、「コミュニケーション論」を必修科目とする。

【留学生特例科目】

<table>
<tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr>
</table>

</td>
</tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td>省略

〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。
1　オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数
2　オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の単位数
【卒業に必要な単位数】
<table><tr><th>学科・専攻</th><th>必修</th><th>選択</th><th>計</th></tr><tr><td colspan="4">省略</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>2　総合リハビリテーション学部
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td colspan="2">省略</td></tr></table>
【留学生特例科目】
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td colspan="2">省略</td></tr></table>
〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えること</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>ができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。
1　オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数
2　オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の単位数
【卒業に必要な単位数】
<table><tr><th>学科・専攻</th><th>必修</th><th>選択</th><th>計</th></tr><tr><td colspan="4">省略</td></tr></table>
3　看護学部
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td colspan="2">省略</td></tr></table>
〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
【留学生特例科目】
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td colspan="2">省略</td></tr></table>
〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。
1　オプション科目(ベーシック)の人間と</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数
2　オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の単位数
【卒業に必要な単位数】
<table><tr><th>学科</th><th>必修</th><th>選択</th><th>計</th></tr><tr><td colspan="4">省略</td></tr></table>
4　薬学部
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td colspan="2">省略</td></tr></table>
〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
【留学生特例科目】
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td colspan="2">省略</td></tr></table>
〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。
1　オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数
2　オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td><u>単位数</u>
<u>【卒業に必要な単位数】</u>
<table><tr><th>学科</th><th>必修</th><th>選択</th><th>計</th></tr><tr><td colspan="4">省略</td></tr></table></td></tr>
<tr><td><u>1</u> 健康科学部
（削除）</td><td><u>5</u> 健康科学部
<u>医療栄養学科</u>
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td colspan="2">省略</td></tr></table></td></tr>
<tr><td></td><td><u>〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。</u></td></tr>
<tr><td>社会学科
<table><tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td rowspan="12">オプション科目(ベーシック)</td><td colspan="2">現行どおり</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">人間と社会</td><td>法学</td><td>2</td></tr><tr><td>経済学</td><td>2</td></tr><tr><td>歴史学</td><td>2</td></tr><tr><td>政治学</td><td>2</td></tr><tr><td rowspan="7">人間と自然</td><td>統計学</td><td>2</td></tr><tr><td>数学基礎</td><td>1</td></tr><tr><td>数学</td><td>2</td></tr><tr><td>物理学</td><td>2</td></tr><tr><td>化学</td><td>2</td></tr><tr><td>生物学</td><td>2</td></tr><tr><td>科学実験a</td><td>1</td></tr><tr><td>科学実験b</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2">現行どおり</td><td></td></tr></table></td><td><u>心理学科、医療経営学科、</u>社会学科
<table><tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td rowspan="12">オプション科目(ベーシック)</td><td colspan="2">省略</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">人間と社会</td><td>法学</td><td>2</td></tr><tr><td>経済学　<u>〔注〕</u></td><td>2</td></tr><tr><td>歴史学</td><td>2</td></tr><tr><td>政治学</td><td>2</td></tr><tr><td rowspan="7">人間と自然</td><td>統計学　<u>〔注〕</u></td><td>2</td></tr><tr><td>数学基礎</td><td>1</td></tr><tr><td>数学</td><td>2</td></tr><tr><td>物理学</td><td>2</td></tr><tr><td>化学</td><td>2</td></tr><tr><td>生物学</td><td>2</td></tr><tr><td>科学実験a</td><td>1</td></tr><tr><td>科学実験b</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2">省略</td><td></td></tr></table></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>オプション科目(アドバンスド)</td><td>現行どおり</td></tr>
</table>
（削除）

【留学生特例科目】
現行どおり
【卒業に必要な単位数】
<table>
<tr><td>学科・専攻</td><td>必修</td><td>選択</td><td>計</td></tr>
<tr><td colspan="4">（削除）</td></tr>
<tr><td colspan="4">（削除）</td></tr>
<tr><td colspan="4">（削除）</td></tr>
<tr><td>社会学科</td><td>―</td><td>8</td><td>8単位以上</td></tr>
</table>
（削除）

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td><u>〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。</u>
<u>1　オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数</u>
<u>2　オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の単位数</u>
<u>【卒業に必要な単位数】</u>
<table>
<tr><th>学科</th><th>必修</th><th>選択</th><th>計</th></tr>
<tr><td colspan="4">省略</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td><u>Ⅳ</u>　専門教育科目
1　保健医療学部
イ　診療放射線学科
（別紙7のとおり）</td><td><u>Ⅲ</u>　専門教育科目
1　保健医療学部
イ　診療放射線学科
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="14">専門基礎分野</td><td rowspan="10">人体の構造と機能及び疾病の成り立ち</td><td>人体構造学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人体構造学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>人体生理機能学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人体生理機能学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>臨床生化学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>病理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>医学医療総論(生命倫理を含む)</td><td>①</td></tr>
<tr><td>臨床医学総論</td><td>②</td></tr>
<tr><td>公衆衛生学</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="4">理工学的基礎並びに放射線</td><td>放射線科学概論・演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>基礎数学・演習</td><td>1</td></tr>
<tr><td>基礎物理学・演習</td><td>1</td></tr>
<tr><td>基礎物理学実験</td><td>①</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
		の科学及び技術	放射線物理学Ⅰ	②
			放射線物理学Ⅱ	②
			放射線写真学	1
			電気電子工学	②
			電気電子工学演習	①
			電気電子工学実験	①
			放射化学	②
			放射化学実験	①
			放射線計測学	②
			放射線計測学演習	1
			放射線計測学実験	①
			放射線生物学	②
	専門分野	診療画像技術学・臨床画像学	診療画像機器学Ⅰ	②
			診療画像機器学Ⅱ	①
			X線撮影技術学Ⅰ	②
			X線撮影技術学Ⅱ	②
			CT撮影技術学	②
			MRI検査技術学	②
			超音波検査技術学	①
			磁気共鳴学	1
			造影医薬品学	1
			基礎画像読影学	②
			臨床医学Ⅰ(画像診断学含む)	②
			臨床医学Ⅱ(画像診断学含む)	②
		核医学検査技術学	放射性医薬品学	1
			核医学機器学	②
			核医学検査技術学Ⅰ	②
			核医学検査技術学Ⅱ	②
		放射線治療技術学	放射線腫瘍学	①
			放射線治療機器学	②
			放射線治療技術学Ⅰ	②
			放射線治療技術学Ⅱ	②
		医用画	医用画像工学Ⅰ	②

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行

	像情報学	医用画像工学Ⅱ	②
		医用画像工学実験・演習	①
		医用画像情報システム論	①
	放射線安全管理学	放射線保健管理学	①
		放射線関係法規	①
		放射線安全管理学	①
		放射線安全管理学実験	①
	医療安全管理学	救急医療	1
		医療安全管理学	②
	実践臨床画像学	実践臨床画像学	②
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	②
		臨床実習Ⅱ	⑩
	技術学総合・関連分野	総合放射線工学実験	①
		医療英語	②
		プログラミング演習	1
		核医学技術学特論	1
		放射線治療技術学特論	1
		画像診断技術学特論	1
		総合演習Ⅰ	2
		総合演習Ⅱ	2
		卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②

〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基礎分野	31	8
専門分野	64	
計	95	8
	103単位以上	

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>ロ　医療技術学科
①臨床工学専攻
（別紙8のとおり）</td><td>ロ　医療技術学科
①臨床工学専攻
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="15">専門基礎分野</td><td rowspan="5">人体の構造及び機能</td><td>キャリア支援Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>キャリア支援Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>キャリア支援Ⅲ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>早期体験演習Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>早期体験演習Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td>臨床コミュニケーション演習</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>医療英語</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>生命倫理</td><td>②</td></tr>
<tr><td rowspan="4">人体の構造及び機能</td><td>人体構造機能学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人体構造機能学実習Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>人体構造機能学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人体構造機能学実習Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="5">臨床工学に必要な医学的基礎</td><td>医学概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td>チーム医療概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td>生化学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>公衆衛生学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>病理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td rowspan="10">臨床工学に必要な理工学的基礎</td><td>薬理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>基礎数学演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>基礎物理学演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>応用数学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>電気・電子工学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>電気・電子工学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>電気・電子工学演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>電気工学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>電子工学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>機械工学</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td>計測工学</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td>臨床</td><td>情報科学概論</td><td>②</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
		工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	基礎医療情報学演習	1
			システム工学	②
			システム情報工学実習	①
			医療情報技術学演習	①
			シミュレーション教育演習	1
	専門分野	医用生体工学	医工学概論	②
			生体物性工学Ⅰ	②
			生体物性工学Ⅱ	②
			医用材料工学	②
			医用画像工学	2
		医用機器学及び臨床支援技術	生体計測技術学	②
			生体計測技術学実習	①
			心電図判読演習	1
			医用治療機器学	②
			医用機器学実習	①
			臨床支援技術学Ⅰ	②
			臨床支援技術学Ⅱ	②
			臨床支援技術学演習・実習	①
			手術治療機器学	②
		生体機能代行技術学	体外循環技術学	②
			体外循環技術学演習	①
			呼吸療法技術学	②
			呼吸療法技術学演習	①
			血液浄化技術学	②
			血液浄化技術学演習	①
			集中治療技術学演習	1
			生体機能代行技術学実習	③

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
		医療安全管理学	機器安全管理学	②
			機器安全管理学実習	①
			臨床工学関係法規	②
			臨床安全管理学演習	①
		関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ	②
			臨床医学総論Ⅱ	②
			臨床医学総論Ⅲ	②
			臨床医学総論演習	①
		臨床実習	臨床工学実習Ⅰ	①
			臨床工学実習Ⅱ	⑥
			臨床工学総合演習	①
			国際臨床工学	1
		卒業研究	卒業研究方法論	①
			卒業研究	②
	専門総合分野	総合技術	臨床工学演習Ⅰ	①
			臨床工学演習Ⅱ	①
			臨床工学演習Ⅲ	①
			臨床工学演習Ⅳ	①
			ME演習	1
	臨床検査学分野		病理組織細胞学Ⅰ	2
			病理組織細胞学Ⅱ	2
			臨床血液学	2
			一般検査学Ⅰ	2
			一般検査学Ⅱ	2
			臨床化学	2
			放射性同位元素検査技術学	2
			臨床微生物学総論	2
			臨床微生物学各論	2
			臨床免疫学	2
			臨床生理学Ⅰ	2
			臨床生理学Ⅱ	2
			医療安全管理学	2
			検査機器総論	1

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>②臨床検査学専攻
（別紙9のとおり）</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>臨床検査関係法規</td><td>1</td></tr>
</table>
<u>〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。</u>
②臨床検査学専攻
<table>
<tr><th colspan="2">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="24">専門基礎分野</td><td></td><td>医療技術学基礎演習Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td>医療技術学基礎演習Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td>早期体験演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td>生命倫理</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td>医療英語</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="8">人体の構造と機能</td><td>人体構造学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人体構造学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>人体生理機能学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人体生理機能学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>生化学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>栄養学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>臨床栄養学</td><td>②</td></tr>
<tr><td rowspan="3">医学検査の基礎と疾病との関連</td><td>医学概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td>病理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>薬理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td rowspan="4">保健医療福祉と医学検査</td><td>臨床検査関係法規</td><td>①</td></tr>
<tr><td>公衆衛生学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>健康食品学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>食品衛生学</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">医療工学及び情報</td><td>医用工学概論</td><td>②</td></tr>
<tr><td>医用工学概論実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>情報科学概論</td><td>②</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
		科学		
	専門分野	病態学臨床	臨床病態学Ⅰ	②
			臨床病態学Ⅱ	②
		形態検査学	病理組織細胞学Ⅰ	②
			病理組織細胞学Ⅱ	②
			病理組織細胞学実習	②
			臨床血液学	②
			臨床血液学演習	①
			臨床血液学実習	①
			臨床細胞診断学	②
		生物化学分析検査学	一般検査学Ⅰ	②
			一般検査学実習Ⅰ	①
			臨床化学	②
			臨床化学演習	①
			臨床化学実習	①
			放射性同位元素検査技術学	②
			先進医療技術学演習・実習	②
		病因・生体防御検査学	臨床微生物学総論	②
			臨床微生物学演習	①
			臨床微生物学実習	①
			臨床微生物学各論	②
			臨床免疫学	②
			臨床免疫学演習	①
			臨床免疫学実習	①
			輸血・移植検査学	②
			輸血・移植検査学演習	①
			輸血・移植検査学実習	①
			感染制御学	②
		生理機能検査学	臨床生理学Ⅰ	②
			臨床生理学Ⅱ	②
			臨床生理学演習	①
			臨床生理学実習	③
			心電図検査特論	1

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
			医用画像工学	2
		検査総合管理学	一般検査学Ⅱ	②
			一般検査学実習Ⅱ	①
			検査総合管理学	②
		医療安全管理学	医療安全管理学	②
			医療安全管理学実習	①
			検査機器総論	①
		臨床実習	臨地実習総合演習	①
			臨床検査学実習	⑪
			国際臨床検査学	1
		卒業研究	卒業研究方法論	②
			卒業研究	②
	専門総合分野	総合技術	臨床検査学演習Ⅰ	①
			臨床検査学演習Ⅱ	①
			臨床検査学演習Ⅲ	①
			形態・生理機能検査学総合演習	①
			生物化学分析検査学総合演習	①
			生体防御検査学総合演習	①
	臨床工学分野		基礎数学演習	1
			基礎物理学演習	1
			応用数学	2
			医工学概論	2
			電気・電子工学Ⅰ	2
			電気工学実習	1
			電気・電子工学Ⅱ	2
			電子工学実習	1
			電気・電子工学演習	1
			生体物性工学Ⅰ	2
			生体物性工学Ⅱ	2
			機械工学	2
			医用材料工学	2

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行

	計測工学	2
	基礎医療情報学演習	1
	手術治療機器学	2
	体外循環技術学	2
	呼吸療法技術学	2
	血液浄化技術学	2
	臨床支援技術学Ⅰ	2
	臨床支援技術学Ⅱ	2
	生体機能代行技術学実習	3
	医用治療機器学	2
	医用機器学実習	1
	生体計測技術学	2
	生体計測技術学実習	1
	機器安全管理学	2
	機器安全管理学実習	1
	臨床医学総論Ⅰ	2
	臨床医学総論Ⅱ	2
	臨床医学総論Ⅲ	2
	臨床医学総論演習	1
	臨床工学関係法規	2

〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	臨床工学専攻		臨床検査学専攻	
	必修	選択	必修	選択
専門基礎分野	44	5*	30	2*
専門分野	57		76	
専門総合分野	4		6	
他専攻分野	二	二	二	

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>ハ　救急救命学科
（別紙10のとおり）</td><td>
<table>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>計</td><td>105</td><td>5</td><td>112</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">110単位以上</td><td colspan="2">114単位以上</td></tr>
</table>
臨床工学専攻
＊：専門基礎分野、専門分野および専門総合分野の選択科目から5単位以上修得すること。
臨床検査学専攻
＊：専門基礎分野、専門分野、専門総合分野および臨床工学分野の選択科目から2単位以上修得すること。
ハ　救急救命学科
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="5">基礎分野</td><td rowspan="5">科学的思考の基盤</td><td>自然災害防災論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>救急実務英語</td><td>①</td></tr>
<tr><td>ライフサイエンス論Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>ライフサイエンス論Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>救急統計学</td><td>②</td></tr>
<tr><td rowspan="12">専門基礎分野</td><td rowspan="3">人体の構造と機能</td><td>人体構造生理学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人体構造生理学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人体構造生理学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="4">疾患の成り立ちと回復の課程</td><td>病理学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>生化学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>薬理学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>救急検査概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td>健康と社会保障</td><td>公衆衛生学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>専</td><td>救急</td><td>生命倫理</td><td>①</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
	門分野	医学概論	病院前救急医療概論	①
			救急災害システム論	②
			救急関係法規	①
			救急救命処置概論	②
			災害・救護ボランティア演習	①
		救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学Ⅰ	②
			救急症候・病態生理学Ⅱ	②
			臨床病態学Ⅰ	②
			臨床病態学Ⅱ	②
		疾病救急医学	救急現場活動学	②
			特定行為処置論	②
			小児科学	②
			産婦人科学	①
			精神医学	①
		外傷救急医学	外傷救急医学Ⅰ	②
			外傷救急医学Ⅱ	②
		環境障害・急性中毒医学	環境障害・急性中毒学	①
		臨地実習	救急救命処置実習Ⅰ	②
			救急救命処置実習Ⅱ	②
			救急救命処置実習Ⅲ	④
			救急救命処置実習Ⅳ	④
			救急救命高度実習Ⅰ	②
			救急救命高度実習Ⅱ	②
			救急救命総合実習	2
			応急手当実習Ⅰ	①
			応急手当実習Ⅱ	①
			救急システム実習Ⅰ	①

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行

		救急システム実習Ⅱ	①
		救急システム実習Ⅲ	①
		救急システム実習Ⅳ	④
		臨床救急実践演習・実習	②
		国内救急救命事情	1
		国際救急救命学	1
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②
専門総合分野	総合技術	救急救命学Ⅰ	②
		救急救命学Ⅱ	②
		救急救命学Ⅲ	2
		救急救命学Ⅳ	4
		救急救命総合学	2
		教養総合学Ⅰ	②
		教養総合学Ⅱ	②
		教養総合学Ⅲ	②
		教養総合学Ⅳ	②
		教養総合学Ⅴ	②

〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
基礎分野	5	1*1	9*2
専門基礎分野	10		
専門分野	60		
専門総合分野	14		
計	89	1	9
	99単位以上		

救急救命学科

＊1：「国内救急救命事情」または「国際救急救命学」を修得すること。

＊2：オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から9単位以上を

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr>
<th>改正案</th>
<th>現行</th>
</tr>
<tr>
<td>2　総合リハビリテーション学部
リハビリテーション学科
①理学療法学専攻
（別紙11のとおり）</td>
<td><u>修得すること。</u>
2　総合リハビリテーション学部
リハビリテーション学科
①理学療法学専攻
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="30">専門基礎分野</td><td rowspan="11">人体の構造と機能及び心身の発達</td><td>解剖学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>解剖学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>解剖学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>生理学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>生理学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>生理学実習</td><td>②</td></tr>
<tr><td>身体運動学Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>身体運動学Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>身体運動学実習</td><td>②</td></tr>
<tr><td>人間発達学</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="17">疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進</td><td>生命倫理</td><td>②</td></tr>
<tr><td>医学概論</td><td>②</td></tr>
<tr><td>リハビリテーション心理学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>内科学Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>内科学Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>整形外科学Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>整形外科学Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>精神医学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>脳神経学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>加齢医学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>病態生理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保健医療福祉とリハビリテーションの理念</td><td>リハビリテーション医学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>公衆衛生学</td><td>②</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
	専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	①
			理学療法研究法	①
			基本動作介助法	①
			臨床運動学	①
			臨床運動学実習	②
		理学療法評価学	理学療法評価学概論	①
			運動機能障害評価学実習Ⅰ	②
			運動機能障害評価学実習Ⅱ	②
			神経系理学療法評価学演習	①
			生活活動評価学	①
			内部系理学療法評価学	①
		理学療法治療学	運動療法学	①
			運動療法実習	①
			物理療法学	①
			物理療法実習	①
			義肢・装具学	①
			スポーツ理学療法演習	1
			高次機能障害理学療法学演習	1
			Women’s／Men’s health理学療法演習	1
			運動器疼痛理学療法演習	1
			介護予防理学療法演習	1
			運動器理学療法治療学概論	①
			運動器理学療法治療学実習	②
			スポーツ理学療法学	①
			中枢神経系理学療法治療学概論Ⅰ	①
			中枢神経系理学療法治	①

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
			療学概論Ⅱ	
			中枢神経系理学療法治療学実習	②
			発達障害理学療法学	①
			内部障害理学療法治療学概論Ⅰ	①
			内部障害理学療法治療学概論Ⅱ	①
			内部障害理学療法治療学実習	②
			生活支援系理学療法学概論	①
			生活支援系理学療法学実習	②
		地域理学療法学	ヘルスプロモーション論	①
			地域理学療法学	①
			地域在宅理学療法学演習	①
		理学療法管理学	理学療法演習	②
			理学療法管理運営学	①
		臨床実習	臨床見学実習	①
			臨床評価実習Ⅰ	②
			臨床評価実習Ⅱ	⑥
			総合臨床実習	⑩
			地域理学療法実習	①
	専門総合分野	総合技術	卒業研究	④
	〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修			

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>②作業療法学専攻
（別紙12のとおり）</td><td><u>**科目を示す。**</u>
②作業療法学専攻
<table><tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td rowspan="20">専門基礎分野</td><td rowspan="9">人体の構造と機能及び心身の発達</td><td>解剖学Ⅰ</td><td>②</td></tr><tr><td>解剖学Ⅱ</td><td>②</td></tr><tr><td>解剖学実習</td><td>①</td></tr><tr><td>生理学Ⅰ</td><td>②</td></tr><tr><td>生理学Ⅱ</td><td>②</td></tr><tr><td>生理学実習</td><td>①</td></tr><tr><td>運動学</td><td>②</td></tr><tr><td>運動学実習</td><td>①</td></tr><tr><td>人間発達学</td><td>②</td></tr><tr><td rowspan="8">疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進</td><td>医学概論</td><td>②</td></tr><tr><td>内科学Ⅰ</td><td>①</td></tr><tr><td>内科学Ⅱ</td><td>①</td></tr><tr><td>整形外科学</td><td>②</td></tr><tr><td>精神医学</td><td>②</td></tr><tr><td>脳神経学</td><td>②</td></tr><tr><td>加齢医学</td><td>②</td></tr><tr><td>病態生理学</td><td>②</td></tr><tr><td rowspan="4">保健医療福祉とリハビリテーションの理念</td><td>リハビリテーション医学</td><td>②</td></tr><tr><td>生命倫理</td><td>②</td></tr><tr><td>発達障害学</td><td>②</td></tr><tr><td>リハビリテーション心理学</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="6">専門分野</td><td rowspan="5">基礎作業療法学</td><td>作業療法概論</td><td>①</td></tr><tr><td>作業療法研究法</td><td>①</td></tr><tr><td>作業学</td><td>①</td></tr><tr><td>作業学実習</td><td>①</td></tr><tr><td>作業療法理論</td><td>①</td></tr><tr><td>作業療法管理学</td><td>作業療法管理学</td><td>②</td></tr></table></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
		作業療法評価学	作業療法評価学総論	①
			神経系機能能力評価学	①
			神経系機能能力評価学実習	①
			運動系機能能力評価学	①
			運動系機能能力評価学実習	①
			精神・認知機能能力評価学	①
		作業療法治療学	作業療法治療学総論	②
			内部障害作業療法学	②
			内部障害作業療法学演習	①
			脳血管障害作業療法学	①
			脳血管障害作業療法学演習	①
			運動器障害作業療法学	①
			運動器障害作業療法学演習	①
			老年期作業療法学	①
			老年期作業療法学演習	①
			発達障害作業療法学	①
			発達障害作業療法学演習	①
			精神障害作業療法学	①
			精神障害作業療法学演習	①
			義肢装具学概論	②
			日常生活活動学	①
			日常生活活動学実習	①
		地域作業療法学	地域作業療法学	①
			公衆衛生学	1
			ヘルスプロモーション論	2
			介護予防方法論	①

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td></td><td></td><td>福祉住環境コーディネート論</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>就労支援技術学</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td>臨床実習</td><td>地域リハビリテーション実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>見学実習</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>評価実習</td><td>④</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>総合臨床実習</td><td>⑱</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>卒業研究</td><td>④</td></tr>
<tr><td>専門総合分野</td><td>総合技術</td><td>作業療法学演習Ⅰ</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>作業療法学演習Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>作業療法学演習Ⅲ</td><td>①</td></tr>
</table>

<u>〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。</u>
③言語聴覚療法学専攻
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>基礎分野</td><td>言語聴覚療法の基盤</td><td>コミュニケーション論演習</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>リハビリテーション栄養学</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>加齢医学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>専門基礎分野</td><td>人体のしくみ・疾病と治療</td><td>医学概論</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>解剖学Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>解剖学Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>生理学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>生理学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>病態生理学(病理学含む)</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>人間発達学</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>公衆衛生学</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>内科学</td><td>①</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>③言語聴覚療法学専攻
（別紙13のとおり）</td><td></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
			小児科学	①
			精神医学	①
			リハビリテーション医学	②
			耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	①
			脳神経学	②
			形成外科学	①
			歯科口腔外科学	①
			音声聴覚医学	①
		心の働き	臨床心理学	②
			生涯発達心理学	②
			学習心理学	②
			認知心理学(心理測定法含む)	②
			カウンセリング	2
		言語とコミュニケーション	言語学	②
			音声学	②
			言語発達学	②
			音響学	②
			拡大・代替コミュニケーション論	①
		社会保障・教育とリハビリテーション	社会保障制度論	①
			生活環境科学	1
			ヘルスプロモーション論	2
	専門分野	地域言語聴覚療法学	地域言語聴覚療法学	②
		言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論Ⅰ	①
			言語聴覚障害学概論Ⅱ	①
		失語・	認知系障害学概論Ⅰ	②

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
		高次脳機能障害学	認知系障害学概論Ⅱ	②
			認知系障害学演習Ⅰ	①
			認知系障害学演習Ⅱ	①
		言語発達障害学	発達系障害学概論Ⅰ	②
			発達系障害学概論Ⅱ	②
			発達系障害学演習Ⅰ	①
			発達系障害学演習Ⅱ	①
		発声発語・摂食嚥下障害学	発声発語系障害学概論Ⅰ	②
			発声発語系障害学概論Ⅱ	②
			発声発語系障害学演習	①
			拡大・代替コミュニケーション論	1
			嚥下系障害学概論Ⅰ	②
			嚥下系障害学概論Ⅱ	②
			嚥下系障害学演習	①
		聴覚障害学	聴覚系障害学概論Ⅰ	②
			聴覚系障害学概論Ⅱ	②
			聴覚系障害学演習Ⅰ	①
			聴覚系障害学演習Ⅱ	②
		言語聴覚療法管理学	言語聴覚療法管理学	②
		臨床実習	臨床実習Ⅰ	②
			臨床実習Ⅱ	④
			臨床実習Ⅲ	⑧
			臨床実習Ⅳ	①
		総合技術	言語聴覚障害学特別講義Ⅰ	②
			言語聴覚障害学特別講義Ⅱ	②
			言語聴覚学演習	②
			卒業研究	②

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>④義肢装具学専攻
（別紙14のとおり）</td><td><u>〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。</u>
④義肢装具学専攻
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="30">専門基礎分野</td><td rowspan="10">人体の構造と機能及び心身の発達</td><td>解剖学Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>解剖学Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>解剖学演習</td><td>②</td></tr>
<tr><td>機能解剖学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>リハビリテーション運動学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>内科学概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td>臨床心理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>医学概論</td><td>②</td></tr>
<tr><td>生理学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>人間発達学</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="8">疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進</td><td>公衆衛生学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>リハビリテーション整形外科学Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>リハビリテーション整形外科学Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>リハビリテーション脳神経学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>社会参加と高齢者の福祉</td><td>②</td></tr>
<tr><td>生命倫理</td><td>②</td></tr>
<tr><td>福祉住環境学</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="4">保健医療福祉とリハビリテーションの理念</td><td>リハビリテーション医学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>関係法規</td><td>①</td></tr>
<tr><td>作業療法概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td>理学療法概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="2">義肢装具領域</td><td>図学・製図学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>機構学</td><td>①</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
		における工学	制御工学	①
			統計学演習	①
			リハビリテーション工学	②
			義肢装具生体力学	②
			義肢装具生体力学実習	②
	専門分野	基礎義肢装具学	義肢装具学概論	②
			義肢装具基礎工作実習	①
			義肢装具材料学	②
			義肢装具材料力学	②
			装具基礎工作論	①
			装具基礎工作実習	④
			義肢基礎工作論	①
			義肢基礎工作実習	④
		義肢学	義肢Ⅰ(下腿義足)	①
			義肢Ⅰ実習(下腿義足)	③
			義肢Ⅱ(義手)	①
			義肢Ⅱ実習(義手)	②
			義肢Ⅲ(大腿義足)	①
			義肢Ⅲ実習(大腿義足)	③
			義肢Ⅳ(特殊義肢)	①
		装具学	装具Ⅰ(体幹装具)	①
			装具Ⅰ実習(体幹装具)	③
			装具Ⅱ(靴型装具)	①
			装具Ⅱ実習(靴型装具)	②
			装具Ⅲ(下肢装具)	①
			装具Ⅲ実習(下肢装具)	③
			装具Ⅳ(上肢装具)	①
			装具Ⅳ実習(上肢装具)	④
		福祉用具学	車いす論	①
			福祉用具支援論	①
			座位保持装置論	①
		臨床実習	臨床実習Ⅱ	④
			臨床実習Ⅲ	⑥
			卒業研究	④

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td rowspan="11">専門総合分野</td><td rowspan="11">総合技術</td><td>義肢装具学演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>臨床実習Ⅰ</td><td>1</td></tr>
<tr><td>基礎経営学</td><td>1</td></tr>
<tr><td>Digital Brace Manufacturing(DBM)</td><td>1</td></tr>
<tr><td>Digital Feature Fitting(DFF)</td><td>1</td></tr>
<tr><td>膝継手学</td><td>1</td></tr>
<tr><td>キャリアセミナー</td><td>1</td></tr>
<tr><td>スポーツ用具学</td><td>1</td></tr>
<tr><td>特殊補装具学(エピテーゼ)</td><td>1</td></tr>
<tr><td>臨床装具学</td><td>1</td></tr>
</table>

〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
【卒業に必要な単位数】
<table>
<tr><td>科目区分</td><td colspan="2">理学療法学専攻</td><td colspan="2">作業療法学専攻</td><td colspan="2">言語聴覚療法学専攻</td><td colspan="2">義肢装具学専攻</td></tr>
<tr><td></td><td>必修</td><td>選択</td><td>必修</td><td>選択</td><td>必修</td><td>選択</td><td>必修</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>基礎分野</td><td colspan="2">二</td><td colspan="2">二</td><td>5</td><td>二</td><td colspan="2">二</td></tr>
<tr><td>専門基礎分野</td><td>35</td><td rowspan="3">1*</td><td>35</td><td rowspan="3">3*</td><td>39</td><td rowspan="3">3*</td><td>37</td><td rowspan="3">5*</td></tr>
<tr><td>専門分野</td><td>61</td><td>65</td><td>60</td><td>62</td></tr>
<tr><td>専門総合分野</td><td>4</td><td>2</td><td>一</td><td>1</td></tr>
<tr><td>計</td><td>100</td><td>1</td><td>102</td><td>3</td><td>104</td><td>3</td><td>100</td><td>5</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">101単位以上</td><td colspan="2">105単位以上</td><td colspan="2">107単位以上</td><td colspan="2">105単位以上</td></tr>
</table>
理学療法学専攻
＊：『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の専攻の科目の
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td>中から1単位以上を修得すること。
<table><tr><th>専攻名</th><th>授業科目</th></tr><tr><td>作業療法学専攻</td><td>介護予防方法論、就労支援技術学</td></tr><tr><td>言語聴覚療法学専攻</td><td>言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ</td></tr><tr><td>義肢装具学専攻</td><td>臨床心理学、車いす論、福祉用具支援論</td></tr></table>作業療法学専攻
＊：『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の専攻の科目の中から3単位以上を修得すること。
<table><tr><th>専攻名</th><th>授業科目</th></tr><tr><td>理学療法学専攻</td><td>物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学</td></tr><tr><td>言語聴覚療法学専攻</td><td>言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ</td></tr><tr><td>義肢装具学専攻</td><td>臨床心理学、車いす論、福祉用具支援論</td></tr></table>言語聴覚療法学専攻
＊：『専門基礎分野』または以下の専攻の科目の中から3単位以上を修得すること。
<table><tr><th>専攻名</th><th>授業科目</th></tr><tr><td>理学療法学専攻</td><td>物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学</td></tr><tr><td>作業療法学専攻</td><td>介護予防方法論、就労支援技術学</td></tr><tr><td>義肢装具学専攻</td><td>臨床心理学、車いす</td></tr></table></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td></td><td>論、福祉用具支援論</td></tr>
</table>
義肢装具学専攻
＊：『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の専攻の科目の中から5単位以上を修得すること。
<table>
<tr><th>専攻名</th><th>授業科目</th></tr>
<tr><td>理学療法学専攻</td><td>物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学</td></tr>
<tr><td>作業療法学専攻</td><td>介護予防方法論、就労支援技術学</td></tr>
<tr><td>言語聴覚療法学専攻</td><td>言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>3　看護学部
看護学科
（別紙15のとおり）</td><td>3　看護学部
看護学科
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="14">専門基礎科目</td><td colspan="2">医療・生命倫理</td><td>①</td></tr>
<tr><td colspan="2">医学・医療概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td colspan="2">人体の構造と生理機能Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">人体の構造と生理機能Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">栄養・代謝学と臨床生化学</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床薬理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">微生物学</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床病態学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床病態学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床病態学Ⅲ</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床心理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td colspan="2">カウンセリング理論と技法</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">人間の発達と人間関係</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会保障論</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門</td><td>基礎</td><td>看護学概論Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td>看護学概論Ⅱ</td><td>①</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
	科目	看護学系	基礎看護技術演習Ⅰ	①
			基礎看護技術演習Ⅱ	②
			基礎看護技術演習Ⅲ	②
			看護診断学演習	①
			看護実践論	①
			基礎看護学実習Ⅰ	①
			基礎看護学実習Ⅱ	②
		成人看護学系	成人看護学概論Ⅰ	①
			成人看護学概論Ⅱ	①
			成人看護学各論Ⅰ	①
			成人看護学各論Ⅱ	①
			成人看護学演習Ⅰ	①
			成人看護学演習Ⅱ	①
			成人看護学実習Ⅰ	③
			成人看護学実習Ⅱ	③
		老年看護学系	老年看護学概論	②
			老年看護学各論	①
			老年看護学演習	①
			老年看護学実習	③
		小児看護学系	小児看護学概論	②
			小児看護学各論	①
			小児看護学演習	①
			小児看護学実習	②
		母性看護学系	母性看護学概論	②
			母性看護学各論	①
			母性看護学演習	①
			母性看護学実習	②
		精神	精神看護学概論	②
			精神看護学各論	①

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
		看護学系	精神看護学演習	①
			精神看護学実習	②
		地域・在宅看護学系	地域・在宅看護学概論	②
			地域・在宅看護学各論	②
			地域・在宅看護学演習	②
			地域・在宅看護学実習	③
		公衆衛生看護学系	公衆衛生看護学概論	②
			公衆衛生看護活動論	2
			公衆衛生看護方法論Ⅰ	2
			公衆衛生看護方法論Ⅱ	2
			公衆衛生看護管理論	2
			公衆衛生看護方法論Ⅲ	2
			公衆衛生看護方法論Ⅳ	2
			学校保健	1
			産業保健	1
			公衆衛生看護学実習	5
			保健医療福祉行政論Ⅰ	②
			保健医療福祉行政論Ⅱ	1
			疫学	②
			保健統計	②
		統合看護学系	感染制御学	1
			子育て支援論	1
			難病看護論	1
			メンタルヘルス支援論	1
			緩和ケア論	1
			国際看護論	1
			救急看護論	1
			看護関係法規	①
			看護管理学	①

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td></td><td></td><td>統合看護学実習</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>看護学総合演習</td><td>③</td></tr>
<tr><td></td><td>卒業研究</td><td>研究方法論</td><td>②</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>卒業研究</td><td>②</td></tr>
</table>

<u>〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。</u>
<u>【卒業に必要な単位数】</u>
<table>
<tr><th><u>科目区分</u></th><th><u>必修</u></th><th><u>選択</u></th></tr>
<tr><td><u>専門基礎科目</u></td><td><u>20</u></td><td><u>1</u></td></tr>
<tr><td><u>専門科目</u></td><td><u>78</u></td><td><u>4</u></td></tr>
<tr><td><u>計</u></td><td><u>98</u></td><td><u>5</u></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"><u>103単位以上</u></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>4　薬学部
薬学科
（別紙16のとおり）</td><td>4　薬学部
薬学科
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="20">専門科目</td><td rowspan="10">基本的資質・社会と薬学</td><td>薬学へのいざない</td><td>①</td></tr>
<tr><td>医療統計学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>医療コミュニケーション</td><td>①</td></tr>
<tr><td>薬事関係法規・制度Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>薬事関係法規・制度Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>MAPLE　Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>MAPLE　Ⅱ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>MAPLE　Ⅲ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>MAPLE　Ⅳ</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="10">基礎薬学</td><td>数学基礎演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>薬学数学</td><td>①</td></tr>
<tr><td>物理学基礎</td><td>①</td></tr>
<tr><td>物理学基礎演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>物理化学Ⅰ</td><td>①</td></tr>
<tr><td>物理化学Ⅱ</td><td>①</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
			物理化学Ⅲ	①
			分析化学Ⅰ	①
			分析化学Ⅱ	①
			分析化学Ⅲ	①
			化学基礎	①
			化学基礎演習	①
			有機化学Ⅰ	①
			有機化学Ⅱ	①
			有機化学Ⅲ	①
			有機化学Ⅳ	①
			生薬学	①
			生物学基礎	①
			生物学基礎演習	①
			生化学Ⅰ	①
			生化学Ⅱ	①
			遺伝子	①
			微生物学	①
			細胞生物学・免疫学概論	①
			免疫学	①
			物理系薬学演習A	1
			物理系薬学演習B	1
			化学系薬学演習A	1
			化学系薬学演習B	1
			生物系薬学演習A	1
			生物系薬学演習B	1
			物理化学・分析化学実習	②
			有機化学・生薬学実習	②
			生物学実習	②
		医療薬学	解剖生理学Ⅰ	①
			解剖生理学Ⅱ	①
			病態と薬理総論	①
			病態と薬理Ⅰ	①
			病態と薬理Ⅱ	①
			病態と薬理Ⅲ	①
			病態と薬理Ⅳ	①

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
			病態と薬理Ⅴ	①
			感染症学	①
			感染症治療学	①
			漢方医薬学	①
			薬の生体内運命	①
			薬物動態解析学	①
			製剤設計Ⅰ	①
			製剤設計Ⅱ	①
			臨床薬剤学	①
			複合演習(薬剤)	①
			複合演習(薬物治療Ⅰ)	①
			複合演習(薬物治療Ⅱ)	①
			薬理学実習	②
			薬剤学実習	②
		衛生薬学	生活環境と健康	①
			栄養と食品	①
			食品衛生学	①
			社会集団と健康	①
			化学物質の生体影響	①
			環境因子の生体影響	①
			複合演習(衛生)	①
			衛生薬学実習	②
		臨床薬学	基礎調剤学	①
			医薬品情報	①
			臨床実務学	①
			臨床推論	①
			患者情報	①
			治療解析基礎	①
			治療解析応用	①
			早期臨床体験	①
			調剤実習Ⅰ	①
			調剤実習Ⅱ	①
			調剤実習Ⅲ	①
			実務事前実習	③
			学外実務実習	⑳

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
			アドバンスト実務実習	2
		卒業研究	研究実践入門	2
			薬学研究リテラシー	2
			卒業研究Ⅰ	⑤
			卒業研究Ⅱ	⑤
			卒業研究Ⅲ	②
		薬学総合	薬学英語Ⅰ	①
			薬学英語Ⅱ	1
			香粧品と医用材料学	2
			健康増進疾病予防演習	2
			総合医薬科学	2
			医薬品の開発と評価	2
			専門薬剤師の任務	2
			地域医療における薬剤師の任務	2
			リプロダクティブ・ヘルスと薬学	2
			漢方臨床推論	2
			がん治療の基礎と臨床	2
			未来の薬学／イノベーションと社会貢献	2
			基礎薬学演習Ⅰ	①
			基礎薬学演習Ⅱ	③
			総合薬学演習Ⅰ	⑨
			総合薬学演習Ⅱ	⑨

〔注〕1　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

2　単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門科目	141	20*
合計	161単位以上	

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>5　健康科学部
イ　心理学科
（別紙17のとおり）</td><td><u>＊『専門科目』の「基礎薬学」の選択必修科目である「物理系薬学演習A」「物理系薬学演習B」のいずれか1単位、「化学系薬学演習A」「化学系薬学演習B」のいずれか1単位、「生物系薬学演習A」「生物系薬学演習B」のいずれか1単位の計3単位を含め、20単位以上を修得すること。</u>
5　健康科学部
イ　心理学科
<table>
<tr><th colspan="2">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">学部共通横断科目</td><td>健康科学概論</td><td>②</td></tr>
<tr><td>スポーツ・エンターテインメント演習</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="13">学科必修科目</td><td>日本語基礎演習Ⅰ(話す・聞く)</td><td>①</td></tr>
<tr><td>日本語基礎演習Ⅱ(読む・書く)</td><td>①</td></tr>
<tr><td>心理学の学びとキャリアプランニング</td><td>①</td></tr>
<tr><td>専門基礎演習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>専門演習Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>専門演習Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>卒業研究Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>卒業研究Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>心理学概論</td><td>②</td></tr>
<tr><td>心理学統計法</td><td>②</td></tr>
<tr><td>心理学研究法A</td><td>②</td></tr>
<tr><td>心理学実験</td><td>②</td></tr>
<tr><td rowspan="3">プログラム指定科目</td><td>臨床心理学とキャリア・プランニング</td><td>1</td></tr>
<tr><td>子ども・健康支援の心理学とキャリア・プランニング</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ビジネス・社会心理学とキャリア・プランニング</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">心理学総</td><td>感情・人格心理学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>学習・言語心理学</td><td>2</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行		
	合科目	動物心理学	2
		知覚・認知心理学	2
		神経・生理心理学	2
		色彩心理学	2
		心理学研究法B	2
		心理学研究法C	2
		多変量解析演習	2
		外国書講読	2
		スポーツ心理学	2
		心理学応用実験	1
	臨床心理プログラム科目	臨床心理学概論	2
		心理学的支援法	2
		公認心理師の職責	2
		心理的アセスメント	2
		認知行動療法	2
		精神疾患とその治療	2
		精神保健	2
		心理演習Ⅰ	2
		心理演習Ⅱ	2
		福祉心理学	2
		人体の構造と機能及び疾病	2
		関係行政論	2
		実践臨床心理学	1
	子ども・健康心理プログラム科目	発達心理学	2
		健康・医療心理学	2
		障害者・障害児心理学	2
		教育・学校心理学	2
		公衆衛生学	2
		睡眠改善学	2
		健康相談活動の理論と方法	2
		学校カウンセリング	2
		高齢者支援演習	2
		子育て支援論	2
		保育心理学	2
		学校保健	2

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行

	小児保健学	2
	小児救急処置演習	2
ビジネス・社会心理プログラム科目	社会・集団・家族心理学A	2
	社会・集団・家族心理学B	2
	コミュニティ心理学	2
	社会調査法概論	2
	司法・犯罪心理学	2
	消費者心理学	2
	産業・組織心理学	2
	社会心理調査法実習	2
	ビジネス・社会活動マナー演習	2
	環境心理学	2
	心理学と人間工学	2
学外実習科目	心理実習	2
	心理学実践実習	1
	コミュニケーション実習	2
	メディアコミュニケーション実習	1
	地域支援実習	1
関連科目	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2
	ウェルネスビジネス論Ⅱ	2
	キャリア体験A	1
	キャリア体験B	1

〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門教育科目	22	62*1	10*2
計	84単位以上		

〔注〕

＊1：専門教育科目の科目区分『プログラム指定科目』から1単位、『学外実習科目』から2単位を含む62単位以上を修

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>ロ　医療栄養学科
（別紙18のとおり）</td><td>**得すること。ただし『関連科目』で修得した単位は、その他区分の10単位に含める。**
＊2：『オプション科目』のうち15単位を超えて修得した単位、所属学科の『専門教育科目』のうち62単位を超えて修得した単位および『関連科目』で修得した単位、他学科の『専門教育科目』で修得した単位を合計して10単位以上を修得すること。
ロ　医療栄養学科
<table>
<tr><th colspan="3">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="24">専門基礎分野</td><td rowspan="4">医療人養成に向けた基礎教育</td><td>管理栄養士概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td>早期体験学習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>医療・生命倫理</td><td>①</td></tr>
<tr><td>医学・医療概論</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="4">社会・環境と健康</td><td>公衆衛生学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>公衆衛生学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>公衆衛生学Ⅲ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>公衆衛生学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="10">人体の構造と機能及び疾病の成り立ち</td><td>生理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>解剖学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>解剖生理学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>生化学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>生化学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>生化学実験</td><td>①</td></tr>
<tr><td>病態学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>病態学Ⅱ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>病態学Ⅲ</td><td>②</td></tr>
<tr><td>病態生理学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td rowspan="4">食べ物と健康</td><td>調理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>調理学実習</td><td>①</td></tr>
<tr><td>調理科学実験</td><td>①</td></tr>
<tr><td>食品化学Ⅰ</td><td>②</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
			食品化学Ⅱ	②
			食品化学実験	①
			食品加工学	②
			食品加工学実習	①
			食品衛生学	②
			食品衛生学実験	①
			献立作成実習	①
	専門応用分野	基礎栄養学	基礎栄養学	②
			基礎栄養学実験	①
			食事摂取基準演習	①
		応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	②
			応用栄養学Ⅱ	②
			応用栄養学Ⅲ	②
			応用栄養学実習	①
		栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	②
			栄養教育論Ⅱ	②
			栄養教育論Ⅲ	②
			栄養教育論実習	①
		臨床栄養学	臨床栄養学総論	②
			臨床栄養学各論Ⅰ	②
			臨床栄養学各論Ⅱ	②
			臨床栄養学各論Ⅲ	②
			臨床栄養学実習Ⅰ	①
			臨床栄養学実習Ⅱ	①
		公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	②
			公衆栄養学Ⅱ	②
			公衆栄養学実習	①
		給食経営管理論	給食経営管理総論	②
			給食経営管理各論	②
			給食経営管理実習Ⅰ	①
			給食経営管理実習Ⅱ	①
		総合演習	総合演習Ⅰ	①
			総合演習Ⅱ	1
			総合演習Ⅲ	①
			総合演習Ⅳ	1

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行			
			総合演習Ⅴ	1
			総合専門演習Ⅰ	①
			総合専門演習Ⅱ	2
		臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	①
			臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	1
			臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	②
			臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	1
			臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	1
		関連科目	健康科学概論	②
			スポーツ・エンターテインメント演習	1
			臨床栄養管理学演習	1
			スポーツ医学概論	1
			スポーツ栄養サポート論Ⅰ	1
			スポーツ栄養サポート論Ⅱ	1
			スポーツ栄養サポート論Ⅲ	1
			スポーツ栄養マネジメント演習Ⅰ	1
			スポーツ栄養マネジメント演習Ⅱ	1
			メニュー開発演習Ⅰ	1
			メニュー開発演習Ⅱ	1
			洋食調理演習	1
			地域コミュニケーション演習	1
			栄養薬学	2
			医療・福祉・介護と栄養ケア	2
			卒業研究Ⅰ	②
			卒業研究Ⅱ	②
			卒業研究Ⅲ	2

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td>〔注〕1　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
2　単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。
【卒業に必要な単位数】
<table><tr><th>区分</th><th>必修</th><th>選択</th></tr><tr><td>専門基礎分野</td><td>44</td><td rowspan="2">7*</td></tr><tr><td>専門応用分野</td><td>51</td></tr><tr><td>計</td><td>95</td><td>7</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">102単位以上</td></tr></table>〔注〕＊：『専門応用分野』の「総合演習(専門総合演習Ⅱを除く)」から選択必修科目1単位、「臨地実習」から選択必修科目1単位の計2単位および『専門応用分野』の「総合専門演習Ⅱ」と「卒業研究Ⅲ」の選択必修科目2単位を含め、『専門応用分野』およびⅤ教職課程の1栄養に係る教育に関する科目の「学校栄養教育論Ⅰ」、「学校栄養教育論Ⅱ」から7単位を修得すること。なお、管理栄養士国家試験の受験資格を得るためには「総合専門演習Ⅱ」の2単位を修得すること。</td></tr>
<tr><td>ハ　医療経営学科
（別紙19のとおり）</td><td>ハ　医療経営学科
<table><tr><th colspan="2">授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td rowspan="8">専門基礎科目</td><td>経営学入門</td><td>②</td></tr><tr><td>医療制度論</td><td>②</td></tr><tr><td>社会保障論</td><td>②</td></tr><tr><td>医学・医療概論</td><td>②</td></tr><tr><td>医療関連法規</td><td>②</td></tr><tr><td>医学用語概論</td><td>②</td></tr><tr><td>情報システム学入門</td><td>②</td></tr><tr><td>病院管理学</td><td>②</td></tr></table></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行		
		ひろしま学	②
		健康科学概論	②
		救急処置演習	①
	専門科目	経営組織論	2
		医療と経営組織	2
		人的資源管理論	2
		医療と人的資源管理	2
		組織行動論	2
		ビジネスリーダーシップ論	2
		ウェルビーイング論	2
		ダイバーシティ＆インクルージョン	2
		非営利組織経営論	2
		経営基礎数学	2
		経営科学	2
		生産管理論	2
		医療経営科学	2
		品質マネジメント論	2
		医療機器と物品管理	2
		医療施設建築計画論	2
		医療福祉ユニバーサルデザイン	2
		グローバル経営論	2
		簿記論	2
		簿記演習	1
		会計学	2
		コスト・マネジメント	2
		管理会計	2
		医療と会計	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		公共経済学	2
		医療と経済	2
		行動経済学	2
		地域医療システム論	2
		マーケティング論	2

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行	
	医療とマーケティング	2
	医療とリスクマネジメント	1
	医療と流通	2
	ヘルスケア・ビジネス論	2
	スポーツ・ビジネス論	1
	経営戦略論	2
	医療と経営戦略	2
	サステナブルマネジメント	2
	DX論	2
	戦略会計ゲーム論	2
	アントレプレナーシップ論	1
	人体構造機能学	2
	臨床医学Ⅰ	2
	臨床医学Ⅱ	2
	臨床医学Ⅲ	2
	臨床医学Ⅳ	2
	医療倫理	1
	疾病分類学	2
	疾病分類学演習	1
	診療情報管理演習Ⅰ	1
	診療情報管理演習Ⅱ	1
	診療情報管理演習Ⅲ	1
	診療報酬制度論	2
	診療報酬請求演習Ⅰ	1
	診療報酬請求演習Ⅱ	1
	医師事務作業論	2
	医師事務作業演習	1
	医療事務概論	2
	医療統計学	2
	医療情報学Ⅰ	2
	医療情報学Ⅱ	2
	医療と情報システム	2
	医療情報システム演習Ⅰ	1
	医療情報システム演習Ⅱ	1
	診療情報管理論	2

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行
	情報システム学Ⅰ　2 情報システム学Ⅱ　2 データサイエンス・AI演習　1 システム設計　2 医療経営情報処理演習　1 スポーツ・エンターテインメント演習　1 医療経営総合演習　1 ビジネスマナー・接遇演習　1 医療ボランティア　1 医療施設管理実習事前演習　1 医療施設管理実習　2 フィールドワーク　1 キャリア体験　1 医療経営チュートリアル　① 医療経営演習Ⅰ　① 医療経営演習Ⅱ　① 専門演習Ⅰ　② 専門演習Ⅱ　② 卒業研究Ⅰ　② 卒業研究Ⅱ　②

〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門基礎科目	21	59	10*
専門科目	11		
計	32	59	
	91単位以上		

＊:オプション科目の8単位を超えて修得した単位数、所属学科の専門教育科目の91単位を超えて修得した単位数、または、他学科の専門教育科目の修得した単位数を合計し

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>ニ　社会学科
現行どおり
6　健康スポーツ学部
健康スポーツ学科
（別紙20のとおり）</td><td><u>て10単位以上を修得すること。</u>
ニ　社会学科
省略
6　健康スポーツ学部
健康スポーツ学科
<table>
<tr><th colspan="2">授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="28">専門基礎分野</td><td>健康スポーツ概論</td><td>②</td></tr>
<tr><td>スポーツ原理</td><td>②</td></tr>
<tr><td>スポーツ経営管理学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スポーツ社会学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>スポーツ史</td><td>②</td></tr>
<tr><td>スポーツビジネス特論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スポーツ心理学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スポーツ運動学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>バイオメカニクス</td><td>②</td></tr>
<tr><td>体力測定評価</td><td>2</td></tr>
<tr><td>コーチング論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スポーツ生理学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>運動処方論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スポーツ栄養学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スポーツ医学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>人体機能解剖学</td><td>②</td></tr>
<tr><td>生涯学習概論Ⅰ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>生涯学習支援論Ⅰ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>社会教育経営論Ⅰ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>学校保健</td><td>2</td></tr>
<tr><td>トレーニング論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>レクリエーション概論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>衛生学・公衆衛生学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>健康教育学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スポーツ実技A(陸上競技)</td><td>1</td></tr>
<tr><td>スポーツ実技A(器械運動)</td><td>1</td></tr>
<tr><td>スポーツ実技A(水泳)</td><td>1</td></tr>
<tr><td>スポーツ実技A(健康体力つくり)</td><td>1</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行		
		スポーツ実技B(ダンス)	1
		スポーツ実技B(武道1)	1
		スポーツ実技B(武道2)	1
		スポーツ実技C(ゴール型1)	1
		スポーツ実技C(ゴール型2)	1
		スポーツ実技C(ベースボール型)	1
		スポーツ実技C(ネット型1)	1
		スポーツ実技C(ネット型2)	1
		スポーツ実技D(野外活動1)	1
		スポーツ実技D(野外活動2)	1
	専門分野	身体スポーツ文化論	2
		スポーツ解析演習	2
		スポーツ映像処理演習	2
		運動処方演習	2
		トレーニングプログラム演習	2
		レクリエーション演習	2
		保健体育科教育法Ⅰ	2
		保健体育科教育法Ⅱ	2
		保健体育科教育法Ⅲ	2
		保健体育科教育法Ⅳ	2
		道徳教育理論・指導法	2
		特別活動の指導法	2
		生涯学習概論Ⅱ	2
		生涯学習支援論Ⅱ	2
		社会教育経営論Ⅱ	2
		労働法規Ⅰ	2
		労働法規Ⅱ(労働と環境)	2
	授業科目		単位数
	専門演習・実習分野	スポーツ科学演習A	2
		スポーツ科学演習B	2
		スポーツ科学演習C	2
		スポーツ科学演習D	2
		スポーツ実技指導演習A(陸上競	2

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案	現行		
		技)	
		スポーツ実技指導演習A(器械運動)	2
		スポーツ実技指導演習A(水泳)	2
		スポーツ実技指導演習A(健康体力つくり)	2
		スポーツ実技指導演習B(ダンス)	2
		スポーツ実技指導演習B(武道1)	2
		スポーツ実技指導演習B(武道2)	2
		スポーツ実技指導演習C(ゴール型1)	2
		スポーツ実技指導演習C(ゴール型2)	2
		スポーツ実技指導演習C(ベースボール型)	2
		スポーツ実技指導演習C(ネット型1)	2
		スポーツ実技指導演習C(ネット型2)	2
		スポーツ実技指導演習D(野外活動1)	2
		スポーツ実技指導演習D(野外活動2)	2
		パラスポーツ演習	2
		介護予防運動演習	2
		健康運動指導実習	1
		エクササイズ指導実技	2
		エクササイズ指導実習	1
		レクリエーション実習	1
		社会教育実習A	1
		社会教育実習B	3
	専門総合分野	健康スポーツ学総合演習Ⅰ	②
		健康スポーツ学総合演習Ⅱ	②
		卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td></td><td>〔注〕　単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
【卒業に必要な単位数】
<table><tr><th>科目区分</th><th>必修</th><th>選択</th><th>その他</th></tr><tr><td>専門基礎分野</td><td>16</td><td rowspan="4">61*1</td><td rowspan="5">6*2</td></tr><tr><td>専門分野</td><td>一</td></tr><tr><td>専門演習・実習分野</td><td>一</td></tr><tr><td>専門総合分野</td><td>8</td></tr><tr><td>計</td><td>24</td><td>61</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">85単位以上</td></tr></table>＊1　61単位のうち「スポーツ実技A」の種目から1科目1単位、「スポーツ実技B」の種目から1科目1単位、「スポーツ実技C」の種目から1科目1単位、
「身体スポーツ文化論」、「スポーツ解析演習」、「運動処方演習」、「トレーニングプログラム演習」、「レクリエーション演習」の科目から3科目6単位、
「スポーツ科学演習A」、「スポーツ科学演習B」、「スポーツ科学演習C」、「スポーツ科学演習D」の科目から1科目2単位、
「スポーツ実技指導演習A」の種目から1科目2単位、「スポーツ実技指導演習B」の種目から1科目2単位、「スポーツ実技指導演習C」の種目から1科目2単位を修得すること。
＊2　オプション科目､所属学科の専門教育科目､他学科の専門教育科目から6単位以上を修得すること。</td></tr>
<tr><td>Ⅳ　教職課程
1　栄養に係る教育に関する科目
現行どおり
2　教職に関する科目</td><td>Ⅳ　教職課程
1　栄養に係る教育に関する科目
省略
2　教職に関する科目</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>イ　健康科学部

<u>①心理学科</u>
<table>
<tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>教育制度論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育課程論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>道徳教育理論・指導法</td><td>2</td></tr>
<tr><td>総合的な学習・探究の時間の指導法</td><td>1</td></tr>
<tr><td>特別活動の指導法</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育方法論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>情報通信技術の活用</td><td>1</td></tr>
<tr><td>生徒指導論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>養護実習</td><td>4</td></tr>
<tr><td>養護実習指導</td><td>1</td></tr>
<tr><td>教職実践演習</td><td>2</td></tr>
</table>
<u>〔注〕　上記科目は自由科目とし卒業要件の単位数には含まない。</u>

②医療栄養学科
<table>
<tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>教育原<u>論</u></td><td><u>2</u></td></tr>
<tr><td>教職概論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育制度論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>学校教育心理学</td><td>1</td></tr>
<tr><td>特別支援教育論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>教育課程論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>道徳・特別活動論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>総合的な学習<u>・探究の時間の指導法</u></td><td>1</td></tr>
<tr><td>教育方法論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>情報通信技術の活用</td><td>1</td></tr>
<tr><td>生徒指導論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>教育相談</td><td>1</td></tr>
<tr><td>栄養教育実習Ⅰ</td><td>1</td></tr>
<tr><td>栄養教育実習Ⅱ</td><td>1</td></tr>
<tr><td>教職実践演習(栄養教諭)</td><td>2</td></tr>
</table></td><td>イ　健康科学部

医療栄養学科
<table>
<tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>教育原<u>理</u></td><td><u>1</u></td></tr>
<tr><td>教職概論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育制度論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>学校教育心理学</td><td>1</td></tr>
<tr><td>特別支援教育論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>教育課程論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>道徳・特別活動論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>総合的な学習<u>の時間論</u></td><td>1</td></tr>
<tr><td>教育方法論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>情報通信技術の活用</td><td>1</td></tr>
<tr><td>生徒指導論</td><td>1</td></tr>
<tr><td>教育相談</td><td>1</td></tr>
<tr><td>栄養教育実習Ⅰ</td><td>1</td></tr>
<tr><td>栄養教育実習Ⅱ</td><td>1</td></tr>
<tr><td>教職実践演習(栄養教諭)</td><td>2</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>〔注〕　上記科目は自由科目とし卒業要件の単位数には含まない。
ロ　健康スポーツ学部
健康スポーツ学科
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>（削除）</td><td></td></tr><tr><td>初等国語科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等社会科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等算数科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等理科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等生活科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等音楽科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等図画工作科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等家庭科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等体育科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>初等外国語科教育法</td><td>2</td></tr><tr><td>教育実習事前事後指導（小・中）</td><td>1</td></tr><tr><td>教育実習Ⅲ（小・中）</td><td>4</td></tr></table>〔注〕上記科目は自由科目とし卒業要件の単</td><td>〔注〕　上記科目は自由科目とし卒業要件の単位数には含まない。
ロ　健康スポーツ学部
健康スポーツ学科
<table><tr><th>授業科目</th><th>単位数</th></tr><tr><td>教育原論</td><td>1</td></tr><tr><td>教職概論</td><td>2</td></tr><tr><td>教育制度論</td><td>2</td></tr><tr><td>学校教育心理学</td><td>2</td></tr><tr><td>特別支援教育論</td><td>1</td></tr><tr><td>教育課程論</td><td>2</td></tr><tr><td>総合的な学習の時間の指導法</td><td>1</td></tr><tr><td>教育方法論</td><td>1</td></tr><tr><td>情報通信技術の活用</td><td>1</td></tr><tr><td>生徒指導論</td><td>1</td></tr><tr><td>教育相談</td><td>1</td></tr><tr><td>進路指導・キャリア教育論</td><td>1</td></tr><tr><td>教育実習事前事後指導</td><td>1</td></tr><tr><td>教育実習Ⅰ(高のみ)</td><td>2</td></tr><tr><td>教育実習Ⅱ(中・高)</td><td>4</td></tr><tr><td>教職実践演習(中・高)</td><td>2</td></tr></table>〔注〕上記科目は自由科目とし卒業要件の単</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>
位数には含まない。
別表第2　現行どおり
別表第3　学費
各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。
(単位：円)
(1)　保健医療学部・総合リハビリテーション学部・看護学部
<table>
<tr><th>科目</th><th>納期</th><th>納入額</th></tr>
<tr><td>入学金</td><td>入学手続時</td><td><u>200,000</u></td></tr>
</table>
<table>
<tr><th rowspan="2">年次</th><th rowspan="2">科目</th><th colspan="2">納入額</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>前期</th><th>後期</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1年次</td><td>授業料</td><td><u>725,000</u></td><td><u>725,000</u></td><td rowspan="3">※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入</td></tr>
<tr><td>教育充実費</td><td><u>55,000</u></td><td><u>55,000</u></td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>780,000</u></td><td><u>780,000</u></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2年次以降</td><td>授業料</td><td><u>725,000</u></td><td><u>725,000</u></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>教育充実費</td><td><u>110,000</u></td><td><u>110,000</u></td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>835,000</u></td><td><u>835,000</u></td></tr>
</table>
(2)　薬学部
<table>
<tr><th>科目</th><th>納期</th><th>納入額</th></tr>
<tr><td>入学金</td><td>入学手続時</td><td><u>200,000</u></td></tr>
</table>
<table>
<tr><th rowspan="2">年次</th><th rowspan="2">科目</th><th colspan="2">納入額</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>前期</th><th>後期</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1年次</td><td>授業料</td><td><u>870,000</u></td><td><u>870,000</u></td><td rowspan="3">※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入</td></tr>
<tr><td>教育充実費</td><td><u>60,000</u></td><td><u>60,000</u></td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>930,000</u></td><td><u>930,000</u></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2年次以降</td><td>授業料</td><td><u>870,000</u></td><td><u>870,000</u></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>教育充実費</td><td><u>130,000</u></td><td><u>130,000</u></td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>1,000,000</u></td><td><u>1,000,000</u></td></tr>
</table>
(3)　健康科学部(心理学科、医療経営学科、社会学科)
</td><td>
位数には含まない。
別表第2　省略
別表第3　学費
各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。
(単位：円)
(1)　保健医療学部・総合リハビリテーション学部・看護学部
<table>
<tr><th>科目</th><th>納期</th><th>納入額</th></tr>
<tr><td>入学金</td><td>入学手続時</td><td><u>250,000</u></td></tr>
</table>
<table>
<tr><th rowspan="2">年次</th><th rowspan="2">科目</th><th colspan="2">納入額</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>前期</th><th>後期</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1年次</td><td>授業料</td><td><u>715,000</u></td><td><u>715,000</u></td><td rowspan="3">※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入</td></tr>
<tr><td>教育充実費</td><td><u>45,000</u></td><td><u>45,000</u></td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>760,000</u></td><td><u>760,000</u></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2年次以降</td><td>授業料</td><td><u>715,000</u></td><td><u>715,000</u></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>教育充実費</td><td><u>100,000</u></td><td><u>100,000</u></td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>815,000</u></td><td><u>815,000</u></td></tr>
</table>
(2)　薬学部
<table>
<tr><th>科目</th><th>納期</th><th>納入額</th></tr>
<tr><td>入学金</td><td>入学手続時</td><td><u>250,000</u></td></tr>
</table>
<table>
<tr><th rowspan="2">年次</th><th rowspan="2">科目</th><th colspan="2">納入額</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>前期</th><th>後期</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1年次</td><td>授業料</td><td><u>860,000</u></td><td><u>860,000</u></td><td rowspan="3">※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入</td></tr>
<tr><td>教育充実費</td><td><u>50,000</u></td><td><u>50,000</u></td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>910,000</u></td><td><u>910,000</u></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2年次以降</td><td>授業料</td><td><u>860,000</u></td><td><u>860,000</u></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>教育充実費</td><td><u>120,000</u></td><td><u>120,000</u></td></tr>
<tr><td>計</td><td><u>980,000</u></td><td><u>980,000</u></td></tr>
</table>
(3)　健康科学部(心理学科、医療経営学科、社会学科)
</td></tr>
</table>

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	**200,000**

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	**525,000**	**525,000**	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	**30,000**	**30,000**	
	計	**555,000**	**555,000**	
2年次以降	授業料	**525,000**	**525,000**	
	教育充実費	**80,000**	**80,000**	
	計	**605,000**	**605,000**	

(4)　健康科学部(医療栄養学科)

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	**200,000**

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	**525,000**	**525,000**	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	**55,000**	**55,000**	
	計	**580,000**	**580,000**	
2年次以降	授業料	**525,000**	**525,000**	
	教育充実費	**110,000**	**110,000**	
	計	**635,000**	**635,000**	

(5)　健康スポーツ学部

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	**200,000**

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	**525,000**	**525,000**	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	**55,000**	**55,000**	
	計	**580,000**	**580,000**	

現行

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	**250,000**

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	**515,000**	**515,000**	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	**25,000**	**25,000**	
	計	**540,000**	**540,000**	
2年次以降	授業料	**515,000**	**515,000**	
	教育充実費	**75,000**	**75,000**	
	計	**590,000**	**590,000**	

(4)　健康科学部(医療栄養学科)

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	**250,000**

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	**515,000**	**515,000**	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	**45,000**	**45,000**	
	計	**560,000**	**560,000**	
2年次以降	授業料	**515,000**	**515,000**	
	教育充実費	**100,000**	**100,000**	
	計	**615,000**	**615,000**	

(5)　健康スポーツ学部

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	**250,000**

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	**515,000**	**515,000**	※　入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	**45,000**	**45,000**	
	計	**560,000**	**560,000**	

広島国際大学学則の一部を次のとおり改正する。

（下線は改正部分）

改正案

2年次以降	授業料	**525,000**	**525,000**	
	教育充実費	**110,000**	**110,000**	
	計	**635,000**	**635,000**	

〔注〕

1　学費の金額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

2　第20条もしくは第21条により編入学または転入学を許可された者は、新所属の年次の学生に適用される学費を適用する。

3　この規定において1年次とは在籍1年目をいう。ただし、編入学または転入学を許可された者は除く。

別表第4～別表第7　現行どおり

別表第8 教育職員免許状の種類および免許教科

教職課程を置く学部・学科・専攻		免許状の種類	免許教科
健康科学部	**心理学科**	**養護教諭一種免許状**	
	医療栄養学科	栄養教諭一種免許状	
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育
		小学校教諭二種免許状	

現行

2年次以降	授業料	**515,000**	**515,000**	
	教育充実費	**100,000**	**100,000**	
	計	**615,000**	**615,000**	

〔注〕

1　学費の金額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

2　第20条もしくは第21条により編入学または転入学を許可された者は、新所属の年次の学生に適用される学費を適用する。

3　この規定において1年次とは在籍1年目をいう。ただし、編入学または転入学を許可された者は除く。

別表第4～別表第7　省略

別表第8　教育職員免許状の種類および免許教科

教職課程を置く学部・学科・専攻		免許状の種類	免許教科
健康科学部	医療栄養学科	栄養教諭一種免許状	
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育

別紙Ⅰ（保健医療学部）

イ 診療放射線学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習Ⅱ	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	②
		物理学	②
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験ａ	1
		科学実験ｂ	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ＩＣＴ活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情ａ	2
		日本事情ｂ	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	3※	1単位
	多職種連携科目群	2	－		2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2		2単位以上
	数理探究科目群	4	－		4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	－		2単位以上
	ICT活用科目群	2	－		2単位以上
	スポーツ科目群	1			1単位以上
計		12	5		17単位以上

※各科目群の卒業要件のほか、選択科目から3単位以上を修得すること。

ロ 医療技術学科

①臨床工学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	1
		多職種連携総合演習Ⅱ	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験ａ	1
		科学実験ｂ	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	②
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情ａ	2
		日本事情ｂ	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	1*	1単位
	多職種連携科目群	2	－		2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2		2単位以上
	数理探究科目群	2	－		2単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	6	－		6単位以上
	ICT活用科目群	4	－		4単位以上
	スポーツ科目群	2	－		2単位
計		17	3		20単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から1単位以上を修得すること。

②臨床検査学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	②
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	②
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	2*	1単位
	多職種連携科目群	2	－		2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2		2単位以上
	数理探究科目群	4	－		4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	6	－		6単位以上
	ICT活用科目群	2	－		2単位以上
	スポーツ科目群	－	1		1単位以上
計		15	5		20単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を修得すること。

ハ 救急救命学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習Ⅰ	①
		多職種連携基礎演習Ⅱ	①
		多職種連携総合演習Ⅰ	①
		多職種連携総合演習Ⅱ	①
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験ａ	1
		科学実験ｂ	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	②
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情ａ	2
		日本事情ｂ	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	1単位
	多職種連携科目群	4	ー	4単位以上
	人文社会探究科目群	ー	2	2単位以上
	数理探究科目群	2	ー	2単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	6	ー	6単位以上
	ICT活用科目群	4	ー	4単位以上
	スポーツ科目群	ー	1	1単位以上
計		17	3	20単位以上

別紙2（総合リハビリテーション学部）

リハビリテーション学科

①理学療法学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	②
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	1単位
	多職種連携科目群	2	－	2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2	2単位以上
	数理探究科目群	2	－	2単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	－	2単位以上
	ICT活用科目群	2	－	2単位以上
	スポーツ科目群	－	1	1単位以上
計		9	3	12単位以上

②作業療法学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	②
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	1単位
	多職種連携科目群	2	－	2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2	2単位以上
	数理探究科目群	2	－	2単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	－	2単位以上
	ICT活用科目群	2	－	2単位以上
	スポーツ科目群	2	－	2単位
計		11	2	13単位以上

③言語聴覚療法学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	②
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーション I	①
		英語コミュニケーションII	①
		検定英語	1
		中国語 I	1
		中国語 II	1
		ドイツ語 I	1
		ドイツ語 II	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンス I	①
		データサイエンスII	1
		データサイエンスIII	1
		プログラミング I	1
		プログラミング II	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習 I	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語 I	2
		日本語 II	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	4*	1単位
	多職種連携科目群	2	－		2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2		2単位以上
	数理探究科目群	2	－		2単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	－		2単位以上
	ICT活用科目群	2	－		2単位以上
	スポーツ科目群	－	1		1単位以上
計		9	7		16単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から4単位以上を修得すること。

④義肢装具学専攻

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	5*	1単位
	多職種連携科目群	2	－		2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2		2単位以上
	数理探究科目群	－	1		1単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	－		2単位以上
	ICT活用科目群	2	－		2単位以上
	スポーツ科目群	－	1		1単位以上
計		7	9		16単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から5単位以上を修得すること。

別紙3（看護学部）

看護学科

授業科目			単位数
基盤教育科目	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	②
		化学	2
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	多職種連携科目群	2	−	2*	2単位以上
	人文社会探究科目群	−	2		2単位以上
	数理探究科目群	4	−		4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	4	−		4単位以上
	ICT活用科目群	4	−		4単位以上
	スポーツ科目群	2			2単位
計		16	4		20単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を修得すること。

別紙4（薬学部）

薬学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	①
		多職種連携総合演習II	①
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	①
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		物理学基礎	①
		化学基礎	①
		生物学基礎	①
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	①
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	その他	計
基盤教育科目	ー（アカデミックリテラシー）	1	ー	5*	1単位
	多職種連携科目群	4	ー		4単位以上
	人文社会探究科目群	ー	4		4単位以上
	数理探究科目群	4	ー		4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	5	ー		5単位以上
	ICT活用科目群	2	1		3単位以上
	スポーツ科目群	ー	1		1単位以上
計		16	11		27単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から5単位以上を修得すること。

別紙5（健康科学部）

イ 心理学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	2
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	3*	1単位
	多職種連携科目群	2	－		2単位以上
	人文社会探究科目群	－	6		6単位以上
	数理探究科目群	－	2		2単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	4	2		6単位以上
	ICT活用科目群	2	－		2単位以上
	スポーツ科目群	2	－		2単位
計		11	13		24単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から3単位以上を修得すること。

ロ 医療栄養学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	②
		生物学	②
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	－(アカデミックリテラシー)	1	－	1単位
	多職種連携科目群	2	－	2単位以上
	人文社会探究科目群	－	2	2単位以上
	数理探究科目群	4	－	4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	4	－	4単位以上
	ICT活用科目群	4	－	4単位以上
	スポーツ科目群	1	－	1単位以上
計		16	2	18単位以上

ハ 医療経営学科

授業科目			単位数
基盤教育科目	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		法学	2
		経済学	②
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		経営基礎数学Ⅰ	②
		経営基礎数学Ⅱ	②
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験ａ	1
		科学実験ｂ	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ＩＣＴ活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	1
		スポーツ実習Ⅰ	1
	留学生特例科目	日本事情ａ	2
		日本事情ｂ	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択	計
基盤教育科目	多職種連携科目群	2	−	2単位以上
	人文社会探究科目群	2	−	2単位以上
	数理探究科目群	4	−	4単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	2	−	2単位以上
	ICT活用科目群	4	−	4単位以上
	スポーツ科目群	−	1	1単位以上
計		14	1	15単位以上

別紙6（健康スポーツ学部）

健康スポーツ学科

授業科目			単位数
基盤教育科目		アカデミックリテラシー	①
	多職種連携科目群	多職種連携基礎演習I	①
		多職種連携基礎演習II	①
		多職種連携総合演習I	1
		多職種連携総合演習II	1
	人文社会探究科目群	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
		日本国憲法	②
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	数理探究科目群	数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		食品・薬・環境と健康	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	言語・コミュニケーション科目群	英語コミュニケーションⅠ	①
		英語コミュニケーションⅡ	①
		英語リーディングⅠ	①
		英語リーディングⅡ	①
		検定英語	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		日本語表現法	2
		コミュニケーション論	2
	ICT活用科目群	統計学	②
		情報リテラシー	①
		データサイエンスⅠ	①
		データサイエンスⅡ	1
		データサイエンスⅢ	1
		プログラミングⅠ	1
		プログラミングⅡ	1
	スポーツ科目群	スポーツ学	①
		スポーツ実習Ⅰ	①
	留学生特例科目	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
		日本語Ⅰ	2
		日本語Ⅱ	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕留学生特例科目の履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

【卒業に必要な単位数】

科目区分		必修	選択		計
基盤教育科目	－（アカデミックリテラシー）	1	－	4*	1単位
	多職種連携科目群	2	－		2単位以上
	人文社会探究科目群	2	－		2単位以上
	数理探究科目群	－	1		1単位以上
	言語・コミュニケーション科目群	4	－		4単位以上
	ICT活用科目群	4	－		4単位以上
	スポーツ科目群	2	－		2単位
計		15	5		20単位以上

＊各科目群の卒業要件のほか、選択科目から4単位以上を修得すること。

別紙7（診療放射線学科）

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体構造学	②
		人体生理機能学	②
		生化学	①
		病理学	②
		保健医療学概論(生命倫理を含む)	②
		臨床医学概論	②
		保健医療学演習	Ⅰ
		公衆衛生学	②
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論･演習	①
		放射線学のための数学入門	Ⅰ
		基礎数学･演習	Ⅰ
		基礎物理学･演習	Ⅰ
		基礎科学実験	②
		放射線物理学Ⅰ	②
		放射線物理学Ⅱ	②
		電気電子工学Ⅰ	②
		電気電子工学Ⅱ	②
		放射化学	②
		放射線計測学	②
		放射線生物学	②
専門分野	診療画像技術学・臨床画像学	診療画像機器学Ⅰ	②
		診療画像機器学Ⅱ	①
		X線撮影技術学Ⅰ	②
		X線撮影技術学Ⅱ	②
		CT検査技術学	②
		MRI検査技術学	②
		超音波検査技術学	①
		造影医薬品学	Ⅰ
		画像解剖学	②
		画像読影学	②
		臨床医学Ⅰ（画像診断学を含む）	②
		臨床医学Ⅱ（画像診断学を含む）	Ⅰ
	核医学検査技術学	放射性医薬品学	Ⅰ
		核医学機器学	②
		核医学検査技術学	②
		核医学検査学	②
	放射線治療技術学	放射線腫瘍学	①
		放射線治療機器学	②
		放射線治療技術学Ⅰ	②
		放射線治療技術学Ⅱ	②
	医療画像情報学	医用画像工学Ⅰ	②
		医用画像工学Ⅱ	②
		医用データサイエンス(AIを含む)	①
		医用画像工学実験･演習	①
		医用画像情報システム学	①
	放射線安全管理学	放射線関係法規	②
		放射線安全管理学	②
	医療安全管理学	救急医療	Ⅰ
		医療安全管理学	②
	実践臨床画像学	実践臨床技術学	②

専門分野	臨床実習	臨床実習Ⅰ	②
		臨床実習Ⅱ	⑩
	技術学総合・関連分野	基礎放射線工学実験	②
		総合放射線工学実験	②
		医療英語	②
		国際診療放射線学実習	1
		放射線科学応用演習	1
		放射線科学基礎演習Ⅰ	2
		放射線科学基礎演習Ⅱ	2
		放射線科学総合演習Ⅰ	2
		放射線科学総合演習Ⅱ	2
		卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	8*
専門基礎分野	30	
専門分野	68	
計	99	8
	107単位以上	

*「基礎数学・演習（1単位）」または「基礎物理学・演習（1単位）」を修得すること。

別紙8（臨床工学専攻）

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造及び機能	人体構造機能学Ⅰ	②
		人体構造機能学Ⅱ	②
		人体構造機能学実習	①
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	①
		公衆衛生学	②
		病理学	②
		生化学	②
		薬理学	②
		チーム医療概論	①
専門分野	臨床工学に必要な理工学的基礎	電気・電子工学Ⅰ	②
		電気・電子工学Ⅱ	②
		電気・電子工学演習	①
		電気工学実習	①
		電子工学実習	①
		計測工学	②
		基礎数学・物理学	②
		応用数学	②
		機械工学	②
	臨床工学に必要な情報技術とシステム工学の基礎医療	情報科学概論	②
		システム工学	②
		医療情報技術学演習	①
		医工学概論	②
	医用生体工学	生体物性工学	②
		医用生体工学	②
		医用材料工学	②
	医用機器及び臨床支援技術	手術治療機器学	②
		臨床支援技術学演習・実習	①
		医用治療機器学	②
		医用機器学実習	①
		生体計測技術学	②
		生体計測技術学実習	①
		臨床支援技術学Ⅰ	②
		臨床支援技術学Ⅱ	②
	生体機能代行技術学	体外循環技術学	②
		体外循環技術学演習	①
		呼吸療法技術学	②
		呼吸療法技術学演習	①
		血液浄化技術学	②
		血液浄化技術学演習	①
		生体機能代行技術学実習	③
	医療安全管理学	機器安全管理学	②
		機器安全管理学実習	①
		医療安全管理学演習	①
		臨床工学関係法規	②
	関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ	②
		臨床医学総論Ⅱ	②
		臨床医学総論Ⅲ	②
		臨床医学総論演習	①
	臨床実習	臨床工学実習Ⅰ	1
		臨床工学実習Ⅱ	5
		臨床工学総合演習	1

専門分野	キャリア涵養教育	キャリア支援Ⅰ	①
		キャリア支援Ⅱ	①
		キャリア支援Ⅲ	①
		早期体験演習Ⅰ	①
		早期体験演習Ⅱ	①
		生命倫理	①
	卒業研究	卒業研究方法論	①
		卒業研究	②
	総合技術	臨床工学演習Ⅰ	①
		臨床工学演習Ⅱ	①
		臨床工学演習Ⅲ	①
		臨床工学演習Ⅳ	①
	キャリア構築のための研鑽	基礎医療情報学演習Ⅰ	1
		基礎医療情報学演習Ⅱ	1
		臨床コミュニケーション演習	1
		医療英語	2
		国際臨床工学	1
		医用画像工学	2
		心電図判読演習Ⅰ	1
		心電図判読演習Ⅱ	1
		集中治療技術学演習	1
		基礎血液学	1
		災害臨床工学演習	1
		キャリア探求演習	1

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	9
専門基礎分野	15	
専門分野	79	
計	95	9
	104単位以上	

別紙9（臨床検査学専攻）

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門教育	病態学	臨床病態学Ⅰ	②
		臨床病態学Ⅱ	②
		臨床病態学Ⅲ	②
		人体構造学	②
		人体構造学実習	①
		人体生理機能学	②
		人体生理機能学実習	①
		生化学	②
		栄養学	①
		薬理学	②
		病理学	②
		感染制御学	①
	公衆衛生学	公衆衛生学	②
		臨床検査関係法規	①
		医学概論	①
	一般検査学、臨床検査総合管理学	医用工学概論	①
		医用工学概論実習	①
		検査機器総論	①
		情報科学概論	②
		一般検査学Ⅰ	②
		一般検査学実習Ⅰ	①
		一般検査学Ⅱ	②
		一般検査学実習Ⅱ	①
		検査総合管理学	①
		早期体験演習	①
	血液検査学	臨床血液学	②
		臨床血液学実習	①
		臨床血液学演習	①
	病理検査学	病理組織細胞学Ⅰ	②
		病理組織細胞学Ⅱ	②
		病理組織細胞学演習	①
		病理組織細胞学実習	①
	生化学検査学	臨床化学	②
		臨床化学実習	①
		臨床化学演習	①
	免疫検査学	臨床免疫学	②
		臨床免疫学実習	①
		臨床免疫学演習	①
	遺伝子関連・染色体検査学	先進医療技術学実習	①
		先進医療技術学演習	①
	輸血・移植検査学	輸血・移植検査学	②
		輸血・移植検査学実習	①
		輸血・移植検査学演習	①
	微生物検査学	臨床微生物学総論	②
		臨床微生物学各論	②
		臨床微生物学実習	①
		臨床微生物学演習	①
	生理検査学、医療安全管理学	臨床生理学Ⅰ	②
		臨床生理学Ⅱ	②
		臨床生理学実習	③
		臨床生理学演習	①
		心電図検査学	①
		医療安全管理学	②
		医療安全管理学実習	①

専門教育	臨地実習	臨地実習総合演習	①
		臨床検査学実習	⑪
	総合演習群科目	臨床検査学演習Ⅰ	②
		臨床検査学演習Ⅱ	②
		臨床検査学演習Ⅲ	②
	先端研究群科目	生命倫理	①
		卒業研究方法論	①
		卒業研究	②
	発展的学修群科目	医療英語	2
		健康食品学	2
		食品衛生学	2
		医用画像工学	2
		国際臨床検査学	1

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	2
専門教育	101	
計	102	2
	104単位以上	

別紙10（救急救命学科）

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
基礎分野	科学的思考の基盤	自然災害防災論	①
		救急実務英語	①
		ライフサイエンス論Ⅰ	①
		ライフサイエンス論Ⅱ	①
		救急統計学	②
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造生理学Ⅰ	②
		人体構造生理学Ⅱ	②
		人体構造生理学実習	①
	疾患の成り立ちと回復の過程	病理学	①
		生化学	①
		薬理学	①
		救急検査概論	①
	健康と社会保障	公衆衛生学	①
専門分野	救急医学概論	生命倫理	①
		病院前救急医療概論	①
		救急災害システム論	②
		救急関係法規	①
		救急救命処置概論	②
		災害・救護ボランティア演習	①
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学Ⅰ	②
		救急症候・病態生理学Ⅱ	②
		臨床病態学Ⅰ	②
		臨床病態学Ⅱ	②
	疾病救急医学	救急現場活動学	②
		特定行為処置論	②
		小児科学	②
		産婦人科学	①
		精神医学	①
	外傷救急医学	外傷救急医学Ⅰ	②
		外傷救急医学Ⅱ	②
	環境障害・急性中毒医学	環境障害・急性中毒学	①
	臨地実習	救急救命処置実習Ⅰ	②
		救急救命処置実習Ⅱ	②
		救急救命処置実習Ⅲ	④
		救急救命処置実習Ⅳ	④
		救急救命高度実習Ⅰ	②
		救急救命高度実習Ⅱ	②
		救急救命総合実習	②
		応急手当実習Ⅰ	①
		応急手当実習Ⅱ	①
		救急システム実習Ⅰ	①
		救急システム実習Ⅱ	①
		救急システム実習Ⅲ	①
		救急システム実習Ⅳ	④
		臨床救急実践演習・実習	②
		国内救急救命事情	1
		国際救急救命学	1
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②

専門総合分野	総合技術	救急救命学Ⅰ	②
		救急救命学Ⅱ	②
		救急救命学Ⅲ	2
		救急救命学Ⅳ	4
		救急救命総合学	2
		教養総合学Ⅰ	②
		教養総合学Ⅱ	②
		教養総合学Ⅲ	②
		教養総合学Ⅳ	②
		教養総合学Ⅴ	②

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門基盤	1	－	10*2
基礎分野	6	－	
専門基礎分野	10	－	
専門分野	62	1*1	
専門総合分野	14	－	
計	93	1	
	94単位以上		

＊1:「国内救急救命事情（1単位）」または「国際救急救命学（1単位）」を修得すること。
＊2:基盤教育科目（留学生特例科目を除く）、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

別紙ＩＩ（理学療法学専攻）

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学I	②
		解剖学II	②
		解剖学実習	②
		生理学Ⅰ	②
		生理学II	②
		生理学実習	②
		身体運動学	②
		身体運動学実習	②
		人間発達学	②
		基礎解剖学	Ⅰ
		基礎生理学	Ⅰ
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	生命倫理	②
		医学概論	②
		リハビリテーション心理学	②
		内科学I	②
		内科学II	②
		整形外科学I	②
		整形外科学II	②
		精神医学	②
		脳神経学	②
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	②
		公衆衛生学	②
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	②
		理学療法研究法I	①
		理学療法研究法II	①
		臨床運動学	②
		臨床運動学実習	②
	理学療法管理学	理学療法演習	②
		理学療法管理運営学	①
	理学療法評価学	理学療法評価学概論	②
		理学療法評価学実習I	②
		理学療法評価学実習II	②
		日常生活活動評価学	①
	理学療法治療学	運動器理学療法治療学概論	②
		運動器理学療法治療学実習	②
		スポーツ理学療法学	Ⅰ
		運動器疼痛理学療法学演習	Ⅰ
		スポーツ理学療法演習	Ⅰ
		中枢神経系理学療法治療学概論I	①
		中枢神経系理学療法治療学概論II	①
		中枢神経系理学療法治療学実習I	①
		中枢神経系理学療法治療学実習II	①
		脳血管障害理学療法学演習	Ⅰ
		神経理学療法学演習	Ⅰ
		内部障害理学療法治療学概論I	①
		内部障害理学療法治療学概論II	①
		内部障害理学療法治療学実習I	①
		内部障害理学療法治療学実習II	①
		循環器理学療法学演習	Ⅰ

専門分野	理学療法治療学	呼吸理学療法学演習	I
		運動療法学	①
		運動療法実習	②
		物理療法学	①
		物理療法学実習	②
		発達障害理学療法学	①
		Women's/Men's health理学療法演習	I
		義肢装具学	②
	地域理学療法学	地域理学療法学	①
		生活支援系理学療法学概論	②
		生活支援系理学療法学実習	②
		地域在宅理学療法学演習	I
	臨床実習	臨床見学実習	①
		臨床評価実習I	②
		臨床評価実習II	⑥
		総合臨床実習	⑩
		地域理学療法実習	①
専門相貌分野	総合技術	卒業研究	④

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	I	3
専門基礎分野	40	
専門分野	64	
専門相貌分野	4	
計	109	3
	112単位以上	

別紙12（作業療法学専攻）

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	②
		解剖学Ⅱ	②
		解剖学実習	②
		生理学Ⅰ	②
		生理学Ⅱ	②
		生理学実習	②
		運動学	②
		運動学実習	②
		人間発達学	②
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	医学概論	②
		内科学Ⅰ	②
		内科学Ⅱ	②
		整形外科学	②
		精神医学	②
		脳神経学	②
		リハビリテーション医学	②
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	生命倫理	②
		発達障害学	②
		リハビリテーション心理学	②
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	①
		作業療法研究法	①
		作業学	①
		作業学実習	②
		作業療法理論	①
	作業療法管理学	作業療法管理学	②
	作業療法評価学	作業療法評価学総論	①
		神経系機能能力評価学	①
		神経系機能能力評価学実習	②
		運動系機能能力評価学	①
		運動系機能能力評価学実習	②
		精神・認知機能能力評価学	①
	作業療法治療学	作業療法治療学総論	②
		内部障害作業療法学	①
		内部障害作業療法学演習	①
		脳血管障害作業療法学	①
		脳血管障害作業療法学演習	①
		運動器障害作業療法学	①
		運動器障害作業療法学演習	①
		老年期作業療法学	①
		老年期作業療法学演習	①
		発達障害作業療法学	①
		発達障害作業療法学演習	①
		精神障害作業療法学	①
		精神障害作業療法学演習	①
		義肢装具学総論	②
		日常生活活動学	①
		日常生活活動学実習	②

専門分野	地域作業療法学	地域作業療法学	①
		公衆衛生学	2
		ヘルスプロモーション論	2
		介護予防方法論	①
		福祉住環境コーディネート論	①
		就労支援技術学	①
専門分野	臨床実習	地域リハビリテーション実習	①
		見学実習	②
		評価実習	⑤
		総合臨床実習	⑭
		卒業研究	④
専門総合分野	総合技術	作業療法学演習Ⅰ	①
		作業療法学演習Ⅱ	①
		作業療法学演習Ⅲ	①
専門選択分野		アートと作業療法	1
		スポーツと作業療法	1
		食（薬膳）と作業療法	1
		ゲームと作業療法	1
		観光グルメと作業療法	1
		学校・保育園と作業療法	1
		カワイイと作業療法	1
		画像表現と作業療法	1

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	－
専門基礎分野	38	－
専門分野	65	2
専門総合分野	3	－
専門選択分野	－	2
計	107	4
	111単位以上	

別紙13（言語聴覚療法学専攻）

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
基礎分野	言語聴覚療法の基盤	コミュニケーション論演習	②
		リハビリテーション栄養学	①
専門基礎分野	人体のしくみ・疫病と治療	医学概論	②
		解剖学Ⅰ	②
		解剖学Ⅱ	②
		生理学Ⅰ	②
		生理学Ⅱ	②
		人間発達学	2
		公衆衛生学	2
		内科学	①
		小児科学	①
		精神医学	②
		リハビリテーション医学	②
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	②
		脳神経学	②
		歯科口腔・形成外科学	①
		音声聴覚医学	①
	心の働き	臨床心理学	②
		生涯発達心理学	②
		学習心理学	②
		認知心理学	②
		カウンセリング	2
	言語とコミュニケーション	言語学	②
		音声学	②
		言語発達学	②
		音響学	②
		拡大・代替コミュニケーション論	①
	社会保障・教育とリハビリテーション	社会保障制度論	①
		生活環境科学	1
専門分野	地域言語聴覚療法学	地域言語聴覚療法学	②
	言語聴覚障害総論	言語聴覚障害学概論Ⅰ	①
		言語聴覚障害学概論Ⅱ	①
	失語・高次脳機能障害学	認知系障害学概論Ⅰ	②
		認知系障害学概論Ⅱ	②
		認知系障害学演習Ⅰ	①
		認知系障害学演習Ⅱ	①
	言語発達障害学	発達系障害学概論Ⅰ	②
		発達系障害学概論Ⅱ	②
		発達系障害学演習Ⅰ	①
		発達系障害学演習Ⅱ	①
	発声発語・摂食嚥下障害学	発声発語系障害学概論Ⅰ	②
		発声発語系障害学概論Ⅱ	②
		発声発語系障害学演習	①
		嚥下系障害学概論Ⅰ	②
		嚥下系障害学概論Ⅱ	②
		嚥下系障害学演習	①

専門分野	聴覚障害学	聴覚系障害学概論Ⅰ	②
		聴覚系障害学概論Ⅱ	②
		聴覚系障害学演習Ⅰ	①
		聴覚系障害学演習Ⅱ	②
	言語聴覚療法管理学	言語聴覚療法管理学	②
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	②
		臨床実習Ⅱ	④
		臨床実習Ⅲ	⑧
		臨床実習Ⅳ	①
	総合技術	言語聴覚障害学特別講義Ⅰ	①
		言語聴覚障害学特別講義Ⅱ	①
		言語聴覚学演習	②
		卒業研究	④

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	6
基礎分野	3	
専門基礎分野	40	
専門分野	58	
計	102	6
	108単位以上	

別紙14(義肢装具学専攻)

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	②
		解剖学Ⅱ	②
		運動学	②
		内科学	①
		臨床心理学	①
		医学概論	②
		関係法規	①
		人間発達学	②
	疾病と障害の成立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	②
		整形外科学Ⅰ	②
		整形外科学Ⅱ	②
		脳神経学	②
		生命倫理	②
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	②
		作業療法概論	①
		理学療法概論	①
	義肢装具領域における工学	図学・製図学	①
		機構学	①
		制御工学	①
		統計学演習	①
		リハビリテーション工学	②
		義肢装具生体力学	②
		義肢装具生体力学実習	②
専門分野	基礎義肢装具学	義肢装具学概論	②
		義肢装具基礎工作実習	①
		義肢装具材料学	②
		義肢装具材料力学	②
		装具基礎工作論	①
		装具基礎工作実習	④
		基礎工作実習Ⅰ	4
		義肢基礎工作論	①
		義肢基礎工作実習	④
		基礎工作実習Ⅱ	4
	義肢学	義肢Ⅰ(下腿義足)	①
		義肢Ⅰ実習(下腿義足)	③
		義肢Ⅱ(義手)	①
		義肢Ⅱ実習(義手)	②
		義肢Ⅲ(大腿義足)	①
		義肢Ⅲ実習(大腿義足)	③
		義肢Ⅳ(特殊義肢)	①
	装具学	装具Ⅰ(体幹装具)	①
		装具Ⅰ実習(体幹装具)	③
		装具Ⅱ(靴型装具)	①
		装具Ⅱ実習(靴型装具)	②
		装具Ⅲ(下肢装具)	①
		装具Ⅲ実習(下肢装具)	③
		装具Ⅳ(上肢装具)	①
		装具Ⅳ実習(上肢装具)	④
	福祉用具学	車いす論	①
		福祉用具支援論	①
		座位保持装置論	①
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	1
		臨床実習Ⅱ	④
		臨床実習Ⅲ	⑥

応用分野	義肢装具学演習	①
	DigItal Brace Manufacturing(DBM)	1
	Digital Feature Fitting(DFF)	1
	特殊補装具学(エピテーゼ)	1
	キャリアセミナー	1
	研究リテラシー	①
	卒業研究	④

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	6
専門基礎分野	37	
専門分野	58	
応用分野	6	
計	102	6
	108単位以上	

別紙15（看護学科）

授業科目			単位数
専門基礎分野		チュートリアル	①
	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	医療・生命倫理	①
		医学・医療概論	①
		人体の構造と生理機能Ⅰ	②
		人体の構造と生理機能Ⅱ	②
		栄養・代謝学と臨床生化学	②
		臨床薬理学	②
		微生物学	②
		臨床病態学Ⅰ	②
		臨床病態学Ⅱ	②
		臨床病態学Ⅲ	②
		臨床心理学	②
専門分野	健康支援と社会保障制度	社会保障論	①
		看護関係法規	①
		保健医療福祉行政論Ⅰ	②
		疫学Ⅰ	①
		保健統計Ⅰ	①
	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	②
		看護学概論Ⅱ	①
		基礎看護技術演習Ⅰ	①
		基礎看護技術演習Ⅱ	②
		基礎看護技術演習Ⅲ	②
		看護診断学演習	①
		看護実践論	①
		看護管理学	①
		基礎看護学実習Ⅰ	①
		基礎看護学実習Ⅱ	②
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護学概論	②
		地域・在宅看護学各論	②
		地域・在宅看護学演習	②
		地域・在宅看護学実習Ⅰ	①
		地域・在宅看護学実習Ⅱ	②
	成人看護学	成人看護学概論Ⅰ	①
		成人看護学概論Ⅱ	①
		成人看護学各論Ⅰ	①
		成人看護学各論Ⅱ	①
		成人看護学演習Ⅰ	①
		成人看護学演習Ⅱ	①
		成人看護学実習Ⅰ	③
		成人看護学実習Ⅱ	③
	老年看護学	老年看護学概論	②
		老年看護学各論	①
		老年看護学演習	①
		老年看護学実習	③
	小児看護学	小児看護学概論	②
		小児看護学各論	①
		小児看護学演習	①
		小児看護学実習	②
	母性看護学	母性看護学概論	②
		母性看護学各論	①
		母性看護学演習	①
		母性看護学実習	②

専門分野	精神看護学	精神看護学概論	②
		精神看護学各論	①
		精神看護学演習	①
		精神看護学実習	②
	看護の統合と実践	公衆衛生看護学概論	②
		看護学総合演習	③
		研究方法論	②
		卒業研究	②
		統合看護学実習	②
	看護の応用・発展	カウンセリング理論と技法	1
		人間の発達と人間関係	1
		緩和ケア論	1
		災害看護学	1
		感染制御学	1
		メンタルヘルス支援論	1
		子育て支援論	1
		国際看護論	1
		救急看護論	1
	公衆衛生看護学系	公衆衛生看護活動論	2
		公衆衛生看護方法論Ⅰ	2
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	2
		公衆衛生看護管理論	2
		公衆衛生看護方法論Ⅲ	2
		公衆衛生看護方法論Ⅳ	2
		公衆衛生看護学実習	5
		疫学Ⅱ	1
		保健医療福祉行政論Ⅱ	1
		保健統計Ⅱ	1
		学校保健	1
		産業保健	1

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基礎分野	21	6
専門分野	77	
計	98	6
	104単位以上	

別紙16（薬学科）

授業科目		単位数
専門科目	チュートリアル	①
	薬学数学	①
	物理化学Ⅰ	①
	分析化学Ⅰ	①
	有機化学Ⅰ	①
	生化学Ⅰ	①
	解剖生理学Ⅰ	①
	薬学へのいざない	①
	医療コミュニケーション	①
	医療統計学	①
	基礎調剤学	①
	早期臨床体験	①
	MAPLEⅠ	①
	物理化学Ⅱ	①
	物理化学Ⅲ	①
	分析化学Ⅱ	①
	分析化学Ⅲ	①
	有機化学Ⅱ	①
	有機化学Ⅲ	①
	生薬学	①
	生化学Ⅱ	①
	遺伝子	①
	微生物学	①
	細胞生物学・免疫学概論	①
	生活環境と健康	①
	栄養と食品	①
	解剖生理学Ⅱ	①
	病態と薬理総論	①
	病態と薬理Ⅰ	①
	薬の生体内運命	①
	医薬品情報	①
	MAPLEⅡ	①
	物理化学・分析化学実習	②
	有機化学・生薬学実習	②
	生物学実習	②
	衛生薬学実習	②
	調剤実習Ⅰ	①
	調剤実習Ⅱ	①
	有機化学Ⅳ	①
	免疫学	①
	食品衛生学	①
	社会集団と健康	①
	化学物質の生体影響	①
	病態と薬理Ⅱ	①
	病態と薬理Ⅲ	①
	病態と薬理Ⅳ	①
	感染症学	①
	漢方医薬学	①
	薬物動態解析学	①
	製剤設計Ⅰ	①

専門科目	製剤設計Ⅱ	①
	臨床薬剤学	①
	薬事関係法規・制度Ⅰ	①
	臨床実務学	①
	臨床推論	①
	複合演習（薬剤）	①
	MAPLEⅢ	①
	薬理学実習	②
	薬剤学実習	②
	調剤実習Ⅲ	①
	薬学英語Ⅰ	①
	環境因子の生体影響	①
	感染症治療学	①
	病態と薬理Ⅴ	①
	薬事関係法規・制度Ⅱ	①
	患者情報	①
	治療解析基礎	①
	複合演習（衛生）	①
	複合演習（薬物治療Ⅰ）	①
	複合演習（薬物治療Ⅱ）	①
	MAPLEⅣ	①
	基礎薬学演習Ⅰ	①
	基礎薬学演習Ⅱ	③
	実務事前実習	③
	卒業研究Ⅰ	⑤
	治療解析応用	①
	学外実務実習	⑳
	卒業研究Ⅱ	⑤
	総合薬学演習I	⑨
	総合薬学演習II	⑨
	卒業研究Ⅲ	②
	生物系薬学演習B	1
	物理系薬学演習B	1
	化学系薬学演習B	1
	数学基礎演習	①
	化学基礎演習	①
	生物学基礎演習	①
	物理学基礎演習	①
	生物系薬学演習A	1
	物理系薬学演習A	1
	化学系薬学演習A	1
	薬学英語Ⅱ	1
	研究実践入門	2
	薬学研究リテラシー	2
	香粧品と医用材料学	2
	健康増進疾病予防演習	2
	アドバンスド実務実習	2
	総合医薬科学	2
	医薬品の開発と評価	2
	専門薬剤師の任務	2
	地域医療における薬剤師の任務	2
	リプロダクティブ・ヘルスと薬学	2
	漢方臨床推論	2
	がん治療の基礎と臨床	2
	未来の薬学/イノベーションと社会貢献	2

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門科目	139	20*
計	139	20
	159単位以上	

＊選択必修科目である「物理系薬学演習A」「物理系薬学演習B」のいずれか1単位、「化学系薬学演習A」「化学系薬学演習B」のいずれか1単位、「生物系薬学演習A」「生物系薬学演習B」のいずれか1単位の計3単位を含め、20単位以上を修得すること。

別紙17（心理学科）

授業科目		単位数
専門基盤（学科必修科目）	チュートリアル	①
学部共通横断科目	健康科学概論	②
	スポーツ・エンターテインメント演習	1
学科必修科目	心理学の学びとキャリアプランニングⅠ	①
	心理学の学びとキャリアプランニングⅡ	①
	専門基礎演習	①
	専門演習Ⅰ	②
	専門演習Ⅱ	②
	卒業研究Ⅰ	②
	卒業研究Ⅱ	②
	心理学概論	②
	心理学統計法	②
	心理学研究法A	②
	心理学実験	②
	健康コミュニケーション論	①
	睡眠改善学	②
心理学総合科目	感情・人格心理学	2
	学習・言語心理学	2
	知覚・認知心理学	2
	神経・生理心理学	2
	心理学研究法B	2
	心理学研究法C	2
	スポーツ心理学	2
	心理学応用実験	1
	動物心理学	2
	色彩心理学	2
	多変量解析演習	2
	外国書購読	2
臨床心理プログラム科目	臨床心理学概論	2
	心理学的支援法	2
	公認心理師の職責	2
	心理的アセスメント	2
	精神疾患とその治療	2
	福祉心理学	2
	人体の構造と機能及び疾病	2
	関係行政論	2
	精神保健	2
	認知行動療法	2
	心理演習Ⅰ	2
	心理演習Ⅱ	2
	実践臨床心理学	1

子ども・健康心理プログラム科目	公衆衛生学	2
	発達心理学	2
	健康・医療心理学	2
	障害者・障害児心理学	2
	教育・学校心理学	2
	健康相談活動の理論と方法	2
	学校カウンセリング	2
	高齢者支援演習	2
	子育て支援論	2
	保育心理学	2
	学校保健	2
	小児保健学	2
	小児救急処置演習	2
	看護学概論	2
	衛生学	2
	養護概説	2
	食と栄養の基礎	2
ビジネス・社会心理プログラム科目	社会・集団・家族心理学A	2
	社会・集団・家族心理学B	2
	司法・犯罪心理学	2
	産業・組織心理学	2
	社会調査法概論	2
	社会心理調査法実習	2
	ビジネス・社会活動マナー演習	2
	コミュニティ心理学	2
	消費者心理学	2
	環境心理学	2
	心理学と人間工学	2
学外実習科目	地域支援実習	1
	心理実習	2
	心理学実践実習	1
	コミュニケーション実習	2
	メディアコミュニケーション実習	1
関連科目	教育原論	2
	教職概論	2
	ウェルネス・ビジネス演習Ⅰ	2
	ウェルネス・ビジネス演習Ⅱ	2
	キャリア体験A	1
	キャリア体験B	1
	微生物学	2
	看護学実習	2
	看護技術論	2
	特別支援教育論	2

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門教育科目	25	61*1	14*2
計	25	61	
	86単位以上		

＊1：専門教育科目（選択）の「学外実習科目」から2単位を含む61単位以上を修得すること。ただし、「関連科目」で修得した単位は、その他区分の14単位に含める。

＊2：基盤教育科目から24単位を超えて修得した単位、所属学科の専門教育科目（選択）のうち61単位を超えて修得した単位および「関連科目」で修得した単位、他学科の専門教育科目で修得した単位を合計して14単位以上を修得すること

別紙18(医療栄養学科)

授業科目			単位数
専門基盤		チュートリアル	①
専門基礎分野	社会・環境と健康	公衆衛生学Ⅰ	②
		公衆衛生学Ⅱ	②
		公衆衛生学Ⅲ	②
		公衆衛生学実習	①
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生理学	②
		解剖学	②
		解剖生理学実習	①
		生化学Ⅰ	②
		生化学Ⅱ	②
		生化学実験	①
		病態学Ⅰ	②
		病態学Ⅱ	②
		病態学Ⅲ	②
		病態生理学実習	①
	食べ物と健康	調理学	②
		調理学実習	①
		調理科学実験	①
		食品化学Ⅰ	②
		食品化学Ⅱ	②
		食品化学実験	①
		食品加工学	②
		食品加工学実習	①
		食品衛生学	②
		食品衛生学実験	①
		献立作成実習	①
専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学	②
		基礎栄養学実験	①
		食事摂取基準演習	①
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	②
		応用栄養学Ⅱ	②
		応用栄養学Ⅲ	②
		応用栄養学実習	①
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	②
		栄養教育論Ⅱ	②
		栄養教育論Ⅲ	②
		栄養教育論実習	①
	臨床栄養学	臨床栄養学総論	②
		臨床栄養学各論Ⅰ	②
		臨床栄養学各論Ⅱ	②
		臨床栄養学各論Ⅲ	②
		臨床栄養学実習Ⅰ	①
		臨床栄養学実習Ⅱ	①
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	②
		公衆栄養学Ⅱ	②
		公衆栄養学実習	①
	給食経営管理論	給食経営管理総論	②
		給食経営管理各論	②
		給食経営管理実習Ⅰ	①
		給食経営管理実習Ⅱ	①

専門分野	総合演習	総合演習Ⅰ	①
		総合演習Ⅱ	1
		総合演習Ⅲ	①
		総合演習Ⅳ	1
		総合演習Ⅴ	1
		総合専門演習Ⅰ	①
		総合専門演習Ⅱ	2
	臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	①
		臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	1
		臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	②
		臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	1
		臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	1
	医療人養成に向けた基礎教育	管理栄養士概論	①
		早期体験学習	①
		医療・生命倫理	①
		医学・医療概論	①
		健康科学概論	①
	関連科目	スポーツ・エンターテインメント演習	1
		スポーツ栄養サポート論Ⅰ	1
		スポーツ栄養サポート論Ⅱ	1
		スポーツ栄養サポート論Ⅲ	1
		スポーツ栄養マネジメント演習Ⅰ	1
		スポーツ栄養マネジメント演習Ⅱ	1
		メニュー開発演習Ⅰ	1
		メニュー開発演習Ⅱ	1
		地域コミュニケーション演習	1
		栄養薬学	2
		医療・福祉・介護と栄養ケア	2
		卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②
		卒業研究Ⅲ	2

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
〔注〕単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基盤	1	11*
専門基礎分野	40	
専門分野	54	
計	95	11
	106単位以上	

＊専門分野の「総合演習（総合専門演習Ⅱを除く）」および「臨地実習」から、選択科目である「総合演習Ⅱ」と「臨地実習Ⅱ」の計2単位、または「総合演習Ⅴ」と「臨地実習Ⅴ」の計2単位のいずれかを修得すること。あわせて、専門分野の「総合専門演習Ⅱ」または「卒業研究Ⅲ」のいずれか2単位を修得すること。なお、管理栄養士国家試験の受験資格を得るためには、専門分野の「総合専門演習Ⅱ（2単位）」を修得すること。

別紙19（医療経営学科）

授業科目		単位数
学部共通横断科目	健康科学概論	②
	スポーツ・エンターテインメント演習	1
学科必修科目	チュートリアル	①
	文章技術	①
	社会のしくみ	②
	人体のしくみ	②
	病院のしくみ	②
	経営学入門Ⅰ	②
	経営学入門Ⅱ	②
	社会保障論	②
	ひろしま学	②
	情報システム学入門	②
	医学・医療概論	②
	医療制度概論	②
	思いやり演習Ⅰ	①
	思いやり演習Ⅱ	①
	思いやり演習Ⅲ	①
	まちづくりPBL基礎演習	②
	ホスピタリティ・ボランティア活動	①
	救急処置演習	①
	専門基礎演習	②
	専門演習Ⅰ	②
	専門演習Ⅱ	②
	卒業研究Ⅰ	②
	卒業研究Ⅱ	②
経営科目	地域支援実習	1
	簿記論	2
	簿記演習	1
	経営組織論	2
	人的資源管理論	2
	経営戦略論	2
	会計学	2
	ミクロ経済学	2
	マーケティング論	2
	情報システム学	2
	データサイエンス経営	2
	組織行動論	2
	ウェルビーイング論	2
	ダイバーシティ&インクルージョン	2
	行動経済学	2
	管理会計	2
	マクロ経済学	2
	非営利組織経営論	2
	非営利組織会計論	2
	生産管理論	2
	品質マネジメント論	2
	DX論	2
	アドバンスト経営論Ⅰ	2
	アドバンスト経営論Ⅱ	2
	戦略会計ゲーム論	2

医療と〇〇科目	医療と経営Ⅰ	2
	医療と経営Ⅱ	2
	医療と経営Ⅲ	2
	医療と情報システム	2
	医療と地域システム	2
ビジネス関連科目	ウェルネス・ビジネス演習Ⅰ	2
	ウェルネス・ビジネス演習Ⅱ	2
	美容ビジネス論	1
	ツーリズム論	1
	スポーツ・ビジネス論	1
	フード・ビジネス論	1
ＰＢＬ科目	ボランティア演習	2
	地域ウェルビーイング演習	2
	まちづくり演習	2
	環境ウェルネス演習	2
	地域医療デザイン演習	2
	医療マネジメント演習	2
インターンシップ科目	企業研究インターンシップ	2
	ウェルビーイング経営インターンシップ	20
診療情報管理士科目	人体構造機能学	2
	医療用語概論	2
	診療情報管理論	2
	病院管理学	2
	医療統計学	2
	医療情報学	2
	臨床医学Ⅰ	2
	臨床医学Ⅱ	2
	臨床医学Ⅲ	2
	臨床医学Ⅳ	2
	疾病分類学	2
	疾病分類学演習	1
	医療制度論	2
	医療施設管理実習事前講義	2
	医療施設管理実習	2
	診療情報管理演習Ⅰ	1
	診療情報管理演習Ⅱ	1
	診療情報管理演習Ⅲ	1
医療事務科目	診療報酬制度論	2
	診療報酬請求演習Ⅰ	1
	診療報酬請求演習Ⅱ	1

〔注〕単位数を〇で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門教育科目	41	58	10*
計	41	58	
	99単位以上		

＊基盤教育科目の選択科目のうち1単位を超えて修得した単位数、所属学科の専門教育科目の99単位を超えて修得した単位数、または、他学科の専門教育科目の修得した単位数を合計して10単位以上を修得すること。

別紙20（健康スポーツ学科）

授業科目		単位数
専門基礎分野	チュートリアル	②
	健康スポーツ概論	②
	スポーツ原理	②
	スポーツ経営管理学	2
	スポーツ社会学	②
	スポーツ史	②
	スポーツビジネス特論	2
	スポーツ心理学	2
	スポーツ運動学	②
	バイオメカニクス	②
	体力測定評価	2
	コーチング論	2
	スポーツ生理学	②
	運動処方論	2
	スポーツ栄養学	2
	スポーツ医学	2
	人体機能解剖学	②
	生涯学習概論Ⅰ	2
	生涯学習支援論Ⅰ	2
	社会教育経営論Ⅰ	2
	学校保健	2
	トレーニング論	2
	レクリエーション概論	2
	衛生学・公衆衛生学	2
	健康教育学	2
	教育原論	②
	教職概論	②
	スポーツ実技演習A（陸上競技）	2
	スポーツ実技演習A（器械運動）	2
	スポーツ実技演習A（水泳）	2
	スポーツ実技演習A（健康体力つくり）	2
	スポーツ実技演習B（ダンス）	2
	スポーツ実技演習B（武道Ⅰ）	2
	スポーツ実技演習B（武道2）	2
	スポーツ実技演習C（ゴール型Ⅰ）	2
	スポーツ実技演習C（ゴール型2）	2
	スポーツ実技演習C（ベースボール型）	2
	スポーツ実技演習C（ネット型Ⅰ）	2
	スポーツ実技演習C（ネット型2）	2
	スポーツ実技演習D（スノースポーツ）	2
	スポーツ実技演習D（キャンプ）	2
	スポーツ実技演習D（アクアスポーツ）	2
専門分野	身体スポーツ文化論	2
	スポーツ解析演習	2
	スポーツ映像処理演習	2
	運動処方演習	2
	トレーニングプログラム演習	2
	レクリエーション演習	2
	保健体育科教育法Ⅰ	2
	保健体育科教育法Ⅱ	2
	保健体育科教育法Ⅲ	2
	保健体育科教育法Ⅳ	2

専門分野	教育制度論	2
	学校教育心理学	2
	発達心理学	2
	特別支援教育論	2
	教育課程論	2
	道徳教育理論・指導法	2
	総合的な学習・探究の時間の指導法	1
	特別活動の指導法	2
	教育方法論	1
	情報通信技術の活用	1
	生徒指導論	1
	教育相談	1
	進路指導・キャリア教育論	1
	生涯学習概論Ⅱ	2
	生涯学習支援論Ⅱ	2
	社会教育経営論Ⅱ	2
	労働法規Ⅰ	2
	労働法規Ⅱ（労働と環境）	2
専門演習・実習分野	スポーツ科学演習A	2
	スポーツ科学演習B	2
	スポーツ科学演習C	2
	スポーツ科学演習D	2
	スポーツ実技指導演習A（陸上競技）	1
	スポーツ実技指導演習A（器械運動）	1
	スポーツ実技指導演習A（水泳）	1
	スポーツ実技指導演習A（健康体力つくり）	1
	スポーツ実技指導演習B（ダンス）	1
	スポーツ実技指導演習B（武道1）	1
	スポーツ実技指導演習B（武道2）	1
	スポーツ実技指導演習C（ゴール型1）	1
	スポーツ実技指導演習C（ゴール型2）	1
	スポーツ実技指導演習C（ベースボール型）	1
	スポーツ実技指導演習C（ネット型1）	1
	スポーツ実技指導演習C（ネット型2）	1
	スポーツ実技指導演習D（スノースポーツ）	1
	スポーツ実技指導演習D（キャンプ）	1
	スポーツ実技指導演習D（アクアスポーツ）	1
	パラスポーツ演習	2
	介護予防運動演習	2
	発達支援スポーツ演習	1
	健康運動指導実習	1
	レクリエーション実習	1
	エクササイズ指導実技	2
	エクササイズ指導実習	1
	教育実習事前事後指導（中・高）	1
	教育実習Ⅰ（高のみ）	2
	教育実習Ⅱ（中・高）	4
	教職実践演習	2
	社会教育実習A	1
	社会教育実習B	3
専門総合分野	健康スポーツ学総合演習Ⅰ	②
	健康スポーツ学総合演習Ⅱ	②
	健康スポーツ学総合演習Ⅲ	1
	卒業研究Ⅰ	②
	卒業研究Ⅱ	②

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

<table>
<tr><th>科目区分</th><th>必修</th><th>選択</th><th>その他</th></tr>
<tr><td>専門基礎分野</td><td>22</td><td rowspan="4">68*1</td><td rowspan="5">6*2</td></tr>
<tr><td>専門分野</td><td>－</td></tr>
<tr><td>専門演習・実習分野</td><td>－</td></tr>
<tr><td>専門総合分野</td><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="2">計</td><td>30</td><td>68</td></tr>
<tr><td colspan="2">98単位以上</td></tr>
</table>

＊1：68単位のうち「スポーツ実技演習A」の種目から1科目2単位、「スポーツ実技演習B」の種目から1科目2単位、「スポーツ実技演習C」の種目から1科目2単位、「身体スポーツ文化論」、「スポーツ解析演習」、「運動処方演習」、「トレーニングプログラム演習」、「レクリエーション演習」、「生涯学習概論Ⅱ」の科目から3科目6単位、「スポーツ科学演習A」、「スポーツ科学演習B」、「スポーツ科学演習C」、「スポーツ科学演習D」の科目から1科目2単位、「スポーツ実技指導演習A」の種目から1科目1単位、「スポーツ実技指導演習B」の種目から1科目1単位、「スポーツ実技指導演習C」の種目から1科目1単位を修得すること。

＊2：基盤教育科目の選択科目のうち5単位を超えて修得した単位、所属学科の専門教育科目の選択科目のうち68単位を超えて修得した単位、他学科の専門教育科目で修得した単位を合計して6単位以上を修得すること。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

（１）学則変更（収容定員変更）の内容

本学の保健医療学部及び看護学部、健康科学部、健康スポーツ学部について、令和9年度に下記のとおり入学定員及び収容定員の変更を行う。この変更により、大学全体の入学定員は、1,060 人から 970 人に、収容定員は、4,500 人から 4,120 人に減少する。

学部	学科	入学定員	第3年次 編入学定員	収容定員
保健医療学部	診療放射線学科	70→**50** （△20）	―	280→**200** （△80）
	医療技術学科	100→**80** （△20）	―	400→**320** （△80）
看護学部	看護学科	120→**100** （△20）	10→0 （△10）	500→**400** （△100）
健康科学部	心理学科	100→**70** （△30）	―	400→**280** （△120）
	医療経営学科	90→**80** （△10）	―	360→**320** （△40）
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	70→**80** （10）	―	280→**320** （40）

この改正学則は、2027 年 4 月 1 日から施行する。なお、学校教育法施行令第 23 条第 2 項第 4 号の規定による届出にかかる収容定員の総数および増加変更に関する計画の期間は以下のとおりとする。

【収容定員数】

収容定員	減少変更前の収容定員
3,820 名	4,200 名

【計画期間】

増加変更に関する計画期間
2027 年 4 月～2034 年 3 月

（２）学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、建学の精神のもと、世のため、人のため、地域のために、ひとと共に歩み、こころに届く医療を実践する専門職業人を育成しています。また、平成 10 年に大学を開設して以来 28 年の長きにわたり社会に貢献し活躍できる人材を輩出しています。その中で本学においては、18 歳人口の減少により、これまで以上に多様な学生（学力・思考・興味・障がい・家庭環境など）が入学してくることが予測されており、このような状況に対応するため、学修の成果を、多様な学生が実感できる柔軟な教育を行うとともに、学修者本位の教育の推進と学生支援体制の整備・充実を図ります。また、厳しい学生募集環境の中、学部や学科を新設する際の審査基準の厳格化や寄附行為変更認可申請において求められる学部ごとの収容定員充足率の基準を踏まえ、収容定員および入学定員の見直しを行い、組織の適正化を図る必要があることから、現行の入学定員 1060 人から 970 人とし、それに応じて収容定員を減じて変更することとしたい。

（３）学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

本学では、2027 年度の収容定員変更に伴い、全学的に教育課程の改訂を行う。改訂にあたっては、これまでの教育内容を十分に担保しつつ、学修者本位の教育を基調とし、より実践的な学びを重視する体系へと再構築する。従来は、教養科目を主として１年次に配置し、段階的に専門科目へと移行する構成としていたが、改訂後は、学生が早期から専門的・実践的な学びに触れ、主体的に学修を深められるよう、教養科目を高年次にも開講できるよう制度を見直す。これにより、低年次から専門科目を多く配置することが可能となり、基礎から応用へと連続的に学びを展開できる教育体系を実現する。また、専門科目においては、講義・演習と実験・実習の有機的な連動を一層強化することで、知識と技能の統合的理解を促す教育課程へと再編する。実践の場

をより意識した教育課程とし、専門職として必要な判断力や実践力の育成を図る。さらに、教養科目を全ての年次で履修可能とすることにより、専門教育との往還を通じて幅広い視野と柔軟な思考力を培うことを目的とする。教養と専門の学びを相互に関連づけることにより、より一貫性と深みのある学位プログラムを構築する。
加えて、本学が従来から実施してきた全学科合同の「専門職連携教育」についても見直しを行う。従来は医療系学科が多い構成を踏まえ、医療専門職間の連携を中心とした内容としていたが、社会のニーズや学生の進路の多様化を踏まえ、「多職種連携教育」へと再定義する。科目名も「専門職連携基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「専門職連携総合演習Ⅰ・Ⅱ」から、「多職種連携基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「多職種連携総合演習Ⅰ・Ⅱ」へと改め、医療系以外も含めた異なる専門分野の学生が協働し、相互理解と協調的問題解決を図る学修機会を拡充する。この改訂により、医療分野にとどまらず、地域・福祉・スポーツ・防災など多様な現場で活躍できる人材育成を目指す教育体系へと発展させる。これらの改訂により、本学の教育課程は、定員変更前と比較して教育内容の水準と体系性を維持しつつ、より実践的で社会的要請に即したものとなる。学修者本位の視点に立った教育課程により、学生が自らの学びを主体的に構築し、専門性と教養を兼ね備えた人材として成長できる教育環境を確実に担保する。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

教育方法については、これまでの方針を変更せず、講義、演習、実習等を通じて理論と実践を統合した学修を継続する。従来から実施してきた教育内容と水準を維持し、教育の質を確実に担保する。一方、履修指導方法については、全ての科目をC科目群（ディプロマ・ポリシー［DP］の達成に必須となる基幹科目)、A科目群（C科目群の学修を踏まえて発展的な力を養う科目)、B科目群（C科目群の修得を補完する科目）の三群に体系的に整理する。この区分により、学生の能力や学修進度に応じた履修支援を行い、段階的かつ計画的にDPに到達できるようにする。以上の取組により、定員変更後においても、教育方法及び履修指導方法は従前と同等以上に確保されている。

（ウ）教員組織について

教員組織は変更しない。収容定員増となる健康スポーツ部健康スポーツ学科の S/T 比について、変更前は 21.5%、変更後は 24.6%であり、変更前後で大きな変化はなく、現状の受入れ学生数に即した形での変更であるため、教員組織の変更は行わなくても収容定員変更前と同等の指導体制を担保できる。

（エ）大学全体の施設・設備の変更内容について

施設・設備の内容については、変更はなく教育研究を行うのに十分な施設・設備、図書等を備えている。今後もさらに充実した修学環境の整備に努める。

学生確保の見通し等を記載した書類

【目次】

学生確保の見通し等を記載した書類 1
（１）収容定員を変更する組織の概要 2
［１］　収容定員を変更する組織の概要 2
［２］　収容定員を変更する組織の特色 2
（２）人材需要の社会的な動向等 3
［１］　収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析 3
［２］　中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析 3
［３］　収容定員を変更する組織の主な学生募集地域 4
［４］　既設組織の定員充足の状況 4
（３）学生確保の見通し 8
［１］　学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 8
ア　既設組織における取組とその目標 8
イ　収容定員を変更する組織における取組とその目標 10
ウ　当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数 10
［２］　競合校の状況分析 10
ア　競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性 10
イ　競合校の入学志願動向等 12
ウ　収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等 14
エ　学生学納金等の金額設定の理由 15
［３］　先行事例分析 15
［４］　学生確保に関するアンケート調査 15
［５］　人材需要に関するアンケート調査等 15
（４）収容定員を変更する組織の定員設定の理由 16

（1）収容定員を変更する組織の概要

［1］　収容定員を変更する組織の概要

学部	学科		入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
保健医療学部	診療放射線学科		50	―	200	広島県東広島市黒瀬学園台５５５番３６号
	医療技術学科		80	―	320	
		臨床工学専攻	40	―	160	
		臨床検査学専攻	40	―	160	
健康科学部 心理学科			70	―	280	
健康科学部 医療経営学科			80	―	320	
健康スポーツ学部 健康スポーツ学科			80	―	320	
看護学部 看護学科			100	0	400	広島県呉市広古新開五丁目１番１号
薬学部 薬学科 ※収容定員関係学則変更認可申請予定			70	―	420	

［2］　収容定員を変更する組織の特色

＜保健医療学部　診療放射線学科＞

診療放射線学科は、急速に高度化、専門化する放射線診療に対応でき、さらに新しい医用技術の開発にも参画できる信頼される医療人としての診療放射線技師を育成する。

＜保健医療学部　医療技術学科＞

医療技術学科は、日々進歩し続ける臨床工学・臨床検査学の各領域における医療機器や医療技術の変化に対応できる能力と医療チームに貢献する幅広い知識・豊かな人間性を持つ人材を育成する。

＜健康科学部　心理学科＞

心理学科は、ストレスの多い社会に対し、さまざまな心理学とコミュニケーション技術をもとに、自己や他者のこころに関心を持つ人材、さらに肯定的自己理解と他者への共感的理解を持ちながら、温かい人間関係を構築し、社会の中で生じる課題を創造的に解決できる人材を育成する。

＜健康科学部　医療経営学科＞

医療経営学科は、健康・医療分野に深く関わる経営学、経済学、法学、医学、情報学等の実践的な学びを通して、高い倫理観を持ちながら、効率的で質の高い健康・医療サービスの提供をもって、人々のしあわせをマネジメントできる人材を育成する。

＜健康スポーツ学部　健康スポーツ学科＞

健康スポーツ学科は、あらゆる人々が、各ライフステージ（各年齢期）において健康で豊かな生活を送ることができるよう、健康・運動・体育・スポーツに関する知識や技術をもとに、幅広い分野で貢献できる人材を育成する。

＜看護学部　看護学科＞

看護学科は、生命の尊厳と個人の尊重を基盤とし、豊かな人間性を形成するとともに、看護の知識・技術を習得し、質の高い看護が展開できるよう、実践力・応用力・判断力を養い、広く社会に貢献できる人材を育成する。

＜薬学部　薬学科＞

薬学科は、「寄りそえる薬剤師の養成」を柱に、専門的知識・技能に加え、科学的思考力・判断力や高い倫理観と豊かな人間性を兼備し、もって広く社会に貢献する薬の専門家を育成する。

（２）人材需要の社会的な動向等

［１］　収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

広島国際大学は、建学の精神のもと、【資料１】「２０２４年度 広島国際大学 就職決定状況」に示すとおり、現場で活躍できる専門職業人を育成し、地域社会の発展に貢献する人材を多数輩出している。全国的観点では、【資料２】「２０２４年度 求人件数」に示すとおり、広島県外からの求人も多く、前年度と比較して増加傾向にあることから、保健医療学部、健康科学部、健康スポーツ学部、看護学部、薬学部が養成する人材に対するニーズは高い状況にある。地域的観点では、【資料３】「２０２４年度 学部卒業生の就職先所在地について」に示すとおり、広島県を所在地とする就職先への就職者数は、保健医療学部、健康科学部、健康スポーツ学部、看護学部、薬学部の合計で３０９名となっており、地元地域へ多くの人材を輩出している。社会的動向の分析としては、【資料４－１～４】「広島国際大学 進路先対象 卒後調査（２０２５年度実施）」に示すとおり、本学卒業生を採用した就職先における満足度は、「とても満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせて８８％と高い水準にある。さらに、本学卒業生については、「人間性」「コミュニケーション力」「信頼関係を築く力」などの能力が高く評価されており、社会的需要の高い大学であると考えられる。

［２］　中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

【資料５】「18 歳人口及び高等教育機関への入学者数・進学率等の推移」に示すとおり、18 歳人口は 1992 年の約 205 万人をピークに減少を続け、2026 年には約 110 万人と半減した。今後も減少傾向が見込まれ、2040 年には 80 万人台に達する見通しである。一方で、大学・短期大学への進学率は近年横ばいで推移しており、2023 年時点で大学進学率は約 57.7%、短期大学は約 3.4%となっている。高等教育全体の進学率もおおむね 90%前後で推移し、依然として高い水準を維持している。つまり、進学意欲自体は大きく低下していないものの、進学希望者の母数が減少していることから、大学や短大への入学者数は微減傾向にある。18 歳人

口の減少は、進学率が横ばいでも入学者総数の減少につながるため、大学にとっては必ずしも好ましい状況ではないといえる。【資料６】「18 歳人口予測」に示すとおり、本学のある広島県をはじめ、山口県、島根県、鳥取県、岡山県の 18 歳人口は 2024 年の 63,279 人から 2036 年には 55,286 人へと 7,993 人（約 12.6%）減少する見込みである。全国の減少率 11.4%を上回るペースであり、地域的な影響が相対的に大きい。県別では、減少率が最も高いのは山口県（17.8%減)、減少数が最も多いのは広島県（2,823 人減）である。2026 年頃までは一時的な微増が見られるが、2030 年以降は再び減少傾向に転じる。全体として、18 歳人口は長期的に減少基調が続くと予測されており、このことは地域の高等教育機関にとって安定した入学者確保が難しくなる可能性を示している。【資料７】「中国エリア概要」に示すとおり、中国地方の地元残留率は県によって傾向が分かれる。鳥取・島根・山口では微増傾向がみられ、一方で、岡山県は大学で 43.3%→41.2%、広島県は 52.7%→51.0%とやや低下し、地元離れが進んでいる。

全国的な 18 歳人口の減少が続くなか、中国地方では特に減少率が高く、広島県では若年層の流出傾向が顕著である。大学の定員を地域人口に応じて適正化し、充足率の維持と教育資源の集中を図ることで、募集効率と教育の質の両立を実現する必要がある。

なお、具体的な充足率維持と教育の質向上施策として入学前提供プログラム（入学準備サポート、入学準備学習）の拡充やカリキュラム編成の一部の見直し、学生支援体制の整備等の教育・学生支援改革を 2027 年度に向けて進めており、大学のブランド力を向上することで安定的に入学者を確保する。

［３］　収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

本学は、【資料８－１～１４】「都道府県別入学者数」に示すとおり、どの学科・専攻においても広島県内の高校からの入学者が最も多い。広島県以外では、中・四国地方の近隣地域からの入学者が例年、一定数いる状況である。そのため、中四国九州（沖縄含む）地方において入試センター事務室の職員を中心に担当エリアを設けて高校訪問等を行っている。その他、各事務部署の部課長による高校訪問を展開し、入試センター事務室職員では訪問しきれない中四国九州地方の高校等（約 145 校）を訪問し、高校への接触を２０２５年度は前年度比 150%とした。訪問内容としては、5 月～6 月にオープンキャンパスへの誘導強化と指定校推薦の案内を行い、9 月上旬以降は、オープンキャンパスの参加状況報告と指定校・総合型選抜への出願状況に対するお礼と学校推薦型選抜の案内を行うこととし、高校ごとの状況を確認し、訪問・メール等を行っている。

また、広範囲に渡る募集エリアからの参加となるオープンキャンパスについては、参加者に交通費の補助を行うなどし、遠方からでも参加しやすい体制を整えている。部活動などで昼間のオープンキャンパスへの参加が難しい高校生を対象にナイトオープンキャンパスを開催し、接触機会を損なわないよう配慮している。
さらに、オープンキャンパスや高校内ガイダンス等で接触した高校生には定期的な接触を行い、志願へとつなげる。

［４］　既設組織の定員充足の状況

広島国際大学における設置学部の入学定員充足の状況について、各学科・専攻ごとに定員充足の状況を見ていくと、保健医療学部 診療放射線学科では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、令和 3 年度から令和 5 年度までの入学定員充足率は 100%台を維持していたが、令和 6 年度以降の同充足

率は 90%台前後に減少している。今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 50 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、139 人（5 年間の平均歩留率 36%）の合格者が必要になるが、5 年間の平均実志願者数が 313 人であることから、139 人の合格者の確保は可能である。

医療技術学科 臨床工学専攻では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近 5 年間の入学定員充足状況は、令和 4 年度を除き未充足となっている。さらに、令和 6 年度及び令和 7 年度においては同充足率が 7 割を切っており、今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 40 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、138 人（5 年間の平均歩留率 29%）の合格者が必要になるが、5 年間の平均実志願者数が 105 人であることから、138 人の合格者の確保は厳しい状況にある。
同専攻においては、系列校との連携を強化しており、高大接続プログラムによる学びの魅力の浸透により、過去 3 年間継続して入学者が確保できている。また、医療における DX 化も進んでおり機器管理のデータの活用、自動化が進められている中で、臨床工学技士のニーズが高まっていくことが期待される。このような社会環境も鑑み、今後の定員充足が可能であると考える。

医療技術学科 臨床検査学専攻では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近 5 年間の入学定員充足状況は、令和 5 年度と令和 7 年度において未充足となっている。さらに、直近の令和 7 年度においては同定員充足率が 7 割を切っている。今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 40 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、182 人（5 年間の平均歩留率 22%）の合格者が必要で、5 年間の平均実志願者数が 240 人であることから、182 人の合格者の確保は可能である。

救急救命学科では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、令和 3 年度から令和 6 年度までの入学定員充足率は 100%台を維持していたが、令和 7 年度においては同充足率 100%台を下回る結果となった。今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 50 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、91 人（5 年間の平均歩留率 55%）の合格者が必要になるが、5 年間の平均実志願者数が 140 人であることから、91 人の合格者の確保は可能ではあり、今後も持続的に入学定員の充足は見込める。

総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、令和 3 年度から令和 7 年度までの直近 5 年間において入学定員充足率は 100%台を維持している。今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 80 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、211 人（5 年間の平均歩留率 38%）の合格者が必要になるが、5 年間の平均実志願者数が 395 人であることから、211 人の合格者の確保は可能ではあり、今後も持続的に入学定員の充足は見込める。

リハビリテーション学科 作業療法学専攻では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、令和 3 年度から令和 7 年度までの直近 5 年間において、令和 6 年度入学定員充足率のみ 100%台を下回る結果となったが、5 年間の平均充足率は 110%となっている。今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 40 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、134 人（5 年間の平均歩留率 30%）の合格者が必要になるが、5 年間の平均実志願者数が 144 人であることから、134 人の合格者の確保は可能ではあり、今後も持続的に入学定員の充足は見込める。

リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、令和 3 年度のみ入学定員充足率が 100%を上回ったものの、令和 4 年度以降は定員を充足できていない。今後の定員充足の見通しについて、直近 5 年間の実志願者数および合格者数に基づき、入学定員 30 人を確保するために必要な合格者数を試算すると、5 年間の平均歩留率 33%を前提とした場合、91 人の合格者が必要となる。今後、ナイトオープンキャンパスの実施をはじめとする接触機会の増加や特待生選抜の更なる充実を図ることにより、志願者の増加をはじめ合格者の確保は可能であり、入学定員の充足は見込める。

リハビリテーション学科 義肢装具学専攻では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近 5 年間においては、隔年で入学定員充足率が 100%を上回る結果となっている。今後の定員充足の見通しについて、直近 5 年間の実志願者数および合格者数を基に、入学定員 30 人を確保するために必要な合格者数を試算すると、5 年間の平均歩留率 42%を前提とした場合、72 人の合格者が必要となる。今後、ナイトオープンキャンパスの実施をはじめとする接触機会の増加や特待生選抜の更なる充実を図ることにより、志願者の増加をはじめ合格者の確保は可能であり、入学定員の充足は見込める。

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、令和 3 年度から令和 7 年度までの直近 5 年間において入学定員充足率は 100%台を維持している。今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 80 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、146 人（5 年間の平均歩留率 55%）の合格者が必要になるが、5 年間の平均実志願者数が 251 人であることから、146 人の合格者の確保は可能ではあり、今後も持続的に入学定員の充足は見込める。

健康科学部 心理学科では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近 5 年間の入学定員充足状況は、令和 3 年度から令和 7 年度において一度も定員を充足できていない。さらに、令和 4 年度、6 年度、7 年度においては入学定員充足率が 7 割を切っている。今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 70 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、195 人（5 年間の平均歩留率 36%）の合格者が必要で、5 年間の平均実志願者数が 159 人であることから、195 人の合格者の確保は厳しい状況にある。同学科においては、新たな特色としてスポーツ心理学の学びを打ち出しており、プロスポーツ競技団体との連携を行い、大学の中での学びとフィールドワークの両面からスポーツ心理を実践的に学ぶことが可能となった。また、2027 年度より養護教諭（Ｉ種）教職課程を設置す

ることとなっており、心理学の学びを軸に養護教諭を志す学生を確保することから今後の定員充足が可能であると考える。

医療栄養学科では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近5年間において令和4年度、5年度において入学定員充足率100%台を上回る結果となっている。今後の定員充足の見通しについては、直近5年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員60人を確保するために必要な合格者数を想定すると、163人（5年間の平均歩留率37%）の合格者が必要になるが、5年間の平均実志願者数が152人である。今後、ナイトオープンキャンパスの実施をはじめとする接触機会の増加や特待生選抜の更なる充実を図ることにより、志願者の増加をはじめ合格者の確保は可能であり、入学定員の充足は見込める。

医療経営学科では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近5年間の入学定員充足状況は、令和3年度の入学定員充足率のみ100%台を上回る結果となったが、令和4年度以降においては定員を充足することができていない。今後の定員充足の見通しについては、直近5年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員80人を確保するために必要な合格者数を想定すると、151人（5年間の平均歩留率53%）の合格者が必要になるが、5年間の平均実志願者数が137人であることから、151人の合格者の確保は厳しい状況にある。
同学科においては2027年度にカリキュラム改定を行い、インターンシップ科目として「企業研究インターンシップ」、「ウェルビーイング経営インターンシップ」を配置した。これにより従来の医療機関への就職希望者だけでなく、企業就職希望者の確保も見込んでおり今後の定員充足が可能であると考える。

社会学科 地域創生学専攻では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近2年間の入学定員充足状況は定員を充足することができていない。今後の定員充足の見通しについては、直近2年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員60人を確保するために必要な合格者数を想定すると、188人（2年間の平均歩留率32%）の合格者が必要になるが、2年間の平均実志願者数が74人であることから、188人の合格者の確保は厳しい状況にある。しかしながら社会学科 地域創生学専攻においては2024年度に新設した専攻であり、募集状況は開設年度から上向いており、今後の定員充足が可能であると考える。

社会学科 社会福祉学専攻では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近2年間の入学定員充足状況は定員を充足することができていない。今後の定員充足の見通しについては、直近2年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員40人を確保するために必要な合格者数を想定すると、112人（2年間の平均歩留率36%）の合格者が必要になるが、2年間の平均実志願者数が81人であることから、112人の合格者の確保は厳しい状況にある。しかしながら社会学科 社会福祉学専攻においては2024年度に新設した専攻であり、募集状況は開設年度から上向いており、今後の定員充足が可能であると考える。

看護学部 看護学科では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近5年間の入学定員充足状況は、令和6年度と令和7年度において未充足となっている。直近5年間の実人数の志願

者数、合格者数を基に、入学定員 100 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、271 人（5 年間の平均歩留率 37%）の合格者が必要で、5 年間の平均実志願者数が 510 人であることから、271 人の合格者の確保は可能ではあり、今後も持続的に入学定員の充足は見込める。

薬学部 薬学科では、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、直近 5 年間の入学定員充足状況は、令和 3 年度から令和 7 年度において一度も定員を充足できていない。さらに、令和 4 年度、6 年度、7 年度においては同定員充足率が 7 割を切っている。今後の定員充足の見通しについては、直近 5 年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員 70 人を確保するために必要な合格者数を想定すると、280 人（5 年間の平均歩留率 25%）の合格者が必要で、5 年間の平均実志願者数が 386 人であることから、280 人の合格者の確保は可能ではあり、今後も持続的に入学定員の充足は見込める。

なお、広島国際大学の設置学部のうち、【資料９－１～８】「学科・専攻別入学者数、充足率」に示すとおり、健康科学部 心理学科および薬学部 薬学科においては、申請時点での収容定員充足率が 0.7 倍を下回っており、以下のとおり充足できていない原因分析している。
健康科学部 心理学科においては、心理学領域の関心層は多いが、心理学領域を学べる大学等が広島県内外に多く、その中で本学が選ばれる大学となっていない現状がある。とりわけ、カウンセラーをめざす方以外にも門戸を広げる目的で 2024 年度(令和 6 年度)に専門職大学院の募集停止を行ったが、臨床心理士の資格をめざす志願者の減少の要員となった。従来の臨床の学びに加え、目指す進路に合わせたモデルコースの設置やスポーツ心理学といった特色ある学びを加えたことで興味・関心者が増加しており、入学定員の充足を見込んでいる。
薬学部 薬学科おいては、私立大学において進学希望者が減少しており、薬学分野を取り巻く環境が厳しさを増している。国家試験のストレート合格率が入学者数に大きく影響する中で、合格率の改善が図れていないことが志願者数減少の要因となった。
なお、今後は現状の募集状況に合わせた形で入学定員の見直しを図るとともに、国家試験のストレート合格率を向上させるための施策として、入学者選抜の強化や国家試験対策の見直しを計画しており、入学定員の充足を見込んでいる。

（3）学生確保の見通し

［1］　学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア　既設組織における取組とその目標

学生確保に向けた具体的な取組状況についての主な内容は、2023 年度より大学案内に加え WEB で閲覧できる環境を整え、「ＷＥＢ大学案内」と称し学生の生の声を届けるコンテンツに変更している。また、ホームページやＳＮＳ等での情報発信、受験生向けの受験雑誌や受験情報サイト等の各種メディアを活用したＰＲ活動を行うとともに、本学への接触者にはマーケティングオートメーションツールやダイレクトメールを利用して、オープンキャンパスへの誘導施策等を行っている。さらに、各種進学情報サイトを通じて本学の非接

触層に向けたWEBメールやダイレクトメールを利用し、接触者数を増加させる施策を行っている。

対面での施策については、高等学校訪問、オープンキャンパスの実施や各地域における進学相談会等の参加を通じて、学部・学科の理念、養成する人材像、学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針、学生生活を通した活動や想定される進路等様々な教育情報について、設置圏域を中心とする高校生や保護者に対して広く周知を図ることとしている。

低学年層については、高校内ガイダンス等での説明用資料として医療系の職種理解を深める資料として「職の種ＢＯＯＫ」を制作・配布している。

１） 高等学校訪問

高校訪問を中心とする個別アプローチによる募集戦略の強化も図ることとしている。高校訪問は、入試業務全般を所管する入試センター事務室の職員が中心となって、広島県の他、中四国・九州エリアの高等学校を訪問する。その中で、重点募集対象地域及び重点訪問校を設定し、訪問計画を策定する。また、学校推薦型選抜（指定校型）の設定により、広島県内の高等学校及び中四国九州地方の高等学校からの確実な入学者の確保をめざす。具体的な訪問時期は、高校生の進路検討時期に合わせ、4 月～7 月（総合型選抜・ 学校推薦型選抜の情報提供およびオープンキャンパスへの誘導)、9 月～10 月（オープンキャンパス報告・総合型選抜結果報告)、 11 月～12 月（学校推薦型選抜結果報告及び一般選抜に向けた情報提供)、1 月～3 月（次年度オープンキャンパス案内）と通年を通し高等学校との連携を密に行っている。また、上記に合わせ在学生の成績（前期・後期 年 2 回）や卒業生の就職先情報についても報告を行うなど、広島県内及び重点校を幅広く訪問している。

２） 進学相談会

中四国九州地区を中心に開催される進学相談会への参加を行っている。 進学相談会では、大学案内を配付し、学位授与・教育課程編成・入学者受入の方針、選抜方法の種類や試験科目、書類審査、学力試験、面接試験、小論文試験などの実施方法、授業科目や講義等の内容、取得可能な資格、想定される卒業後の進路、大学周辺の施設や環境、学生寮やアパート物件などに関する情報を広く提供することにより、大学の魅力を伝えている。

３） オープンキャンパス

オープンキャンパスの実績は【資料１０】「既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績」に示すとおり、大学全体の令和８年度入試に繋ぐオープンキャンパスの参加者等総数は 2,631 人（前年度比 110%）であった。本学への入学を希望・検討している高校生やその保護者を対象として、大学の学びを理解いただき、本学への関心を深めてもらうため、6 月、7 月、8 月、3 月に東広島および呉キャンパスでオープンキャンパスを実施している。学生広報アンバサダーによる大学説明、各学科・専攻に分かれた学科紹介および見学、取得可能な資格説明の実施、入試説明会や学生寮の見学など実施している。さらに、大学生活についての個別相談や質問を受け付けるなど、受験生や保護者との対面による丁寧な説明を行うことによりミスマッチのない大学選びに寄与している。

イ　収容定員を変更する組織における取組とその目標

定員変更に伴う学生募集広報については、既存の施策を実行するとともに、よりきめ細やかな高校訪問による接触機会の増加や、新たな募集ターゲットに対する動機付けが必要であると考えている。このため、2026 年度入試より、高大連携プログラムを強化し総合型選抜の出願を促進する施策を展開している。また、現状の社会ニーズが高いスポーツ関心層に響く特色や入試制度を強化し、全学科・専攻対象に募集を行った。今後は特待生制度を拡充し、経済的負担を減らす方策や大学入学共通テストを利用した選抜における検定料の減免などの取り組みを行い、入学者の確保を行う。

ウ　当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

定員を減少する学科・専攻のうち、【資料１１－１～１０】「既設学科等の入学定員の充足状況」に示すとおり、直近５年間の志願者数、入学者数、入学歩留率等を参考にした場合、現状では、変更後の入学定員を満たすことが困難と予測される学科・専攻（臨床工学専攻、心理学科、医療経営学科、薬学科）もある点からも、上述した特待生制度の拡充や、スポーツ関心者の募集、高大連携の拡充を実施していくことで入学定員の充足は可能であると見込んでいる。

［2］　競合校の状況分析

ア　競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

保健医療学部、健康科学部、看護学部、薬学部、健康スポーツ学部の競合校として、次の７校（８学科）を選定した。

【競合校詳細】

（保健医療学部 診療放射線学科）A

	入学定員	収容定員	所在地
徳島文理大学　保健福祉学部 診療放射線学科	60	240	香川県高松市浜ノ町８－５３

（保健医療学部 医療技術学科 〈臨床工学専攻〉）B

	入学定員	収容定員	所在地
広島工業大学 生命学部 生体医工学科	60	240	広島県広島市佐伯区三宅２丁目１番１号

（保健医療学部 医療技術学科 〈臨床検査学専攻〉）C

	入学定員	収容定員	所在地
倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科	55	220	岡山県倉敷市連島町西之浦 2640 番

（健康科学部 心理学科）D

	入学定員	収容定員	所在地
比治山大学 現代文化学部 社会臨床心理学科	60	244	広島市東区牛田新町 4 丁目 1 番 1 号

（健康科学部 医療経営学科）E

	入学定員	収容定員	所在地
広島経済大学 経営学部 経営学科	310	1,240	広島市安佐南区祇園 5 丁目 37 番 1 号

（看護学部 看護学科）F

	入学定員	収容定員	所在地
安田女子大学 看護学部 看護学科	120	480	広島県広島市安佐南区安東 6 丁目 13 番 1 号

（薬学部 薬学科）G

	入学定員	収容定員	所在地
安田女子大学 薬学部 薬学科	100	632	広島県広島市安佐南区安東 6 丁目 13 番 1 号

（健康スポーツ学部　健康スポーツ学科）H

	入学定員	収容定員	所在地
環太平洋大学 体育学部 体育学科	200	1,100	岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺 721 番

【競合校の選定理由】

各競合校を選定した理由は、対象とする大学がいずれも私立大学であり、中四国エリアに所在していること。また、所在地が地域的に同一圏内で学生募集活動を展開しており、進学志向や通学圏が重なりやすいという共通点を有している。また、各大学の学生数は 1,000 人～8,000 人の範囲に位置し、全国的に見て小規模～中規模の大学として分類される。さらに、教育内容の特徴として、医療・看護・福祉・心理・教育・スポーツ・経営などの資格取得や専門職養成を目的とした実学系の学科を中心に構成されている点が挙げられる。これらの条件により、次に挙げる大学群は、地域性、規模、教育分野のいずれにおいても共通した特性を持ち、同一の学生層を対象とする範囲内に位置づけられる競合校と判断した。

【優位性】

本学は、医療・福祉・心理・経営・スポーツなど多様な分野を有する総合大学として、中四国エリアでも屈指の実学的教育環境を整えている。特に他学部との連携によるチーム医療教育や専門職連携教育を重視している点で、単科系・専門特化型大学に比べて実践的学びの幅が広いことが大きな強みである。また、広島県東広島市に拠点を置き、地域病院や行政との連携が強く、医療人材のニーズに貢献し続けている。

学内には最新の医療機器を備えた実習室やシミュレーション環境が整い、学生は臨床現場に近い形で技能を修得できる。臨床実習は県内外の基幹病院や医療機関と強固に連携し、指導体制の充実と実践的経験の質の高さで評価されている。国家試験においては、学年進行に応じた段階的対策や模擬試験を体系化し、専任教員が個別指導を行うなど高い合格率を維持している。さらに、医療・福祉分野を中心に病院、企業、行政などへの就職実績が安定しており、キャリア支援センターによる面接・書類指導や卒業生ネットワークも充実。

教育設備・臨床実習体制・国家試験サポート・進路の充実度においても高い水準を維持しており、実践的で地域に根ざした医療人養成という点で、他大学に比べ明確な優位性を有している。

イ　競合校の入学志願動向等

（保健医療学部 診療放射線学科）A

本学、保健医療学部 診療放射線学科と競合校の 2022（令和 4）年度、2023（令和５）年度、2024（令和６）年度入試における入学志願状況等は、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」に示す通りである。競合校は過去３年の入学定員充足率の平均が 112.8％となっており、高い割合で安定的に入学者を確保していることがわかる。また、本学保健医療学部 診療放射線学科においても、入学定員充足率の過去３年平均は 100％を上回っていることから、新たな定員を充足するに十分な見込みがあると判断できる。

（保健医療学部 医療技術学科 臨床工学専攻）B

本学、保健医療学部 医療技術学科 臨床工学専攻と競合校の 2022（令和 4）年度、2023（令和５）年度、2024（令和６）年度入試における入学志願状況等は、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」に示す通りである。競合校は過去３年の入学定員充足率の平均が 64.4％となっており、過去３年全ての入学定員充足率において 100％を下回っている。

ただし、志願者は 2022（令和４）年度 174 名であったところ、2024（令和 6）年度 360 名で２倍以上になっており、入学定員充足率においても 2022（令和４）年度 58.3％であったところ、2024（令和 6）年度で 73.3％と回復傾向にある。依然として学生募集状況としては厳しい状況ではあるが昨今の理工系人材需要拡大に加え大学の学生募集努力により後述する定員を充足できる根拠等を総合的に判断し、収容定員変更後においても、学生確保は可能と考えている。

（保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻）C

本学、保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻と競合校の 2022（令和 4）年度、2023（令和５）年度、

2024（令和６）年度入試における入学志願状況等は、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」に示す通りである。競合校は過去３年の入学定員充足率の平均が 83.0%となっており、過去３年全ての入学定員充足率において 100%を下回っているが、本学が新たに設定する定員数以上は過去３年全てにおいて満たしている。
本学は競合校に比べ、志願者数受験者数についても上回っていることを踏まえ、後述する定員を充足できる根拠等を総合的に判断し、収容定員変更後においても、学生確保は可能と考えている。

（健康科学部 心理学科）D
本学、健康科学部 心理学科と競合校の 2022（令和 4）年度、2023（令和５）年度、2024（令和６）年度入試における入学志願状況等は、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」に示す通りである。競合校は過去３年の入学定員充足率の平均が 117.8%となっており、高い割合で安定的に入学者を確保している。また、同大学は本学健康科学部 心理学科の新たな定員数と同等の入学定員数であり、過去３年全てでて入学定員充足率が 100%を上回っている。従って、本学健康科学部 心理学科においても定員を充足する十分な見込みがあると判断できる。

（健康科学部 医療経営学科）E
本学、健康科学部 医療経営学科と競合校の 2022（令和 4）年度、2023（令和５）年度、2024（令和６）年度入試における入学志願状況等は、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」に示す通りである。競合校は過去３年の入学定員充足率の平均が 100.2%となっており、安定的に入学者を確保している。また、同大学は入学定員数において、本学の３倍の規模を誇っているが、その分志願者数や受験者数も多く、過去３年全てにおいて 1000 名以上を確保している。依然として「商学・経済学」分野において受験生の興味関心が高い分野であることが伺われる。本学健康科学部 医療経営学科においては、過去３年で新たな定員数に迫る入学者数を確保しており、このことからも定員を充足する十分な見込みがあると判断できる。

（看護学部 看護学科）F
本学、看護学部 看護学科と競合校の 2022（令和 4）年度、2023（令和５）年度、2024（令和６）年度入試における入学志願状況等は、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」に示す通りである。競合校は過去３年の入学定員充足率の平均が 106.4%、本学看護学部 看護学科においても過去３年の入学定員充足率の平均は 102.8%であることから、同分野においては【資料６】、【資料７－１～３】に示されているような社会性、地域性の影響が少なく、安定的に入学者を確保している。従って新たな定員を充足するに十分な見込みがあると判断できる。

（薬学部 薬学科）G
本学、薬学部 薬学科と競合校の 2022（令和 4）年度、2023（令和 5）年度、2024（令和６）年度入試における入学志願状況等は、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」に示す通りである。競合校は過去３年の入学定員充足率の平均が 101.7%となっており、安定的に入学者を確保している。本学薬学部

薬学科については、過去３年において入学定員充足率は 69.1%と 100%に満たない状況が続いているが、入学者数に注目すると過去３年の平均で、新たな定員数を上回る入学者数を確保しており、このことからも定員を充足するに十分な見込みがあると判断できる。

（健康スポーツ学部　健康スポーツ学科）H

本学、健康スポーツ学部 健康スポーツ学科と競合校の 2022（令和 4）年度、2023（令和５）年度、2024（令和６）年度入試における入学志願状況等は、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」に示す通りである。競合校は過去３年の入学定員充足率の平均が 107.0%となっており、本学健康スポーツ学部 健康スポーツ学科の過去３年の平均においても 113.3%という高い水準で入学者を確保している。また、同大学は入学定員数において本学の倍以上の規模であるが、志願者数や受験者数も多く、過去３年平均において 500 名に迫る人数を確保しており、依然として「体育学」分野においては受験生の興味関心が高い分野であることが伺える。このことからも定員を充足する十分な見込みがあると判断できる。

ウ　収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等

ア及びイを踏まえて、医療技術学科は競合校において定員未充足のため、以下のとおり新組織において定員が充足できる理由を示す。

平成 27 年度から令和 6 年度までの間の保健医療学部 医療技術学科の志願者数・志願倍率等は下記の通り推移している。

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	平均
志願者数	1368	1273	1061	1053	921	643	682	661	478	453	859.3
受験者数	1233	1167	953	904	916	630	663	642	469	452	802.9
合格者数	509	387	387	444	494	381	465	383	358	343	415.1
入学者数	174	130	127	139	132	93	106	103	86	89	117.9
入学定員数	130	130	130	130	130	100	100	100	100	100	115.0
入学定員充足率（%）	133.8	100	97.7	106.9	101.5	93.0	106.0	103.0	86.0	89.0	101.7
志願倍率	10.52	9.79	8.16	8.10	7.08	6.43	6.82	6.61	4.78	4.53	7.3
				（出典：日本私立大学協会中国・四国支部　中国・四国地区私立大学実態調査）							

競合校とした２校（広島工業大学 生命学部 生体医工学科、倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科）については、【資料１２－１～２】「本学及び競合校との入学志願動向比較」にある通り、本学の新しい定員数より多い定員数の中で、令和６年度の入学定員充足率についてはそれぞれ７割以上を確保している。また本学も上記の資料の通り過去１０年間で、あたらしい定員数を上回る入学者数をキープし続けている。以上のとおり、他大学と比較した入学定員充足状況やこれまでの実績等、総合的に判断した結果、本学の保健医療学部 医療技術学科は定員を充足することができると考えている。

エ　学生学納金等の金額設定の理由

本学の 2027（令和 9）年度の初年次納付金は、【資料１３】「近隣大学の初年度納付金額比較一覧」に示すとおり、診療放射線学科・医療技術学科・救急救命学科・リハビリテーション学科・看護学科は 1,760,000 円、心理学科・医療経営学科・社会学科は 1,310,000 円、健康スポーツ学科・医療栄養学科は 1,360,000 円、薬学科は 2,060,000 円としている。

本学は、建学の精神である「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する」に基づき、実習・演習を重視した教育体制を整備している。これらの教育環境の維持・発展を図る観点から、学生に過度な経済的負担とならないこと、他大学との競争力を維持できる水準であること等を総合的に勘案し、同様の学科を設置する近隣私立大学の学生納付金の状況も参考にしながら金額を設定している。

同様の学科を設置する近隣私立大学の 2025（令和 7）年度入学生の初年度納付金を比較すると、【資料１３】「近隣大学の初年度納付金額比較一覧」に示すとおり、本学の 2027（令和 9）年度の初年度納付金は他大学の平均額を大幅に上回るものではなく、相対的に平均的な水準にあることから、適正な価格設定であると考えている。

また、入学金については、【資料１３】「近隣大学の初年度納付金額比較一覧」に示すとおり、全学科において他大学の平均額を下回る水準としている。これは、文部科学省が学校法人に対し、入学しない学生の納付する入学料に係る負担軽減のための方策を講ずることを求めている趣旨にも配慮したものであり、進学機会の確保および受験生の経済的負担軽減の観点からも適切な金額設定であると考えている。

以上のことから、本学の学生納付金等は、他大学と比較して高額な水準にはなく、また、一定数の学生を安定的に確保している実績も踏まえ、総合的に判断して適切な金額設定であると判断している。

［3］　先行事例分析

先行事例がないため、省略。

［4］　学生確保に関するアンケート調査

収容定員変更に係る学則変更の届出のため省略

［5］　人材需要に関するアンケート調査等

収容定員を変更する組織で養成する人材の需要について，「（２）人材需要の社会的な動向等 ①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析」で説明したとおり，就職先から「人間性」「コミュニケーション力」「信頼関係を築く力」の面で高く評価されている。また，【資料１４】「２０２２～２０２４年度希望就職率推移」に示すとおり，直近３年の就職希望者に対する就職率（希望者就職率）は，高い数値となっている。また、【資料１５】「2022～2024 年度求人件数」に示すとおり求人件数もいずれの学部においても定員を超える件数となっており，社会において需要があると考えている。

（4）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

近年、大学設置審査や寄附行為変更認可申請における収容定員充足率の基準が引き上げられる動きと共に、学生確保の確実性や教育の質保証が一層重視されるようになっている。このような状況を踏まえ、本学では教育環境の適正化と学修支援体制の充実を目的として、収容定員の見直しを行うこととした。定員を適正規模に調整することで、教員が学生一人ひとりにより丁寧に向き合うことが可能となり、個別の学習到達度に応じた指導や、課題に対するきめ細かなフィードバックを実現できる。これにより、入学後の学習意欲の向上や理解の深化が促されるとともに、学生の不安解消やモチベーション維持にもつながることが期待される。今後も本学は、教育の量的拡大よりも質的充実を重視し、学生中心の学びを支える体制の強化に努めていく。

学生確保の見通し等を記載した書類（資料）

【目次】

【資料１】2024 年度　広島国際大学　就職決定状況 3
【資料２】2024 年度求人件数 4
【資料３】2024 年度学部卒業生の就職先所在地について 5
【資料４－１】広島国際大学　進路先対象　卒後調査 6
【資料４－２】広島国際大学　進路先対象　卒後調査 7
【資料４－３】広島国際大学　進路先対象　卒後調査 8
【資料４－４】広島国際大学　進路先対象　卒後調査 9
【資料５】18 歳人口及び高等教育機関への入学者数・進学率等の推移 10
【資料６】18 歳人口予測（全体：中国：2024～2036 年） 11
【資料７－１】中国エリア概要（全体：県別） 12
【資料７－２】中国エリア概要（全体：県別） 13
【資料７－３】中国エリア概要（全体：県別） 14
【資料８－１】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 15
【資料８－２】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 16
【資料８－３】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 17
【資料８－４】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 18
【資料８－５】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 19
【資料８－６】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 20
【資料８－７】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 21
【資料８－８】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 22
【資料８－９】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 23
【資料８－１０】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 24
【資料８－１１】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 25
【資料８－１２】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 26
【資料８－１３】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 27
【資料８－１４】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数 28
【資料９－１】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率 29
【資料９－２】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率 30
【資料９－３】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率 31
【資料９－４】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率 32
【資料９－５】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率 33
【資料９－６】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率 34

【資料９－７】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率 35
【資料９－８】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率 36
【資料１０】既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績 37
【資料１１－１】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 38
【資料１１－２】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 39
【資料１１－３】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 40
【資料１１－４】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 41
【資料１１－５】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 42
【資料１１－６】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 43
【資料１１－７】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 44
【資料１１－８】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 45
【資料１１－９】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 46
【資料１１－１０】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 47
【資料１２－１】本学及び競合校との入学志願動向比較 48
【資料１２－２】本学及び競合校との入学志願動向比較 49
【資料１３】近隣大学の初年度納付金額比較一覧 50
【資料１４】2022～2024 年度希望就職率推移 52
【資料１５】2022～2024 年度求人件数 53

【資料１】2024 年度　広島国際大学　就職決定状況

２０２４年度　広島国際大学　就職決定状況

（2025年5月1日現在）

学　部

学部	学科・専攻		就職率 A 就職者数÷(卒業者数－進学者数)		就職率 B 就職者数÷就職活動者数		卒業者数	就職活動者数	進学者数	就職者数 今年度	就職者数 (昨年度)	未就職者数（就職希望者数-就職者数） 今年度	未就職者数 (昨年度)
保健医療	診療放射線		87.7%	(79.7%)	89.9%	(94.8%)	83	79	2	71	(55)	8	(3)
	医療技術	臨床工学	80.0%	(96.6%)	87.5%	(96.6%)	35	32	0	28	(28)	4	(1)
		臨床検査学	86.5%	(87.2%)	95.7%	(93.2%)	52	47	0	45	(41)	2	(3)
		学科　小計	83.9%	(90.8%)	92.4%	(94.5%)	87	79	0	73	(69)	6	(4)
	救急救命学		88.5%	(84.1%)	100.0%	(100.0%)	61	54	0	54	(37)	0	(0)
	学部　小計		86.5%	(85.2%)	93.4%	(95.8%)	231	212	2	198	(161)	14	(7)
総合リハビリテーション	リハビリテーション	理学療法学	94.4%	(100.0%)	98.6%	(100.0%)	80	69	8	68	(50)	1	(0)
		作業療法学	81.4%	(88.6%)	100.0%	(100.0%)	44	35	1	35	(39)	0	(0)
		言語聴覚療法学	69.7%	(86.7%)	88.5%	(92.9%)	33	26	0	23	(13)	3	(1)
		義肢装具学	80.0%	(81.8%)	92.3%	(100.0%)	15	13	0	12	(18)	1	(0)
	学部　小計		84.7%	(63.2%)	96.5%	(70.2%)	172	143	9	138	(120)	5	(1)
健康科学	心理		82.2%	(84.7%)	87.0%	(100.0%)	82	69	9	60	(50)	9	(0)
	医療経営		98.8%	(90.9%)	100.0%	(98.4%)	85	83	1	83	(60)	0	(1)
	医療福祉		89.1%	(88.5%)	100.0%	(100.0%)	64	57	0	57	(46)	0	(0)
	医療栄養		95.7%	(94.0%)	97.8%	(100.0%)	47	45	1	44	(47)	1	(0)
	学部　小計		91.4%	(89.4%)	96.1%	(99.5%)	278	254	11	244	(203)	10	(1)
健康スポーツ	健康スポーツ		88.2%	(87.3%)	100.0%	(100.0%)	76	67	0	67	(55)	0	(0)
看護	看護		94.6%	(88.3%)	100.0%	(100.0%)	118	105	7	105	(98)	0	(0)
薬	薬		55.2%	(42.3%)	100.0%	(97.1%)	58	32	0	32	(33)	0	(1)
学部　合計			86.7%	(83.9%)	96.4%	(98.5%)	933	813	29	784	(670)	29	(10)

大学院

		就職率 A 就職者数÷(修了者数－進学者数)		就職率 B 就職者数÷就職活動者数		修了者数	就職活動者数	進学者数	就職者数 今年度	就職者数 (昨年度)	未就職者数（就職希望者数-就職者数） 今年度	未就職者数 (昨年度)
大学院博/前・修	看護学	-	(100.0%)	-	(100.0%)	-	-	-	-	(1)	-	(0)
	医療工学	100.0%	(87.5%)	100.0%	(100.0%)	8	6	2	6	(7)	0	(0)
	医療福祉学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	医療経営学	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	1	1	0	1	(2)	0	(0)
	実践臨床心理学	71.4%	(90.0%)	90.9%	(94.7%)	14	11	0	10	(18)	1	(1)
	博士前期・修士　小計	81.0%	(90.3%)	94.4%	(96.6%)	23	18	2	17	(28)	1	(1)
大学院博/後	医療工学	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	1	1	0	1	(1)	0	(0)
	臨床心理学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	看護学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	医療薬学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	博士後期　小計	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	1	1	0	1	(1)	0	(0)
大学院　合計		81.8%	(90.6%)	94.7%	(96.7%)	24	19	2	18	(29)	1	(1)

学部・大学院　総計	86.6%	(82.7%)	96.4%	(98.5%)	957	832	31	802	(699)	30	(11)

専攻科

	就職率 A 就職者数÷(修了者数－進学者数)		就職率 B 就職者数÷就職活動者数		修了者数	就職活動者数	進学者数	就職者数 今年度	就職者数 (昨年度)	未就職者数（就職希望者数-就職者数） 今年度	未就職者数 (昨年度)
助産学	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	9	9	0	9	(8)	0	(0)

1.( )は昨年度5月1日現在の数値
2.現職継続者は、集計上、就職希望者数・就職者数の各欄に含めている。
3.卒業（修了）見込者数には、2024年9月卒業（修了）生数を含む。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料２】2024 年度求人件数

２０２４年度求人件数

１．対　象　者　　2024年度卒業・修了者

２．集　計　日　　2025年5月1日

職種	求人件数		対前年比［%］
	計　（県内）	前年度	
診療放射線技師	584　（41）	391	149.4%
臨床工学技士	488　（29）	396	123.2%
臨床検査技師	755　（54）	413	182.8%
救急救命士	192　（0）	64	300.0%
理学療法士	2,534　（176）	917	276.3%
作業療法士	2,483　（168）	939	264.4%
言語聴覚士	1,815　（94）	783	231.8%
義肢装具士	169　（2）	188	89.9%
社会福祉士	2,524　（101）	281	898.2%
精神保健福祉士	922　（37）	98	940.8%
介護福祉士	2,566　（180）	177	1,449.7%
保育士	4,254　（128）	485	877.1%
看護師	1,626　（101）	745	218.3%
薬剤師	2,042　（106）	661	308.9%
管理栄養士、栄養士	1,912　（135）	373	512.6%
医療･保健･福祉業 事務職	931　（38）	275	338.5%
資格、分野不問	－　（－）	1,205	－
合計	25,797　（1390）	8,391	307.4%

注１）昨年度求人件数は、2025年5月1日時点の概算を表す。

注２）「県内」とは、広島県内に勤務先を有する求人です。

注３）職種「医療･保健･福祉業 事務職」は、産業分類「医療、福祉」中の職種「医療事務職、医療総合職」の求人を集計したものです。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料３】2024 年度学部卒業生の就職先所在地について

２０２４年度学部卒業生の就職先所在地について

学部・研究会		学部計		薬学部		看護学部		心理学部		総合リハビリテーション学部		保健医療学部		医療経営学部		健康科学部		医療栄養学部		健康スポーツ学部	
人数		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
北海道・東北	北海道	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
	青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北関東・南関東	茨城県	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼玉県	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	千葉県	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	東京都	60	33	3	6	2	12	0	0	0	1	13	4	1	0	31	8	0	0	10	2
	神奈川県	2	5	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0
北陸・甲信越	新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長野県	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
東海	岐阜県	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	静岡県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛知県	9	6	1	0	1	2	0	0	1	2	1	2	0	0	2	0	0	0	3	0
	三重県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
近畿	滋賀県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	京都府	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0
	大阪府	20	18	1	0	1	6	0	0	3	3	6	4	0	0	5	5	0	0	4	0
	兵庫県	12	12	0	1	0	6	0	0	1	3	10	1	0	0	1	1	0	0	0	0
	奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	鳥取県	2	3	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	島根県	10	5	0	0	0	2	0	0	1	0	4	1	0	0	5	1	0	0	0	1
	岡山県	13	6	0	0	2	0	0	0	4	0	3	1	0	0	4	5	0	0	0	0
	広島県	225	179	3	5	10	42	2	0	51	42	56	29	0	0	73	57	0	0	30	4
	山口県	26	22	5	0	0	2	0	0	0	8	15	8	0	0	2	4	0	0	4	0
四国	徳島県	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	香川県	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	愛媛県	14	10	0	0	1	4	0	0	5	0	5	1	0	0	2	3	0	0	1	2
	高知県	3	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0
九州	福岡県	20	14	4	1	1	2	1	0	1	4	9	4	0	0	4	3	0	0	0	0
	佐賀県	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	長崎県	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	熊本県	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	大分県	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	宮崎県	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鹿児島県	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0
	沖縄県	4	4	0	1	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0
その他（外国等）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男女別計		444	340	17	15	18	87	3	0	70	68	136	62	1	0	142	98	0	0	57	10
計		784		32		105		3		138		198		1		240		0		67	

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料４－１】広島国際大学　進路先対象　卒後調査

広島国際大学　進路先対象　卒後調査［２０２５年度実施］

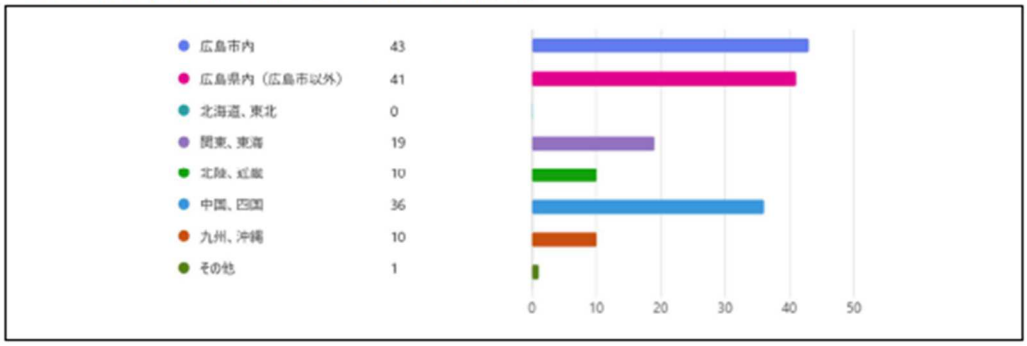
本学では、教育に関する内部質保証および教育改善ならびに進路支援に役立てることを目的に、卒業後の調査を実施しています。

この度、２０２３年度卒業生を対象に調査を実施しました結果（個人情報に類する情報を除く）を掲載し報告とします。

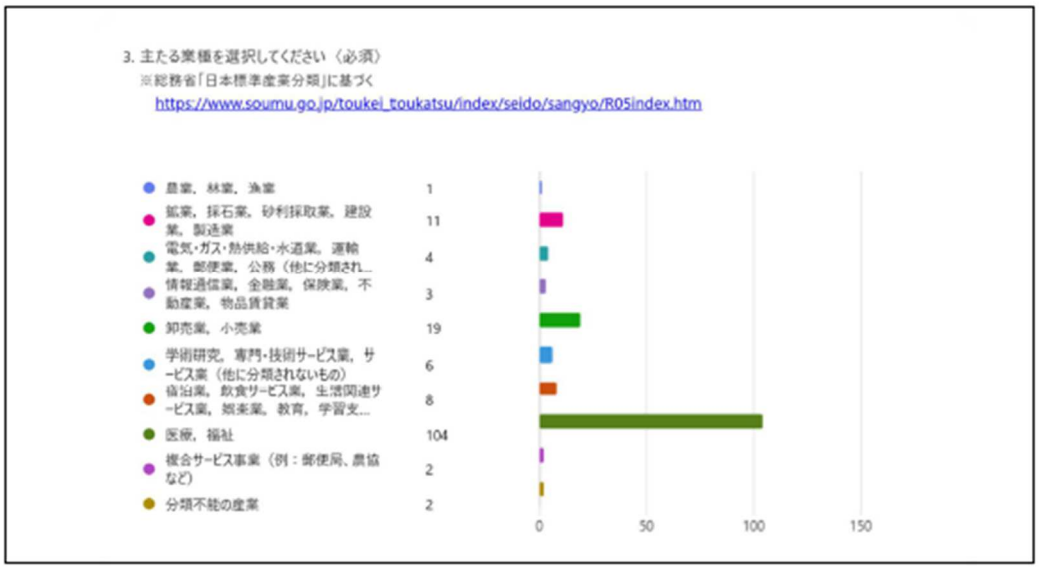
調査概要

実施期間	：	７月２８日～８月２９日	文書郵送により依頼
実施対象	：	２０２３年度卒　校友会会員の進路先	３３０企業・団体
回答状況	：	４８．２%（１５９企業・団体）	

１．主たる事業所の所在地を選択してください。



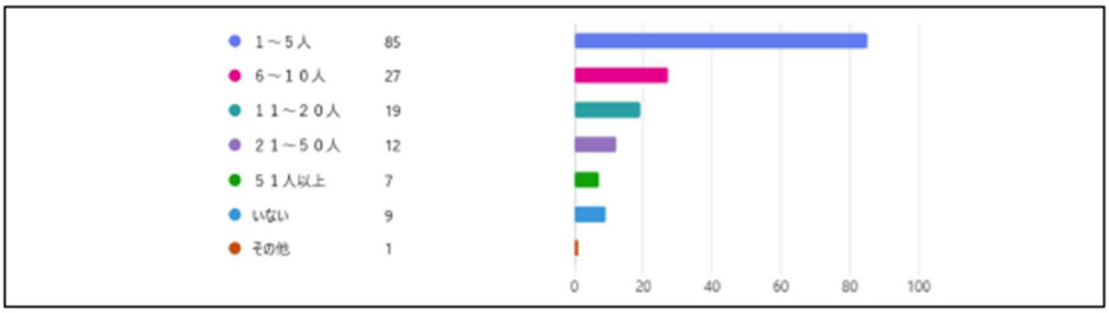
２．主たる業種を選択してください。



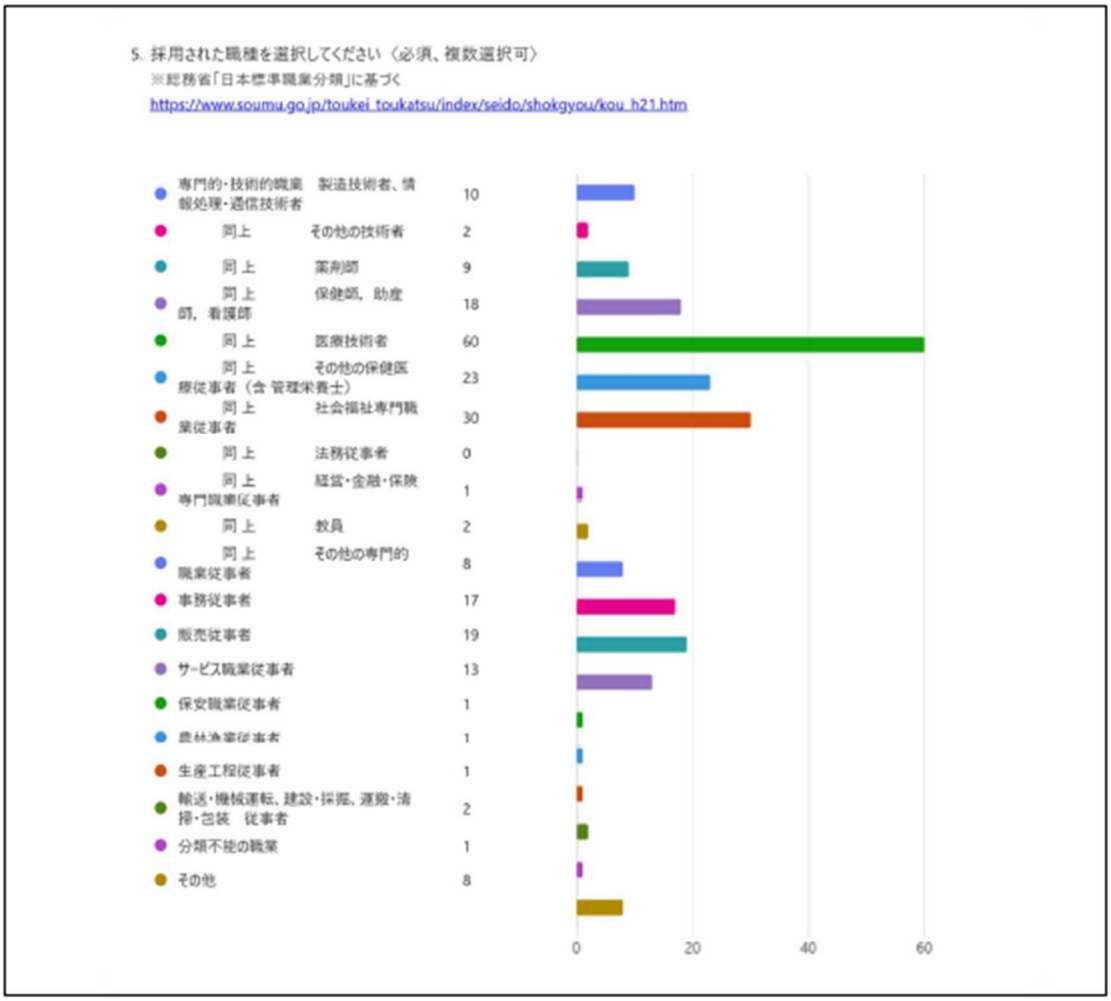
（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料４－２】広島国際大学　進路先対象　卒後調査

３．現在勤務する本学卒業生の人数を選択してください。



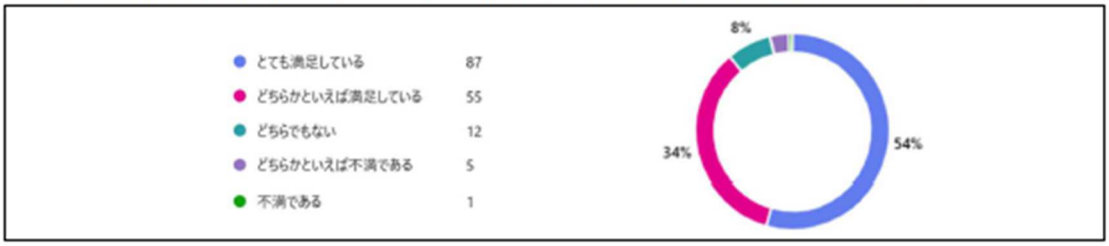
４．採用された職種を選択してください。



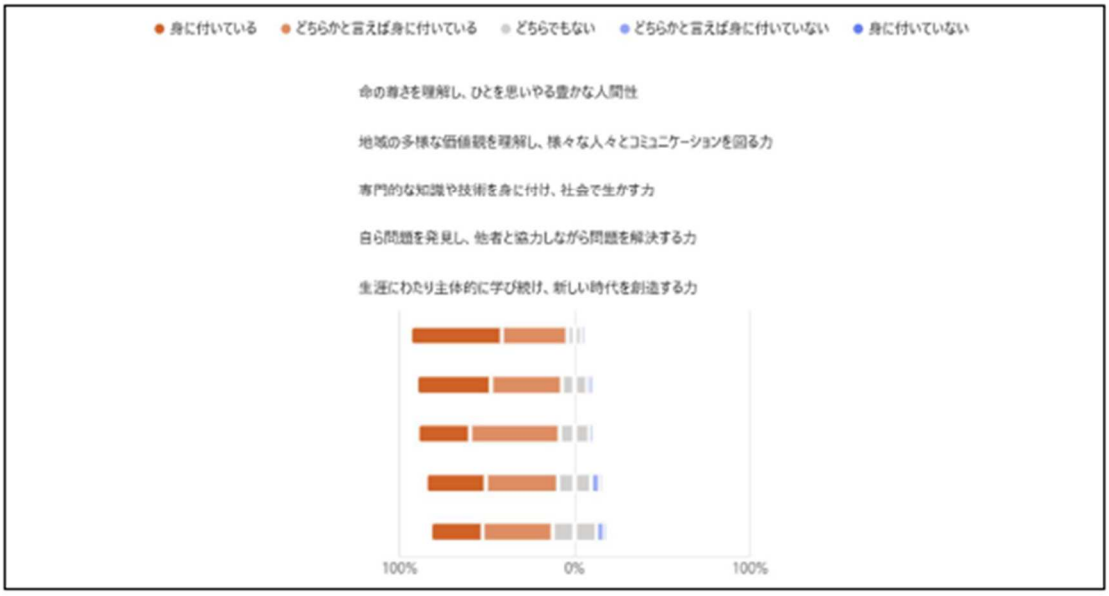
（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料４－３】広島国際大学　進路先対象　卒後調査

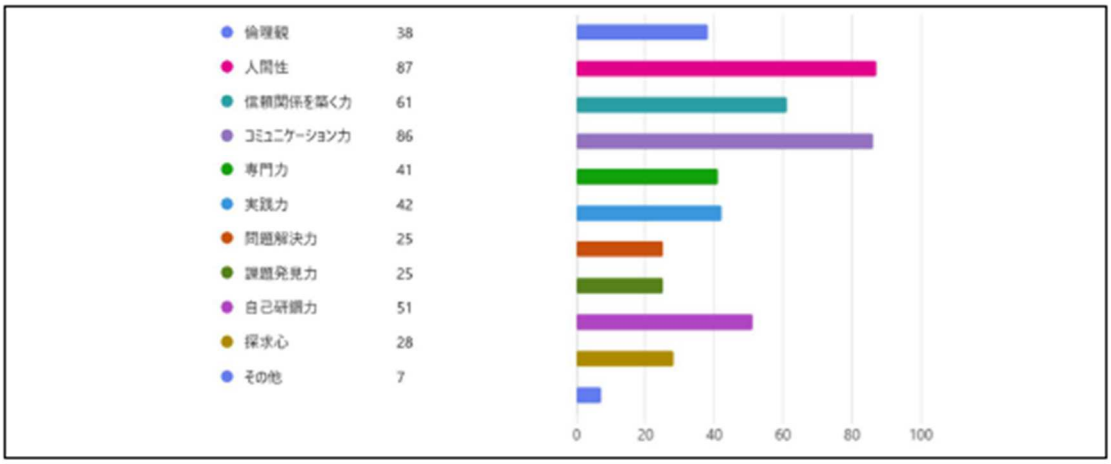
5．採用された卒業生（本学の人材育成）の、満足度を選択してください。



6．採用された卒業生の、学修成果の評価について
本学では、つぎの力を身に付けた人材の輩出に努めています
採用された卒業生について、それぞれの力が身に付いているか評価を選択してください。



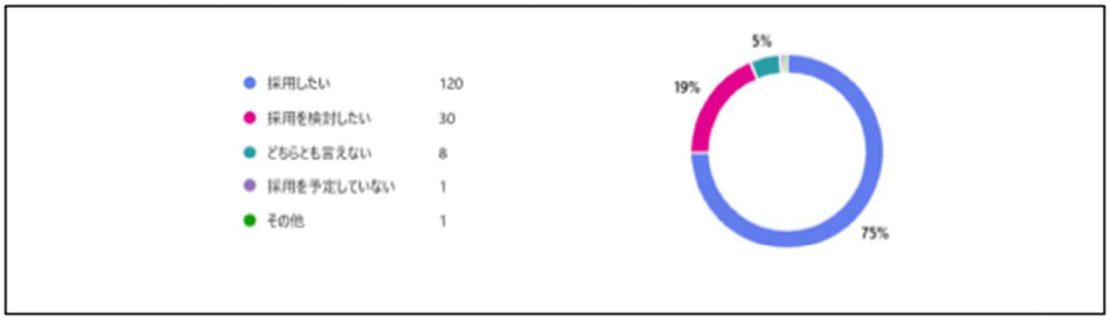
7．採用された卒業生が、優れていると思われる能力を選択してください。



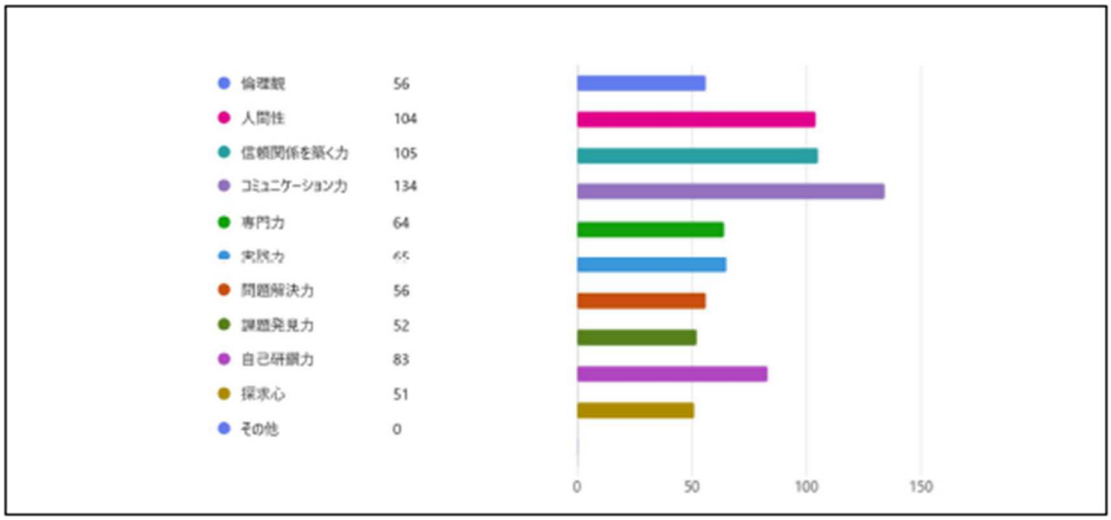
（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料４－４】広島国際大学　進路先対象　卒後調査

8．今後、本学の学生を採用したいとお考えですか。



9．本学が輩出する学生に、期待する能力を選択してください。



教育・学生支援機構　キャリア支援係

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料５】18 歳人口及び高等教育機関への入学者数・進学率等の推移

① 資 料 名：18 歳人口及び高等教育機関への入学者数・進学率等の推移
② 出　　典：文部科学統計要覧（令和 6 年版）
③ 利用範囲：https://www.mext.go.jp/content/20240531-mxt_chousa01-000036236-22.pdf

【資料６】18 歳人口予測（全体：中国：2024～2036 年）

① 資 料 名：18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向　中国版 P.2
18 歳人口予測（全体：中国：2024～2036 年）
② 出　　典：リクルート進学総研マーケットリポート 2024
【都道府県別：中国】18 歳人口・進学率・地域残留率の動向 2024
③ 利用範囲：
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2024_souken_report/2024_chugoku_souken_report.pdf

【資料７－１】中国エリア概要（全体：県別）

① 資 料 名：18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向　中国版 P.14
　　中国エリア概要（全体：県別）
② 出　　典：リクルート進学総研マーケットリポート 2024
　　【都道府県別：中国】18 歳人口・進学率・地域残留率の動向 2024
③ 利用範囲：
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2024_souken_report/2024_chugoku_souken_report.pdf

【資料７－２】中国エリア概要（全体：県別）

① 資 料 名：18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向　中国版 P.15
　　中国エリア概要（全体：県別）
② 出　　典：リクルート進学総研マーケットリポート 2024
　　【都道府県別：中国】18 歳人口・進学率・地域残留率の動向 2024
③ 利用範囲：
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2024_souken_report/2024_chugoku_souken_report.pdf

【資料７－３】中国エリア概要（全体：県別）

① 資 料 名：18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向　中国版 P.16
　　中国エリア概要（全体：県別）
② 出　　典：リクルート進学総研マーケットリポート 2024
　　【都道府県別：中国】18 歳人口・進学率・地域残留率の動向 2024
③ 利用範囲：
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2024_souken_report/2024_chugoku_souken_report.pdf

【資料８－１】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【診療放射線学科】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道					
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県			1		
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県					
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県		1			
静岡県					
愛知県					
三重県					
滋賀県					
京都府					
大阪府	6	3	2	3	2
兵庫県	1			1	
奈良県	1				
和歌山県	2				
鳥取県	1	1	2		1
島根県	3	3	4	4	4
岡山県	4		3	1	1
広島県	41	36	43	38	31
山口県	6	4	6	3	10
徳島県				1	
香川県	2		2	1	1
愛媛県	5	4		2	1
高知県	1	3			
福岡県	5	6		2	2
佐賀県					
長崎県	2	3	2	2	2
熊本県	2				1
大分県	10	3	4	1	
宮崎県	3	2	3	1	
鹿児島県	1	1			2
沖縄県	5	4	3	2	6
その他	1				
合計	102	74	75	62	64

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－２】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【医療技術学科 臨床工学専攻】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道		1			
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県		1			
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県					
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県					
愛知県					
三重県					
滋賀県					
京都府	1	1			
大阪府			1	1	1
兵庫県					
奈良県				1	
和歌山県					
鳥取県		2			
島根県	1	4		2	1
岡山県	1		1	2	1
広島県	25	22	22	18	15
山口県	9	7	5	3	2
徳島県					
香川県	1		2	1	
愛媛県	2	8	2	3	
高知県					
福岡県	3		2		
佐賀県	1		1		
長崎県		1			
熊本県			1		
大分県	2	1	1		
宮崎県	1				
鹿児島県		1	1	1	
沖縄県	2	3	1	1	
その他					
合計	49	52	40	33	20

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－３】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【医療技術学科 臨床検査学専攻】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道				1	
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県					
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県					
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県					
愛知県				1	
三重県					
滋賀県					
京都府					1
大阪府		1	1		
兵庫県					
奈良県					
和歌山県					
鳥取県		1			1
島根県		4	1	1	4
岡山県	4	2	2	2	
広島県	31	28	27	32	11
山口県	9	5	6	10	5
徳島県		1			
香川県	1	2		1	1
愛媛県	5	4	7	5	3
高知県				1	
福岡県	2	1	1		
佐賀県					
長崎県					
熊本県					1
大分県	1	1	1	1	
宮崎県					1
鹿児島県	2			1	
沖縄県	2	1			2
その他					
合計	57	51	46	56	30

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－４】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【救急救命学科】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道					
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県					
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県					
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県					
愛知県		1			
三重県					
滋賀県					
京都府		1			
大阪府		1	1	1	1
兵庫県	2			1	
奈良県					
和歌山県					
鳥取県	2	1	1	2	1
島根県	1	4	2	3	2
岡山県	1	1	2	3	1
広島県	25	25	31	24	31
山口県	10	5	4	2	6
徳島県					1
香川県	3	2	1	1	1
愛媛県	4	6	2	4	1
高知県		1	2	2	
福岡県			2		
佐賀県		1	1		
長崎県		1		2	1
熊本県				2	
大分県			3	1	1
宮崎県	1			2	
鹿児島県				2	1
沖縄県	4	1	1	2	
その他					
合計	53	51	53	54	48

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－５】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科 理学療法学専攻】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道				1	
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県					
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県	1				
石川県					
山梨県					2
長野県				1	
岐阜県					
静岡県					
愛知県					
三重県					
滋賀県					
京都府				1	
大阪府	4	3			1
兵庫県					
奈良県		1			
和歌山県					
鳥取県	3	1	1	2	
島根県	4	4	4	1	2
岡山県	2	1			
広島県	68	57	70	70	63
山口県	9	6	11	8	6
徳島県					
香川県	1	1	2	1	
愛媛県	5	4	5	5	4
高知県	1				1
福岡県		1	1	4	1
佐賀県					
長崎県					
熊本県					
大分県	1	1		1	1
宮崎県				1	
鹿児島県			1		
沖縄県	2	4	1	1	1
その他					1
合計	101	84	96	97	83

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－６】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科 作業療法学専攻】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道			1	1	
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県					
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県					
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県					
愛知県					
三重県					
滋賀県	1				
京都府					
大阪府	1	1			1
兵庫県					
奈良県					
和歌山県				1	
鳥取県	1				
島根県	1	2	1	2	
岡山県	2	1			1
広島県	32	34	37	25	40
山口県	2	1	2	3	2
徳島県	1				
香川県		1	1	1	
愛媛県	5		1	1	1
高知県					
福岡県		1	1		
佐賀県					
長崎県					
熊本県	1				
大分県			1		
宮崎県	1				
鹿児島県					1
沖縄県	1		3		1
その他					
合計	49	41	48	34	47

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－７】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科 言語聴覚療法学専攻】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道					
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県					
栃木県					
千葉県		1		1	
東京都				1	
神奈川県					
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県					1
愛知県					
三重県					
滋賀県					
京都府					
大阪府		1			
兵庫県					
奈良県					
和歌山県					
鳥取県					
島根県	3		1	1	
岡山県	1	2		2	
広島県	26	20	12	19	20
山口県	1		1		1
徳島県			1		
香川県		1			1
愛媛県	1			1	1
高知県	1				
福岡県				1	
佐賀県		1			
長崎県					
熊本県					
大分県					
宮崎県	2				
鹿児島県	1		1		
沖縄県			2		1
その他					
合計	36	26	18	26	25

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－８】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科 義肢装具学専攻】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道				1	1
青森県					
秋田県			1		
山形県					
茨城県			1		
栃木県					
千葉県				1	
東京都		1			1
神奈川県				1	
石川県					
山梨県					1
長野県					1
岐阜県					1
静岡県	1				
愛知県				2	
三重県					
滋賀県					
京都府				1	
大阪府	1	2		1	1
兵庫県		1	1	1	1
奈良県					
和歌山県					
鳥取県	1			1	
島根県	1	3		2	2
岡山県		2		1	2
広島県	15	18	13	13	10
山口県		1	2	2	2
徳島県					
香川県		1			
愛媛県	2	3	2	2	
高知県	1				
福岡県		2	2		3
佐賀県	1			1	
長崎県					
熊本県					1
大分県					
宮崎県	1				
鹿児島県					
沖縄県		1			1
その他					
合計	24	35	22	30	28

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－９】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【健康スポーツ学科】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道					
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県					
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県					
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県					
愛知県					
三重県					
滋賀県					
京都府					1
大阪府	3	3		3	
兵庫県					1
奈良県			1		
和歌山県					
鳥取県					1
島根県	2	5	4	2	2
岡山県	1	1	2	1	3
広島県	53	51	71	56	60
山口県	7	1	3	3	5
徳島県		1			
香川県	3		1	2	1
愛媛県	3	4	1	2	1
高知県	1			2	
福岡県	1	2	1	1	3
佐賀県			1	1	
長崎県	1	1		1	1
熊本県		2		1	2
大分県	2	1	2	1	1
宮崎県	2				
鹿児島県	2				
沖縄県		1	2		
その他					
合計	81	73	89	76	82

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－１０】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【心理学科】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道	2	2	1	3	3
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県			1	1	
栃木県		1			
千葉県					
東京都			1		
神奈川県					
石川県					
山梨県	1				
長野県					
岐阜県					
静岡県					
愛知県					
三重県	1				
滋賀県					
京都府	1				
大阪府		1	1	1	
兵庫県	2				1
奈良県			1	1	1
和歌山県					
鳥取県	1				2
島根県	4	3	3	1	4
岡山県	4	1		2	
広島県	44	34	43	20	30
山口県	5	4	6	8	5
徳島県	2		1		1
香川県	2	4	1		
愛媛県	4	1	5	3	2
高知県	1	2	1		1
福岡県	2	1	1		
佐賀県				1	
長崎県		2			
熊本県	2	2			1
大分県		2			
宮崎県	1		1		
鹿児島県	1	1	3		3
沖縄県	6	2	4	1	3
その他	1		1	1	
合計	87	63	75	43	57

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－１１】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【医療栄養学科】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道					2
青森県					
秋田県					
山形県		1			
茨城県				1	
栃木県					
千葉県					
東京都		1			1
神奈川県			1		
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県				1	
愛知県				1	
三重県					
滋賀県					
京都府		1			
大阪府		2			
兵庫県				1	
奈良県		2			
和歌山県					
鳥取県	1	1	2	3	1
島根県		4	3	2	5
岡山県	1		3	3	2
広島県	31	23	38	28	21
山口県	9	4	2	7	4
徳島県				2	
香川県		2	4	1	
愛媛県	7	8	4	4	1
高知県		1		2	
福岡県	1	3		1	2
佐賀県	1	1			1
長崎県		1			
熊本県		2	1		1
大分県		1			1
宮崎県		1			
鹿児島県	1	1	1		
沖縄県	1	1	1	2	3
その他		1			
合計	53	62	60	59	45

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－１２】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【医療経営学科】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道		1		1	
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県	1				
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県					
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県					
愛知県					
三重県					
滋賀県					
京都府					
大阪府	4	4		1	
兵庫県					
奈良県			2	1	1
和歌山県					
鳥取県				1	2
島根県	6	1	1	2	1
岡山県	4		4	2	5
広島県	67	51	40	59	31
山口県	3	2	6	3	3
徳島県					
香川県		1	1		2
愛媛県	5	6	5	3	4
高知県			1	2	
福岡県	1	1	1	1	2
佐賀県		1			
長崎県		2	2		
熊本県	1	2	1	1	
大分県	2	1	1		2
宮崎県			1		
鹿児島県	1	1	1	1	
沖縄県	5	4	2	2	1
その他	1	1			
合計	101	79	69	80	54

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－１３】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【看護学科】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道	1				2
青森県					
秋田県	1				
山形県					
茨城県					
栃木県					
千葉県					
東京都					
神奈川県					1
石川県					
山梨県					
長野県					
岐阜県	1				
静岡県					
愛知県					
三重県					1
滋賀県					
京都府				1	
大阪府	2	2	2	1	1
兵庫県		1		1	1
奈良県	1			1	1
和歌山県					
鳥取県	3	1			
島根県	6	5	5	10	10
岡山県	2	1	4		
広島県	77	87	91	87	73
山口県	6	6	6	10	8
徳島県	2				
香川県	1	1	1	1	
愛媛県	6	4	8	3	6
高知県	2	1		1	
福岡県	2	1			
佐賀県					1
長崎県		1	1	2	1
熊本県	2	1			
大分県		4	1	1	2
宮崎県	3	4			
鹿児島県		2	1		
沖縄県	7	5	2		1
その他			2		
合計	125	127	124	119	109

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料８－１４】【2021～2025 年度】　都道府県別入学者数

【薬学科】

都道府県	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北海道			1	1	
青森県					
秋田県					
山形県					
茨城県					
栃木県		1			
千葉県					
東京都		1			
神奈川県					
石川県					
山梨県	1	1			
長野県					
岐阜県					
静岡県	1	1			
愛知県					
三重県					
滋賀県					1
京都府					
大阪府	1	2	2	2	
兵庫県			1		
奈良県					
和歌山県	1	1			
鳥取県	3	2	1	1	1
島根県	1	4	4	4	3
岡山県	2	1		2	
広島県	50	40	44	44	37
山口県	14	8	11	8	7
徳島県			1		
香川県			1		1
愛媛県	1	4		1	1
高知県				1	1
福岡県	8	6	6	5	
佐賀県					
長崎県	1				
熊本県	2	1	1	3	1
大分県	3		1	3	
宮崎県	2		1	2	
鹿児島県	1	1		1	
沖縄県	6	8	12	1	4
その他	3		1		1
合計	101	82	88	79	58

※その他：高卒認定、外国人留学生、帰国生徒、社会人

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料９－１】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率

【診療放射線学科】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	70	70	70	70	70
入学者数	102	74	75	62	64
充足率	1.46	1.06	1.07	0.89	0.91

【医療技術学科　臨床工学専攻】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	50	50	50	50	50
入学者数	49	52	40	33	20
充足率	0.98	1.04	0.80	0.66	0.40

【医療技術学科　臨床検査学専攻】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	50	50	50	50	50
入学者数	57	51	46	56	30
充足率	1.14	1.02	0.92	1.12	0.60

【救急救命学科】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	50	50	50	50	50
入学者数	53	51	53	54	48
充足率	1.06	1.02	1.06	1.08	0.96

【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科　理学療法学専攻】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	80	80	80	80	80
入学者数	101	84	96	97	83
充足率	1.26	1.05	1.20	1.21	1.04

【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科　作業療法学専攻】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	40	40	40	40	40
入学者数	49	41	48	34	47
充足率	1.23	1.03	1.20	0.85	1.18

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料９－２】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率

【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科　言語聴覚療法学専攻】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	30	30	30	30	30
入学者数	36	26	18	26	25
充足率	1.20	0.87	0.60	0.87	0.83

【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科　義肢装具学専攻】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	30	30	30	30	30
入学者数	24	35	22	30	28
充足率	0.80	1.17	0.73	1.00	0.93

【健康スポーツ学科】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	70	70	70	70	70
入学者数	81	73	89	76	82
充足率	1.16	1.04	1.27	1.09	1.17

【心理学科】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	100	100	100	100	100
入学者数	87	63	75	43	57
充足率	0.87	0.63	0.75	0.43	0.57

【医療栄養学科】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	60	60	60	60	60
入学者数	53	62	60	59	45
充足率	0.88	1.03	1.00	0.98	0.75

【医療経営学科】

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	90	90	90	90	90
入学者数	101	79	69	80	54
充足率	1.12	0.88	0.77	0.89	0.60

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料９－３】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率

【看護学科】

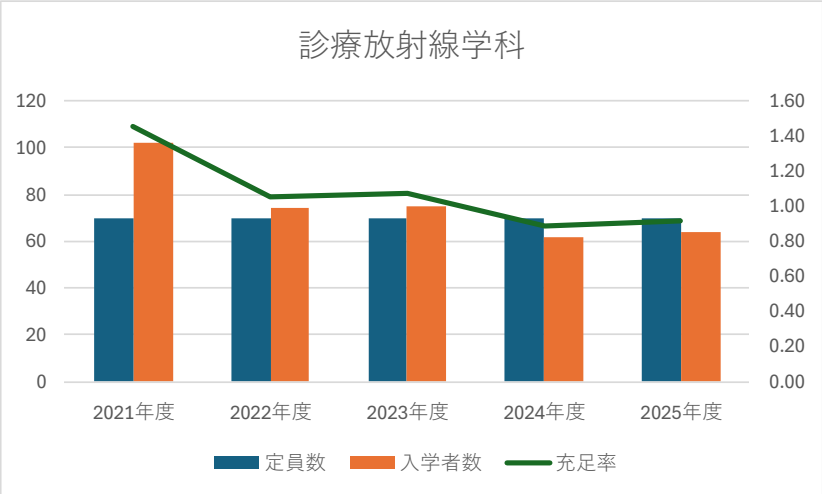
年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	120	120	120	120	120
入学者数	125	127	124	119	109
充足率	1.04	1.06	1.03	0.99	0.91

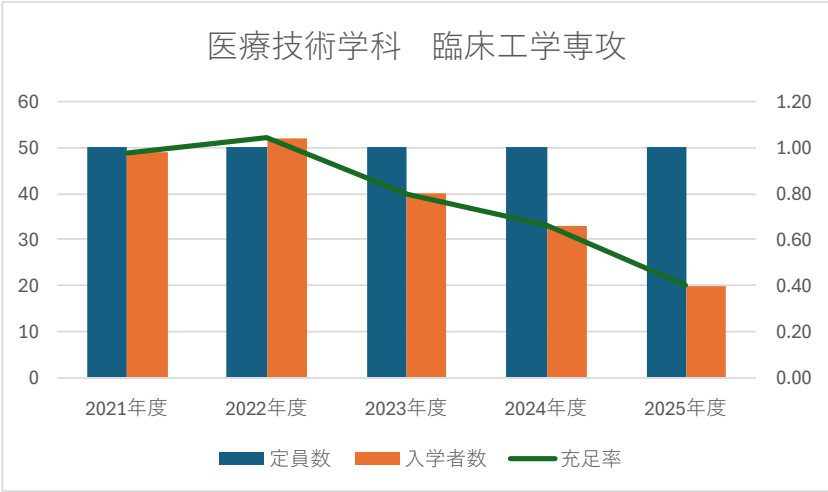
【薬学科】

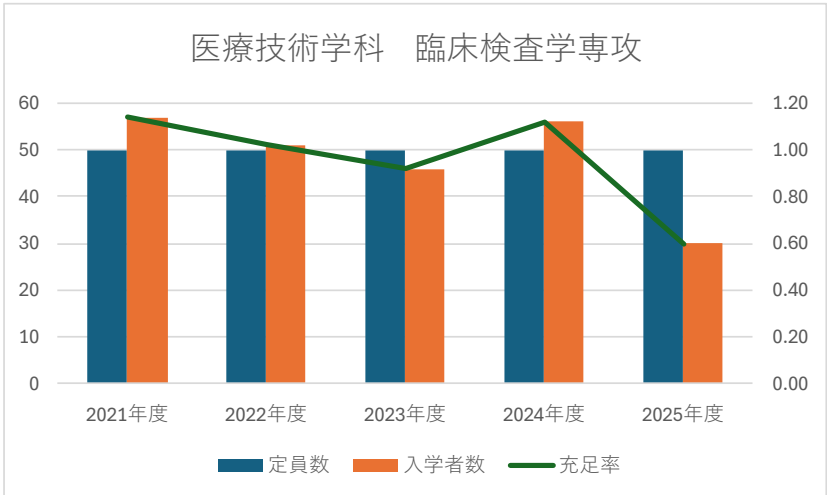
年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員数	120	120	120	120	120
入学者数	101	82	88	79	58
充足率	0.84	0.68	0.73	0.66	0.48

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料９－４】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率

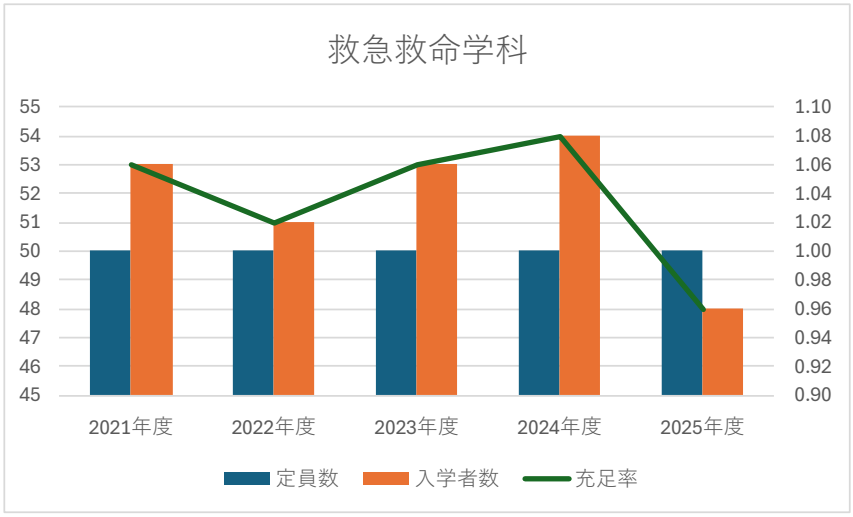


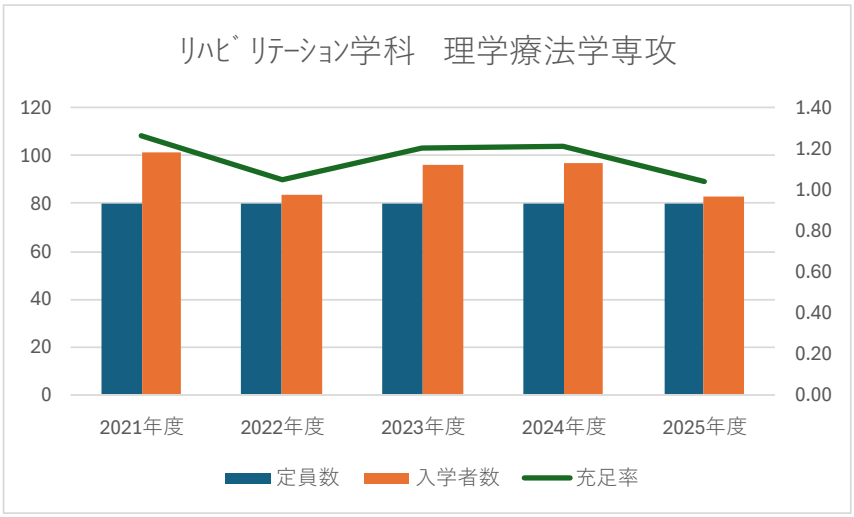


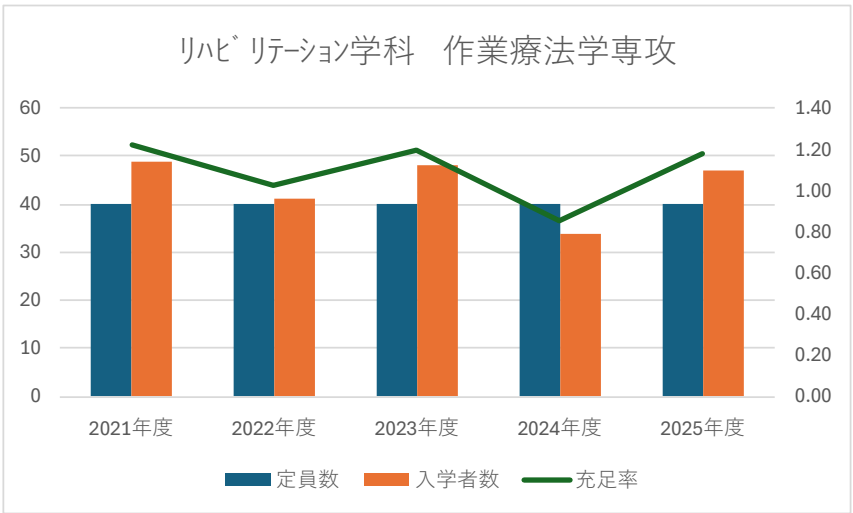


（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料９－５】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率

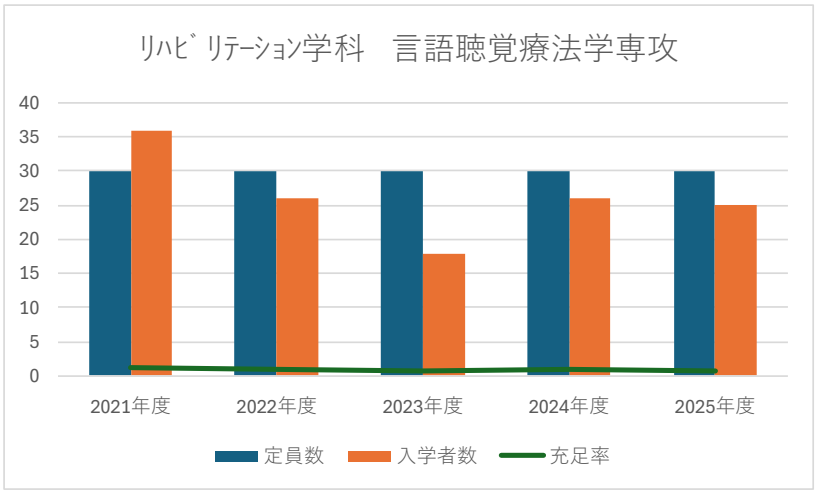


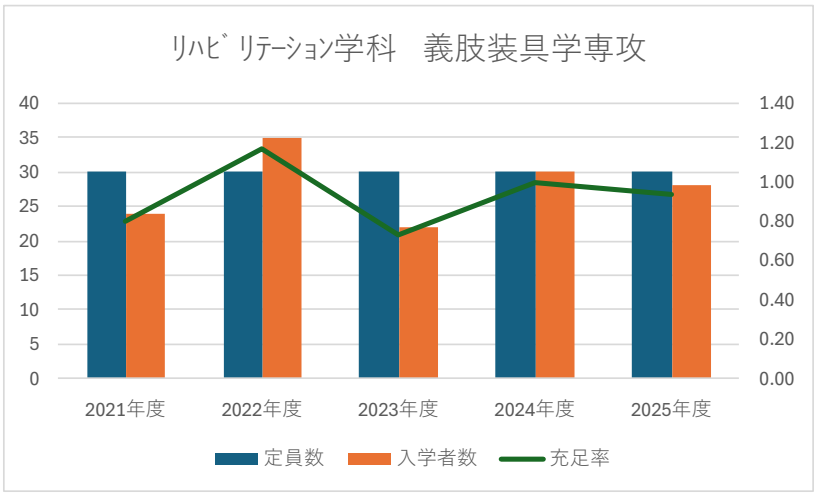


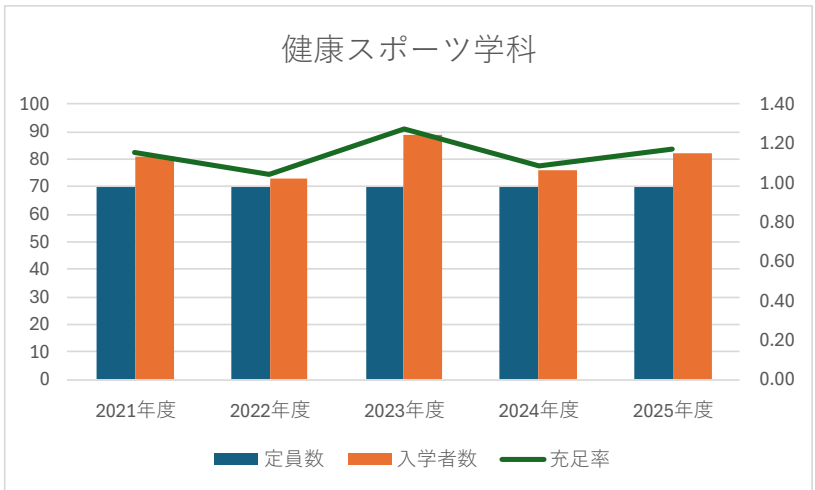


（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料９－６】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率

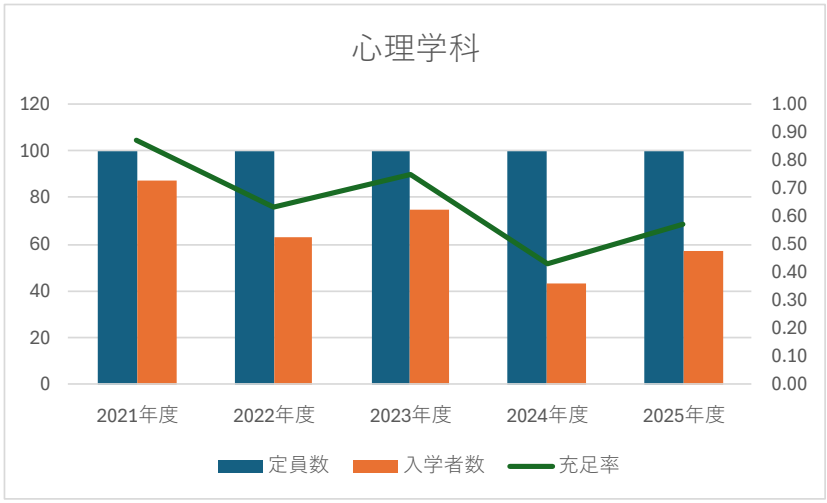


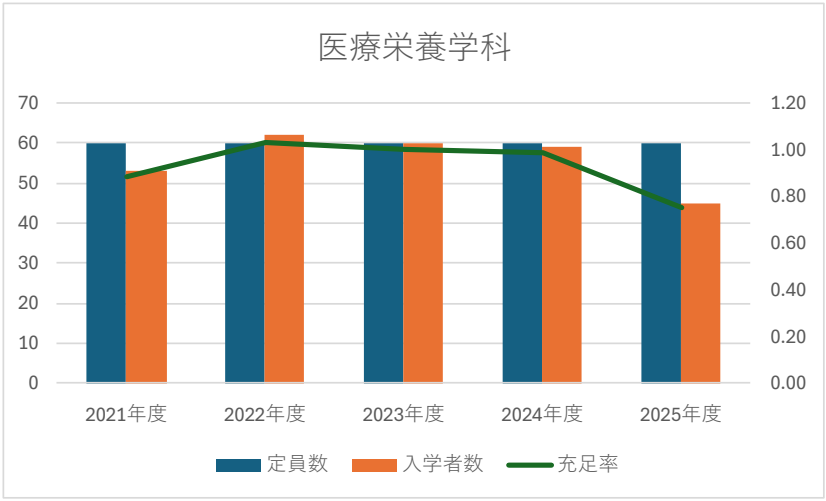


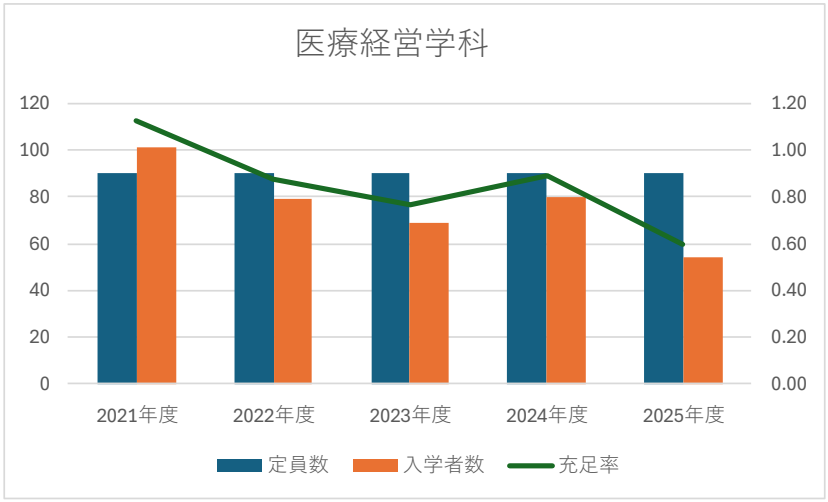


（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料９－７】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率

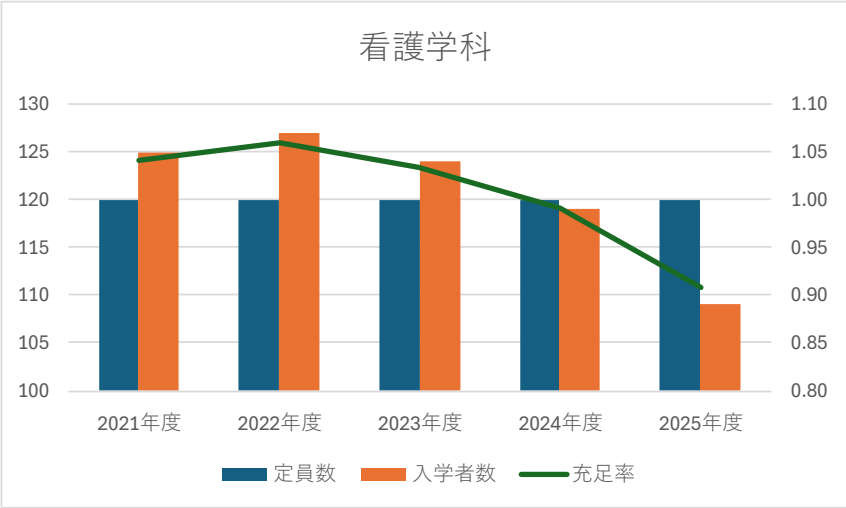


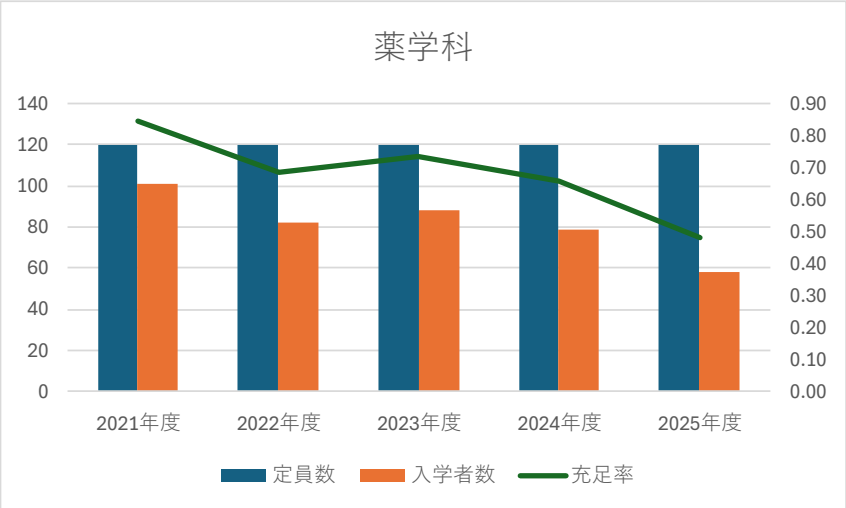




（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料９－８】【2021～2025 年度】　学科・専攻別入学者数、充足率





（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１０】既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

募集を行った学科等名称および取組の名称：オープンキャンパス等

	R6年度入学者入試					R7年度入学者入試				
	保健医療学部	健康スポーツ学部	健康科学部	看護学部	薬学部	保健医療学部	健康スポーツ学部	健康科学部	看護学部	薬学部
参加者等総数(a)	458人	220人	486人	310人	161人	452人	241人	530人	357人	217人
うち受験対象者数(b)	266人	147人	313人	181人	69人	210人	147人	349人	203人	89人
うち受験者数(c)	140人	74人	193人	109人	51人	121人	79人	199人	98人	49人
うち入学者数(d)	113人	52人	165人	74人	39人	106人	58人	168人	68人	32人
(受験率 c/b)	52.6%	50.3%	61.7%	60.2%	73.9%	57.6%	53.7%	57.0%	48.3%	55.1%
(入学率 d/b)	42.5%	35.4%	52.7%	40.9%	56.5%	50.5%	39.5%	48.1%	33.5%	36.0%

① 取組概要

受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学生による大学説明、各学科に分かれた学科説明、国家資格や授業内容の紹介、在学生との懇談、個別相談や学生寮見学を実施。

R6 年度入試対象（R5 開催）：計 7 回開催（3/19、6/24、7/22、7/23、8/19、9/2、9/16）

R7 年度入試対象（R6 開催）：計 6 回開催（3/24、6/15、7/20、7/21、8/10、9/14）

② 過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析

2025（令和 7）年度に実施した、2026（令和 8）年度入学者入試を対象としたオープンキャンパス等において、全体で前年度比 110%の 2,631 人の高校生が参加した。低年次層からの進路検討意識の高まりから、今後のオープンキャンパス参加者数は増加すると考えており、来場者を満足させるコンテンツを用意する必要がある。オープンキャンパスに参加する回数が増えるほど出願率も高くなっていることから、各回の内容を刷新し、より充実させることでリピート率の向上を図る。

また、2025（令和 7）年度に呉キャンパスで実施したナイトオープンキャンパスを東広島キャンパスに拡大するなど充実を図り、さらに 2025（令和 7）年度のオープンキャンパス参加者数を踏まえると、2026（令和 8）年度入試向けのオープンキャンパス参加者からの入学者数は 2025（令和 7）年度入試から増加すると分析している。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－１】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：保健医療学部　診療放射線学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		5人	5人	5人	5人	7人	5人
	延べ人数	志願者数	44人	32人	25人	23人	19人	29人
		受験者数	44人	32人	25人	23人	19人	29人
		合格者数	17人	10人	16人	21人	14人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	44人	32人	25人	23人	19人	29人
		受験者数	44人	32人	25人	23人	19人	29人
		合格者数	17人	10人	16人	21人	14人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		17人	10人	16人	21人	14人	16人
学校推薦型選抜	募集人員		23人	23人	23人	23人	23人	23人
	延べ人数	志願者数	121人	115人	70人	48人	68人	84人
		受験者数	120人	115人	70人	47人	67人	84人
		合格者数	77人	56人	50人	40人	59人	56人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	3人	3人	3人	4人	4人
	実人数	志願者数	105人	97人	59人	42人	55人	72人
		受験者数	105人	97人	59人	41人	55人	71人
		合格者数	74人	52人	47人	36人	48人	51人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	3人	3人	3人	4人	4人
	入学者数		52人	41人	35人	22人	33人	37人
一般選抜	募集人員		38人	38人	38人	38人	36人	38人
	延べ人数	志願者数	332人	323人	239人	231人	169人	259人
		受験者数	325人	303人	228人	226人	163人	249人
		合格者数	140人	109人	134人	129人	106人	124人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	4人	0人	1人	2人
	実人数	志願者数	232人	240人	177人	177人	130人	191人
		受験者数	229人	223人	172人	172人	125人	184人
		合格者数	110人	84人	110人	115人	87人	101人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	4人	0人	1人	2人
	入学者数		30人	23人	24人	18人	17人	22人
共通テスト利用入試	募集人員		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	25人	44人	33人	34人	20人	31人
		受験者数	25人	44人	33人	34人	20人	31人
		合格者数	16人	8人	23人	20人	14人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	17人	27人	28人	23人	14人	22人
		受験者数	17人	27人	28人	23人	14人	22人
		合格者数	13人	7人	22人	17人	12人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	2人	1人
	入学者数		3人	0人	0人	1人	0人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	志願者数	523人	514人	367人	336人	276人	403人
		受験者数	514人	494人	356人	330人	269人	393人
		合格者数	250人	183人	223人	210人	193人	212人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	7人	7人	4人	7人	6人
	実人数	志願者数	399人	396人	289人	265人	218人	313人
		受験者数	395人	379人	284人	259人	213人	306人
		合格者数	214人	153人	195人	189人	161人	182人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	7人	7人	4人	7人	6人
	入学者数		102人	74人	75人	62人	64人	75人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入学定員充足率	1.46	1.06	1.07	0.89	0.91	1.08
歩留率	0.41	0.40	0.34	0.30	0.33	0.36

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－２】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：保健医療学部　医療技術学科　臨床工学専攻

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		5人	5人	5人	5人	7人	5人
	延べ人数	志願者数	2人	7人	16人	9人	6人	8人
		受験者数	2人	7人	16人	9人	6人	8人
		合格者数	2人	6人	10人	9人	6人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	2人	7人	16人	9人	6人	8人
		受験者数	2人	7人	16人	9人	6人	8人
		合格者数	2人	6人	10人	9人	6人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	6人	10人	9人	6人	7人
学校推薦型選抜	募集人員		15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数	45人	70人	52人	31人	16人	43人
		受験者数	45人	68人	52人	31人	16人	42人
		合格者数	45人	58人	45人	30人	15人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	33人	45人	36人	27人	12人	31人
		受験者数	33人	45人	36人	27人	12人	31人
		合格者数	33人	40人	31人	27人	12人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
	入学者数		28人	32人	27人	21人	10人	24人
一般選抜	募集人員		26人	26人	26人	26人	24人	26人
	延べ人数	志願者数	180人	136人	86人	98人	55人	111人
		受験者数	172人	134人	85人	98人	53人	108人
		合格者数	138人	90人	65人	72人	42人	81人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	91人	84人	39人	49人	27人	58人
		受験者数	90人	82人	38人	49人	26人	57人
		合格者数	73人	61人	28人	32人	19人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		19人	12人	2人	2人	3人	8人
共通テスト利用入試	募集人員		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	14人	24人	11人	16人	3人	14人
		受験者数	14人	24人	11人	16人	3人	14人
		合格者数	10人	15人	8人	14人	3人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	5人	17人	5人	11人	2人	8人
		受験者数	5人	17人	5人	11人	2人	8人
		合格者数	3人	12人	4人	10人	2人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	2人	1人	1人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	241人	237人	165人	154人	80人	175人
		受験者数	233人	233人	164人	154人	78人	172人
		合格者数	195人	169人	128人	125人	66人	137人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	2人	2人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	131人	153人	96人	96人	47人	105人
		受験者数	130人	151人	95人	96人	46人	104人
		合格者数	111人	119人	73人	78人	39人	84人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	2人	2人	0人	0人	1人
	入学者数		49人	52人	40人	33人	20人	39人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50人
入学定員充足率	0.98	1.04	0.80	0.66	0.40	0.78
歩留率	0.25	0.31	0.31	0.26	0.30	0.29

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－３】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：保健医療学部　医療技術学科　臨床検査学専攻

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		5人	5人	5人	5人	7人	5人
	延べ人数	志願者数	12人	9人	9人	9人	8人	9人
		受験者数	12人	9人	9人	9人	8人	9人
		合格者数	8人	7人	8人	8人	7人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	12人	9人	9人	9人	8人	9人
		受験者数	12人	9人	9人	9人	8人	9人
		合格者数	8人	7人	8人	8人	7人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		8人	7人	8人	8人	7人	8人
学校推薦型選抜	募集人員		16人	16人	16人	16人	16人	16人
	延べ人数	志願者数	74人	79人	61人	48人	33人	59人
		受験者数	74人	77人	60人	48人	33人	58人
		合格者数	67人	59人	53人	44人	30人	51人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	4人	3人	4人	2人	4人
	実人数	志願者数	59人	52人	48人	37人	22人	44人
		受験者数	59人	50人	48人	37人	22人	43人
		合格者数	56人	42人	44人	34人	21人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	4人	3人	4人	2人	4人
	入学者数		27人	26人	26人	21人	15人	23人
一般選抜	募集人員		23人	23人	23人	23人	21人	23人
	延べ人数	志願者数	312人	291人	210人	208人	150人	234人
		受験者数	301人	278人	203人	207人	148人	227人
		合格者数	165人	129人	146人	141人	104人	137人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	6人	3人	1人	3人	4人
	実人数	志願者数	200人	199人	150人	147人	107人	161人
		受験者数	195人	191人	143人	147人	106人	156人
		合格者数	132人	103人	105人	117人	83人	108人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	6人	3人	1人	3人	4人
	入学者数		20人	18人	11人	25人	7人	16人
共通テスト利用入試	募集人員		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	43人	45人	33人	34人	30人	37人
		受験者数	43人	45人	33人	34人	30人	37人
		合格者数	30人	19人	21人	25人	26人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	30人	33人	23人	22人	26人	27人
		受験者数	30人	33人	23人	22人	26人	27人
		合格者数	24人	18人	18人	19人	23人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	0人	0人	1人
	入学者数		2人	0人	1人	2人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	441人	424人	313人	299人	221人	340人
		受験者数	430人	409人	305人	298人	219人	332人
		合格者数	270人	214人	228人	218人	167人	219人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	11人	8人	5人	5人	9人
	実人数	志願者数	301人	293人	230人	215人	163人	240人
		受験者数	296人	283人	223人	215人	162人	236人
		合格者数	220人	170人	175人	178人	134人	175人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	11人	8人	5人	5人	9人
	入学者数		57人	51人	46人	56人	30人	48人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50人
入学定員充足率	1.14	1.02	0.92	1.12	0.60	0.96
歩留率	0.21	0.24	0.20	0.26	0.18	0.22

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－４】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：保健医療学部　救急救命学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		5人	5人	5人	5人	7人	5人
	延べ人数	志願者数	28人	27人	33人	19人	28人	27人
		受験者数	28人	27人	33人	19人	28人	27人
		合格者数	14人	19人	18人	17人	24人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	28人	27人	33人	19人	28人	27人
		受験者数	28人	27人	33人	19人	28人	27人
		合格者数	14人	19人	18人	17人	24人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		14人	19人	17人	17人	24人	18人
学校推薦型選抜	募集人員		18人	18人	18人	18人	18人	18人
	延べ人数	志願者数	62人	47人	62人	50人	28人	50人
		受験者数	60人	46人	62人	50人	28人	49人
		合格者数	41人	37人	41人	50人	25人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	55人	37人	55人	41人	24人	42人
		受験者数	53人	36人	55人	41人	24人	42人
		合格者数	40人	31人	37人	41人	22人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	2人	0人	1人
	入学者数		34人	25人	27人	29人	18人	27人
一般選抜	募集人員		23人	23人	23人	23人	21人	23人
	延べ人数	志願者数	151人	99人	72人	93人	69人	97人
		受験者数	145人	97人	70人	90人	67人	94人
		合格者数	27人	25人	33人	36人	45人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	1人	1人
	実人数	志願者数	87人	80人	47人	68人	47人	66人
		受験者数	85人	78人	45人	65人	45人	64人
		合格者数	24人	22人	23人	27人	34人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	1人	1人
	入学者数		4人	7人	8人	6人	6人	6人
共通テスト利用入試	募集人員		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	14人	7人	7人	6人	7人	8人
		受験者数	13人	7人	7人	6人	7人	8人
		合格者数	5人	2人	3人	5人	7人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	9人	4人	2人	5人	5人	5人
		受験者数	8人	4人	2人	5人	5人	5人
		合格者数	3人	1人	1人	4人	5人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		1人	0人	1人	2人	0人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	255人	180人	174人	168人	132人	182人
		受験者数	246人	177人	172人	165人	130人	178人
		合格者数	87人	83人	95人	108人	101人	95人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	2人	3人	1人	2人
	実人数	志願者数	179人	148人	137人	133人	104人	140人
		受験者数	174人	145人	135人	130人	102人	137人
		合格者数	81人	73人	79人	89人	85人	81人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	2人	3人	1人	2人
	入学者数		53人	51人	53人	54人	48人	52人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50人
入学定員充足率	1.06	1.02	1.06	1.08	0.96	1.04
歩留率	0.61	0.61	0.56	0.50	0.48	0.55

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－５】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：健康スポーツ学部　健康スポーツ学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		10人	10人	10人	10人	12人	10人
	延べ人数	志願者数	62人	40人	42人	41人	53人	48人
		受験者数	62人	40人	42人	40人	53人	47人
		合格者数	18人	24人	34人	26人	31人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	62人	40人	42人	41人	53人	48人
		受験者数	62人	40人	42人	40人	53人	47人
		合格者数	18人	24人	34人	26人	31人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		17人	24人	34人	26人	31人	26人
学校推薦型選抜	募集人員		23人	23人	23人	23人	23人	23人
	延べ人数	志願者数	106人	81人	68人	75人	63人	79人
		受験者数	106人	81人	68人	75人	63人	79人
		合格者数	66人	51人	57人	57人	49人	56人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	3人	4人	0人	2人
	実人数	志願者数	88人	65人	58人	63人	58人	66人
		受験者数	88人	65人	58人	63人	58人	66人
		合格者数	59人	46人	51人	48人	46人	50人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	3人	4人	0人	2人
	入学者数		54人	40人	39人	39人	39人	42人
一般選抜	募集人員		31人	31人	31人	31人	29人	31人
	延べ人数	志願者数	210人	149人	139人	156人	153人	161人
		受験者数	202人	143人	138人	151人	148人	156人
		合格者数	50人	43人	64人	55人	63人	55人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	136人	94人	119人	109人	136人	119人
		受験者数	130人	89人	118人	106人	131人	115人
		合格者数	44人	36人	58人	42人	59人	48人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	1人	1人
	入学者数		8人	9人	16人	10人	10人	11人
共通テスト利用入試	募集人員		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	23人	13人	18人	24人	25人	21人
		受験者数	23人	13人	18人	24人	25人	21人
		合格者数	5人	5人	8人	11人	15人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	21人	11人	12人	22人	22人	18人
		受験者数	21人	11人	12人	22人	22人	18人
		合格者数	5人	5人	8人	10人	13人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	1人	0人
	入学者数		2人	0人	0人	1人	2人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	志願者数	401人	283人	267人	297人	294人	308人
		受験者数	393人	277人	266人	291人	289人	303人
		合格者数	139人	123人	163人	150人	158人	147人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	4人	4人	2人	3人
	実人数	志願者数	307人	210人	231人	236人	269人	251人
		受験者数	301人	205人	230人	232人	264人	246人
		合格者数	126人	111人	151人	127人	149人	133人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	4人	4人	2人	3人
	入学者数		81人	73人	89人	76人	82人	80人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入学定員充足率	1.16	1.04	1.27	1.09	1.17	1.15
歩留率	0.58	0.59	0.55	0.51	0.52	0.55

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－６】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：健康科学部　心理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		14人	14人	14人	14人	16人	14人
	延べ人数	志願者数	18人	12人	13人	26人	25人	19人
		受験者数	18人	12人	13人	26人	25人	19人
		合格者数	18人	12人	13人	25人	25人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	18人	12人	13人	26人	25人	19人
		受験者数	18人	12人	13人	26人	25人	19人
		合格者数	18人	12人	13人	25人	25人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		16人	12人	13人	25人	25人	18人
学校推薦型選抜	募集人員		34人	34人	34人	34人	34人	34人
	延べ人数	志願者数	69人	56人	57人	18人	42人	48人
		受験者数	69人	56人	57人	18人	41人	48人
		合格者数	69人	56人	57人	18人	39人	48人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	63人	49人	45人	14人	31人	40人
		受験者数	63人	49人	45人	14人	31人	40人
		合格者数	63人	49人	45人	14人	31人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
	入学者数		50人	39人	38人	12人	23人	32人
一般選抜	募集人員		46人	46人	46人	46人	44人	46人
	延べ人数	志願者数	159人	100人	131人	94人	70人	111人
		受験者数	145人	96人	131人	94人	68人	107人
		合格者数	130人	85人	124人	72人	57人	94人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	113人	74人	103人	64人	48人	80人
		受験者数	104人	72人	103人	64人	46人	78人
		合格者数	98人	65人	102人	47人	41人	71人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	0人	1人
	入学者数		19人	11人	20人	5人	8人	13人
共通テスト利用入試	募集人員		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	34人	29人	23人	22人	13人	24人
		受験者数	34人	29人	23人	22人	13人	24人
		合格者数	20人	29人	19人	21人	13人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	24人	22人	22人	15人	11人	19人
		受験者数	24人	22人	22人	15人	11人	19人
		合格者数	16人	22人	18人	15人	11人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	1人	3人	1人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	1人	0人	0人	0人
合計	募集人員		100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	280人	199人	225人	160人	150人	203人
		受験者数	266人	195人	225人	160人	147人	199人
		合格者数	237人	184人	214人	136人	134人	181人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	218人	159人	184人	119人	115人	159人
		受験者数	209人	157人	184人	119人	113人	156人
		合格者数	195人	150人	179人	101人	108人	147人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	2人	0人	1人
	入学者数		87人	63人	75人	43人	57人	65人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人
入学定員充足率	0.87	0.63	0.75	0.43	0.57	0.65
歩留率	0.37	0.34	0.35	0.32	0.43	0.36

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－７】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：健康科学部　医療栄養学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		6人	6人	6人	6人	8人	6人
	延べ人数	志願者数	8人	8人	12人	9人	11人	10人
		受験者数	8人	7人	12人	9人	11人	9人
		合格者数	8人	7人	11人	9人	10人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	8人	8人	12人	9人	11人	10人
		受験者数	8人	7人	12人	9人	11人	9人
		合格者数	8人	7人	11人	9人	10人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		7人	7人	11人	9人	10人	9人
学校推薦型選抜	募集人員		20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	50人	60人	58人	51人	45人	53人
		受験者数	49人	58人	58人	51人	43人	52人
		合格者数	48人	54人	51人	51人	40人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	1人	0人	2人	1人
	実人数	志願者数	44人	53人	52人	48人	35人	46人
		受験者数	43人	51人	52人	48人	34人	46人
		合格者数	43人	50人	48人	48人	34人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	1人	0人	2人	1人
	入学者数		38人	38人	37人	39人	30人	36人
一般選抜	募集人員		30人	30人	30人	30人	28人	30人
	延べ人数	志願者数	115人	160人	113人	148人	72人	122人
		受験者数	114人	154人	113人	146人	72人	120人
		合格者数	96人	108人	78人	95人	41人	84人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	71人	108人	86人	105人	50人	84人
		受験者数	70人	104人	86人	103人	50人	83人
		合格者数	63人	76人	58人	75人	30人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	1人	0人	1人
	入学者数		8人	16人	12人	9人	4人	10人
共通テスト利用入試	募集人員		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	17人	19人	9人	26人	10人	16人
		受験者数	17人	19人	9人	26人	10人	16人
		合格者数	14人	14人	7人	22人	9人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	10人	9人	9人	23人	10人	12人
		受験者数	10人	9人	9人	23人	10人	12人
		合格者数	9人	8人	7人	21人	9人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	0人	2人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		60人	60人	60人	60人	60人	60人
	延べ人数	志願者数	191人	247人	192人	234人	138人	200人
		受験者数	189人	238人	192人	232人	136人	197人
		合格者数	166人	183人	147人	177人	100人	155人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	3人	4人	2人	2人	3人
	実人数	志願者数	134人	178人	159人	185人	106人	152人
		受験者数	132人	171人	159人	183人	105人	150人
		合格者数	123人	141人	124人	153人	83人	125人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	3人	4人	2人	2人	3人
	入学者数		53人	62人	60人	59人	45人	56人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	0.88	1.03	1.00	0.98	0.75	0.93
歩留率	0.32	0.34	0.41	0.33	0.45	0.37

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－８】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：健康科学部　医療経営学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		13人	13人	13人	13人	15人	13人
	延べ人数	志願者数	12人	9人	15人	32人	17人	17人
		受験者数	12人	9人	15人	32人	16人	17人
		合格者数	12人	9人	15人	32人	16人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	12人	9人	15人	32人	17人	17人
		受験者数	12人	9人	15人	32人	16人	17人
		合格者数	12人	9人	15人	32人	16人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		12人	9人	15人	32人	16人	17人
学校推薦型選抜	募集人員		30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	志願者数	81人	82人	73人	55人	43人	67人
		受験者数	81人	82人	73人	55人	42人	67人
		合格者数	80人	82人	73人	55人	41人	66人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	1人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	74人	72人	59人	47人	35人	57人
		受験者数	74人	72人	59人	47人	35人	57人
		合格者数	74人	72人	59人	47人	35人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	1人	0人	0人	1人
	入学者数		67人	63人	51人	44人	35人	52人
一般選抜	募集人員		41人	41人	41人	41人	39人	41人
	延べ人数	志願者数	166人	85人	58人	68人	53人	86人
		受験者数	152人	78人	52人	67人	53人	80人
		合格者数	120人	52人	33人	42人	38人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	127人	63人	35人	33人	27人	57人
		受験者数	115人	56人	29人	32人	27人	52人
		合格者数	91人	35人	15人	15人	17人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
	入学者数		20人	6人	3人	4人	2人	7人
共通テスト利用入試	募集人員		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	13人	9人	8人	5人	2人	7人
		受験者数	13人	9人	8人	5人	2人	7人
		合格者数	13人	9人	8人	4人	2人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	10人	3人	7人	1人	2人	5人
		受験者数	10人	3人	7人	1人	2人	5人
		合格者数	10人	3人	7人	1人	2人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	0人	0人	0人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	1人	1人	0人	0人	1人	1人
		受験者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	1人	0人	0人	1人	1人
		受験者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		90人	90人	90人	90人	90人	90人
	延べ人数	志願者数	273人	186人	154人	160人	116人	178人
		受験者数	259人	179人	148人	159人	113人	172人
		合格者数	225人	153人	129人	133人	97人	147人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	1人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	224人	148人	116人	113人	82人	137人
		受験者数	212人	141人	110人	112人	80人	131人
		合格者数	187人	120人	96人	95人	70人	114人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	1人	1人	0人	1人
	入学者数		101人	79人	69人	80人	54人	77人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
入学定員充足率	1.12	0.88	0.77	0.89	0.60	0.85
歩留率	0.45	0.52	0.53	0.60	0.56	0.53

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－９】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：看護学部　看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		5人	5人	5人	5人	7人	5人
	延べ人数	志願者数	37人	36人	34人	31人	32人	34人
		受験者数	37人	36人	34人	31人	32人	34人
		合格者数	22人	13人	24人	26人	27人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	37人	36人	34人	31人	32人	34人
		受験者数	37人	36人	34人	31人	32人	34人
		合格者数	22人	13人	24人	26人	27人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		22人	13人	24人	25人	27人	22人
学校推薦型選抜	募集人員		38人	38人	38人	38人	38人	38人
	延べ人数	志願者数	196人	194人	148人	130人	119人	157人
		受験者数	195人	193人	146人	130人	111人	155人
		合格者数	158人	146人	120人	123人	104人	130人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	9人	11人	13人	6人	11人
	実人数	志願者数	190人	181人	141人	127人	113人	150人
		受験者数	189人	180人	139人	127人	105人	148人
		合格者数	156人	139人	115人	121人	99人	126人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	9人	11人	13人	6人	11人
	入学者数		86人	93人	73人	72人	56人	76人
一般選抜	募集人員		70人	70人	70人	70人	68人	70人
	延べ人数	志願者数	312人	384人	367人	340人	267人	334人
		受験者数	302人	372人	353人	335人	261人	325人
		合格者数	98人	136人	206人	175人	196人	162人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	3人	5人	7人	4人
	実人数	志願者数	265人	331人	333人	299人	230人	292人
		受験者数	258人	320人	321人	295人	224人	284人
		合格者数	89人	124人	195人	155人	176人	148人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	3人	5人	7人	4人
	入学者数		16人	20人	26人	21人	24人	21人
共通テスト利用入試	募集人員		7人	7人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	57人	39人	28人	39人	31人	39人
		受験者数	57人	39人	28人	39人	31人	39人
		合格者数	20人	7人	18人	22人	24人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	実人数	志願者数	49人	31人	25人	32人	29人	33人
		受験者数	49人	31人	25人	32人	29人	33人
		合格者数	18人	5人	18人	19人	23人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	入学者数		1人	1人	0人	1人	2人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	1人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	2人	1人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	1人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	1人	0人	0人	0人
合計	募集人員		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	602人	655人	578人	540人	449人	565人
		受験者数	591人	642人	562人	535人	435人	553人
		合格者数	298人	303人	369人	346人	351人	333人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	13人	14人	19人	14人	16人
	実人数	志願者数	541人	581人	534人	489人	404人	510人
		受験者数	533人	569人	520人	485人	390人	499人
		合格者数	285人	282人	353人	321人	325人	313人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	13人	14人	19人	14人	16人
	入学者数		125人	127人	124人	119人	109人	121人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120人
入学定員充足率	1.04	1.06	1.03	0.99	0.91	1.01
歩留率	0.42	0.42	0.34	0.34	0.31	0.37

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１１－１０】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：薬学部　薬学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		5人	15人	15人	15人	17人	13人
	延べ人数	志願者数	12人	7人	7人	10人	14人	10人
		受験者数	12人	7人	7人	10人	14人	10人
		合格者数	11人	6人	7人	8人	14人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	12人	7人	7人	10人	14人	10人
		受験者数	12人	7人	7人	10人	14人	10人
		合格者数	11人	6人	7人	8人	14人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		11人	6人	7人	7人	14人	9人
学校推薦型選抜	募集人員		38人	43人	43人	43人	43人	42人
	延べ人数	志願者数	75人	63人	62人	32人	41人	55人
		受験者数	74人	63人	61人	32人	37人	53人
		合格者数	70人	56人	59人	31人	32人	50人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	6人	2人	3人	3人
	実人数	志願者数	67人	58人	58人	31人	33人	49人
		受験者数	66人	58人	57人	31人	29人	48人
		合格者数	64人	54人	55人	30人	26人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	6人	2人	3人	3人
	入学者数		41人	40人	32人	18人	16人	29人
一般選抜	募集人員		70人	56人	56人	56人	54人	58人
	延べ人数	志願者数	372人	319人	346人	308人	234人	316人
		受験者数	360人	299人	331人	302人	231人	305人
		合格者数	321人	248人	276人	246人	167人	252人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	3人	4人	9人	4人	6人
	実人数	志願者数	345人	312人	325人	284人	227人	299人
		受験者数	333人	293人	310人	278人	224人	288人
		合格者数	302人	244人	262人	232人	163人	241人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	3人	4人	9人	4人	6人
	入学者数		48人	34人	47人	52人	26人	41人
共通テスト利用入試	募集人員		7人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	39人	30人	34人	33人	22人	32人
		受験者数	39人	30人	34人	33人	22人	32人
		合格者数	25人	24人	32人	22人	16人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	35人	23人	32人	27人	22人	28人
		受験者数	35人	23人	32人	27人	22人	28人
		合格者数	22人	18人	30人	21人	16人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		1人	2人	2人	2人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	498人	419人	449人	383人	311人	412人
		受験者数	485人	399人	433人	377人	304人	400人
		合格者数	427人	334人	374人	307人	229人	334人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	4人	10人	11人	7人	8人
	実人数	志願者数	459人	400人	422人	352人	296人	386人
		受験者数	446人	381人	406人	346人	289人	374人
		合格者数	399人	322人	354人	291人	219人	317人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	4人	10人	11人	7人	8人
	入学者数		101人	82人	88人	79人	58人	82人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120人
入学定員充足率	0.84	0.68	0.73	0.66	0.48	0.68
歩留率	0.24	0.25	0.24	0.26	0.25	0.25

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１２－１】本学及び競合校との入学志願動向比較

① 資 料 名：【2】入試について〔1〕春（4月）入学について
② 出　　典：日本私立大学協会中国・四国支部　中国・四国地区私立大学実態調査
③ 利用範囲：HP 掲載なし。
④ そ の 他：上記データを加工し、表として纏めた。

【資料１２－２】本学及び競合校との入学志願動向比較

⑤ 資 料 名：【2】入試について〔1〕春（4月）入学について
⑥ 出　　典：日本私立大学協会中国・四国支部　中国・四国地区私立大学実態調査
⑦ 利用範囲：HP 掲載なし。
⑧ そ の 他：上記データを加工し、表として纏めた。

【資料１３】近隣大学の初年度納付金額比較一覧

【注】本学の学費については、学費改定を計画しているため２０２７年度の学費で比較（近隣大学については、２０２５年度）

○保健医療学部・総合リハビリテーション学部系近隣大学の初年度納付金額(2025年度入学生)

単位：円

No	大学名	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	維持費他	初年度納付額
1	人間総合科学大学	保健医療学部	リハビリテーション学科	300,000	1,010,000	215,000	400,000	0	0	1,925,000
2	新潟医療福祉大学	リハビリテーション学部	理学療法学科	350,000	1,000,000	350,000	150,000	0	0	1,850,000
2	森ノ宮医療大学	医療技術学部	臨床検査学科	250,000	1,200,000	0	0	400,000	0	1,850,000
4	倉敷芸術科学大学	生命科学部	生命医科学科	220,000	845,000	470,000	250,000	0	0	1,785,000
5	広島国際大学	総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	200,000	1,450,000	0	0	110,000	0	1,760,000
5	広島国際大学	保健医療学部	診療放射線学科・医療技術学科・救急救命学科	200,000	1,450,000	0	0	110,000	0	1,760,000
6	広島都市学園大学	健康科学部	理学療法学科	250,000	1,300,000	200,000	0	0	0	1,750,000
7	徳島文理大学	保健福祉学部	診療放射線学科	280,000	920,000	300,000	200,000	0	37,300	1,737,300
8	京都橘大学	健康科学部	理学療法学科	250,000	1,200,000	0	250,000	30,000	0	1,730,000
9	帝京大学	福岡医療技術学部	理学療法学科	263,000	945,000	284,000	210,000	0	0	1,702,000
10	川崎医療福祉大学	リハビリテーション学部	理学療法学科	300,000	1,000,000	0	0	400,000	0	1,700,000
11	広島工業大学	工学部	電子情報工学科	250,000	1,120,000	320,000	0	0	0	1,690,000
12	純真学園大学	保健医療学部	放射線技術科学科	200,000	900,000	0	200,000	0	350,000	1,650,000
13	西九州大学	リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	200,000	850,000	100,000	0	380,000	0	1,530,000
14	九州栄養福祉大学	リハビリテーション学部	理学療法学科	230,000	960,000	100,000	0	160,000	0	1,450,000
近隣13大学平均				257,154	1,019,231	259,889	237,143	274,000	193,650	1,719,177
ターゲット校11大学平均				264,818	1,040,000	305,571	237,143	276,667	193,650	1,760,845

○看護学部系近隣大学の初年度納付金額(2025年度入学生)

単位：円

No	大学名	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	維持費他	初年度納付額
1	聖マリア学院大学	看護学部	看護学科	300,000	1,100,000	300,000	240,000	0	0	1,940,000
2	日本赤十字看護大学	看護学部	看護学科	300,000	1,200,000	0	100,000	0	240,000	1,840,000
3	福岡女学院看護大学	看護学部	看護学科	300,000	1,100,000	200,000	200,000	0	0	1,800,000
3	川崎医療福祉大学	保健看護学部	保健看護学科	300,000	1,000,000	0		500,000	0	1,800,000
5	聖カタリナ大学	看護学部	看護学科	280,000	1,000,000	200,000	0	300,000	0	1,780,000
5	福岡大学	医学部	看護学科	270,000	1,040,000	0	0	470,000	0	1,780,000
7	広島文化学園大学	看護学部	看護学科	250,000	1,220,000	300,000	0	0	0	1,770,000
8	広島国際大学	看護学部	看護学科	200,000	1,450,000	0	0	110,000	0	1,760,000
9	鳥取看護大学	看護学部	看護学科	300,000	800,000	0	300,000	350,000	0	1,750,000
9	山陽学園大学	看護学部	看護学科	300,000	1,150,000	0	300,000	0	0	1,750,000
11	久留米大学	医学部	看護学科	300,000	930,000	0	250,000	240,000	0	1,720,000
12	西南女学院大学	保健福祉学部	看護学科	270,000	943,000	329,000	168,000	0	0	1,710,000
13	安田女子大学	看護学部	看護学科	100,000	1,390,000	200,000	0	0	19,000	1,709,000
14	宇部フロンティア大学	看護学部	看護学科	250,000	980,000	300,000	170,000	0	0	1,700,000
15	四国大学	看護学部	看護学科	280,000	940,000	220,000	108,000	120,000	6,000	1,674,000
16	純真学園大学	保健医療学部	看護学科	200,000	900,000	0	205,000	0	350,000	1,655,000
17	吉備国際大学	看護学部	看護学科	300,000	1,000,000	350,000	0	0	0	1,650,000
18	福山平成大学	看護学部	看護学科	200,000	1,440,000	0	0	0	0	1,640,000
近隣17大学平均				264,706	1,066,647	266,556	185,545	330,000	153,750	1,745,176

○薬学部系近隣大学の初年度納付金額(2025年度入学生)

単位：円

No	大学名	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	維持費他	初年度納付額
1	神戸薬科大学	薬学部	薬学科（６年制）	400,000	1,500,000	500,000	0	0	0	2,400,000
2	徳島文理大学	薬学部	薬学科（６年制）	400,000	1,120,000	500,000	250,000	0	37,300	2,307,300
3	就実大学	薬学部	薬学科（６年制）	270,000	1,530,000	450,000	0	0	0	2,250,000
4	神戸学院大学	薬学部	薬学科（６年制）	250,000	1,405,000	440,000	0	0	0	2,095,000
5	広島国際大学	薬学部	薬学科（６年制）	200,000	1,740,000	0	0	120,000	0	2,060,000
6	福山大学	薬学部	薬学科（６年制）	200,000	1,860,000	0	0	0	0	2,060,000
7	福岡大学	薬学部	薬学科（６年制）	400,000	1,350,000	0	0	290,000	0	2,040,000
8	松山大学	薬学部	医療薬学科「６年制」	200,000	1,400,000	0	0	400,000	0	2,000,000
9	第一薬科大学	薬学部	薬学科（６年制）	300,000	1,500,000	160,000	0	0	0	1,960,000
9	長崎国際大学	薬学部	薬学科（６年制）	250,000	1,710,000	0	0	0	0	1,960,000
11	安田女子大学	薬学部	薬学科（６年制）	100,000	1,640,000	200,000	0	0	11,000	1,951,000
12	崇城大学	薬学部	薬学科（６年制）	300,000	1,300,000	0	300,000	0	0	1,900,000
近隣11大学平均				279,091	1,483,182	375,000	275,000	345,000	24,150	2,083,936

○医療栄養学科系近隣大学の初年度納付金額(2025年度入学生)

単位：円

No	大学名	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	維持費他	初年度納付額
1	川崎医療福祉大学	医療技術学部	臨床栄養学科	300,000	1,000,000	0	0	400,000	0	1,700,000
2	広島工業大学	環境学部	食健康科学科	250,000	1,120,000	220,000	0	0	0	1,590,000
3	中村学園大学	栄養科学部	栄養科学科	260,000	880,000	390,000	40,000	0	0	1,570,000
4	四国大学	生活科学部	健康栄養学科	280,000	700,000	220,000	108,000	120,000	6,000	1,434,000
5	くらしき作陽大学	食文化学部	栄養学科	250,000	740,000	0	0	0	400,000	1,390,000
6	美作大学	生活科学部	食物学科	270,000	1,000,000	100,000	0	0	0	1,370,000
7	中国学園大学	現代生活学部	人間栄養学科	250,000	500,000	300,000	118,000	200,000	0	1,368,000
8	広島国際大学	健康科学部	医療栄養学科	200,000	1,050,000	0	0	110,000	0	1,360,000
9	安田女子大学	家政学部	管理栄養学科	100,000	1,040,000	200,000	0	0	19,000	1,359,000
10	福山大学	生命工学部	健康栄養科学科	200,000	1,150,000	0	0	0	0	1,350,000
10	比治山大学	健康栄養学部	管理栄養学科	230,000	900,000	220,000	0	0	0	1,350,000
12	広島女学院大学	人間生活学部	管理栄養学科	250,000	810,000	280,000	0	0	0	1,340,000
12	広島修道大学	健康科学部	健康栄養学科	220,000	900,000	220,000	0	0	0	1,340,000
14	徳島文理大学	人間生活学部	食物栄養学科	280,000	670,000	200,000	100,000	52,000	37,300	1,339,300
15	九州栄養福祉大学	食物栄養学部	食物栄養学科	230,000	680,000	100,000	100,000	220,000	0	1,330,000
16	広島文教大学	人間科学部	人間栄養学科	180,000	860,000	270,000	0	0	0	1,310,000
17	長崎国際大学	健康管理学部	健康栄養学科	250,000	1,040,000	0	0	0	0	1,290,000
18	ノートルダム清心女子大学	人間生活学部	食品栄養学科	200,000	710,000	200,000	45,000	118,000	0	1,273,000
19	西九州大学	健康栄養学部	健康栄養学科	200,000	650,000	100,000	0	290,000	0	1,240,000
近隣18大学平均				233,333	852,778	215,714	85,167	200,000	115,575	1,385,739

○心理学科・社会学科系近隣大学の初年度納付金額(2025年度入学生)　　単位：円

No	大学名	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	維持費他	初年度納付額
1	吉備国際大学	人間科学部	人間科学科	300,000	803,000	350,000	0	0	0	1,453,000
2	広島文化学園大学	人間健康学部	スポーツ健康福祉学科	250,000	850,000	250,000	0	0	0	1,350,000
3	広島国際大学	健康科学部	心理学科・医療経営学科・社会学科	200,000	1,050,000	0	0	60,000	0	1,310,000
4	徳島文理大学	人間生活学部/保健福祉学部	心理学科/人間福祉学科	280,000	670,000	200,000	120,000	0	37,300	1,307,300
5	比治山大学	現代文化学部	社会臨床心理学科	230,000	840,000	220,000	0	0	0	1,290,000
6	広島修道大学	健康科学部	心理学科	220,000	820,000	220,000	0	0	0	1,260,000
7	広島文教大学	人間科学部	心理学科／人間福祉学科	180,000	850,000	220,000	0	0	0	1,250,000
8	安田女子大学	心理学部	現代心理学科	100,000	900,000	200,000	0	0	19,000	1,219,000
9	聖カタリナ大学	健康社会学部	現代人間学科	280,000	615,000	100,000	0	210,000	0	1,205,000
10	久留米大学	文学部	心理学科／社会福祉学科	200,000	710,000	0	50,000	160,000	0	1,120,000
11	福岡大学	人文学部	教育・臨床心理学科	190,000	730,000	0	0	180,000	0	1,100,000
11	九州産業大学	人間科学部	臨床心理学科	200,000	700,000	0	0	200,000	0	1,100,000
11	福山平成大学	福祉健康学部	福祉学科	200,000	900,000	0	0	0	0	1,100,000
14	福山大学	人間文化学部	心理学科	200,000	840,000	0	0	0	0	1,040,000
	近隣13大学平均			217,692	786,769	220,000	85,000	187,500	28,150	1,214,946

○健康・スポーツ学部系競合他大学の初年度納付金額(2025年度入学生)　　単位：円

No	大学名	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	維持費他	初年度納付額
1	環太平洋大学	体育学部	健康科学科	300,000	1,400,000	100,000	0	100,000	0	1,900,000
2	川崎医療福祉大学	医療技術学部	健康体育学科	300,000	1,000,000	0	0	400,000	0	1,700,000
3	倉敷芸術科学大学	生命科学部	健康科学科	220,000	845,000	425,000	160,000	0	0	1,650,000
4	九州医療科学大学	社会福祉学部	スポーツ健康福祉学科	300,000	900,000	350,000	0	0	0	1,550,000
5	新潟医療福祉大学	健康科学部	健康スポーツ学科	250,000	850,000	350,000	50,000	0	0	1,500,000
6	福岡大学	スポーツ科学部	健康運動科学科	300,000	800,000	0	0	350,000	0	1,450,000
7	九州産業大学	人間科学部	スポーツ健康科学科	200,000	850,000	0	0	390,000	0	1,440,000
8	広島国際大学	健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	200,000	1,050,000	0	0	110,000	0	1,360,000
9	広島文化学園大学	人間健康学部	スポーツ健康福祉学科	250,000	850,000	250,000	0	0	0	1,350,000
10	九州共立大学	スポーツ学部	スポーツ学科	220,000	720,000	226,000	8,500	134,000	0	1,308,500
11	久留米大学	人間健康学部	スポーツ医科学科	200,000	810,000	0	70,000	160,000	0	1,240,000
12	聖カタリナ大学	健康社会学部	健康スポーツ学科	280,000	615,000	100,000	0	210,000	0	1,205,000
13	福山平成大学	福祉健康学部	健康スポーツ科学科	200,000	900,000	0	0	0	0	1,100,000
	近隣12大学平均			251,667	878,333	257,286	72,125	249,143	0	1,449,458

備考　資料は学生納付金等調査(令和7年度入学生)による。

(出典：各大学ホームページ)

【資料１４】2022～2024 年度希望就職率推移

2022～2024年度希望就職率推移

学科	2022	2023	2024
診療放射線学科	95.0%	94.8%	89.9%
臨床工学専攻	97.0%	96.6%	87.5%
臨床検査学専攻	100.0%	93.2%	95.7%
心理学科	89.6%	100.0%	87.0%
医療経営学科	98.5%	98.4%	100.0%
看護学科	100.0%	100.0%	100.0%
薬学科	100.0%	97.1%	100.0%
健康スポーツ学科		100.0%	100.0%

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料１５】2022～2024 年度求人件数

２０２２～２０２４年度求人件数

職種	2022	2023	2024
診療放射線技師	505	491	584
臨床工学技士	343	348	488
臨床検査技師	393	373	755
医療･保健･福祉業 事務職	368	452	931
看護師	1,079	1,000	1,626
薬剤師	1,192	1,002	2,042
資格、分野不問	1,652	1,239	－
合計	7,554	6,928	8,450

（文部科学省　大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　　員　　名　　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
	学長	シミズ　ジュイチロウ 清水　壽一郎 ＜令和7年11月＞		博士 (医学)		広島国際大学　学長 (令和7.11～令和10.3)